

関の山車会館地域交流施設新築工事

NO	図面名称	NO	図面名称	NO	図面名称	NO	図面名称
A-01	工事特記仕様書 1	A-31	建具表 1	S-01	構造設計標準仕様書	E-01	電気設備特記仕様書
A-02	工事特記仕様書 2	A-32	建具表 2	S-02	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(木造用)	E-02	配置図・凡例
A-03	工事特記仕様書 3	A-33	建具表 3	S-03	木構造標準図(1)	E-03	単線結線図・盤図
A-04	工事特記仕様書 4 (建築新営木造)	A-34	部分詳細図 1	S-04	木構造標準図(2)	E-04	照明器具姿図
A-05	付近見取図、配置図	A-35	部分詳細図 2	S-05	金物規格	E-05	照明設備図
A-06	既存配置図	A-36	部分詳細図 3	S-06	独立柱脚金物図	E-06	動力・コンセント設備図-1
A-07	敷地求積図	A-37	部分詳細図 4	S-07	基礎断面図	E-07	動力・コンセント設備図-2
A-08	面積表	A-38	部分詳細図 5	S-08	基礎伏図	E-08	幹線・弱電設備図
A-09	仕上表	A-39	部分詳細図 6	S-09	土台伏図	E-09	トイレ呼出設備図
A-10	1階平面図	A-40	部分詳細図 7	S-10	小屋伏図 1 (軒高3200ライン)		
A-11	下屋屋根伏図	A-41	サイン詳細図 1	S-11	小屋伏図 2 (軒高4150ライン)	M-01	機械設備特記仕様書
A-12	屋根伏図	A-42	サイン詳細図 2	S-12	小屋伏図 3 (軒高8400ライン)	M-02	配置図・凡例
A-13	立面図	A-43	雨水排水計画図 (別途工事、参考図)	S-13	母屋伏図 1 (軒高3200を基準)	M-03	衛生器具表・柵リスト
A-14	断面図	A-44	仮設計画図 (参考図)	S-14	母屋伏図 2 (軒高8400を基準)	M-04	給排水設備図
A-15	断面詳細図 1			S-15	小屋筋交位置図 1 (軒高3200を基準)	M-05	詳細図 (A)
A-16	断面詳細図 2			S-16	小屋筋交位置図 2 (軒高8400を基準)	M-06	換気空調設備機器表
A-17	断面詳細図 3			S-17	1階金物耐力壁位置図	M-07	換気設備図
A-18	平面詳細図 1			S-18	2階金物耐力壁位置図	M-08	空調設備図
A-19	平面詳細図 2			S-19	軸組図 (1)		
A-20	平面詳細図 3			S-20	軸組図 (2)		
A-21	展開図 1			S-21	軸組図 (3)		
A-22	展開図 2			S-22	軸組図 (4)		
A-23	展開図 3			S-23	軸組図 (5)		
A-24	展開図 4			S-24	軸組図 (6)		
A-25	展開図 5			S-25	軸組図 (7)		
A-26	展開図 6			S-26	軸組図 (8)		
A-27	展開図 7			S-27	柱状図、地盤改良計画図		
A-28	展開図 8						
A-29	展開図 9						
A-30	天井伏図						

⑥ シロ 工事	⑤ 混和材料 (6.3.1)	① 混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(I)による ・混和材 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(II)による
	⑧ 気乾単位容積質量 (6.2.3)	② 普通コンクリート ・2.3t/m ³ 程度 ・軽量コンクリート (6.10.1)
	① コンクリートの仕上り (6.2.5)	部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 ・標準仕様書6.2.3による 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.3)
⑦ 防水 工事	⑥ 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.2)	打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ① 0mm 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ② 0mm・20mm
	⑧ 型枠 (6.8.3)	せき板の材料及び厚さ ① 合板(※12mm)
	⑨ 断熱材の取用 (6.8.3)	断熱材の取用 ① 行わない・行う
8 石工 工事	① シーリング (9.7.2)(表9.7.1)	下表以外は、標準仕様書表9.7.11による ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による 施工箇所 シーリング材の種類(記号) 全長→コンクリート M S-2 全長→ガラス S R-1 ガラス→ガラス S R-1 シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)①～③による
	1 施工 (10.1.3, 4)	石材の削付け ※標準仕様書10.1.3(a)①、②による 図示 粗面仕上げの場合のみ込み部分の仕上げ 図示 屋内の床を本置きとする場合のワックス掛け 行う(適用場所)すべて、 行わない
	2 石材等 (10.2.1, 2)	天然石 施工箇所 品質 石材の種類 形状 寸法(mm) 厚さ(mm) 表面仕上げ 備考 ・1等品 2等品 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ・1等品 2等品 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
3 床及び階段の石張り (10.6.2, 3)	取り付用モルタル、概算合の目地モルタル、右裏面処理材、裏打ち処理材 ※石材施工業者の指定する製品 床石張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない 階段張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない 目地 一般目地 目地幅(3mm) シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと、総延長1通路の場合6m程度ごと及び他部材との取り合い部 図示	
⑨ タイル 工事	① 接着剤による陶磁器質タイル張り (11.3.2~4, 7)	タイルの形状、寸法等 主な用途による区分 施工箇所 男子便所 汚置石 940×600 ポーチ、風除室 ロビー、通路 300×300 集金室、展示室 標準的な曲がりの取付は一体成形とする 試験張り ・行う ① 行わない 見本焼き ・行う ① 行わない 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外

⑩ 屋根及び 土工事	① 粘土瓦葺 (13.4.2, 3)	種類 施工箇所 葺法による区分 形状による区分 寸法による区分 大きさ 産地 役物瓦の種類 止め瓦の種類 屋根、庇 いぶし瓦 J形瓦 53A 図示 軒瓦、そで瓦 ① 適用する ② 適用しない ③ 適用しない
	② とい (13.5.2, 3)(表13.5.5)	瓦根木 材質 ※杉又はひのき 寸法 ※幅21×高さ15(mm) 棟持強心材 材質 ※杉又はひのき 寸法 ※幅40×高さ30(mm) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の①・1.15・1.3)倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 瓦根木の取付け工法 ※図示 棟の工法 ※標準仕様書13.4.3(d)(I)～(II)による 下葺材料 ・アスファルトルーフィング 40 ① 改質アスファルトルーフィング下葺材 ② 股付・積層材①⑦・粘着層付①⑦
	⑪ ステンレスの表面仕上げ (14.2.1)	といの材質 ・配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ① 図示 ロックウール保温箔及びフェノールフォーム保温箔のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 鋼管製といの防錆巻き ・適用する(工法:※標準仕様書表13.5.5.5による) ・適用しない ルーフトレン 種類 施工箇所 ・ろく屋根用(・縦型・横型) ・バルコニー用 ・バルコニー中層用
⑫ 左官 工事	① モルタル塗り (15.2.2, 9)	外壁目地 ① 敷ける 施工箇所(図示) 形状(※図示) ・ 敷けない 床目地 ・敷ける(工法※押し目地) ・ 敷けない 外壁タイル張り下地の均しモルタルの接着力試験 ・適用する ・適用しない
	② 床コンクリートの直均し仕上げ (6.2.9)(15.3.2)	下表以外は標準仕様書15.3.2による 施工箇所 平坦さ(mm) 備考 コンクリート3層E、墨床 3mにつき7以下 ・ ・
	③ セルフレベリング床塗り (15.4.2)(表15.4.1)	・せっこう系 ① セメント系 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 仕上塗材の種類 種類 呼び名 防火材料 仕上げの形状等 ・薄付仕上塗材 ・外装薄塗材S I ・可とう形外装薄塗材S I ・外装薄塗材E ・可とう形外装薄塗材E ・防水形外装薄塗材E ・外装薄塗材S ・内装薄塗材C ・内装薄塗材L ・内装薄塗材S I ・内装薄塗材E ・内装薄塗材W ・厚付仕上塗材 ・外装厚塗材S I ・外装厚塗材E ・内装厚塗材C ・内装厚塗材L ・内装厚塗材G ・内装厚塗材S I ・内装厚塗材E ・積層仕上塗材 ・積層塗材C E ・可とう形積層塗材C E ・積層塗材S I ・積層塗材E ・積層塗材R E ・防水形積層塗材C E ・防水形積層塗材E ・防水形積層塗材R S ・吹付用積層塗材 ・可とう積層塗材
⑬ 建具 工事	① 防火戸 (16.1.4)	※建具表による 建具表の製作 ・行う(建具符号:) ① 行わない 建具表の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・納まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の取組 ・行う(建具符号:) ① 行わない
	② 網戸等 (16.2.3)	性能等級 外部に面する建具 ① A種(建具符号: ※建具表による) ・ ② B種(建具符号: ※建具表による) ・ ③ C種(建具符号: ※建具表による) ・ 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ ④ ・適用する 断熱性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 対策ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ ① 適用しない 枠の見込み寸法 ① 建具表による 表面処理 外部に面する建具 ① I種 ② II種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による) ・ 着色(・アンバー ① ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) ・ ① I種 ② II種 屋内の建具 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による) ・ 着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、げん板 ※図示
	③ 網戸等 (16.2.3)	性能等級 簡易気密型 ① 適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ④-1(建具符号: ※建具表による) ・ ④-2(建具符号: ※建具表による) ・ ④-3(建具符号: ※建具表による) ・ ④-4(建具符号: ※建具表による) ・
⑭ 木製 建具	① アルミニウム製建具 (16.2.2, 4, 5)(表14.2.1)	性能等級 外部に面する建具 ① A種(建具符号: ※建具表による) ・ ② B種(建具符号: ※建具表による) ・ ③ C種(建具符号: ※建具表による) ・ 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ ④ ・適用する 断熱性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 対策ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ ① 適用しない 枠の見込み寸法 ① 建具表による 表面処理 外部に面する建具 ① I種 ② II種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による) ・ 着色(・アンバー ① ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、げん板 ※図示
	② 網戸等 (16.2.3)	性能等級 簡易気密型 ① 適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ④-1(建具符号: ※建具表による) ・ ④-2(建具符号: ※建具表による) ・ ④-3(建具符号: ※建具表による) ・ ④-4(建具符号: ※建具表による) ・
	③ 網戸等 (16.2.3)	性能等級 簡易気密型 ① 適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ④-1(建具符号: ※建具表による) ・ ④-2(建具符号: ※建具表による) ・ ④-3(建具符号: ※建具表による) ・ ④-4(建具符号: ※建具表による) ・

⑬ 建具 工事	① アルミニウム製建具 (16.2.2, 4, 5)(表14.2.1)	性能等級 外部に面する建具 ① A種(建具符号: ※建具表による) ・ ② B種(建具符号: ※建具表による) ・ ③ C種(建具符号: ※建具表による) ・ 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ ④ ・適用する 断熱性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 対策ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ ① 適用しない 枠の見込み寸法 ① 建具表による 表面処理 外部に面する建具 ① I種 ② II種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による) ・ 着色(・アンバー ① ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、げん板 ※図示
	② 網戸等 (16.2.3)	性能等級 簡易気密型 ① 適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ④-1(建具符号: ※建具表による) ・ ④-2(建具符号: ※建具表による) ・ ④-3(建具符号: ※建具表による) ・ ④-4(建具符号: ※建具表による) ・
	③ 網戸等 (16.2.3)	性能等級 簡易気密型 ① 適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ④-1(建具符号: ※建具表による) ・ ④-2(建具符号: ※建具表による) ・ ④-3(建具符号: ※建具表による) ・ ④-4(建具符号: ※建具表による) ・
⑭ 木製 建具	① アルミニウム製建具 (16.2.2, 4, 5)(表14.2.1)	性能等級 外部に面する建具 ① A種(建具符号: ※建具表による) ・ ② B種(建具符号: ※建具表による) ・ ③ C種(建具符号: ※建具表による) ・ 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ ④ ・適用する 断熱性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 対策ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ ① 適用しない 枠の見込み寸法 ① 建具表による 表面処理 外部に面する建具 ① I種 ② II種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による) ・ 着色(・アンバー ① ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、げん板 ※図示
	② 網戸等 (16.2.3)	性能等級 簡易気密型 ① 適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ④-1(建具符号: ※建具表による) ・ ④-2(建具符号: ※建具表による) ・ ④-3(建具符号: ※建具表による) ・ ④-4(建具符号: ※建具表による) ・
	③ 網戸等 (16.2.3)	性能等級 簡易気密型 ① 適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ④-1(建具符号: ※建具表による) ・ ④-2(建具符号: ※建具表による) ・ ④-3(建具符号: ※建具表による) ・ ④-4(建具符号: ※建具表による) ・

⑬ 建具 工事	① アルミニウム製建具 (16.2.2, 4, 5)(表14.2.1)	性能等級 外部に面する建具 ① A種(建具符号: ※建具表による) ・ ② B種(建具符号: ※建具表による) ・ ③ C種(建具符号: ※建具表による) ・ 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ ④ ・適用する 断熱性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 対策ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ ① 適用しない 枠の見込み寸法 ① 建具表による 表面処理 外部に面する建具 ① I種 ② II種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による) ・ 着色(・アンバー ① ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、げん板 ※図示
	② 網戸等 (16.2.3)	性能等級 簡易気密型 ① 適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ④-1(建具符号: ※建具表による) ・ ④-2(建具符号: ※建具表による) ・ ④-3(建具符号: ※建具表による) ・ ④-4(建具符号: ※建具表による) ・
	③ 網戸等 (16.2.3)	性能等級 簡易気密型 ① 適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ④-1(建具符号: ※建具表による) ・ ④-2(建具符号: ※建具表による) ・ ④-3(建具符号: ※建具表による) ・ ④-4(建具符号: ※建具表による) ・
⑭ 木製 建具	① アルミニウム製建具 (16.2.2, 4, 5)(表14.2.1)	性能等級 外部に面する建具 ① A種(建具符号: ※建具表による) ・ ② B種(建具符号: ※建具表による) ・ ③ C種(建具符号: ※建具表による) ・ 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 断熱ドアセット、断熱サッシ ④ ・適用する 断熱性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ 対策ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級() (建具符号: ※建具表による) ・ ① 適用しない 枠の見込み寸法 ① 建具表による 表面処理 外部に面する建具 ① I種 ② II種 皮膜等の種類 (※標準仕様書表14.2.1による) ・ 着色(・アンバー ① ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、げん板 ※図示
	② 網戸等 (16.2.3)	性能等級 簡易気密型 ① 適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ④-1(建具符号: ※建具表による) ・ ④-2(建具符号: ※建具表による) ・ ④-3(建具符号: ※建具表による) ・ ④-4(建具符号: ※建具表による) ・
	③ 網戸等 (16.2.3)	性能等級 簡易気密型 ① 適用する(建具符号: ※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ④-1(建具符号: ※建具表による) ・ ④-2(建具符号: ※建具表による) ・ ④-3(建具符号: ※建具表による) ・ ④-4(建具符号: ※建具表による) ・

亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	工事特記仕様書2	—	A-02

⑭ 材料 (18.1.3)

⑮ 床地ごしらえ (18.2.2~7)

⑯ 錆止め塗料塗り (18.3.2, 3)

⑰ 塗装 (18.4.1~18.14.2)

⑱ 接着剤 (18.2.2)

⑲ ビニルシート (18.2.2~3)

⑳ ビニル板床 (18.2.2)

㉑ 合成樹脂塗床 (19.4.2)(19.4.3)表 19.4.1~8)

㉒ 断熱材 (19.3.2, 3)

㉓ せっこうボードその他のボード張り (19.3.2, 3)表 19.7.1)

㉔ 壁紙張り (19.3.2, 3)

㉕ 断熱材 (19.3.2, 3)

㉖ トイレブース (20.2.5)

㉗ 表示 (20.2.9)

㉘ カーテンボックス (20.2.10)

㉙ 天井点検口 (20.2.10)

㉚ くんきマット (20.2.10)

㉛ フック (20.2.10)

㉜ ホイストクレーン (20.2.10)

① 材料

② 床地ごしらえ

③ 錆止め塗料塗り

④ 塗装

⑤ 接着剤

⑥ ビニルシート

⑦ ビニル板床

⑧ 合成樹脂塗床

⑨ 断熱材

① 材料

② 床地ごしらえ

③ 錆止め塗料塗り

④ 塗装

⑤ 接着剤

⑥ ビニルシート

⑦ ビニル板床

⑧ 合成樹脂塗床

⑨ 断熱材

① 断熱材

② 断熱材

③ 断熱材

④ 断熱材

⑤ 断熱材

⑥ 断熱材

⑦ 断熱材

⑧ 断熱材

⑨ 断熱材

⑩ 断熱材

⑪ 断熱材

⑫ 断熱材

⑬ 断熱材

⑭ 断熱材

⑮ 断熱材

⑯ 断熱材

⑰ 断熱材

⑱ 断熱材

⑲ 断熱材

⑳ 断熱材

㉑ 断熱材

㉒ 断熱材

㉓ 断熱材

㉔ 断熱材

㉕ 断熱材

㉖ 断熱材

㉗ 断熱材

㉘ 断熱材

㉙ 断熱材

㉚ 断熱材

㉛ 断熱材

㉜ 断熱材

㉝ 断熱材

㉞ 断熱材

㉟ 断熱材

㊱ 断熱材

㊲ 断熱材

㊳ 断熱材

㊴ 断熱材

㊵ 断熱材

㊶ 断熱材

㊷ 断熱材

㊸ 断熱材

㊹ 断熱材

㊺ 断熱材

㊻ 断熱材

㊼ 断熱材

㊽ 断熱材

㊾ 断熱材

㊿ 断熱材

㉖ トイレブース

㉗ 表示

㉘ カーテンボックス

㉙ 天井点検口

㉚ くんきマット

㉛ フック

㉜ ホイストクレーン

① 材料

② 床地ごしらえ

③ 錆止め塗料塗り

④ 塗装

⑤ 接着剤

⑥ ビニルシート

⑦ ビニル板床

⑧ 合成樹脂塗床

⑨ 断熱材

工事特記仕様書（建築新営木造）		
1. 共通仕様 「公共建築木造工事標準仕様書（平成25年版）」（以下、標準仕様書という。）による。 2. 特記仕様 1) 項目及び特記事項は、●印のついたものを適用する。○印は適用しない。 2) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 3) ㊦印は「国等による環境物品等の調達に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。		
章	項目	特記事項
4	木造工事 ● 防腐・防蟻処理	(4. 2. 1) ○ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部位 保存処理性能区分 ○ K2 ○ K3 ○ K4 ○ ○ K2 ○ K3 ○ K4 ○ ○ K2 ○ K3 ○ K4 ○ ● 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 適用部位 処理の方法 土台、外周部 柱下部1m ● 4.2.1(3)(ii)による ○ ○ ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐・防蟻処理 適用部位 処理の方法 ○ 地盤に接する鉄筋コンクリートによる床下の防蟻処理 適用 ○ 4.2.1(1) ○ 4.2.2(2) 配筋 ○ 図示 ○ ○ 地盤の土壌の防蟻処理 使用する薬剤() 使用量 () ○ 基礎外周部の換気孔 ○ ねこ土台 材質等() ○ 換気孔 材質等() ○ 防風スクリーン又は防虫網 ● 小屋裏換気 ○ 4.2.4(C)(i) ○ 4.2.4(C)(ii) ○ 4.2.4(C)(iii) ○ 4.2.4(C)(iv) ● 4.2.4(C)(v) 換気孔の大きさ ● 図示 ○ ○ 防火被覆処理 (4. 3. 1~3) ○ 防火被覆材の材料 ○ 図示 ○ ○ 防火被覆材の厚さ ○ 図示 ○ ○ 接合部等の防火被覆処理 ○ 図示 ○
5	軸組構法(壁構造系)工事 ● 材料	(5. 2. 2) ● 軸組構法(壁構造系)工事に使用する木材は、原則、三重県産材とする。 (5. 2. 3) 製材所の選定については、監督員と協議の上、決定する。 (5. 2. 4) ● 軸組構法(壁構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表11による (5. 2. 4) ● 接合金物 施工箇所 ● 図示 ● 「接合金物規格(Zマーク表示金物)」 ● 「接合金物規格(Cマーク表示金物)」 ○ 「同等認定金物(Dマーク表示金物)」 ○ 「性能認定金物(Sマーク表示金物)」 ● 製作接合金物 寸法、形状 ● 図示 ○ 鋼材の材質 (SS400) 表面処理 ● 溶融亜鉛めっき 種別(HD255) 柱脚のみ ○ 電気亜鉛めっき 種別() ● 錆止め塗装 種別(JIS K 5674 1種 2回塗り) ● 釘及び木ねじ 施工箇所 ● 図示 ○ ● 「接合金物規格(Zマーク表示金物)」 ○ 「接合金物規格(Cマーク表示金物)」 ○ 「同等認定金物(Dマーク表示金物)」 ○ 「性能認定金物(Sマーク表示金物)」 ○ 特殊な釘及び木ねじ 材質 () 寸法、形状 ○ 図示 ○

章	項目	特記事項
		● ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 施工箇所 ● 図示 ○ ● 「接合金物規格(Zマーク表示金物)」 ● 「接合金物規格(Cマーク表示金物)」 ○ 「同等認定金物(Dマーク表示金物)」 ○ 「性能認定金物(Sマーク表示金物)」 ○ 表5.2.2による ● 座金の種別 ● 引張り応力を受けるボルトの座金の種別 ○ A種 ● B種 ○ C種 ○ D種 ○ E種 ○ F種 ○ G種 使用部位 ● 図示 ● せん断応力を受けるボルトの座金の種別 ● H種 ○ I種 ○ J種 ○ K種 ○ L種 使用部位 ● 図示 ● ラグスクリュー 施工箇所 ● 図示 ○ ● 「接合金物規格(Zマーク表示金物)」 ○ 「接合金物規格(Cマーク表示金物)」 ○ 「同等認定金物(Dマーク表示金物)」 ○ 「性能認定金物(Sマーク表示金物)」 寸法、形状 ● 図示 ○ ● ドリフトピン 施工箇所 ● 図示 ○ 寸法、形状 ● 図示 ○ ● 木柱及び木だぼ 施工箇所 ● 図示 ○ 樹種 (堅木) 長さ、形状 ● 図示 ○ ○ 接着剤 施工箇所 ○ 図示 ○ ○ 床鳴り防止用接着剤 ○ 一般用 ○ 構造用Ⅰ類 ○ 構造用Ⅱ類 ○ 接着剤による接合 接着剤の種類 ○ ○ 接着剤を併用した接合 接着剤の種類 ○ ● 仕口及び継手の形状加工 (5. 4. 2) ● 孔あけ加工 (5. 4. 3) ● 表面仕上げ (5. 4. 4) 見え掛り面の表面仕上げ 製材 ● 機械加工 ○ A種 ● B種 ○ C種 (表5. 4. 3) ○ 手加工 ○ A種 ○ B種 ○ C種 (表5. 4. 5) 構造用集成材 ● 機械加工 ○ A種 ● B種 (表5. 4. 4) 丸太材 ○ 機械加工 ○ A種 ○ B種 (表5. 4. 6) ○ 手加工 ○ A種 ○ B種 (表5. 4. 7) 木材保護塗料塗り 施工箇所 ● 図示 種別 ○ A種 ● B種 (5. 5. 3) 埋込み深さ ● 図示 保持、埋込み工法 ● A種 ○ B種 (5. 5. 4) 無収縮モルタル ● 適用する モルタルの厚さ ● 20mm程度 柱均しモルタルの工法 ● B種 ○ (5. 5. 6) 埋入れ直し後の建方精度の許容値 ● 1/1000 ○ (5. 5. 8)(標仕19. 9. 3) 熱橋を形成する位置に設置する接合金物 現場発泡断熱材の種類 ● A種1 ○ 現場発泡断熱材の吹付け厚さ ○ 釘及び木ねじの種類 ● 図示 釘及び木ねじの間隔 ● 図示 構造材を柱上材として用いる場合の釘打ち ○ 隠し釘打ち ● 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ○ 釘頭現し (5. 5. 9) ○ 火打土台 (5. 6. 2) ○ 木製の火打土台 留付け方法 ○ 図示 ○ 鋼製火打土台 材質 () 寸法 ○ 図示 (5. 7. 8)(5. 8. 6) ● 木製の火打梁 ○ 鋼製火打梁 材質 () 寸法 ○ 図示 (5. 8. 2) ○ 床束 (5. 9. 6) ○ 真壁造土塗り壁耐力壁 (5. 9. 6) 開渡し竹 ○ マダケ又はシノチク 貫の本数 ○ 横貫と柱の接合方法 ○ 図示 ○ 縦貫と横架材の接合方法 ○ 図示 ○ 土塗り壁の厚さ ○ 図示 ○

章	項目	特記事項
	○ 落とし込み板壁耐力壁 (5. 9. 8) だぼ ○ 木製 ○ 鋼製 ○ 鉄筋耐力壁 (5. 9. 9) 材料及び工法 ○ 図示 ○ 大臣認定耐力壁 (5. 9. 10) ○ 床勝ち大壁造の構造用合板耐力壁 材料、工法 ○ 図示 ○ 床勝ち真壁造の構造用合板耐力壁 材料、工法 ○ 図示 ○	
9	木工事 ● 材料 (9. 2. 2) 木工事に使用する木材等は、使用材料表2による (9. 2. 3) ● 釘 (9. 2. 4) ○ JISに規定されている釘以外の釘 材質 () 寸法、形状 ○ 図示 ○ ● 造作材化粧面の釘打ち ● 隠し釘打ち ○ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ○ 釘頭現し ○ 木ねじ ○ JISに規定されている釘以外の木ねじ 材質 () 寸法、形状 ○ 図示 ○ ● 製材の表面仕上げ (9. 1. 3) ● 機械加工 ○ A種 ● B種 ○ C種 ○ D種 (表9. 1. 1) ● 造作用集成材の表面仕上げ (表9. 1. 1) ● 機械加工 ○ A種 ● B種 ○ C種 ○ D種 ● 木材の耐水性処理 (9. 3. 1)(標仕18. 14. 2) 屋外に使用する仕上げ木材 ● 木材保護塗料塗り 施工箇所 ● 図示 ○ 種別 ○ A種 ● B種 ● 木材の防虫処理 (9. 3. 3) 施工箇所 ● 図示 ○ 処理方法 ● 図示 ○	

使用材料表-1
● 「合板の日本農林規格」による構造用合板 (5. 2. 3) ㊦

施工箇所	厚さ(mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率の適用	間伐材等の適用
小屋床下地	24	● 2級 ○ 1級	針葉樹	○ 1類 ● 特種	C-D	●	○	○	○
屋根瓦下地	12	● 2級 ○ 1級	針葉樹	○ 1類 ● 特種	C-D	●	○	○	○

使用材料表-2
● 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 (9. 2. 2) ㊦

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率(%)	間伐材等の適用
見え掛り部	杉	図示	● 上小節 ○ 小節	製材	● A種 ○	●
見え掛り部以外	杉	図示	● 小節 ○	製材	● A種 ○	●

● 「製材の日本農林規格」以外の下地用針葉樹製材 (5. 2. 3) ㊦

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
建具下地	杉	12×120	● 図示	○	○	● A種 ○	●

● 「製材の日本農林規格」以外の造作及び仕上げ用針葉樹製材 (5. 2. 2) ㊦

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率	間伐材等の適用
瓦桟木	杉	15×35	● 図示	○	○	● A種 ○	●
建具頭縁	杉	図示	● 図示	○	○	● A種 ○	●
屋根ケラバ	杉	図示	● 図示	○	○	● A種 ○	○
			○ 図示	○	○	○ A種 ○	○
			○ 図示	○	○	○ A種 ○	○
			○ 図示	○	○	○ A種 ○	○

使用材料表-3
● 「合板の日本農林規格」による普通合板 (9. 2. 3) ㊦

施工箇所	厚さ(mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率の適用	間伐材等の適用
壁下地	● 4.0 ● 9.0	ラワン	● 1類 ● 1類	● 広葉樹(● 2等以上 ● 広葉樹(● 2等以上	○ 1等 ○ 1等	○	○	○

亀山市

日付

備考

工事名称

図面内容

縮尺

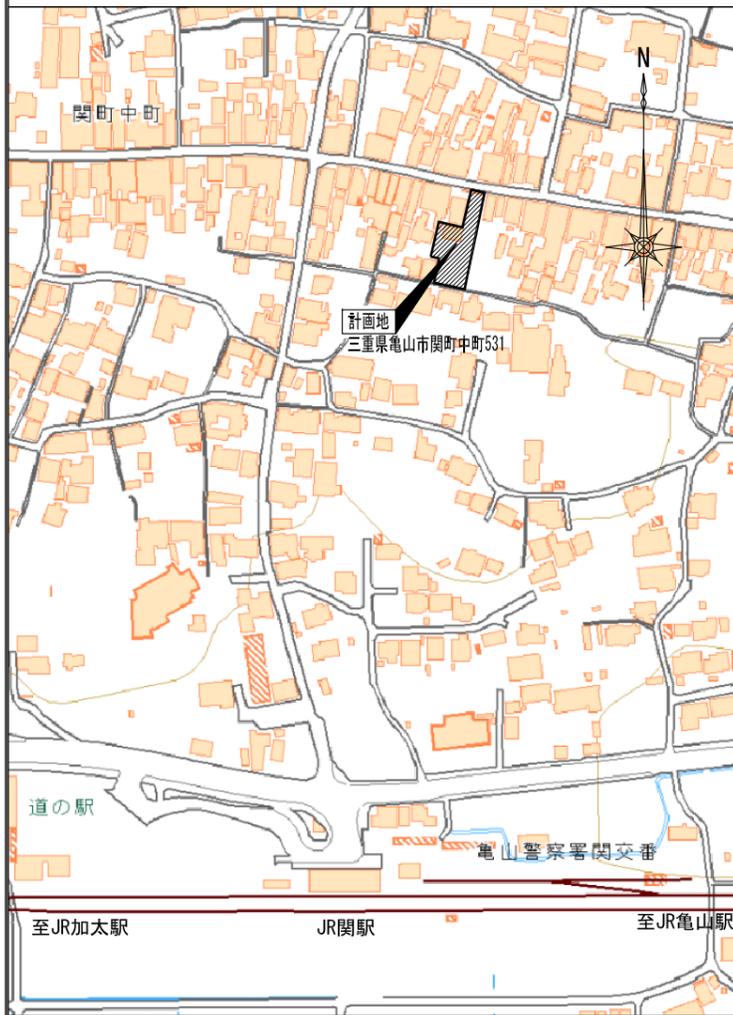
図面番号

関の山車会館地域交流施設新築工事

工事特記仕様書 4 (建築新営木造)

—

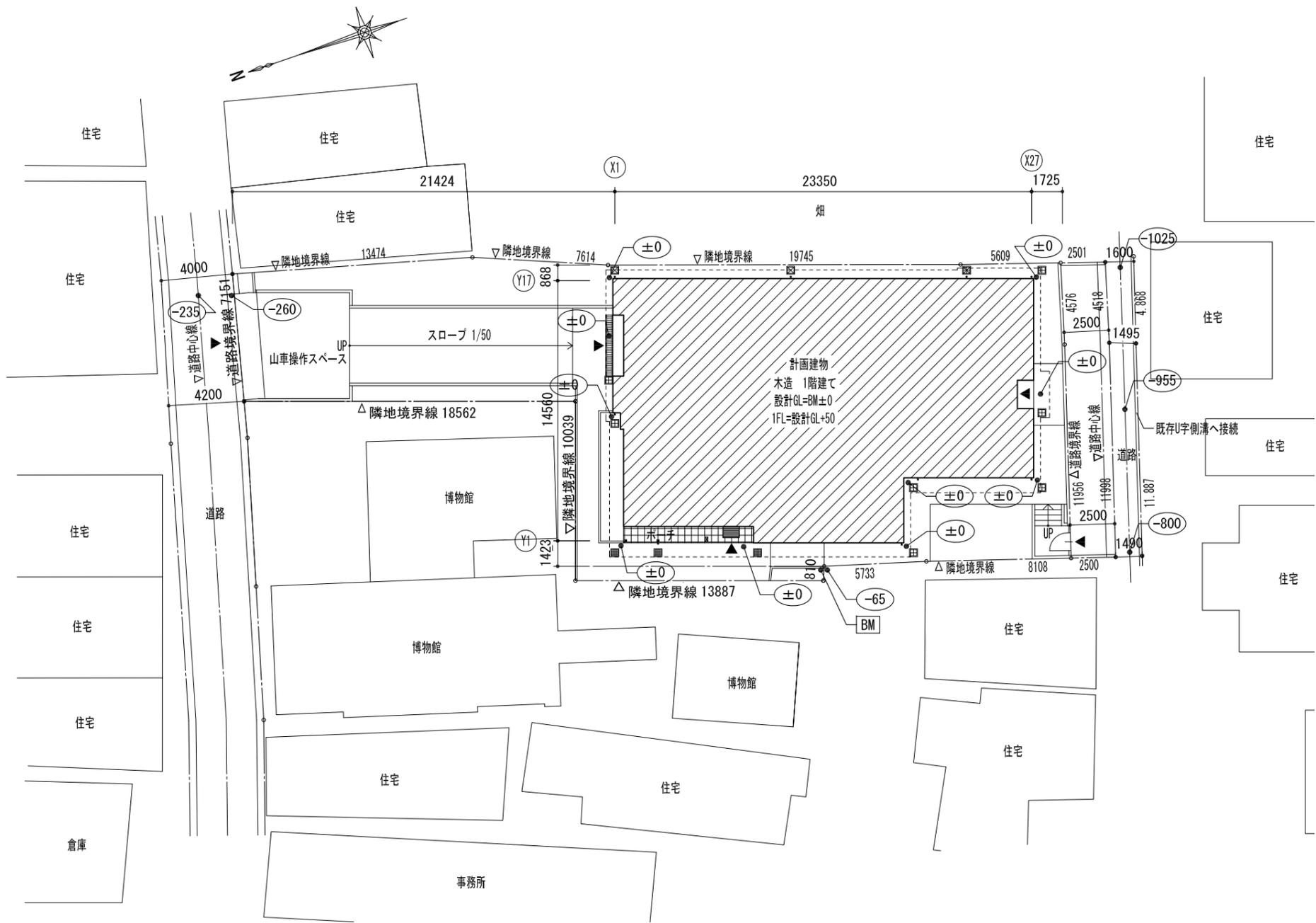
A-04



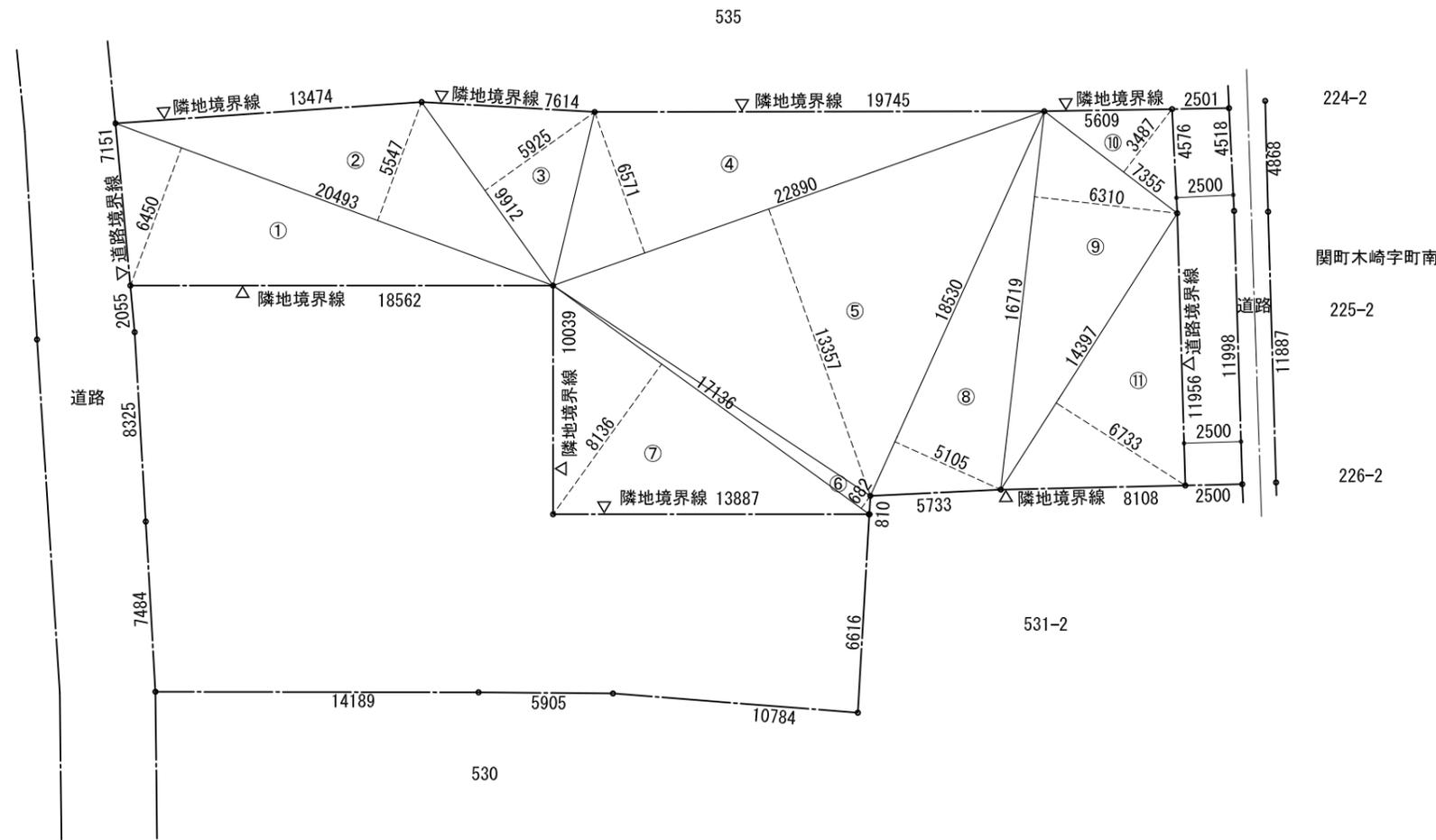
記号	内容
BM	ベンチマークを示す。(既存石天端、TP +94.39m) 設計GL = BM±0
-150	設計GLからのレベルを示す。
	計画建物を示す

特記事項

- ※工事範囲
- ・増築建物工事（ポーチ含む）
 - ・外構工事は、別途工事。
 - ・建物周囲の埋戻しは、RC躯体面から500mmまでの範囲とする。



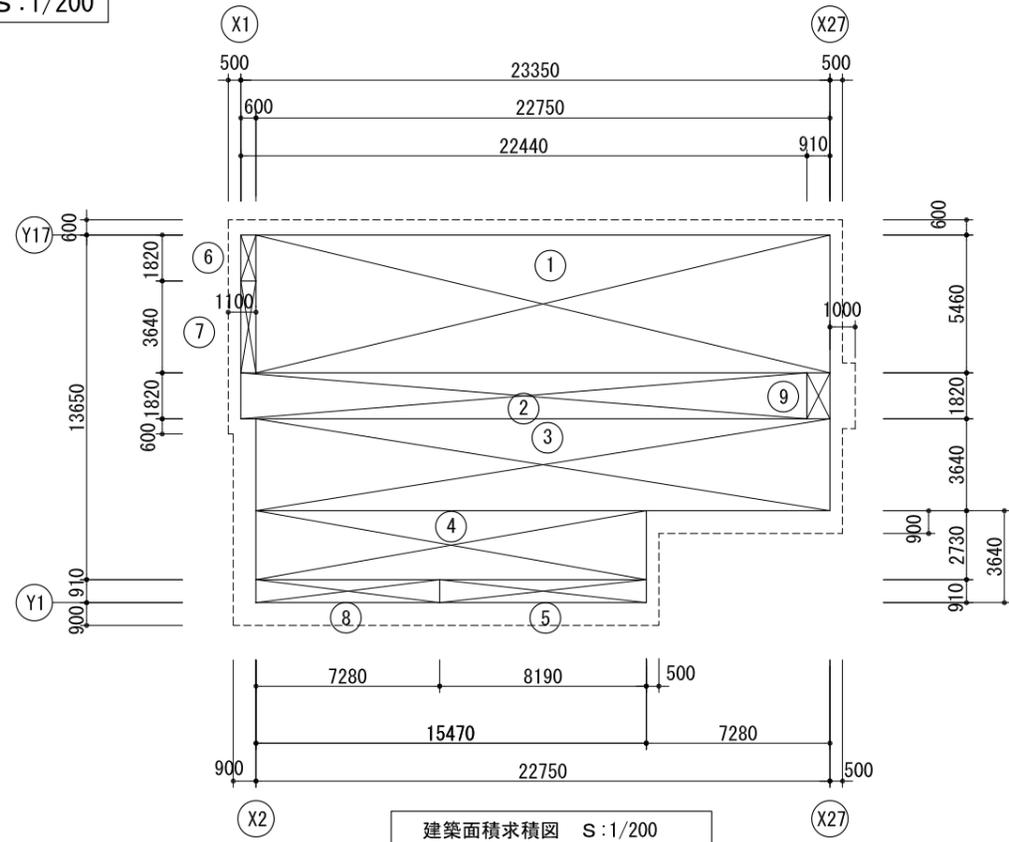
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	付近見取図、配置図	S=1:200, 2500	A-05



求積表

NO	底辺	高さ	倍面積
1	20.493	6.450	132.179850
2	20.493	5.547	113.674671
3	9.912	5.925	58.728600
4	22.890	6.571	150.410190
5	22.890	13.357	305.741730
6	17.136	0.682	11.686752
7	17.136	8.136	139.418496
8	18.530	5.105	94.595650
9	16.719	6.310	105.496890
10	7.355	3.487	25.646885
11	14.397	6.733	96.935001
合計			1,234.514715
		× 1/2	617.2573575
面積			617.25

建築面積求積図 S:1/200



建築面積求積図 S:1/200

建築面積求積表

記号	計算式	計(m2)
①	22.750 X 5.460	124.215
②	22.440 X 1.820	40.841
③	22.750 X 3.640	82.81
④	15.470 X 2.730	42.234
⑤	8.190 X 0.910	7.453
⑥	0.600 X 1.820	1.092
⑦	0.600 X 3.640	2.184
⑧	7.280 X 0.910	6.625
⑨	0.910 X 1.820	1.657

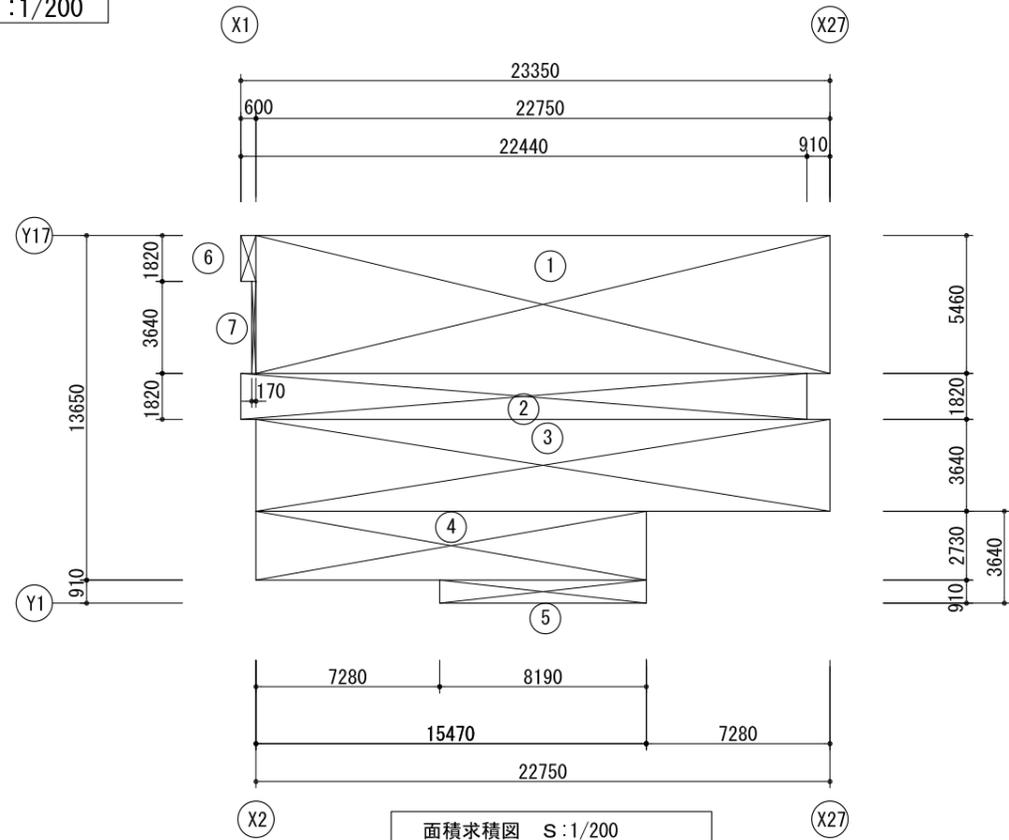
建築面積

$$\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} + \text{⑤} + \text{⑥} + \text{⑦} + \text{⑧} + \text{⑨} = 309.111 \text{ m}^2 \rightarrow 309.12 \text{ m}^2$$

面積表

	面積
建築面積	309.12 m ² (建ぺい率 50.08%)
延べ床面積	299.27 m ² (容積率 48.48%)
敷地面積	617.25 m ²

延床面積求積図 S:1/200



面積求積図 S:1/200

延床面積求積表

記号	計算式	計(m2)
①	22.750 X 5.460	124.215
②	22.440 X 1.820	40.841
③	22.750 X 3.640	82.81
④	15.470 X 2.730	42.234
⑤	8.190 X 0.910	7.453
⑥	0.600 X 1.820	1.092
⑦	0.170 X 3.640	0.619

延べ床面積

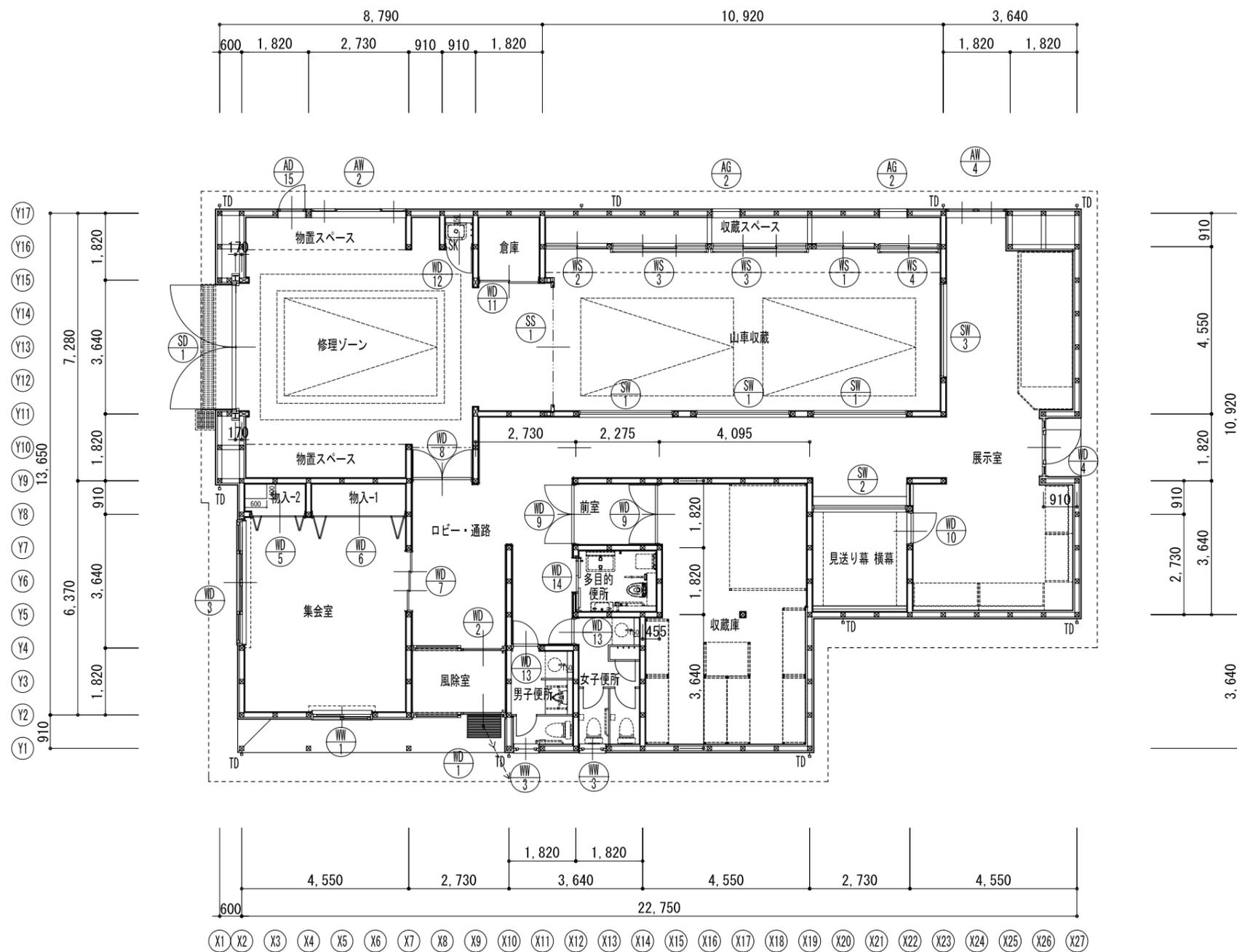
$$\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} + \text{⑤} + \text{⑥} + \text{⑦} = 299.264 \text{ m}^2 \rightarrow 299.27 \text{ m}^2$$

外 部 仕 上 表										
床	幅木	壁	屋根	鼻隠し	軒裏	ケラバ	庇			備 考
							上端	はな先	下端	
モルタル撥弾え 磁器質タイル張り	コンクリート打放し (A種)	杉板 240×12 WP	粘土瓦葺	上部屋根：杉板 t18×300 (不燃木材) WP	上部屋根：ラスモルタル EP (艶消し)	上部屋根：ラスモルタル EP (艶消し)	粘土瓦葺	杉板 t18×150 WP	化粧野地板 WP	軒裏：既成品 (ガルバリウム鋼板) 壁補：既成品 (ガルバリウム鋼板)
コンクリート直挿え	シラン系浸透性吸水防止材吹付	上部壁：ラスモルタル EP (艶消し)		下部屋根：杉板 t18×150 (不燃木材) WP	下部屋根：化粧野地板 WP	下部屋根：杉板 t18×150~300 (不燃木材) WP				

内 部 仕 上 表											内 部 仕 上 表															
室名	区分	床	幅木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	塗装	見切り	天井高	備考 (詳細)	室名	区分	床	幅木	壁	塗装	梁型	塗装	天井	塗装	見切り	天井高	備考 (詳細)	
風除室	C	モルタル撥弾え 磁器質タイル張り											物入-1	C	セルフベリング ビニル床シート											
	W		磁器質タイル張り H=100	上部：GB-R t12.5	EP			GB-R t12.5	EP	木製 素地仕上	2700			W		ビニル幅木 H=100	GB-R t12.5	EP			GB-D (W) t12.5		塩ビ	2400		
ロビー・通路	C	モルタル撥弾え 磁器質タイル張り											物入-2	C	セルフベリング ビニル床シート											
	W		木製 素地仕上 H=100	上部：GB-R t12.5	EP			GB-R t12.5	EP	木製 素地仕上	2700			W		ビニル幅木 H=100	GB-R t12.5	EP			GB-D (W) t12.5		塩ビ	2400		
★集会議室	C	モルタル撥弾え 磁器質タイル張り											★修理ゾーン 物置スペース	C	コンクリート直挿え 粗面 (ホウキ目) 仕上											
	W		木製 素地仕上 H=100	GB-R t12.5	EP			GB-R t12.5	EP	木製 素地仕上	2700			W		ビニル幅木 H=100	GB-R t12.5	EP	木構造材 素地仕上		GB-R t12.5	EP	塩ビ	7500 4100		
★展示室	C	モルタル撥弾え 磁器質タイル張り											倉庫	C	コンクリート直挿え											
	W		木製 素地仕上 H=100	GB-R t12.5	EP	木構造材 (吹抜部) 素地仕上		GB-R t12.5	EP	木製 素地仕上	3017~3047 3600 2700			W		ビニル幅木 H=100	GB-R t12.5	EP			GB-D t12.5		塩ビ	3000		
見送り幕 横幕	C												SK	C	コンクリート直挿え											
	W	合板 t12 壁紙	—	GB-R t12.5	—			GB-R t12.5		塩ビ製	2200			W		ビニル幅木 H=100	GB-S t12.5	EP			GB-D t12.5		塩ビ	2400		
前室	C	セルフベリング ビニル床シート											山車収蔵	C	コンクリート直挿え 塗床											
	W		ビニル幅木 H=100	GB-R t12.5	EP			GB-D (W) t12.5		塩ビ製	2700			W		木製 素地仕上 H=100	上部：GB-R t12.5 下部：町並み演出 (木部)	EP	木構造材 素地仕上		GB-R t12.5	EP	木製 素地仕上	9172~ 9928		
収蔵庫	C	セルフベリング ビニル床シート											収蔵スペース	C	コンクリート直挿え											
	W		ビニル幅木 H=100	GB-R t12.5	EP			GB-D (W) t12.5		塩ビ製	2700			S		ビニル幅木 H=100	GB-R t12.5 木部	EP	木構造材 素地仕上		素地仕上 構造用合板 t24 素地仕上		—	4100		
多目的便所	C	セルフベリング ビニル床シート (ノンスリップ)										フック		C												
	W		ビニル床シート 巻き上げH=100	GB-S t12.5 メラミン化粧板 t3.0 (底目地)				FK t6.0 (底目地張り)	EP	塩ビ製	2400															
男子便所	C	セルフベリング ビニル床シート (ノンスリップ)										トイレブース ライニング、汚蓋石		C												
	W		ビニル床シート 巻き上げH=100	GB-S t12.5 メラミン化粧板 t3.0 (底目地)				FK t6.0 (底目地張り)	EP	塩ビ製	2400			S												
女子便所	C	セルフベリング ビニル床シート (ノンスリップ)										トイレブース ライニング、フック (掃除用)		C												
	W		ビニル床シート 巻き上げH=100	GB-S t12.5 メラミン化粧板 t3.0 (底目地)				FK t6.0 (底目地張り)	EP	塩ビ製	2400			S												

材料記号	共通事項
SOP 合成樹脂顔合ペイント塗り QL クリアラッカー塗り N A D アクリル樹脂系非水分散形塗料 EP-G つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP 合成樹脂エマルジョンペイント塗り EP-T 合成樹脂エマルジョンペイント模様塗料塗り UC ウレタン樹脂ニス塗り OS オイルステイン塗り DP 耐水性塗料塗り WP 木材保護塗料塗り LGS 軽量鉄骨 FE フタル酸樹脂エナメル塗り LE ラッカーエナメル塗り GB-R 石膏ボード GB-P 吸音穴あき石膏ボード GB-S シーリング石膏ボード GB-F 強化石膏ボード GB-R-Hc 吸放湿石膏ボード GB-NC 不燃積層石膏ボード (模様なし) GB-NC (T) 不燃積層石膏ボード (トラバーチン模様) GB-D (W) 化粧石膏ボード (杉葺模様) DR ロックウール化粧吸音板 FK 無石綿セメントけい酸カルシウム板 FK-P 吸音穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板 PF ポリスチレンフォーム保温板 D アクリル樹脂焼付塗装 MB メラミン樹脂化粧板 SP 内装薄塗材E	<ul style="list-style-type: none"> 区分 C : コンクリート下地及びコンクリートブロック下地等 W : 木下地等 仕上材、下地材、(天井裏共) その他建材は全てF☆☆☆☆とすること。 断熱材の範囲・仕様については、別図 (詳細図等) を参照すること。 室名の前に★印が付いている室は、室内空気中の化学物質の濃度測定 (24時間) 及び確認を行う。 異質下地の仕上り取合の場合のジョイントは塩ビ底目ジョイナーを敷けること。 図中に記載ある 印はシリングマークを示す。

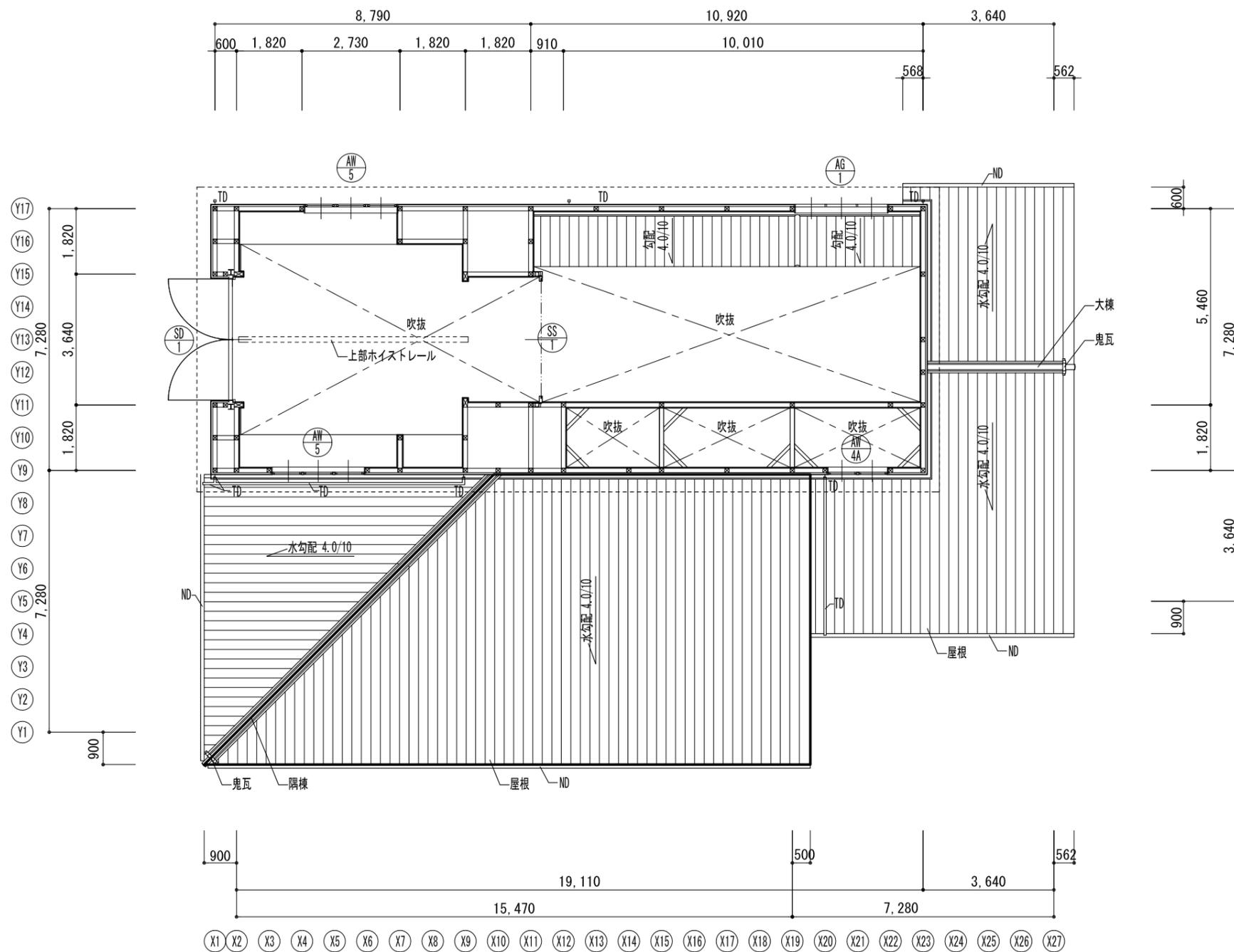
<h1>亀山市</h1>	日		備		工事名称 関の山車会館地域交流施設新築工事	図面内容 仕上表	縮尺 —	図面番号 A-09
	付		考					



- 凡例
- TD : 壁 76×46 既製品 (ガルバリウム鋼板)
 - ⊙** : 建具符号

亀山市

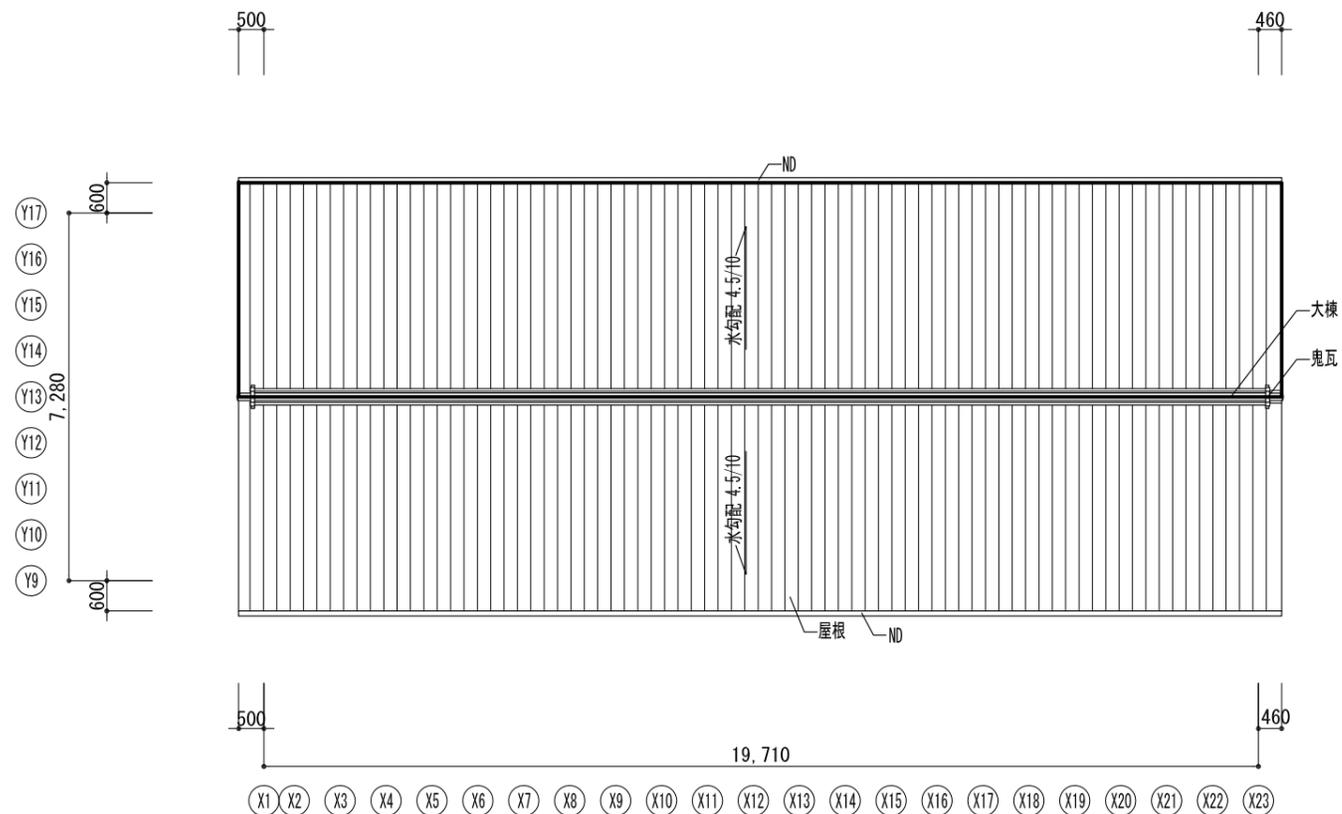
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	1階平面図	S=1:100	A-10



- 凡例
- TD : 縦樋 76×46 既製品 (ガルバリウム鋼板)
 - ND : 軒樋 118×91 既製品 (ガルバリウム鋼板)
 - ⊙** : 建具符号

亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	下屋屋根伏図	S=1:100	A-11



■凡例
 ND：軒樋 118×91 既製品（ガルバリウム鋼板）

亀山市

日付

備考

工事名称

図面内容

縮尺

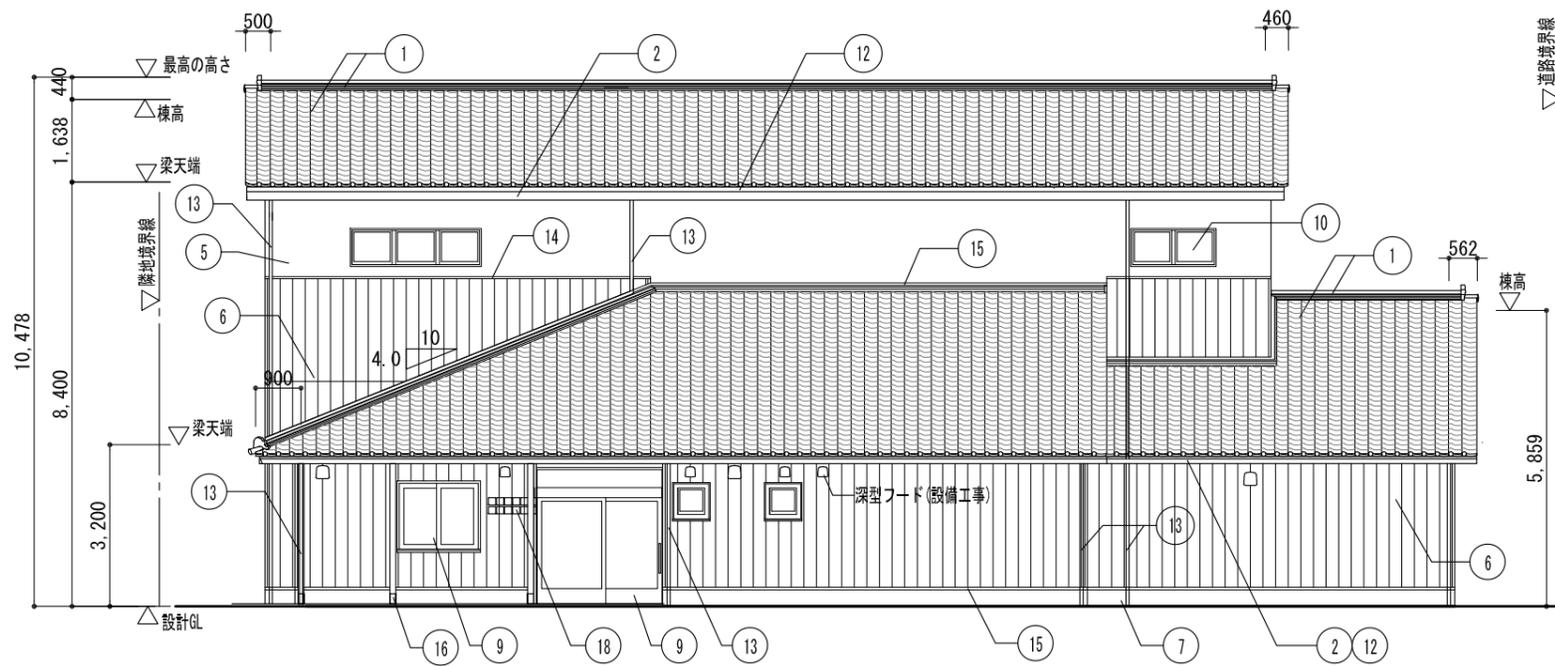
図面番号

関の山車会館地域交流施設新築工事

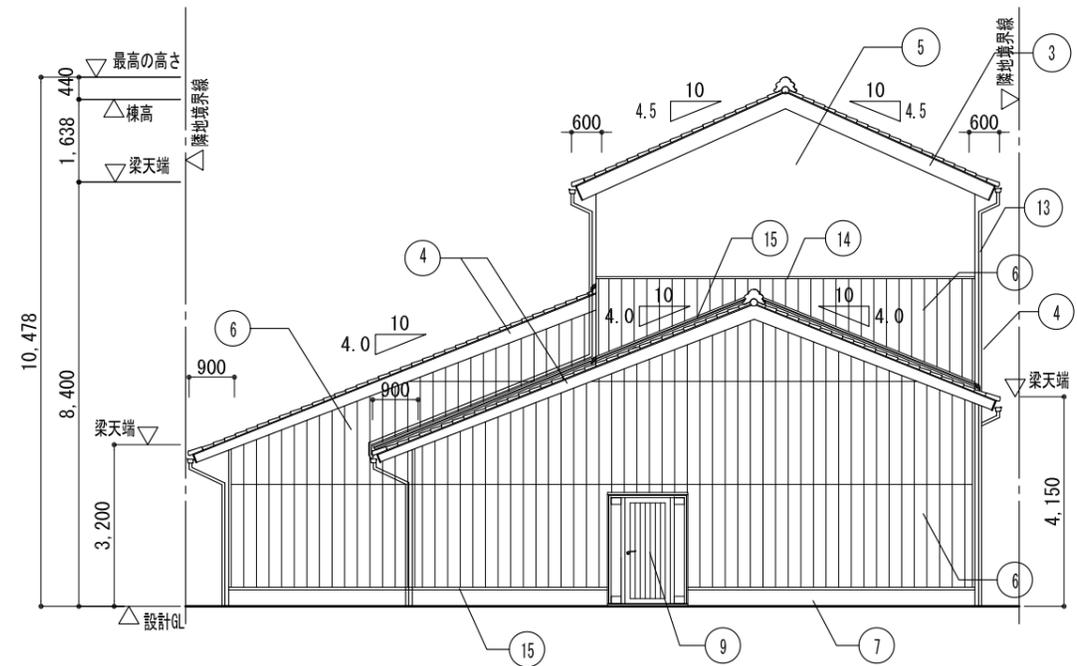
屋根伏図

S=1:100

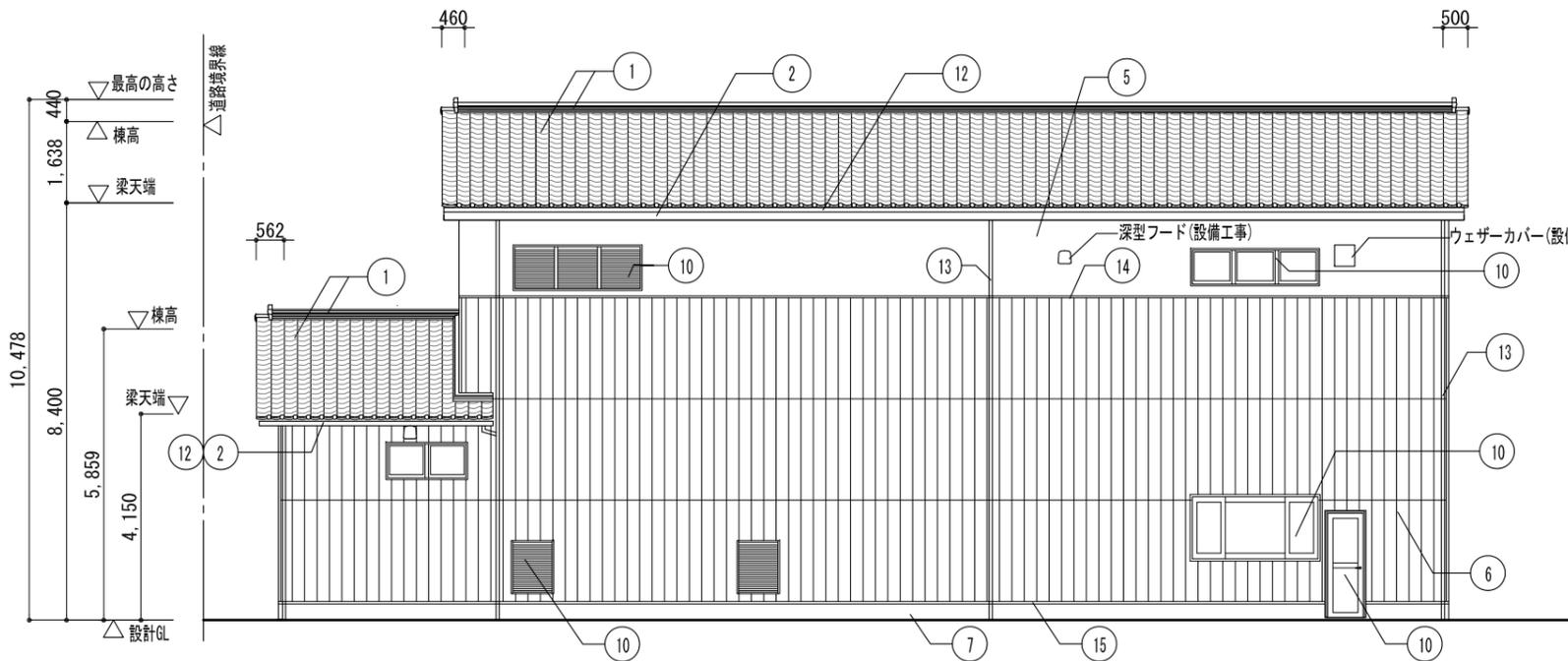
A-12



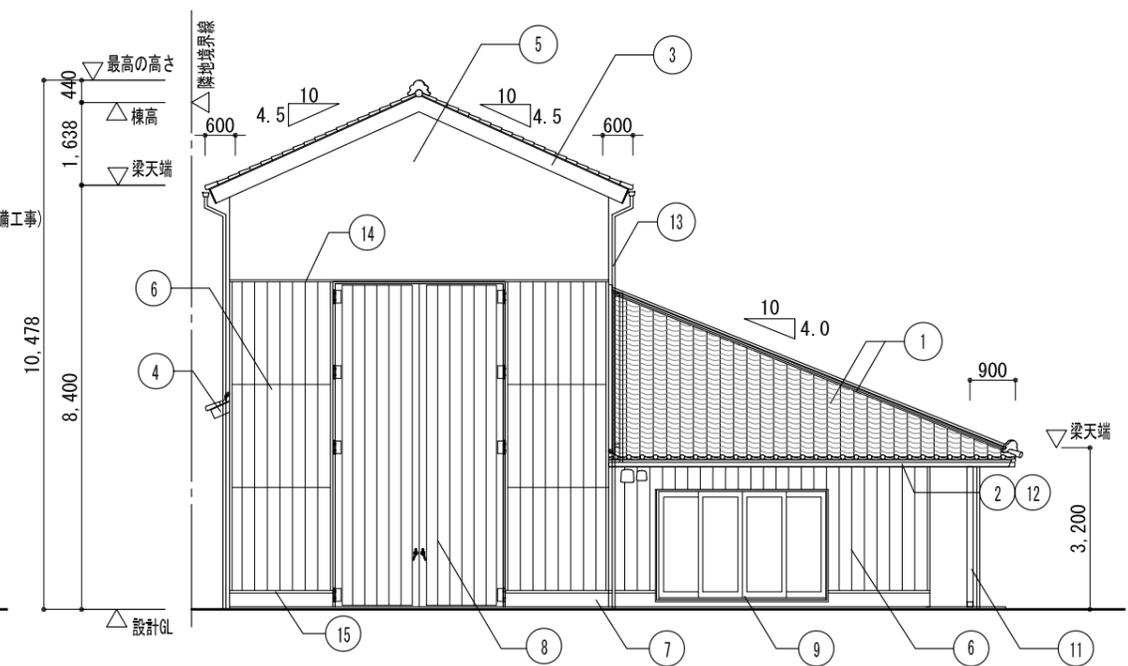
西立面図



南立面図



東立面図



北立面図

外部仕上表

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
①	屋根：粘土瓦葺	④	ケラパー-2：杉板 t18×150~300 WP	⑥	壁-2：杉板 t12×240 WP	⑨	木製建具：WP	⑫	軒樋：118×91 既製品 (ガルバリウム鋼板)	⑮	通気水切：フッ素ガルバリウム鋼板 t0.35
②	鼻隠し：杉板 t18 (不燃木材) WP	④A	ケラパー-2A：杉板 t12×120 WP	⑦	巾木：コンクリート打放し (A種) シラン系浸透性吸水防止材吹付	⑩	アルミ製建具	⑬	壁樋：76×46 既製品 (ガルバリウム鋼板)	⑯	サイン：SUS 切り文字 焼付塗装仕上
③	ケラパー-1：ラスモルタル EP (艶消し)	⑤	壁-1：ラスモルタル EP (艶消し)	⑧	鋼製建具：杉板 t12×240 WP (枠：鋼製 DP)	⑪	木部：WP	⑭	見切り縁：杉 35×40 WP	⑰	柱脚：SUS製装飾柱受金物 既製品

亀山市

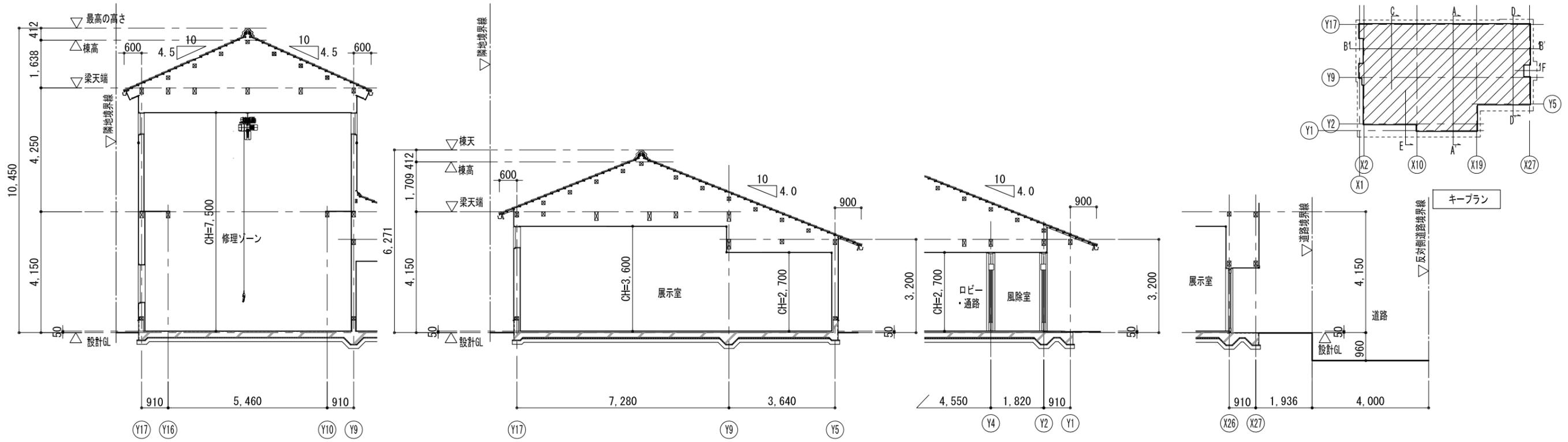
日付
備考

工事名称
関の山車会館地域交流施設新築工事

図面内容
立面図

縮尺
S=1:100

図面番号
A-13

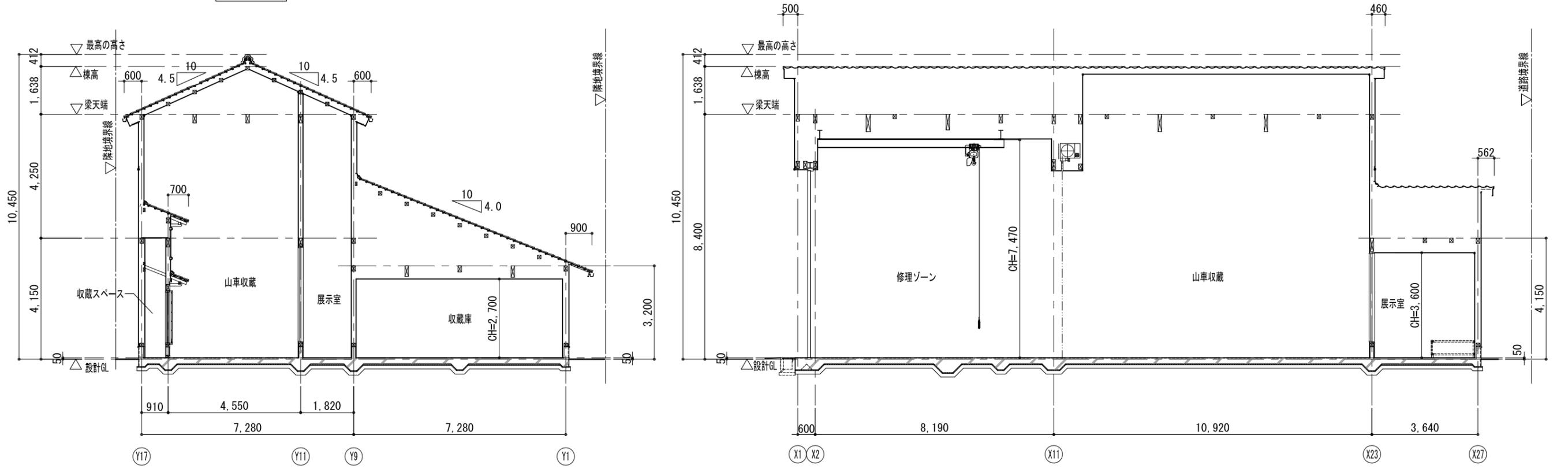


C断面図

D-D'断面図

E断面図

F断面図

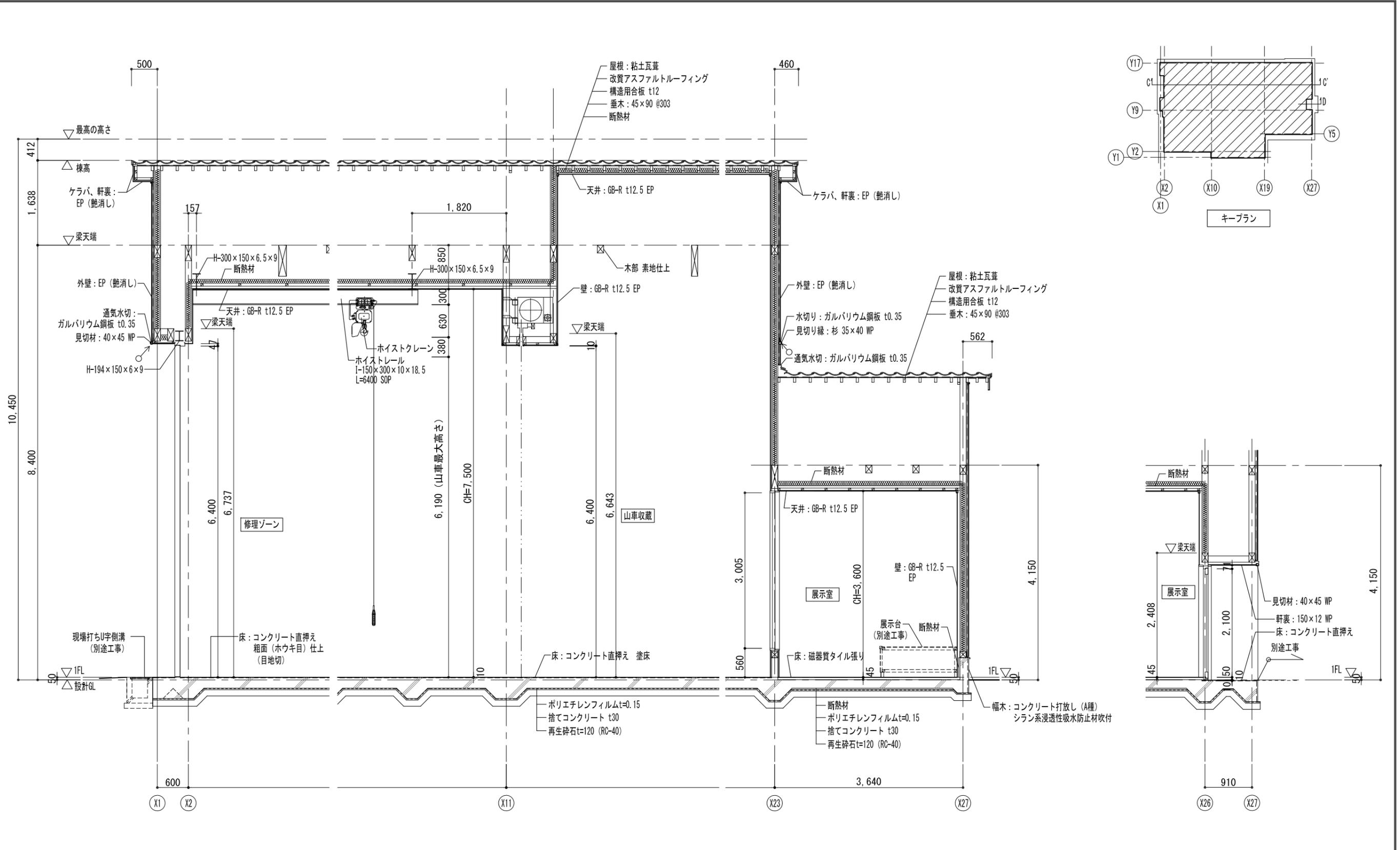


A-A'断面図

B-B'断面図

亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	断面図	S=1:100	A-14



C-C' 断面詳細図

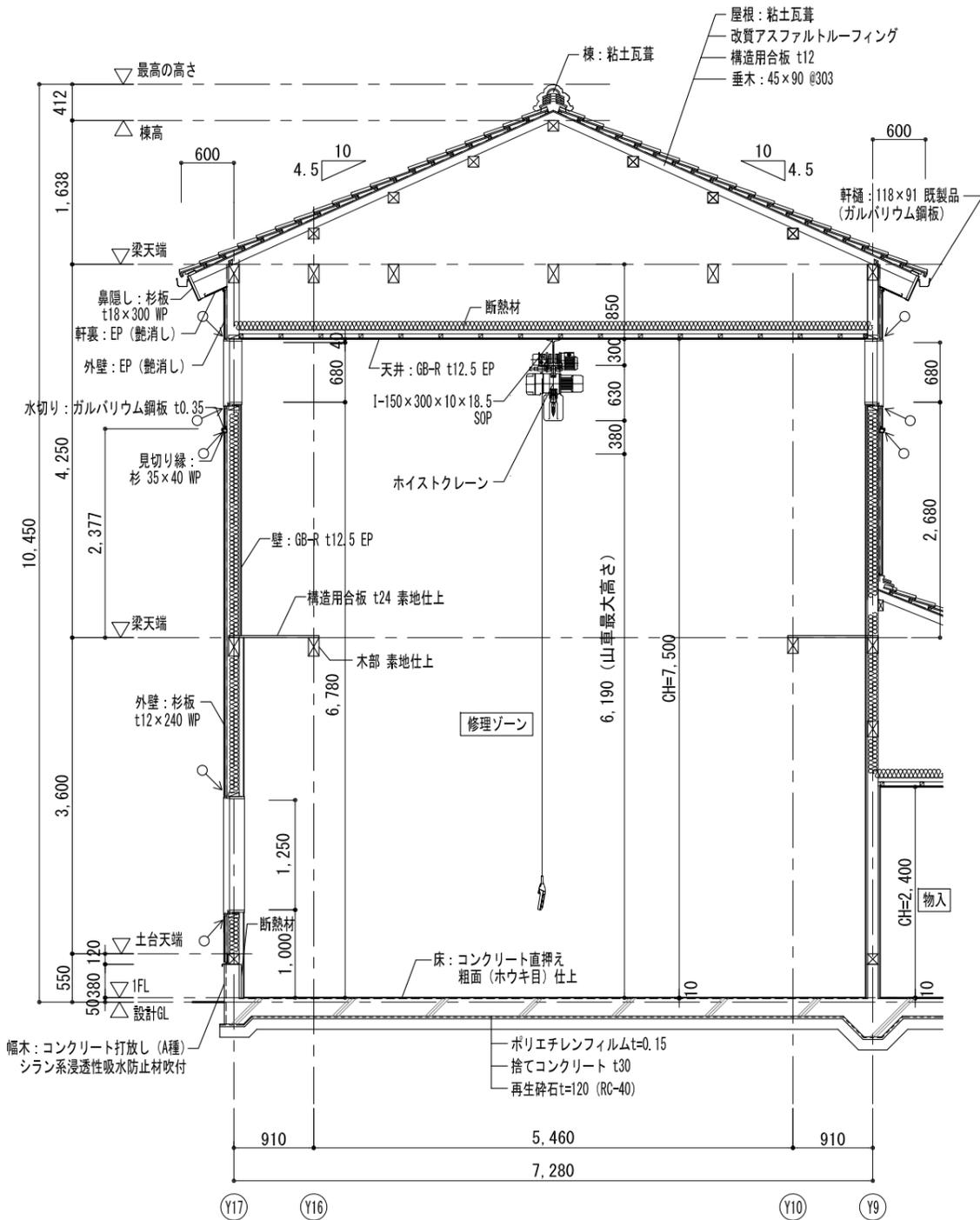
D 断面詳細図

凡例
 : シーリング 15×10

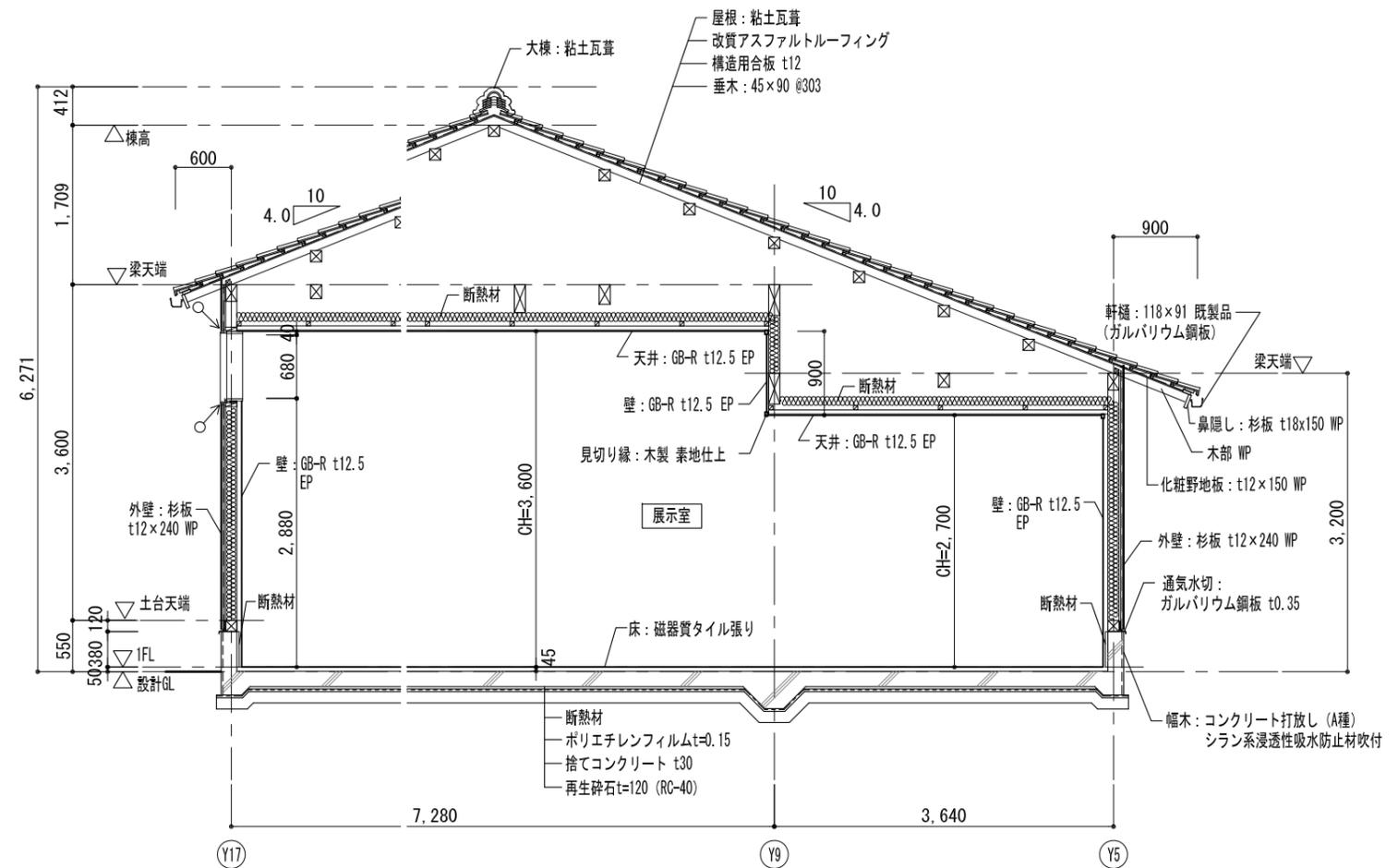
注記
 床下断熱材の範囲：風除室、ロビー・通路、前室、収蔵庫、展示室、集会室、物入-1、物入-2

亀山市

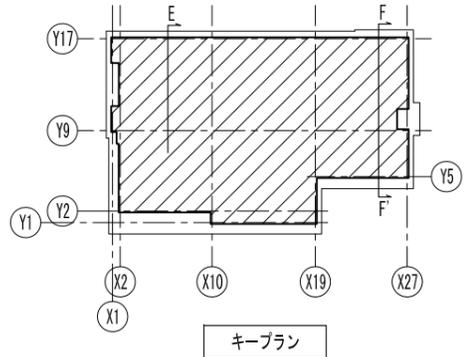
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	断面詳細図 2	S=1:50	A-16



E 断面詳細図



F-F' 断面詳細図

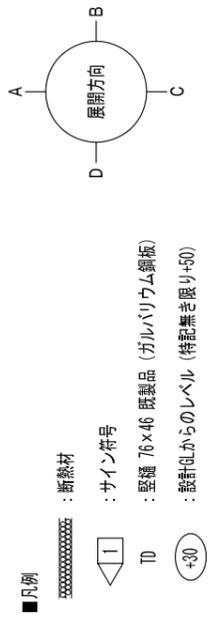
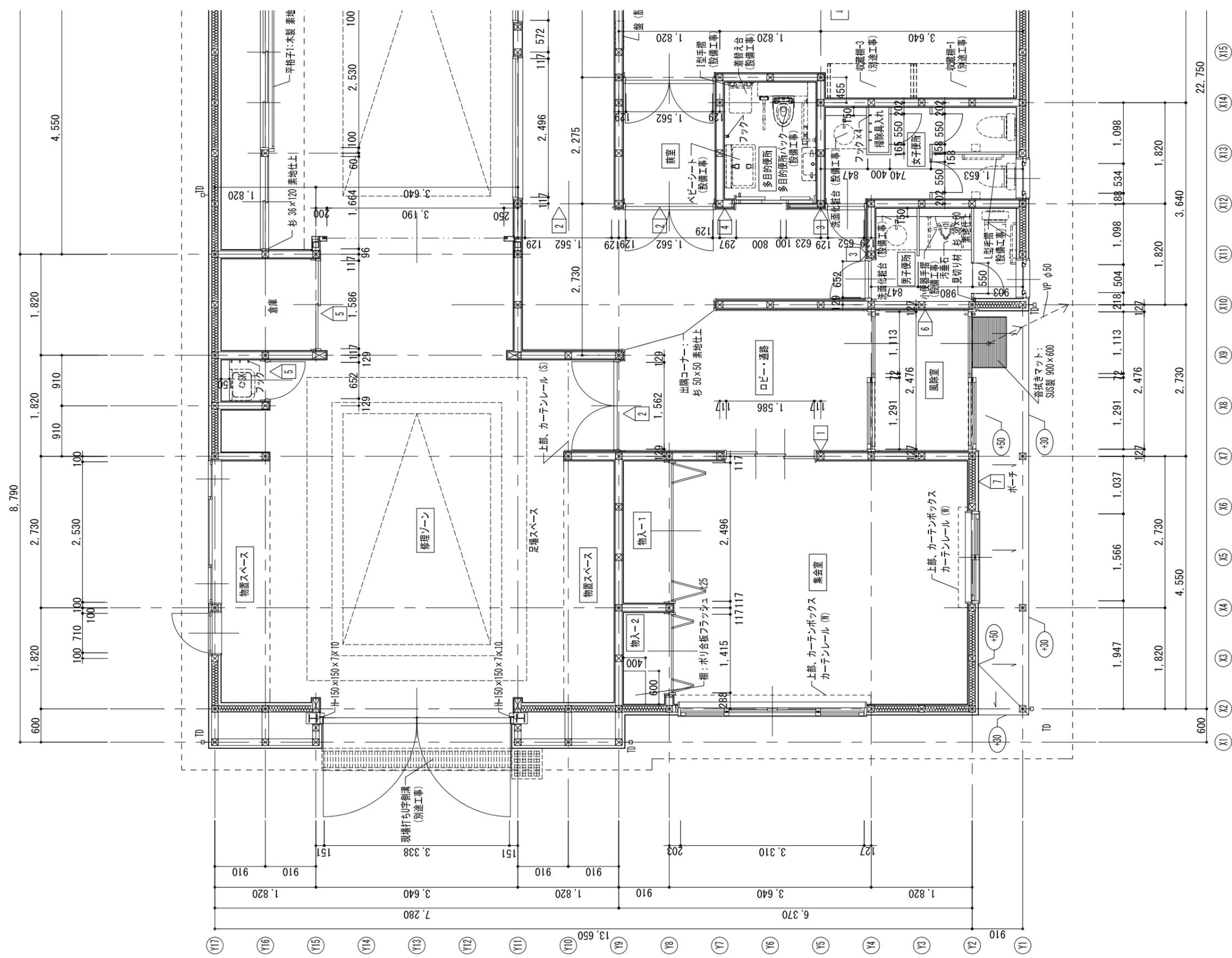


凡例
 : シーリング 15×10

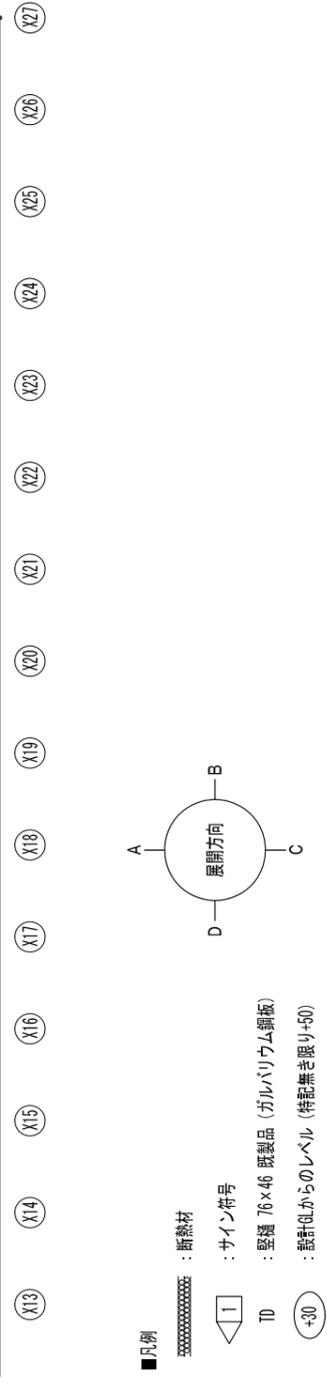
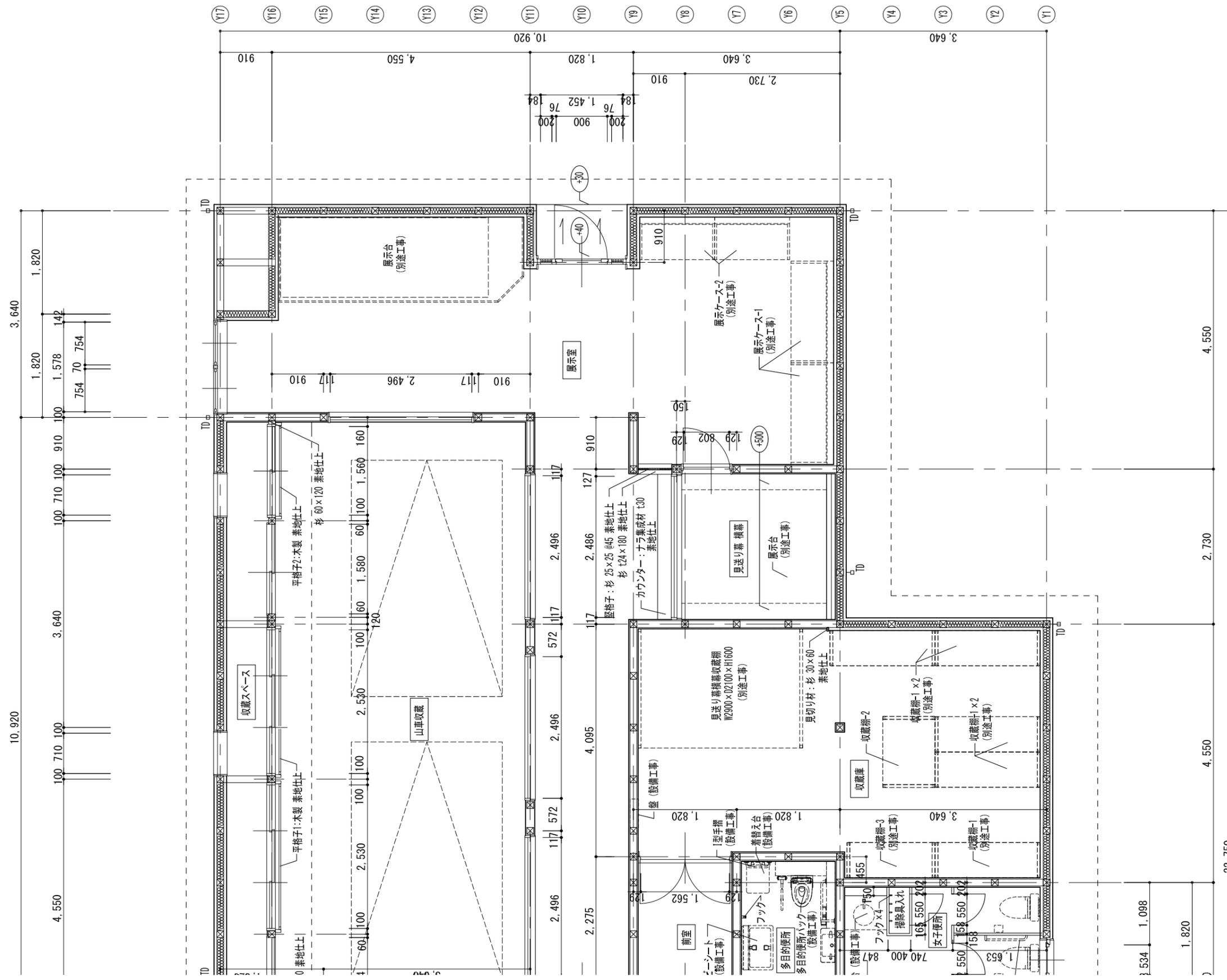
注記
 床下断熱材の範囲: 風除室、ロビー・通路、前室、収蔵庫、展示室、集会室、物入-1、物入-2

亀山市

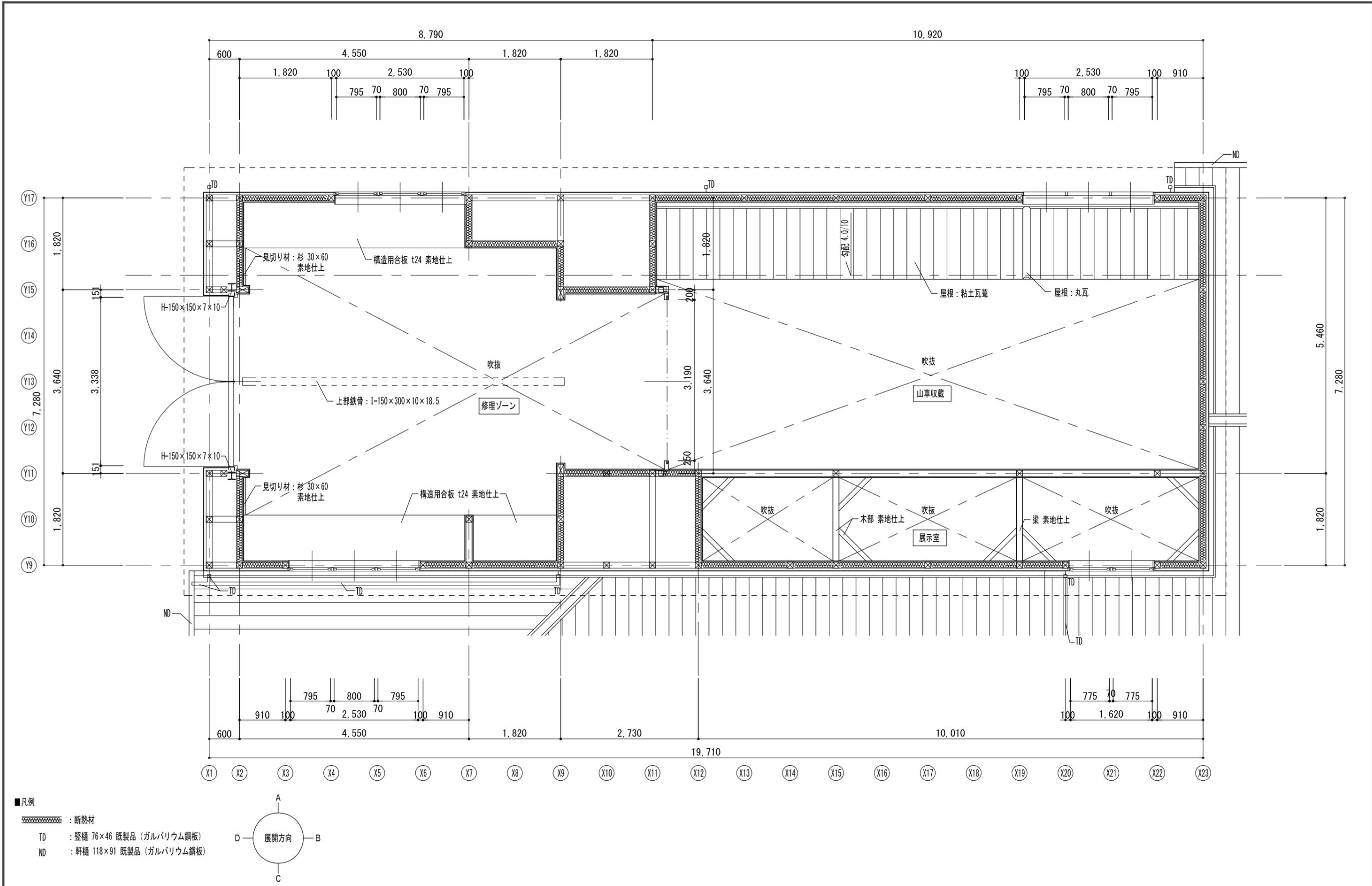
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	断面詳細図 3	S=1:50	A-17



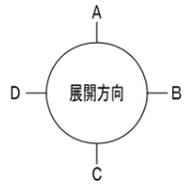
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	平面詳細図 1	S=1:50	A-18



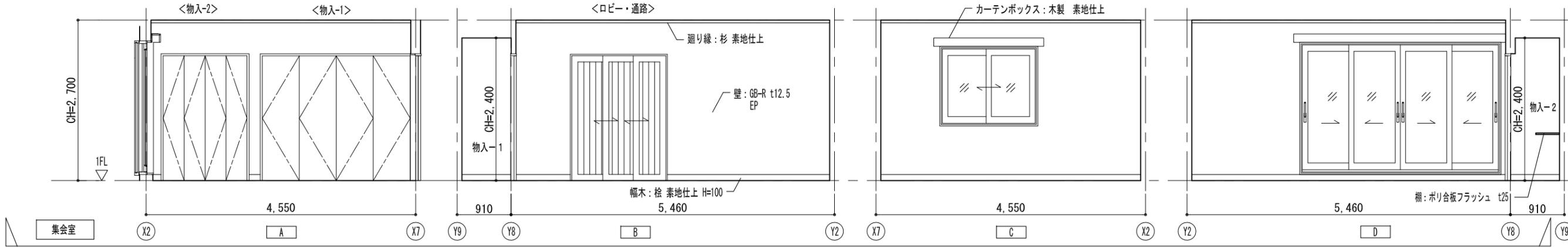
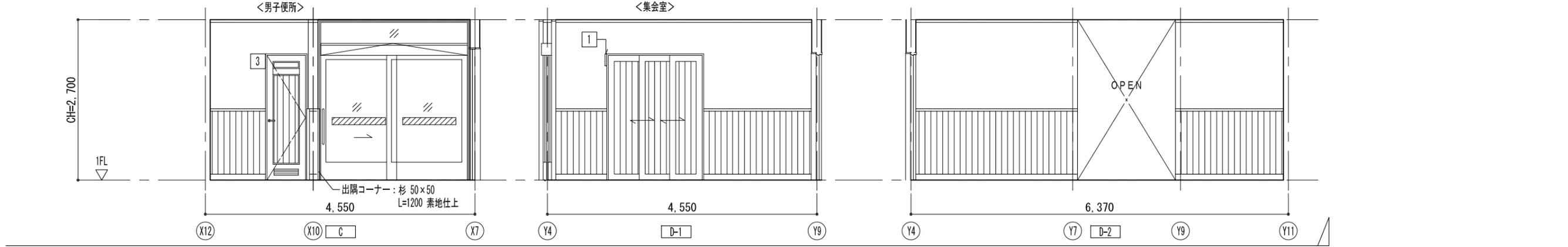
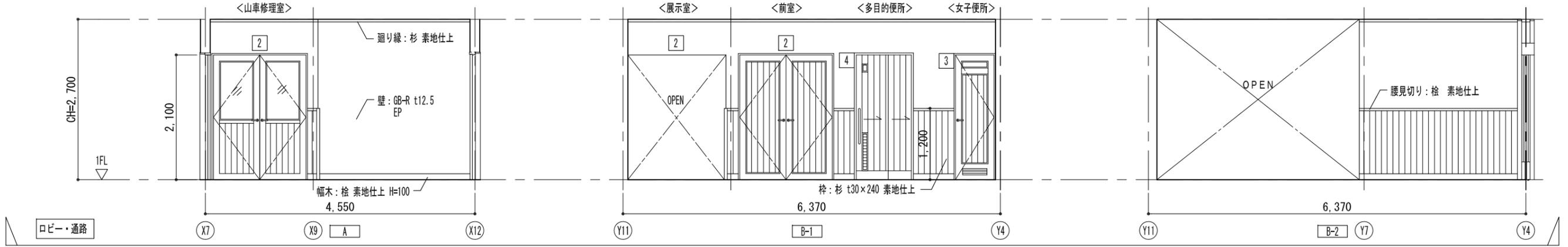
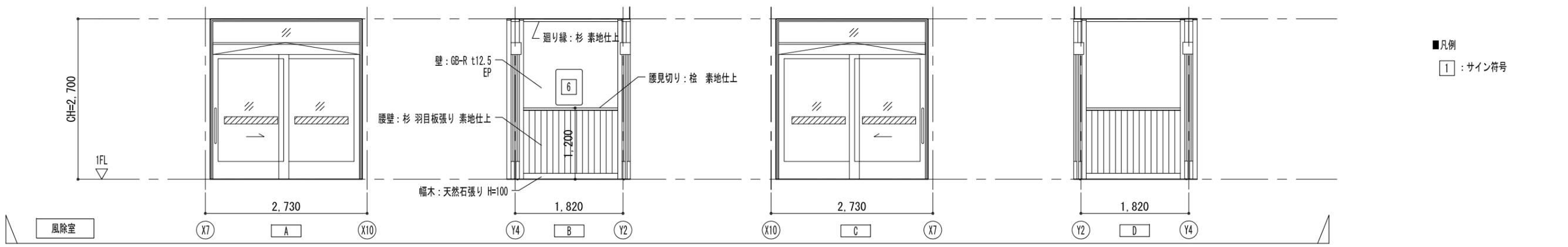
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	平面詳細図 2	S=1:50	A-19



- 凡例
- : 断熱材
 - TD : 縦樋 76×46 既製品 (ガルバリウム鋼板)
 - ND : 軒樋 118×91 既製品 (ガルバリウム鋼板)

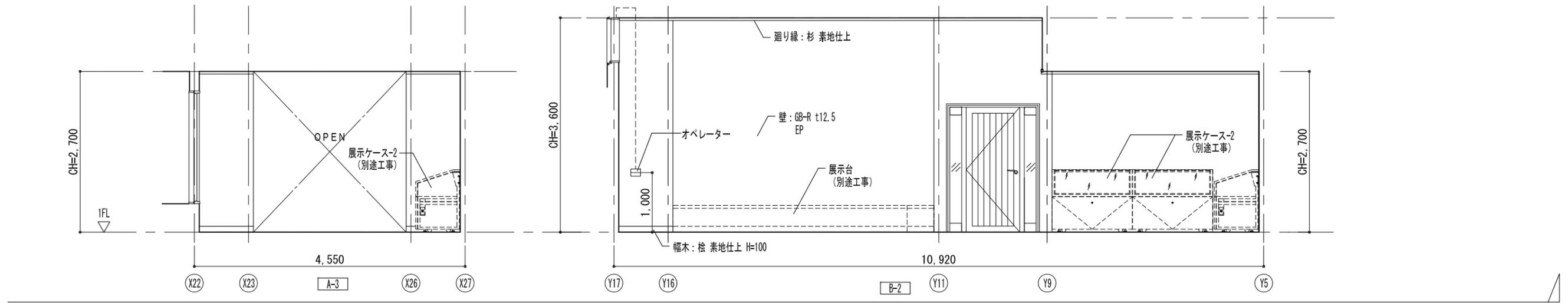
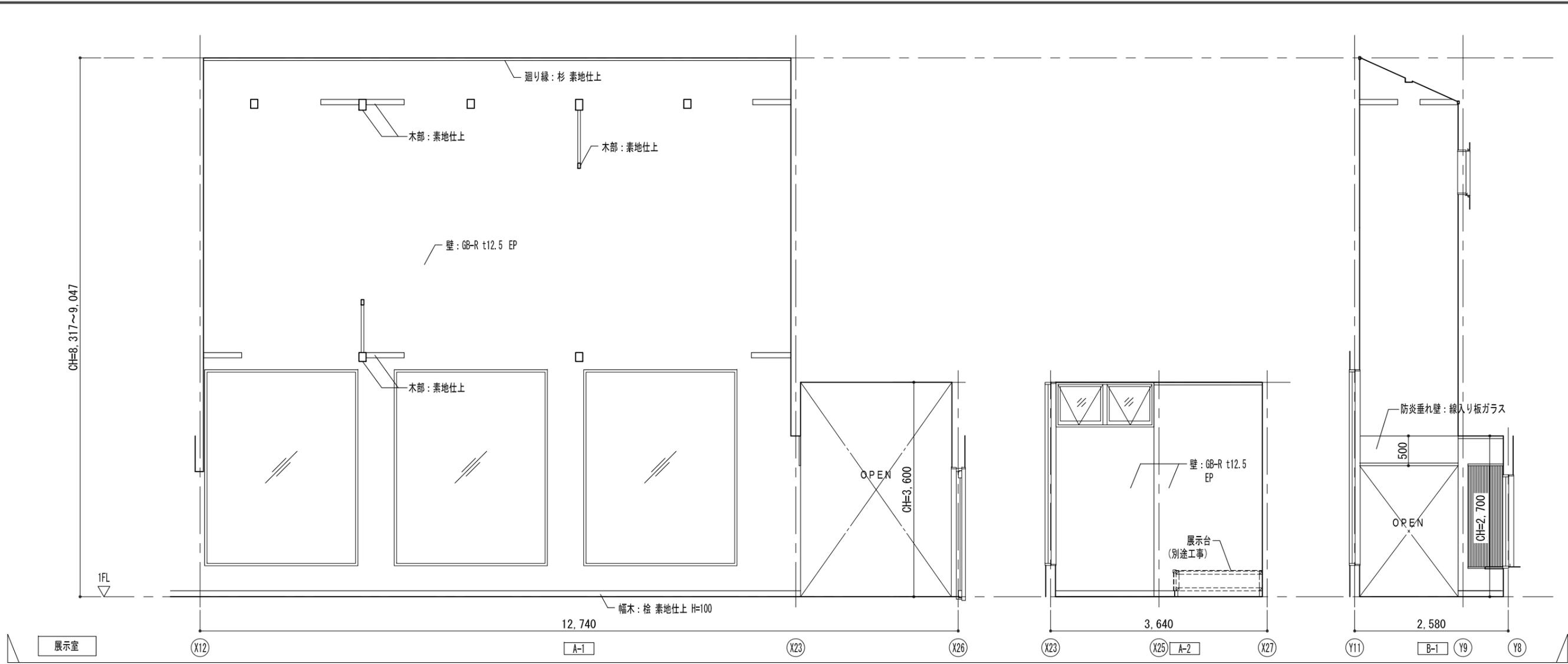


亀山市	日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
			関の山車会館地域交流施設新築工事	平面詳細図 3	S=1:50	A-20



亀山市

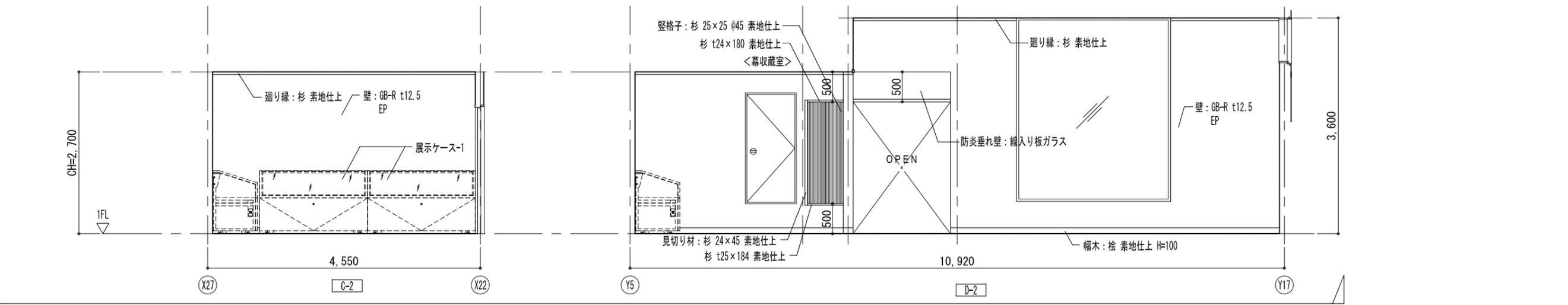
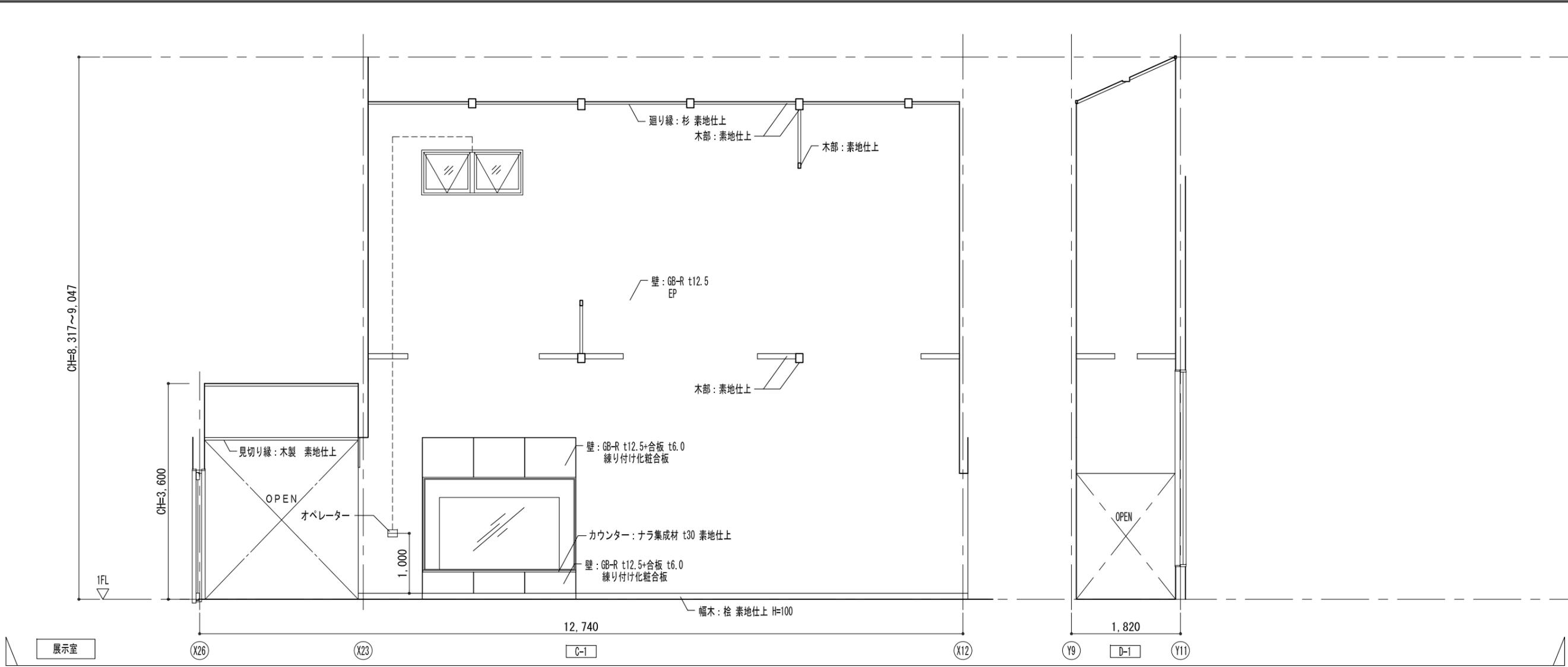
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	展開図 1	S=1:50	A-21



亀山市

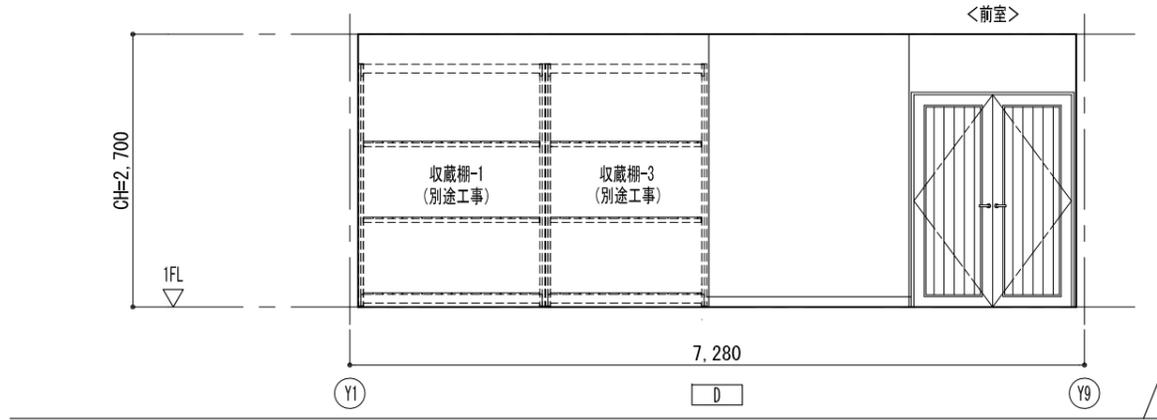
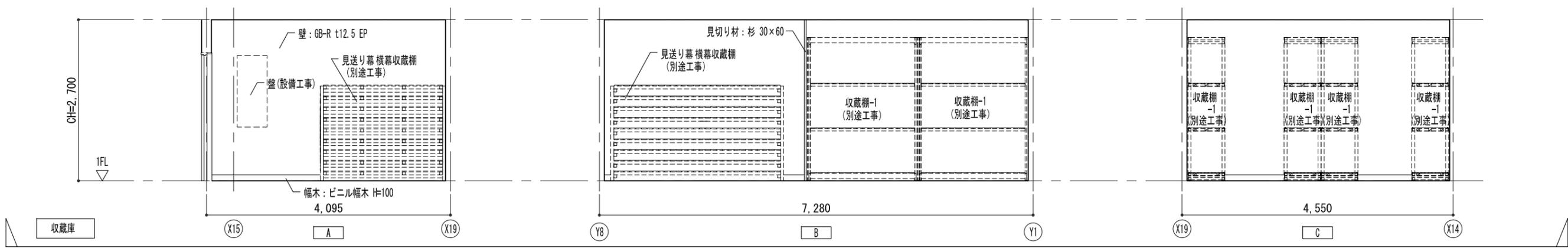
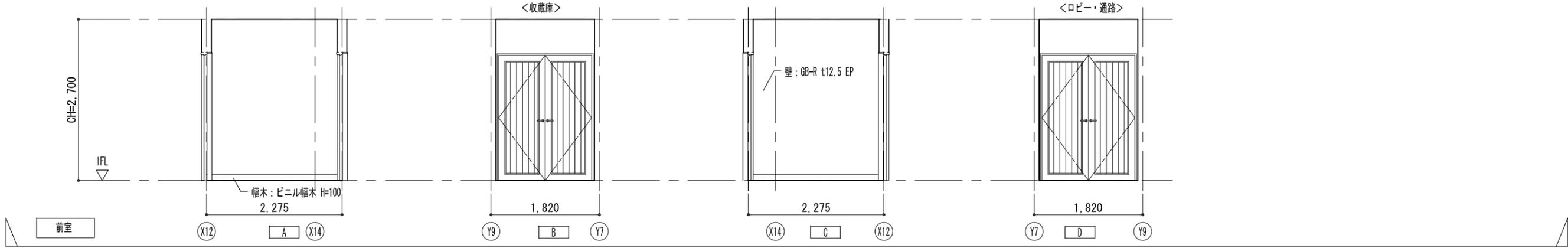
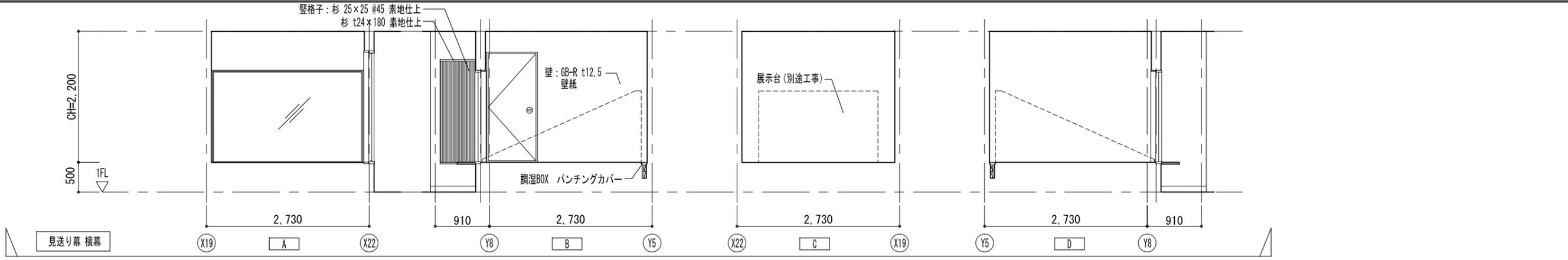
日付	備考

工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
関の山車会館地域交流施設新築工事	展開図 2	S=1:50	A-22

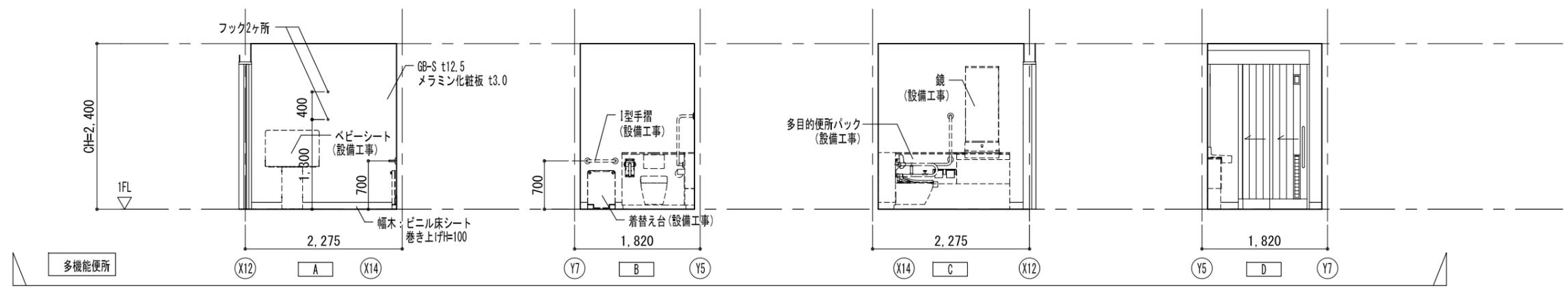
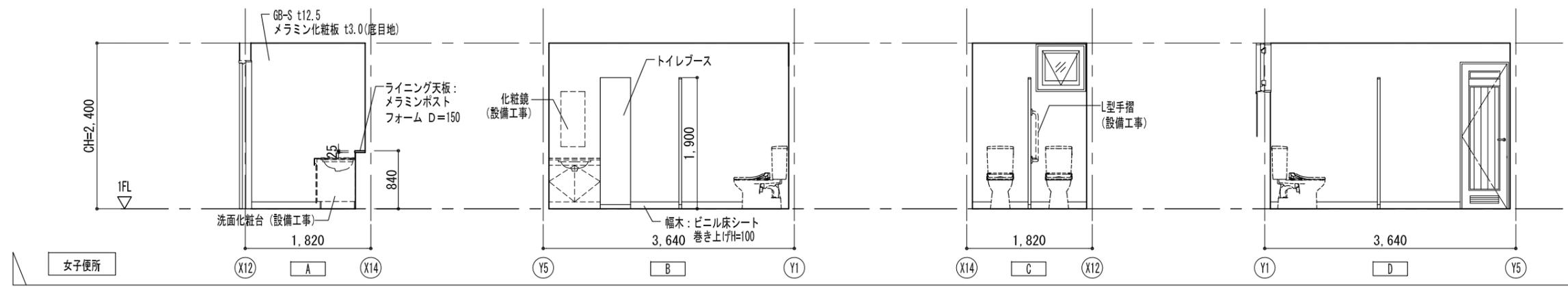
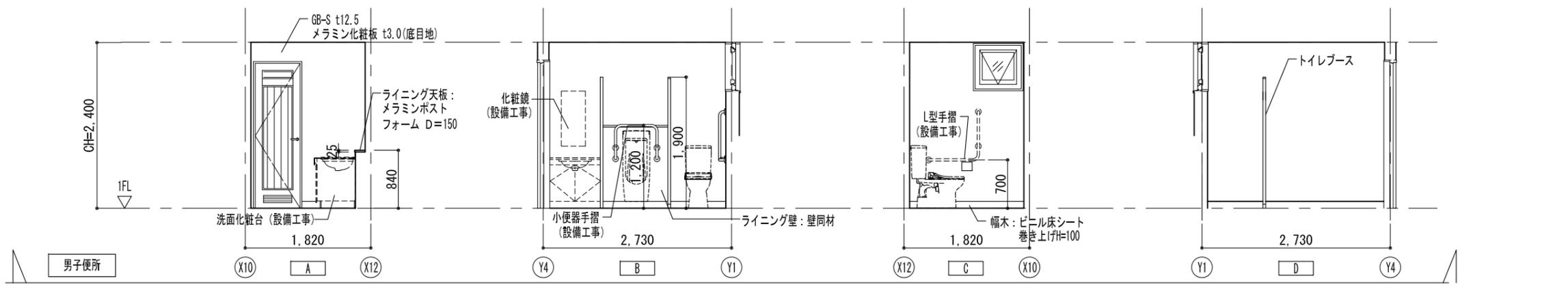


亀山市

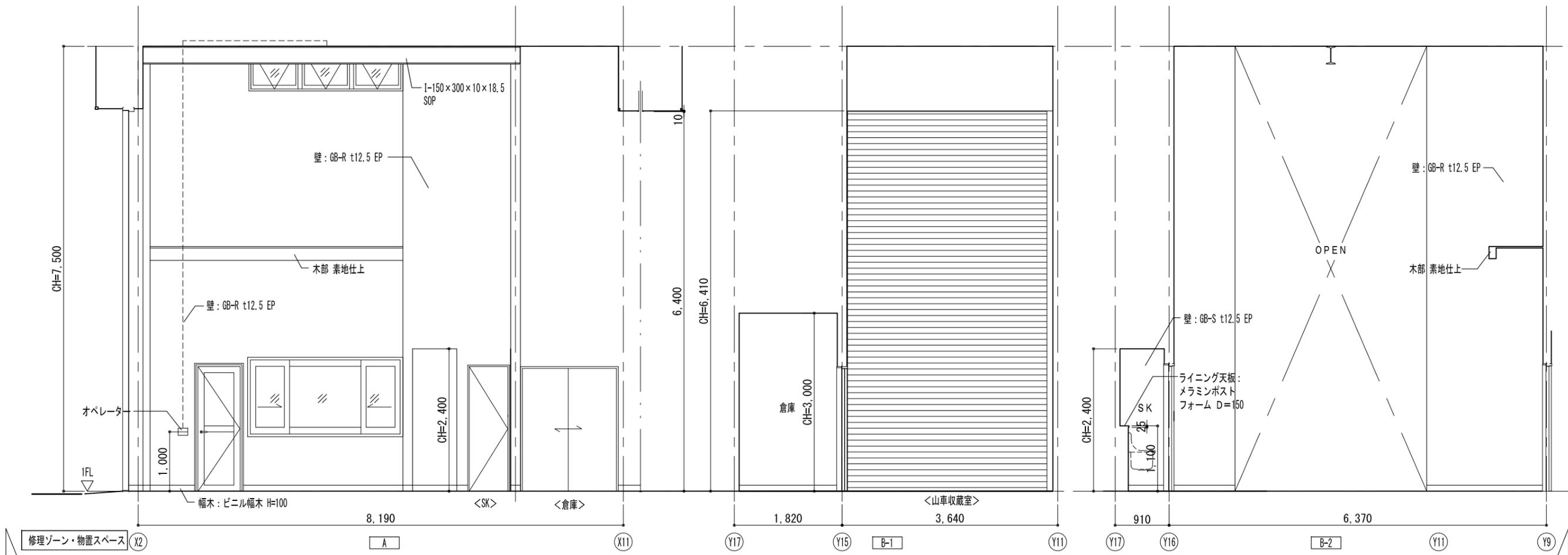
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	展開図 3	S=1:50	A-23



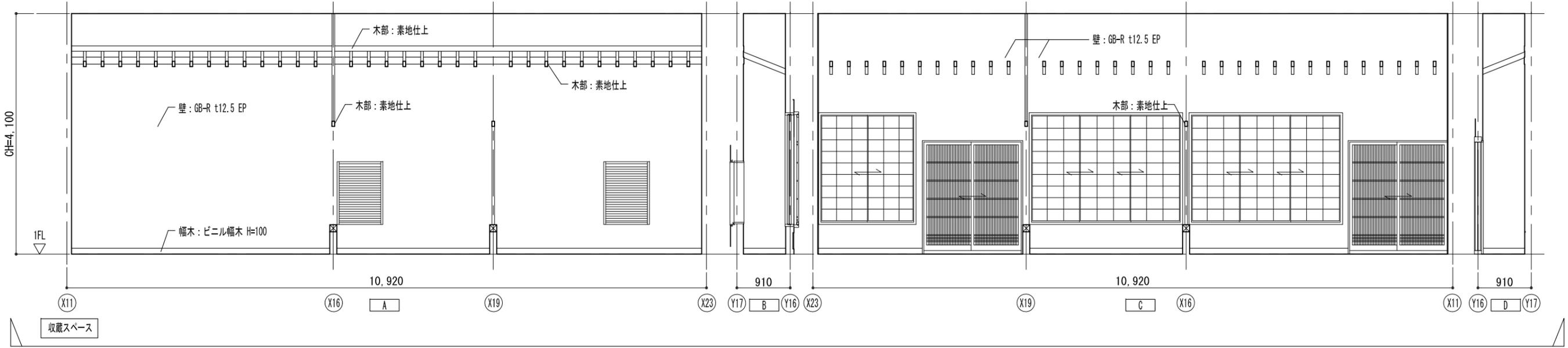
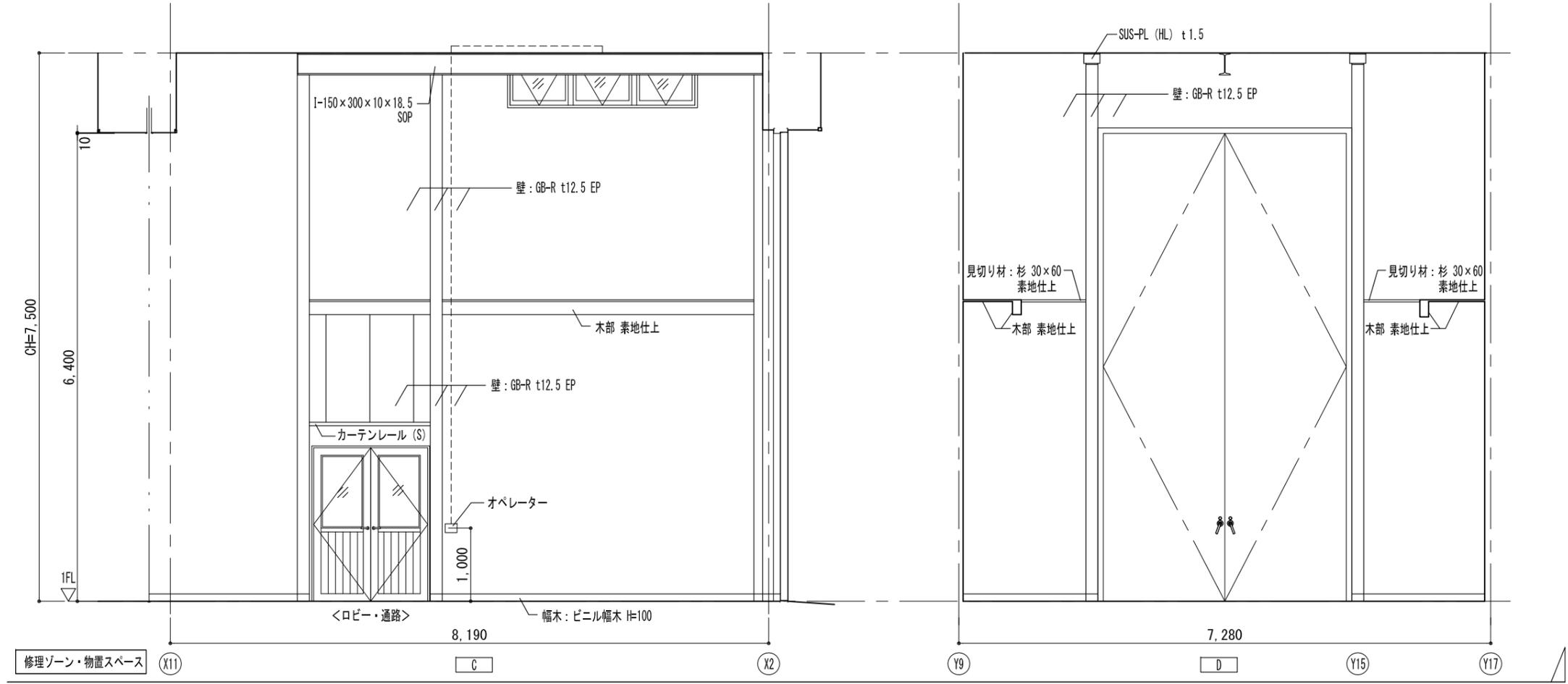
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	展開図 4	S=1:50	A-24



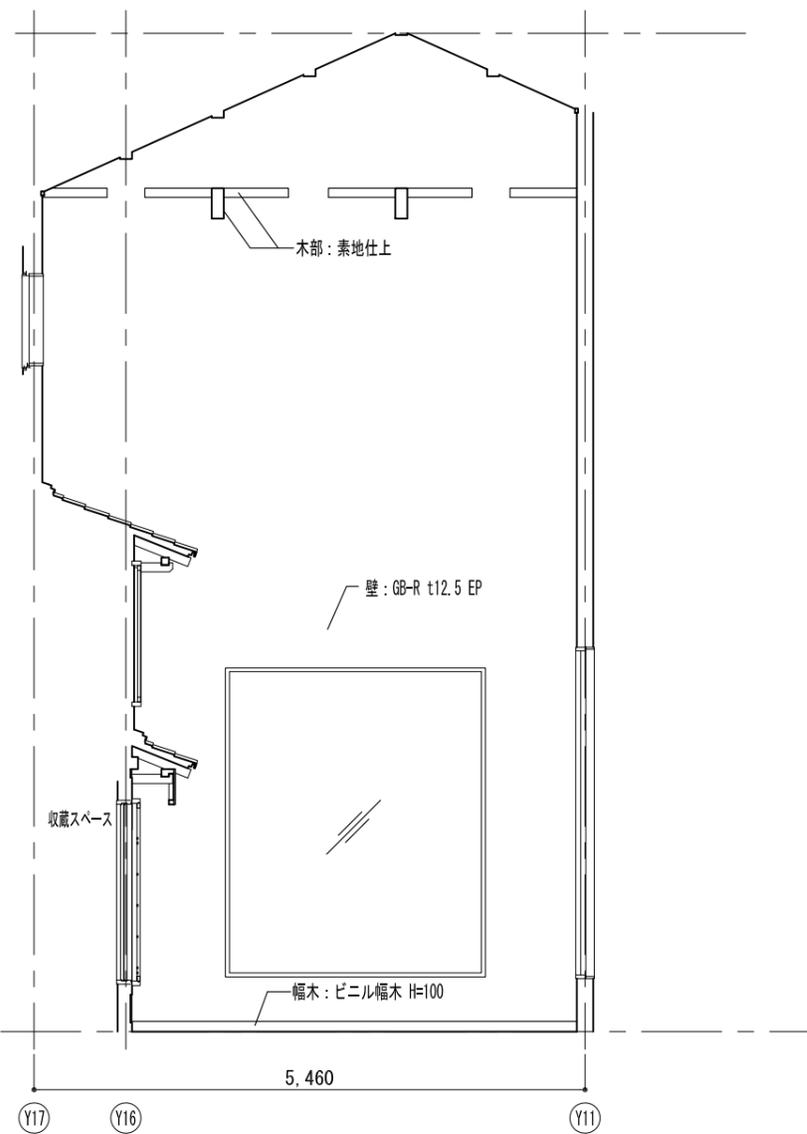
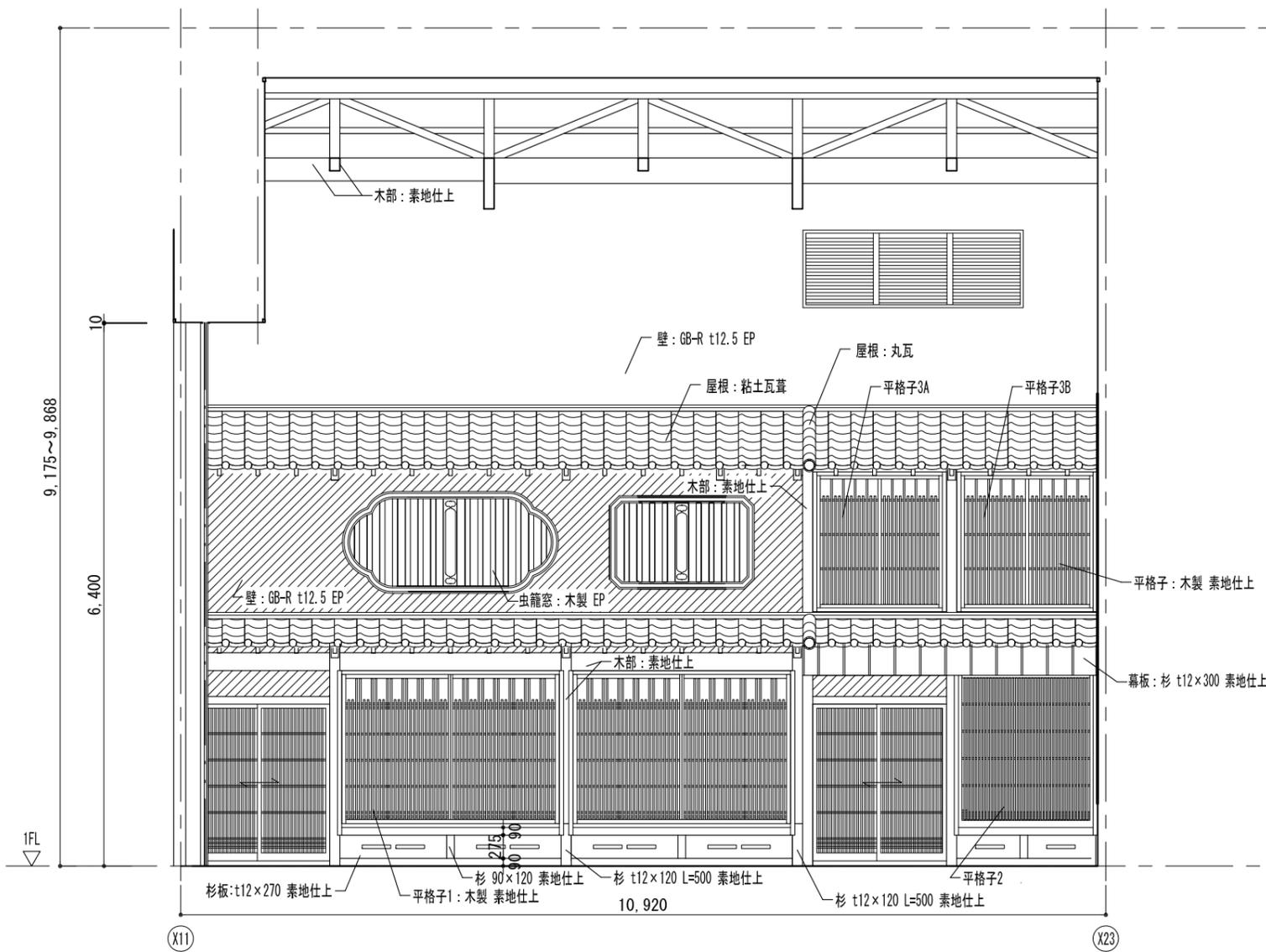
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	展開図 5	S=1:50	A-25



日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	展開図 6	S=1:50	A-26



日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	展開図 7	S=1:50	A-27



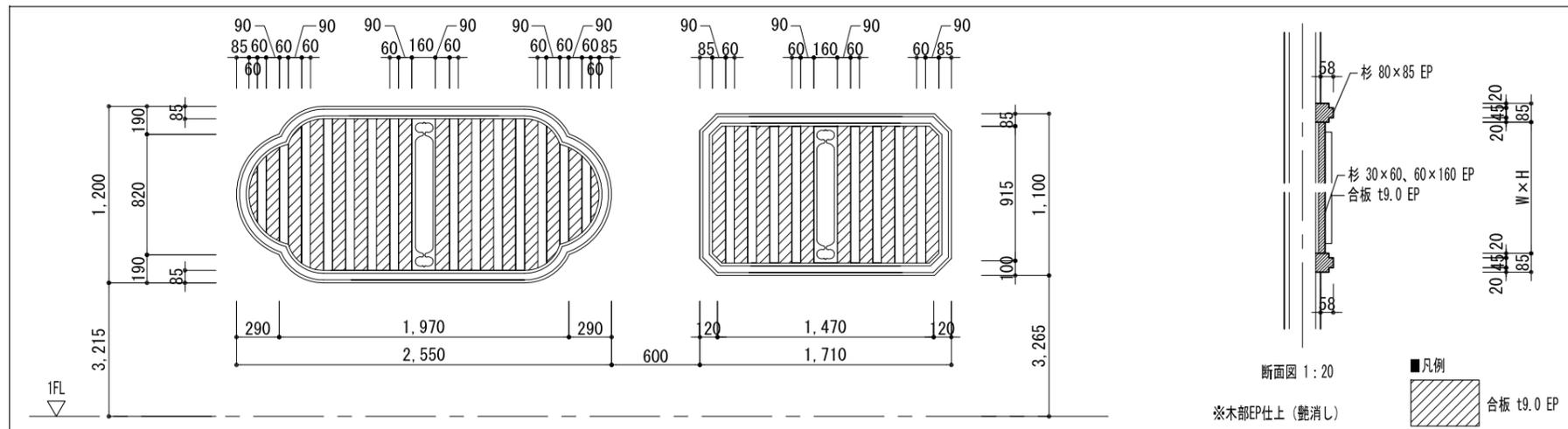
山車收藏

A

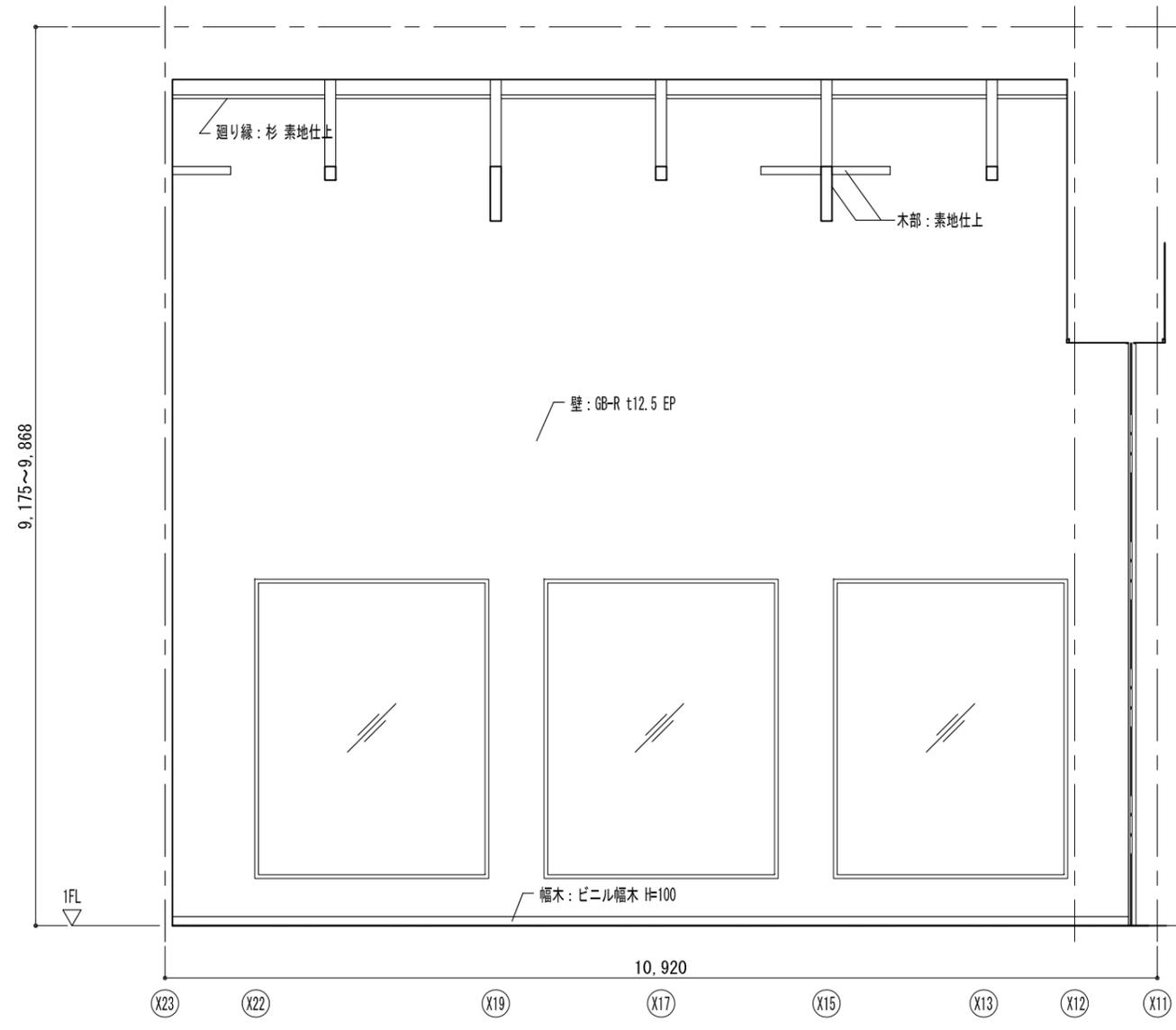
B

虫籠窓詳細図

■凡例
 街並み演出部の壁EP塗りの範囲
 ※EPは、艶消し

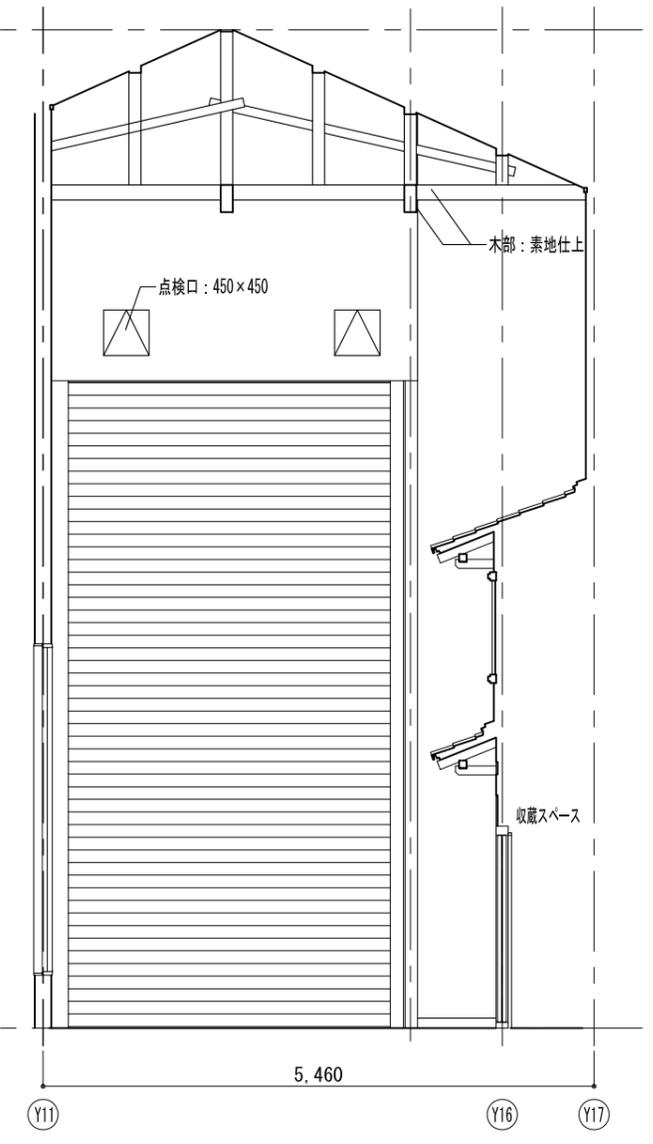


日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	展開図 8	S=1:50	A-28



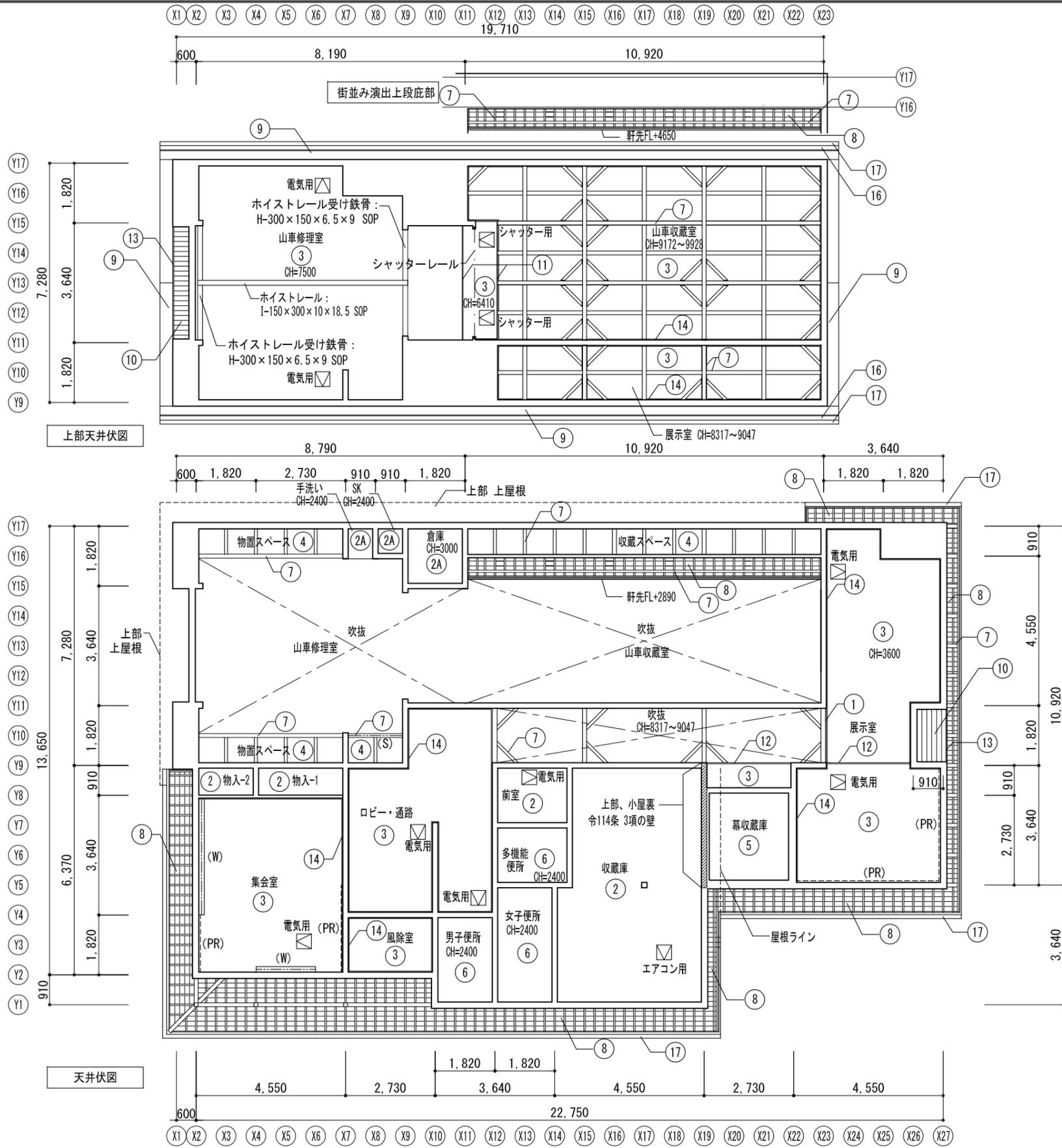
山車收藏

D



B

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	展開図 9	S=1:50	A-29



凡例

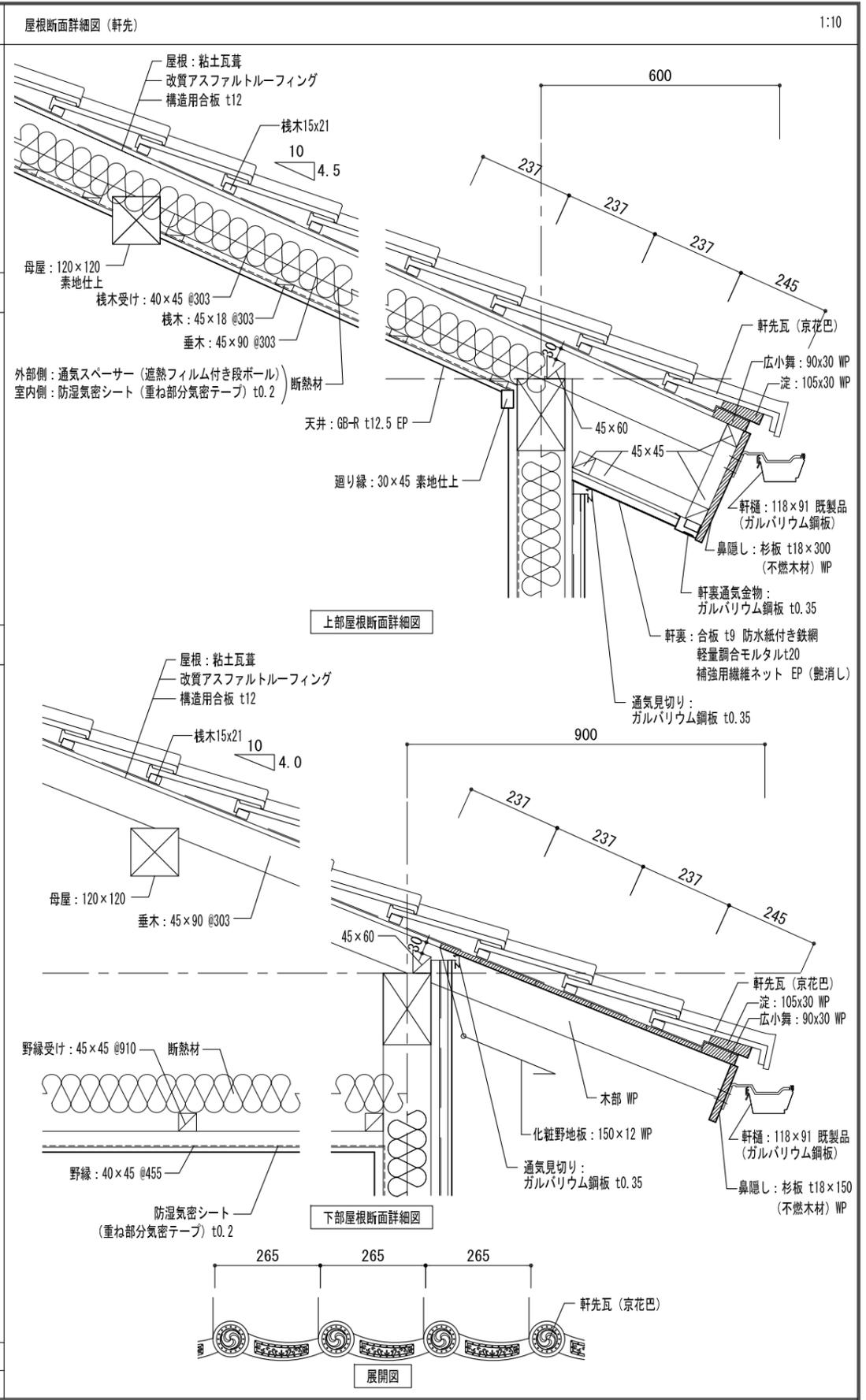
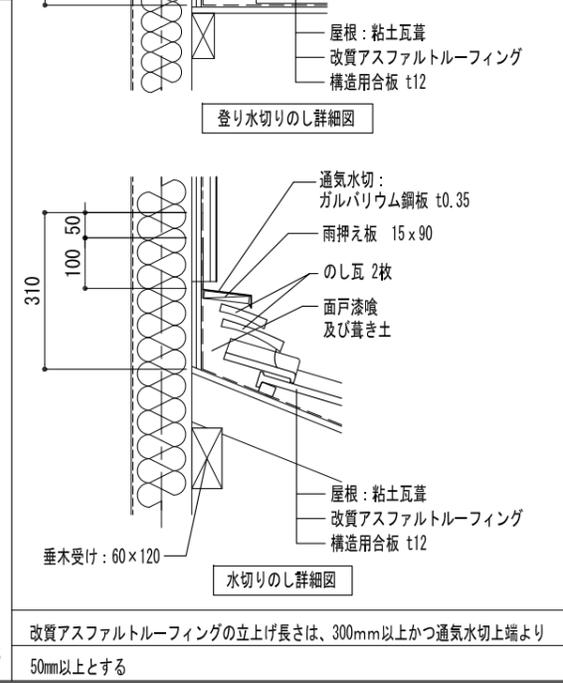
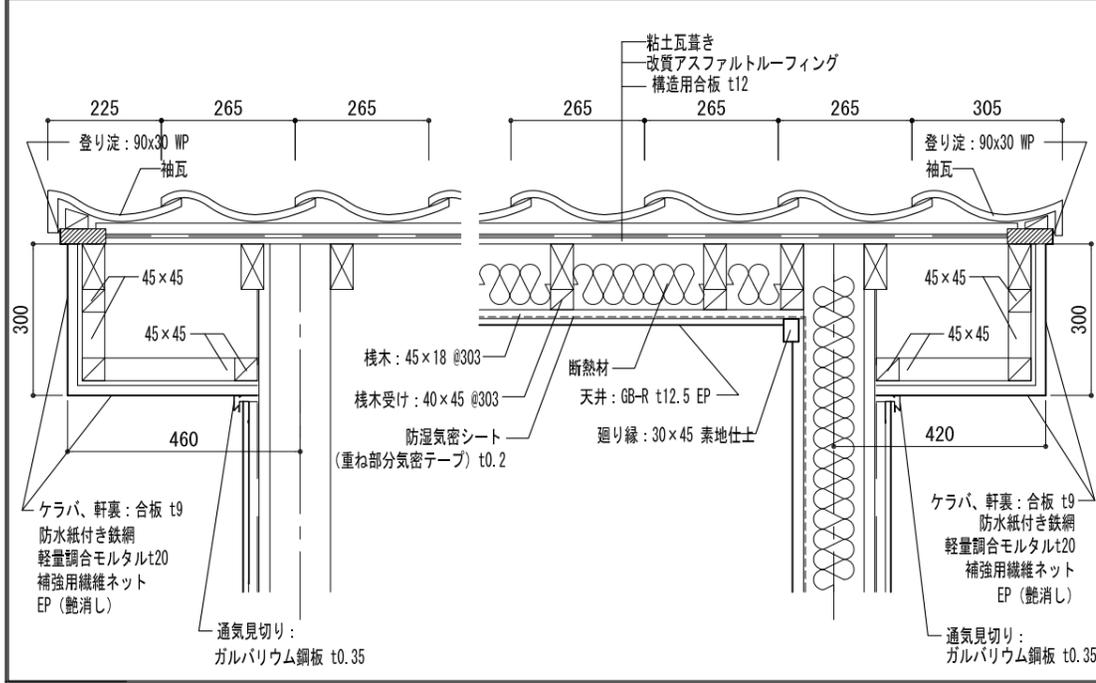
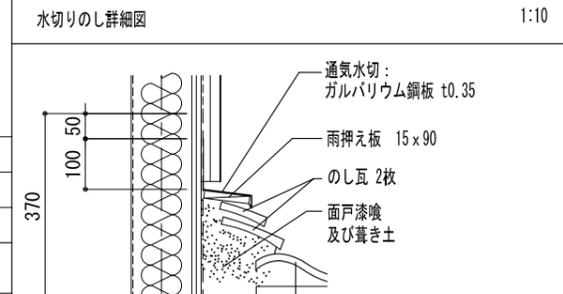
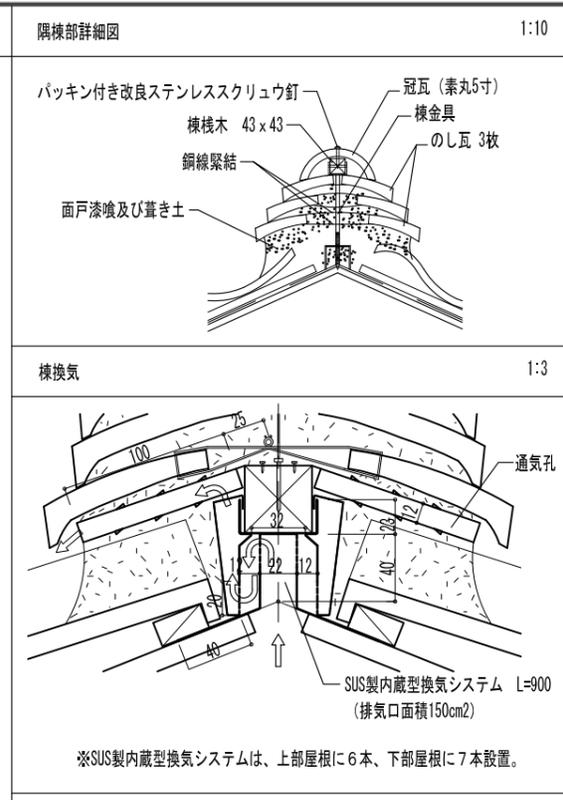
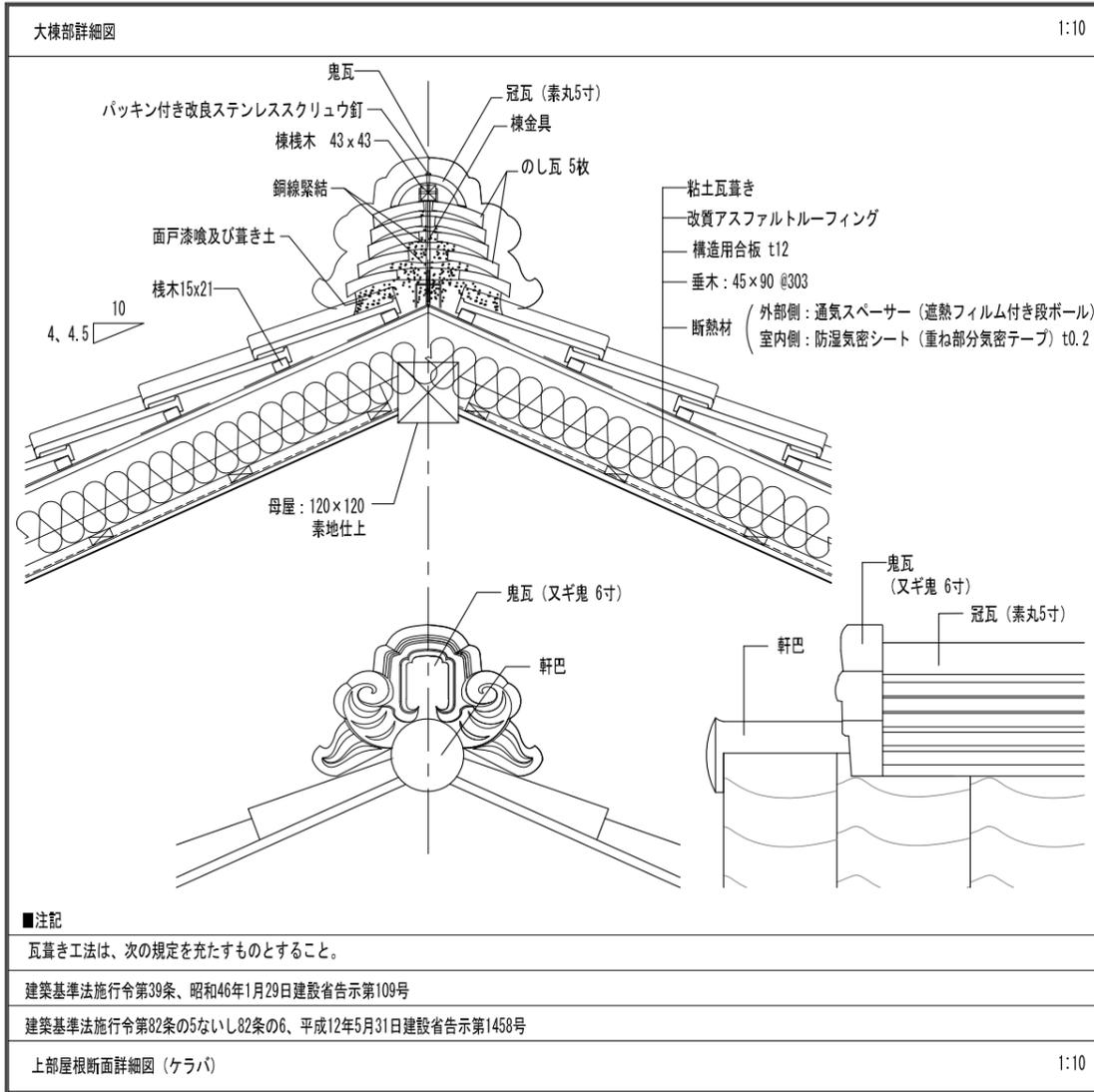
①	防災垂れ壁：線入り板ガラス
②	GB-D (W) t12.5
②A	GB-D t12.5
③	GB-R t12.5 EP
④	構造用合板 t24 素地仕上
⑤	鋼板 t0.8 + 合板 t12 壁紙 (家具工事)
⑥	FK t6.0 (底目地張り) EP
⑦	木部 素地仕上
⑧	化粧野地板:t12×150 WP
⑨	ラスモルタル EP (艶消し)
⑩	t12×150 WP
⑪	見切り縁：木製 25×35 素地仕上
⑫	見切り縁：木製 30×45 素地仕上
⑬	見切り縁：30×45 WP
⑭	廻り縁：30×45 素地仕上
⑮	
⑯	
⑰	
⑱	
⑲	
⑳	
㉑	
㉒	
㉓	
㉔	
㉕	
㉖	
㉗	
㉘	
㉙	
㉚	
㉛	
㉜	
㉝	
㉞	
㉟	
㊱	
㊲	
㊳	
㊴	
㊵	
㊶	
㊷	
㊸	
㊹	
㊺	
㊻	
㊼	
㊽	
㊾	
㊿	
(W)	カーテンボックス カーテンレール (W)
(S)	カーテンレール (S)
(PR)	ピクチャーレール
☒	天井点検口 (450×450)
	※特記なき限り天井高さはCH=2700とする

亀山市

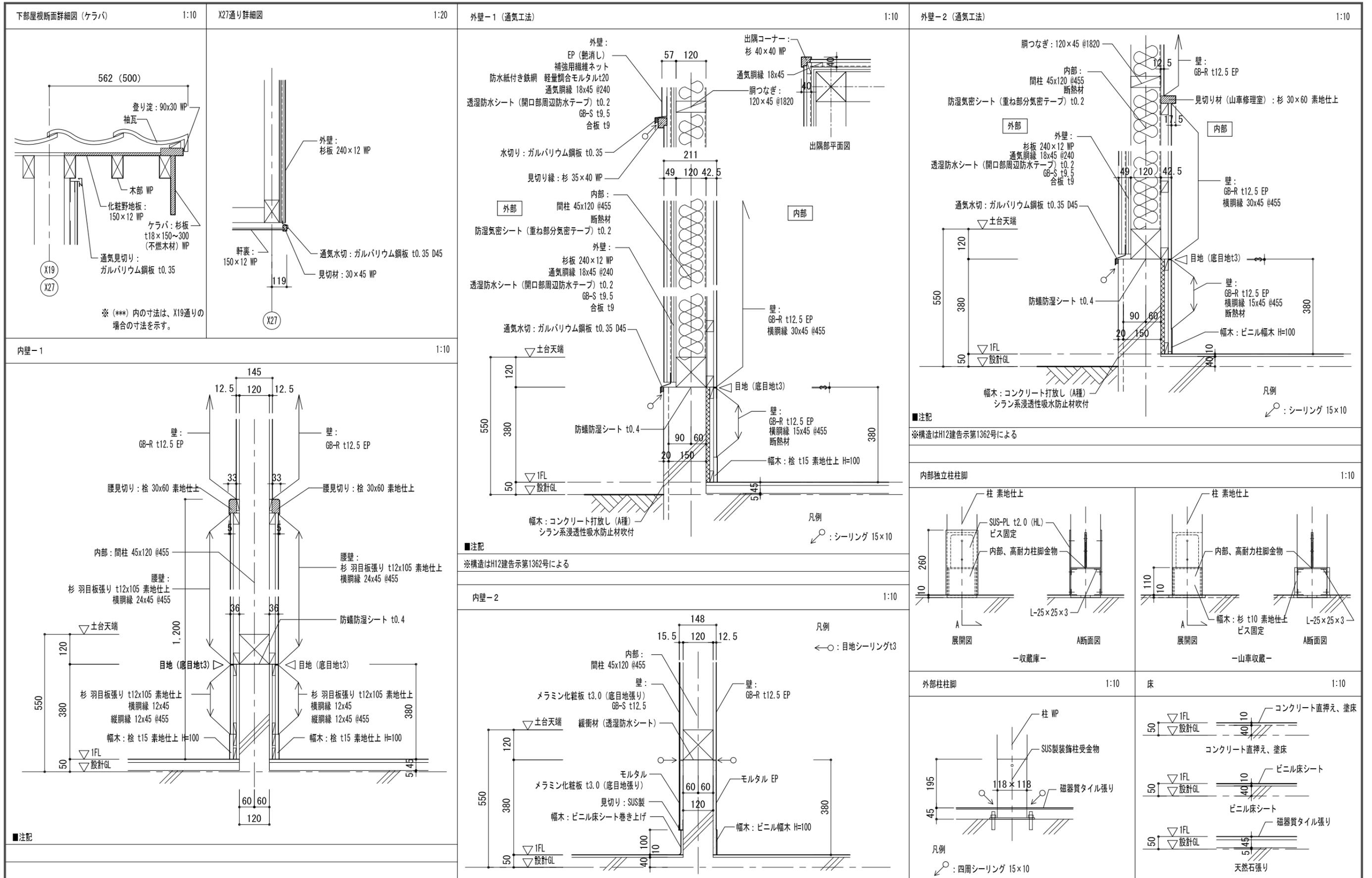
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	天井伏図	S=1:100	A-30

記号	形式	数量	WD-1	木製 片引き扉	1	WD-2	木製 片引き扉	1	WD-3	木製 4枚引違戸	1							
姿 図																		
場 所			風除室			ロビー・通路			集会室									
枠 (扉)	ガラス		140 (56)			140 (56)			140 (56)									
仕 上			WP			素地仕上			WP									
金 物			BH、自閉装置、ガイドローラー、HL、CL、SUS製沓摺 (b)、その他付属金物一式			BH、自閉装置、ガイドローラー、HL、CL、SUS製沓摺 (b)、その他付属金物一式			アルミ水切り、CL、LH、ブリーツ網戸、その他付属金物一式									
その他			額縁 外面25×50 WP 内面25×75 WP			額縁 外面25×75 内面25×75			額縁25×95 WP									
記号	形式	数量	WD-4	木製 FIX付き片開き戸	1	WD-5	木製 4枚折戸	1	WD-6	木製 4枚折戸	1	WD-7	木製 引き違い戸	1	WD-8	木製 両開き戸	1	
姿 図																		
場 所			展示室			ミニキッチン			物入			集会室			ロビー・通路			
枠 (扉)	ガラス		92 (56)			120 (30)			120 (30)			180 (56)			120 (56)			
仕 上			WP			素地仕上			素地仕上			素地仕上			素地仕上			
金 物			アルミ水切り、CL、LH、DC、DS、SUS製沓摺 (a)、その他付属金物一式			ツマミ、折戸用丁番、上下レール、その他付属金物一式			ツマミ、折戸用丁番、上下レール、その他付属金物一式			HT、戸車、SUS製沓摺 (e)、その他付属金物一式			LH、DC、T、CL、SUS製沓摺 (c)、DS、F、その他付属金物一式			
その他			SAT、額縁 外面25×63 WP 内面25×80 WP			額縁 25×45			額縁 25×45			額縁 25×20内面			額縁 25×82内面			
記号	形式	数量	WD-9	木製 両開き戸	2	WD-10	木製 片開き戸	1	WD-11	木製 引き違い戸	1	WD-12	木製 片開き戸	1	WD-13	木製 片開き戸	2	
姿 図																		
場 所			前室、収蔵庫			見送り幕・横幕			倉庫			SK			男子便所、女子便所			
枠 (扉)	ガラス		120 (56)			100 (40)			100 (40)			100 (40)			120 (56)			
仕 上			素地仕上			素地仕上			素地仕上			素地仕上			素地仕上			
金 物			LH、DC、T、CL、ブリーツ網戸、SUS製沓摺 (f)、DS、F、その他付属金物一式			CH、DC、T、CL、その他付属金物一式			HT、戸車、SUS製沓摺 (e)、その他付属金物一式			LH、DC、T、CL、DS、その他付属金物一式			LH、DC、T、DS、SUS製沓摺 (c)、その他付属金物一式			
その他			SAT、額縁 25×82内面			額縁 25×45			額縁 25×84			額縁 25×84			額縁 25×82内面			
亀山市			日		備		工事名称			図面内容			縮尺			図面番号		
			付		考		関の山車会館地域交流施設新築工事			建具表 2			S=1:50			A-32		

記号	形式	数量	WD-14	木製 2連片引き戸	1	AD-15	アルミ製 FIX付き片開き戸	1	WS-1	障子	1	WS-2	障子	1	WS-3	障子	2
姿 図																	
場 所	多機能便所		修理ゾーン		収納スペース		収納スペース		収納スペース								
枠 (扉)	ガラス	144 (56)	F4	70	-	(30)	-	(30)	-	152 (30)	-						
仕 上	素地仕上		B-2		素地仕上		素地仕上		素地仕上								
金 物	BH、表示錠、自閉装置、ガイドローラー、HL、SUS製沓摺 (b) その他付属金物一式		アルミ水切り、CL、LH、DC、DS、プリーツ網戸、SUS製沓摺 (a) その他付属金物一式		HT、敷居すべり、その他付属金物一式		HT、敷居すべり、その他付属金物一式		襖引手、敷居すべり、障子紙貼								
その他	額縁 25x115		SAT、額縁 25x160 WP		額縁 25x32		額縁 25x32										
記号	形式	数量	WS-4	障子	1	WW-1	木製 引違戸	1	AW-2	アルミ製 FIX付き片引き戸	1	WW-3 WW-3A	木製 内倒し窓	WW-3 1 WW-3A 1	AW-4	アルミ製 2連内倒し窓	1
姿 図																	
場 所	収納スペース		集会室		修理ゾーン		男子便所、女子便所		展示室								
枠 (扉)	ガラス	152 (30)	-	140 (56)	T5	70	T5	56	FT4	70	T5						
仕 上	素地仕上		WP		B-2		WP		B-2								
金 物	襖引手、敷居すべり、障子紙貼		アルミ水切り、クレセント、プリーツ網戸、その他付属金物一式		アルミ水切り、クレセント、引き網戸、その他付属金物一式		アルミ水切り、チェーン、フック棒、外付け固定網戸 その他付属金物一式		アルミ水切り、手動OP (ワンタッチ開放式)、外付け固定網戸 その他付属金物一式								
その他			額縁25x95 WP		額縁 25x160 WP		額縁 外面25x63 WP 内面25x120 WP		額縁 25x160 WP								
記号	形式	数量	AW-4A	アルミ製 2連内倒し窓	1	AW-5	アルミ製 3連内倒し窓	2	AG-1	アルミ製 ガラリ	1	AG-2	アルミ製 ガラリ	2			
姿 図																	
場 所	展示室		修理ゾーン		山車収納		収納スペース										
枠 (扉)	ガラス	70	T5	70	T5	70	-	70	-								
仕 上	B-2		B-2		B-2		B-2										
金 物	アルミ水切り、手動OP (ワンタッチ開放式)、外付け固定網戸 その他付属金物一式		アルミ水切り、手動OP (ワンタッチ開放式)、外付け固定網戸 その他付属金物一式		外付け固定網戸、付属金物一式		外付け固定網戸、付属金物一式										
その他	額縁 25x130 WP		額縁 25x130 WP		額縁25x130 WP、開口率40%		額縁 25x160 WP、開口率40%										
亀山市			日付	備考	工事名称			図面内容	縮尺	図面番号							
					関の山車会館地域交流施設新築工事			建具表 3	S=1:50	A-33							

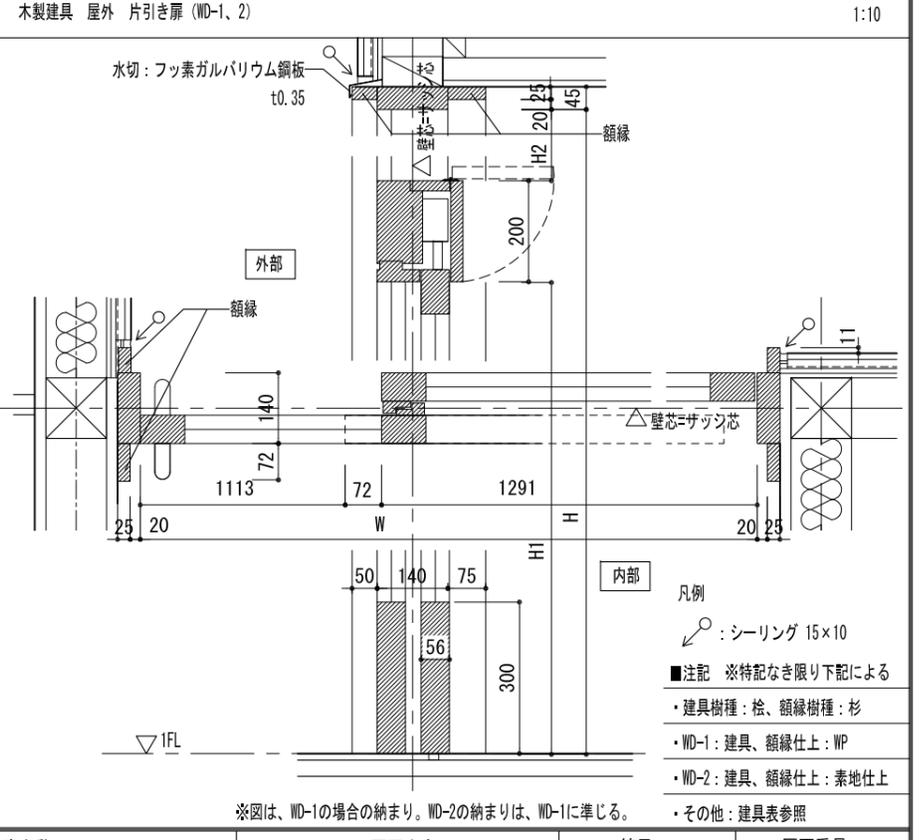
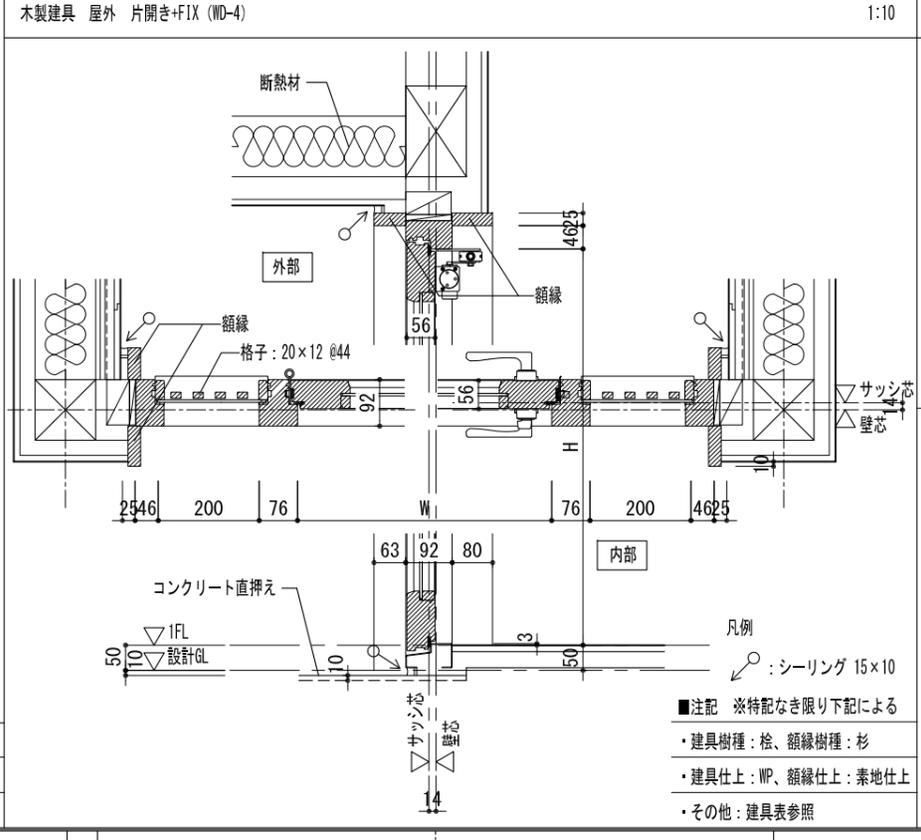
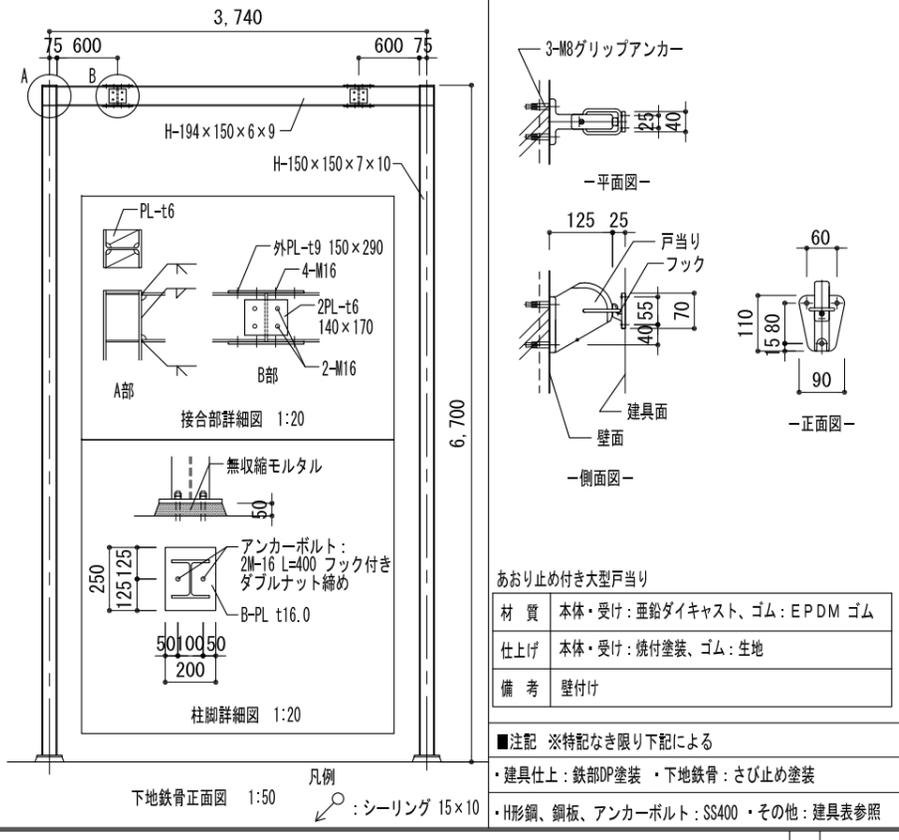
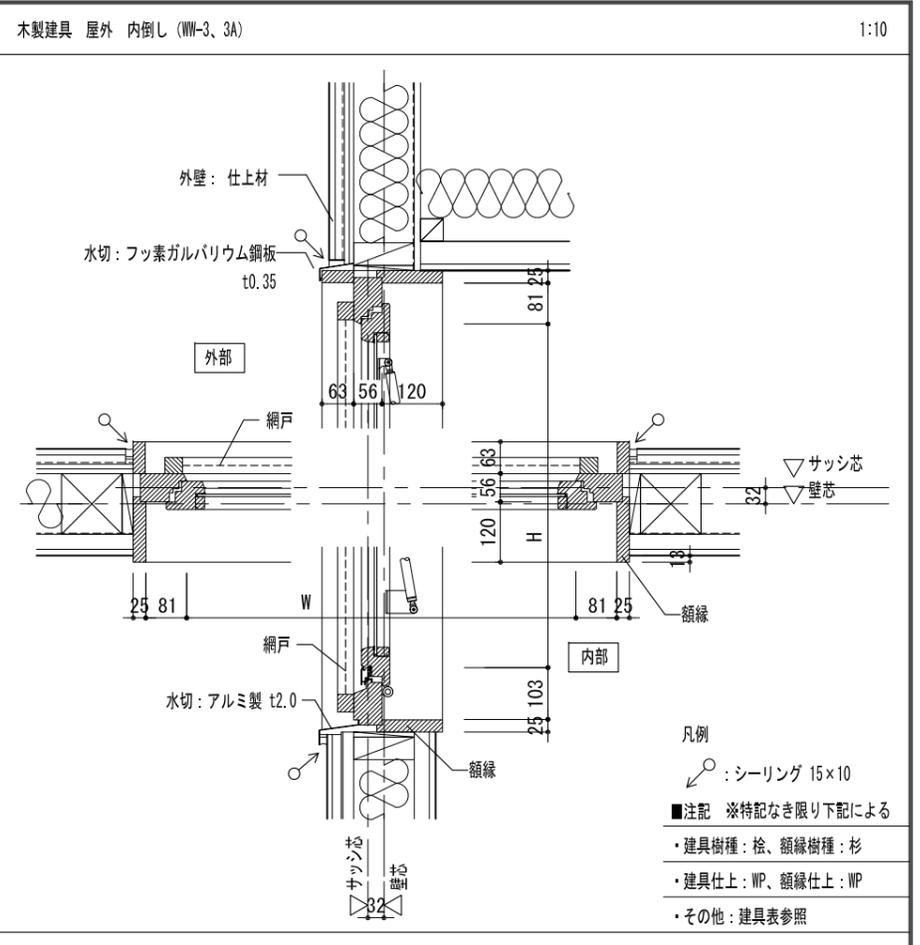
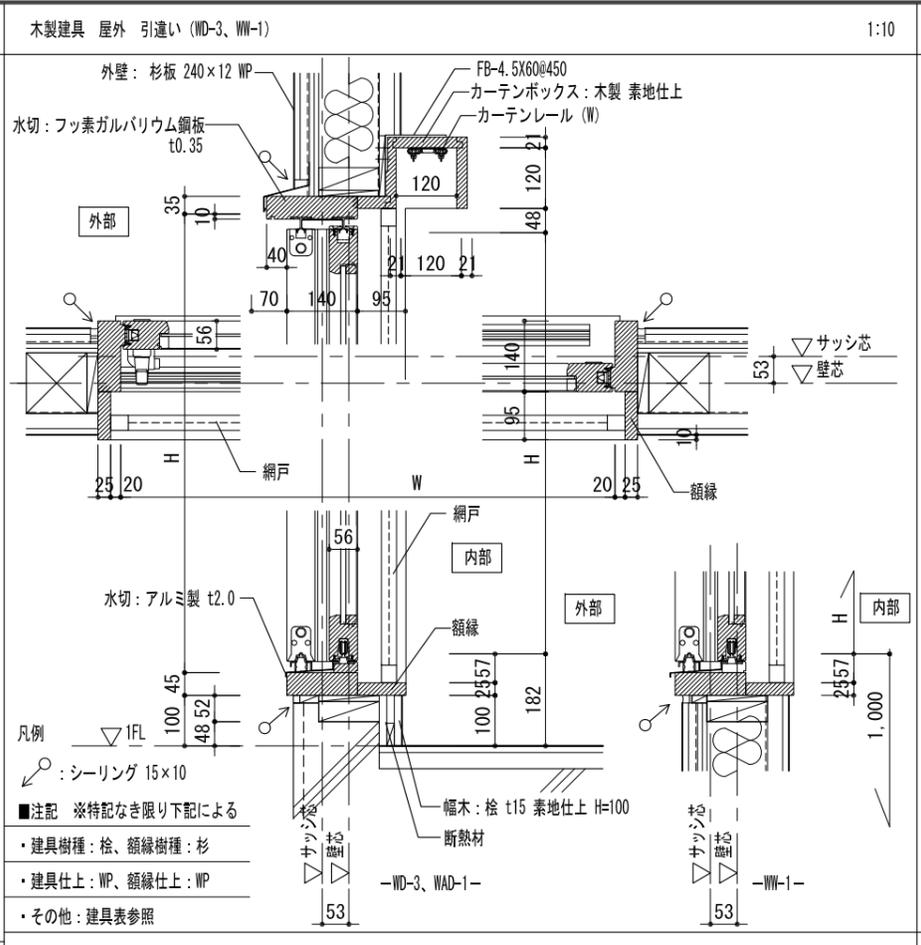
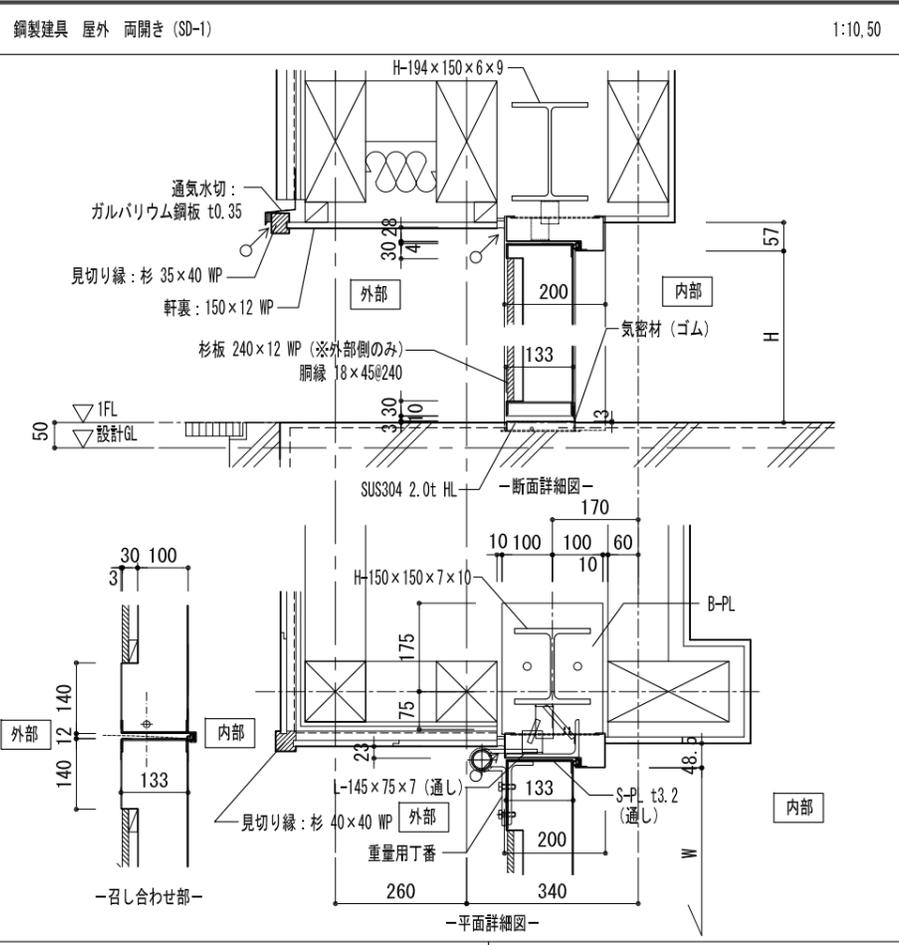


亀山市	日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
			関の山車会館地域交流施設新築工事	部分詳細図 1	S=1:3, 10	A-34



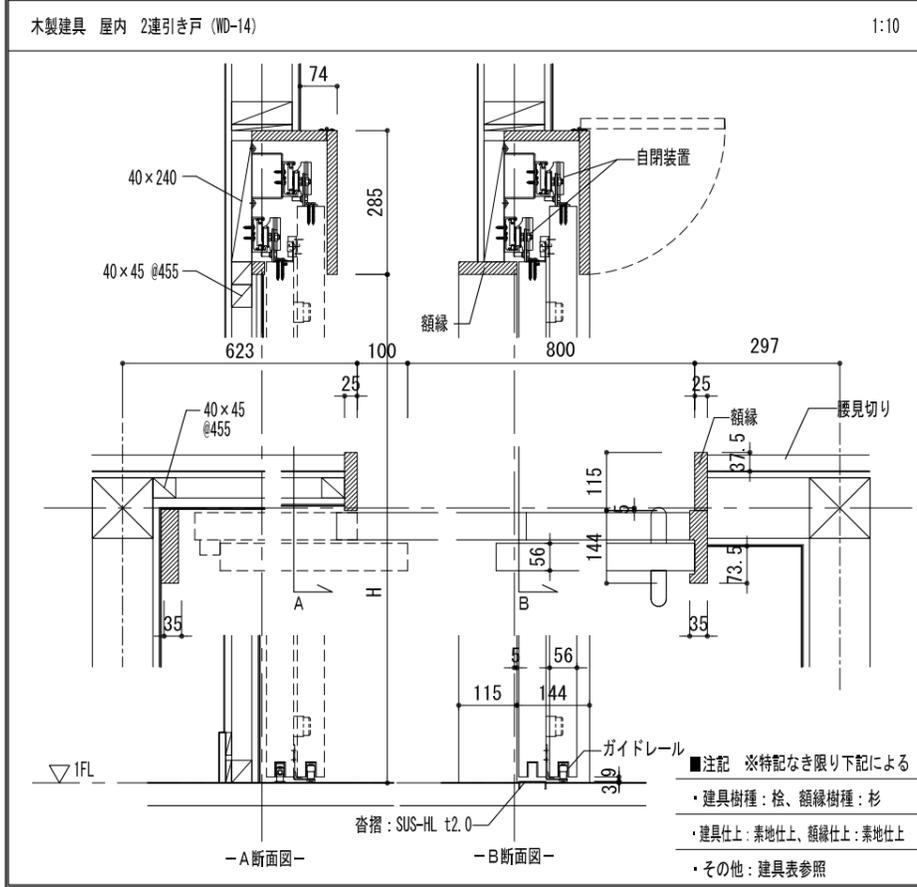
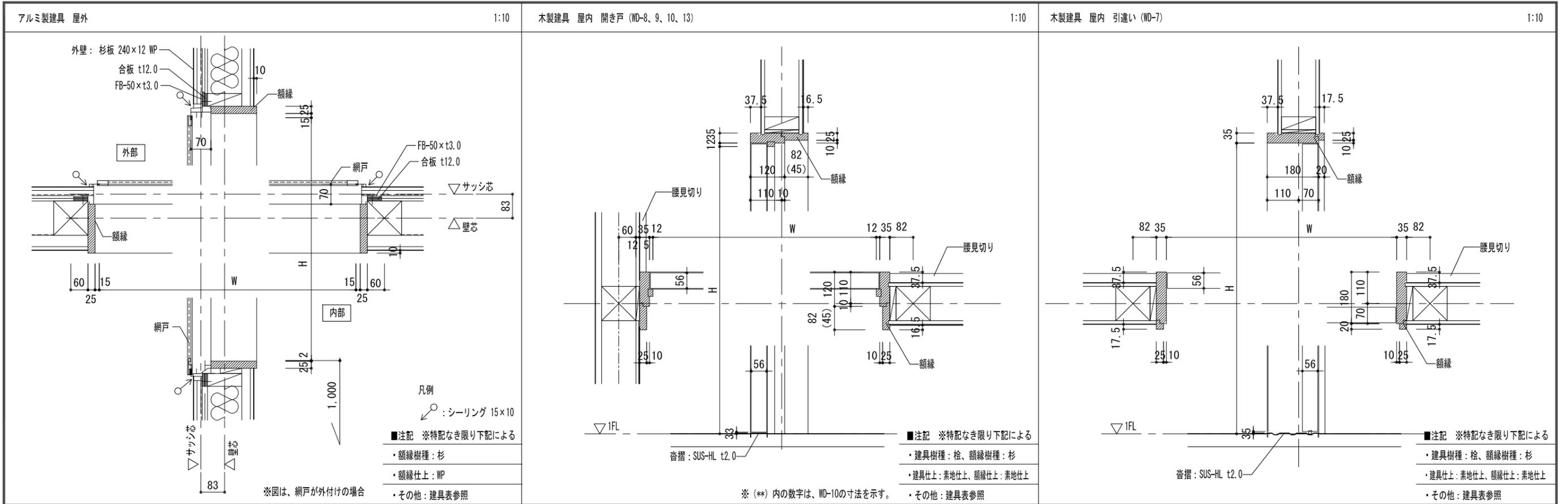
亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	部分詳細図 2	S=1:10, 20	A-35



亀山市

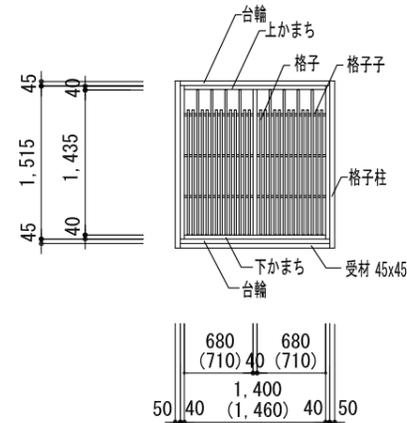
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	部分詳細図 3	S=1:10, 50	A-36



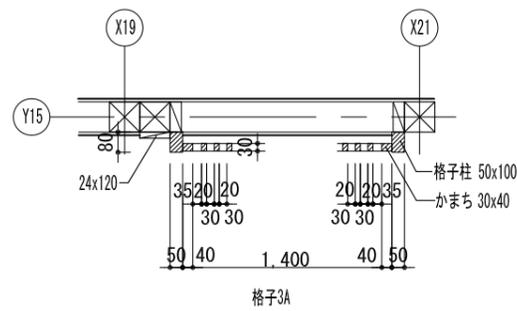
材質、仕上

格子柱	杉 素地仕上
かまち・上かまち・下かまち	杉 素地仕上
格子・格子子	杉 素地仕上
台輪	杉 素地仕上

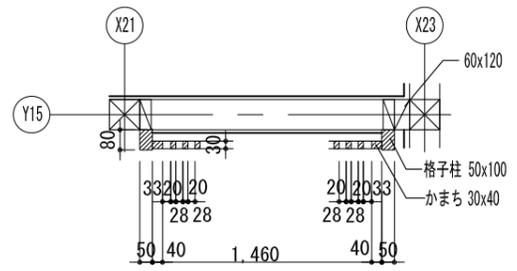
※ (***) は、平格子3Bの寸法を示す。



立面図 1:50

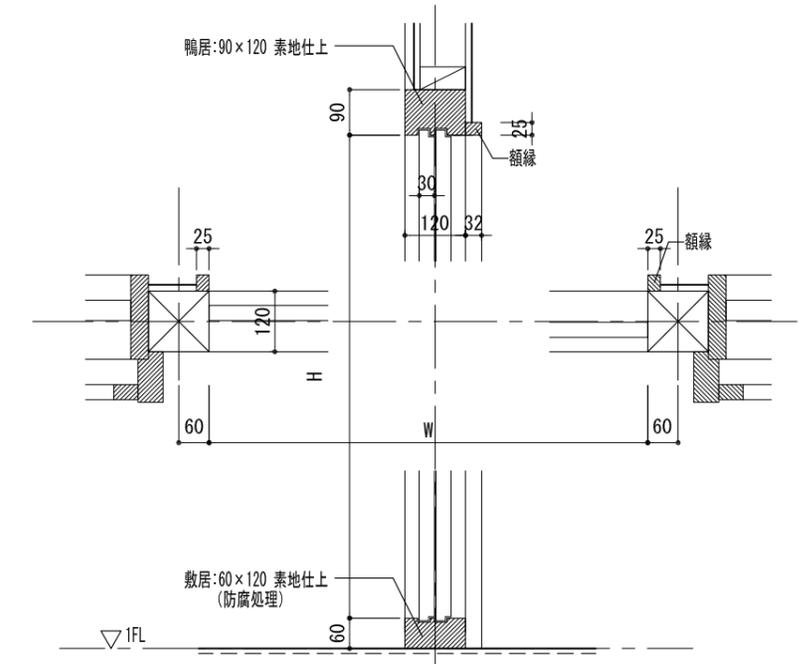
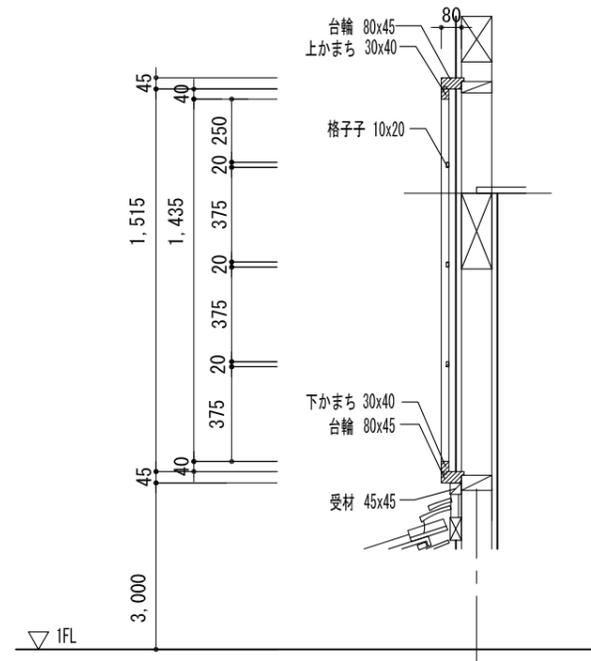


格子3A



格子3B

平面詳細図 1:20

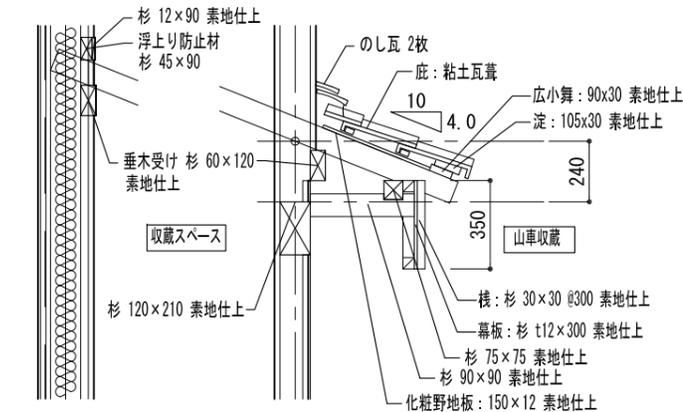


■注記 ※特記なき限り下記による

- ・建具樹種：桧、額縁樹種：杉
- ・建具仕上：素地仕上、額縁仕上：素地仕上
- ・その他：建具表参照

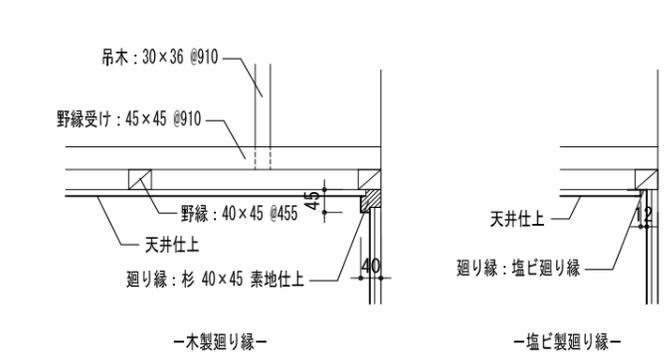
収納スペース、町並み演出詳細図

1:20



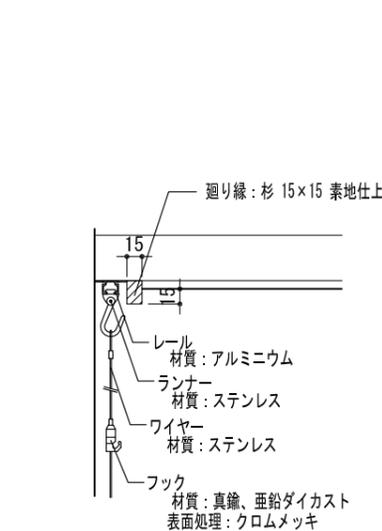
天井下地、廻り縁

1:10



ピクチャーレール

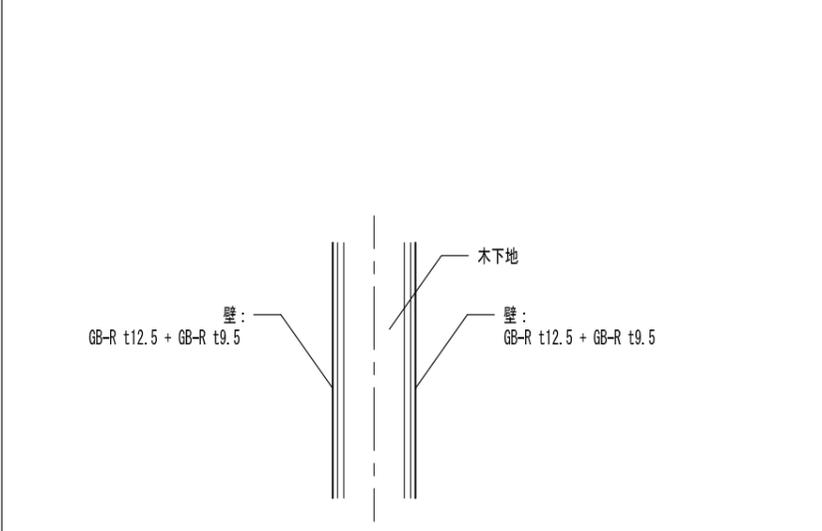
1:5



■注記

中量用、ハンガー 2本/m

小屋裏 隔壁 (令114条 3項)

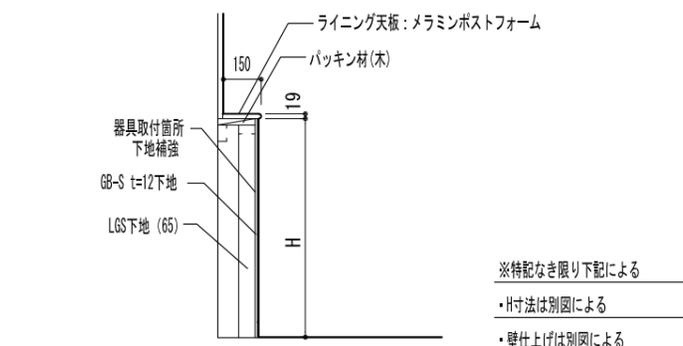


■注記

※建告示第1358号による

ライニング

1:20

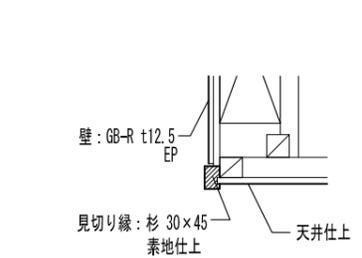


※特記なき限り下記による

- ・H寸法は別図による
- ・壁仕上は別図による

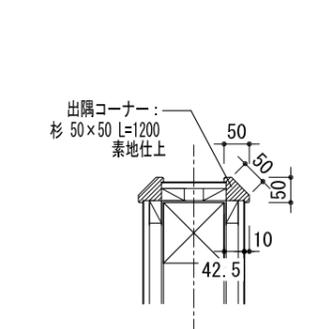
展示室下り天井

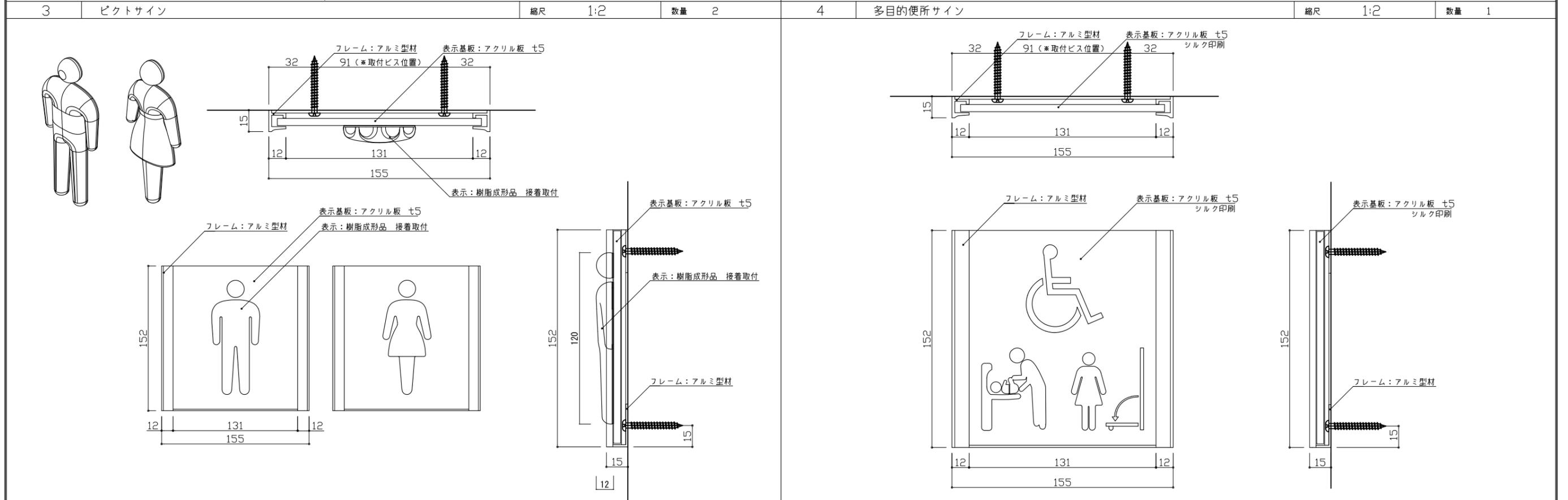
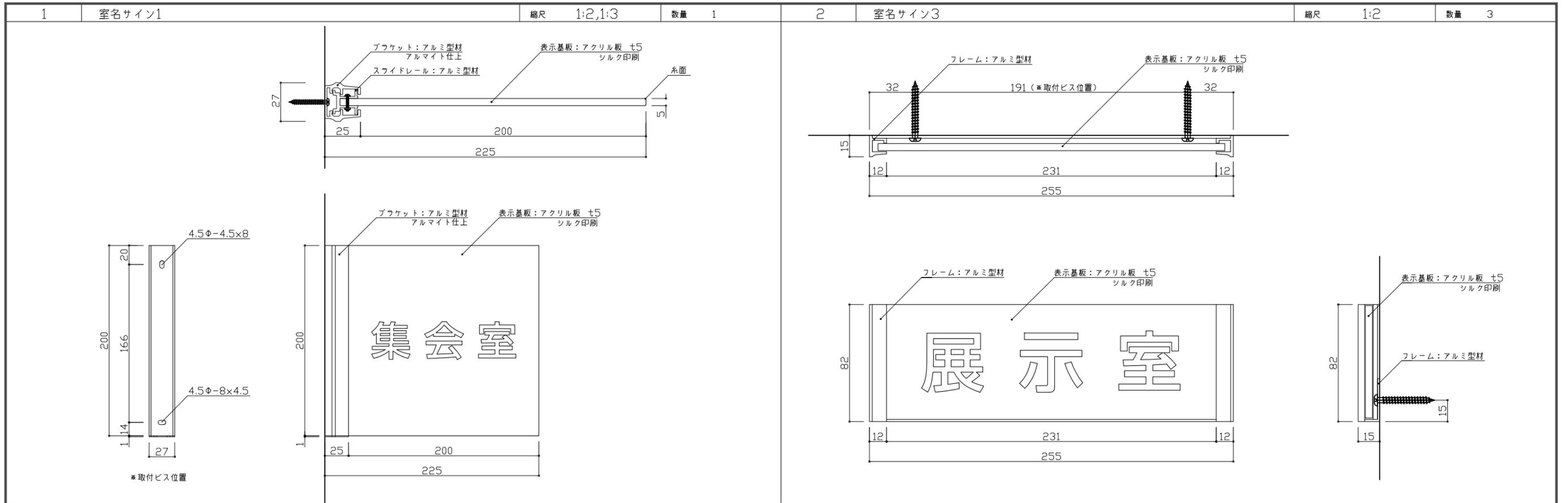
1:10



出隅コーナー

1:10

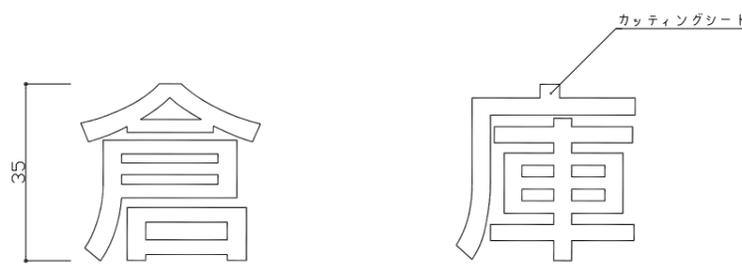
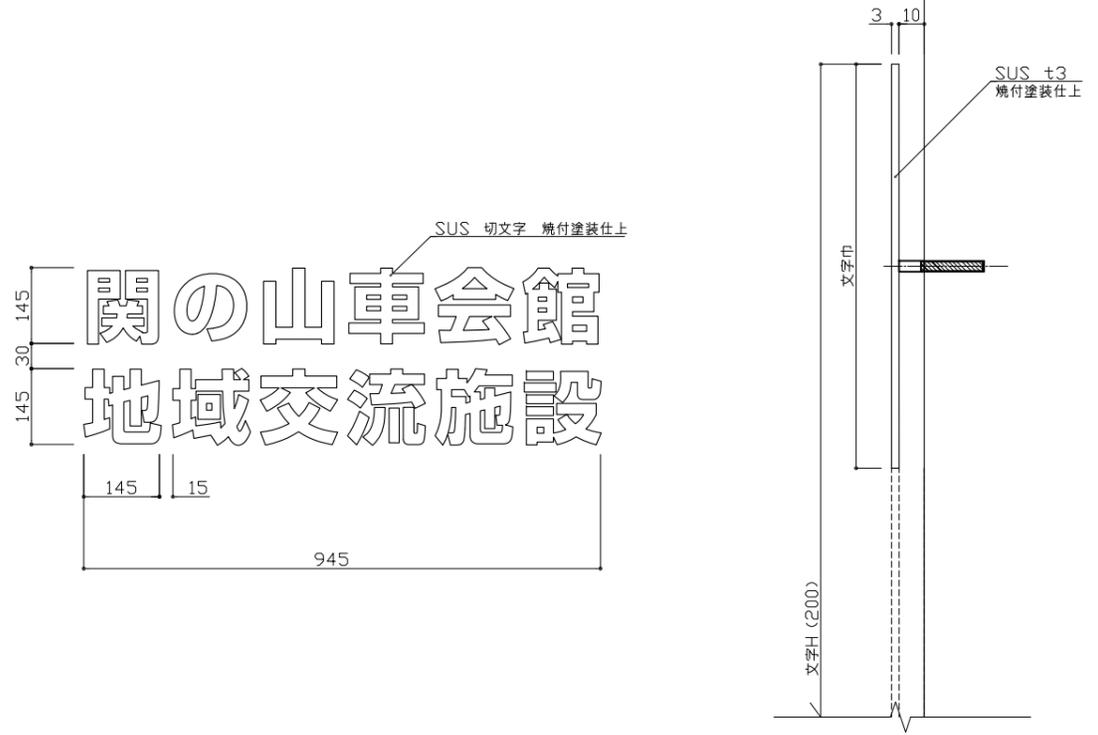


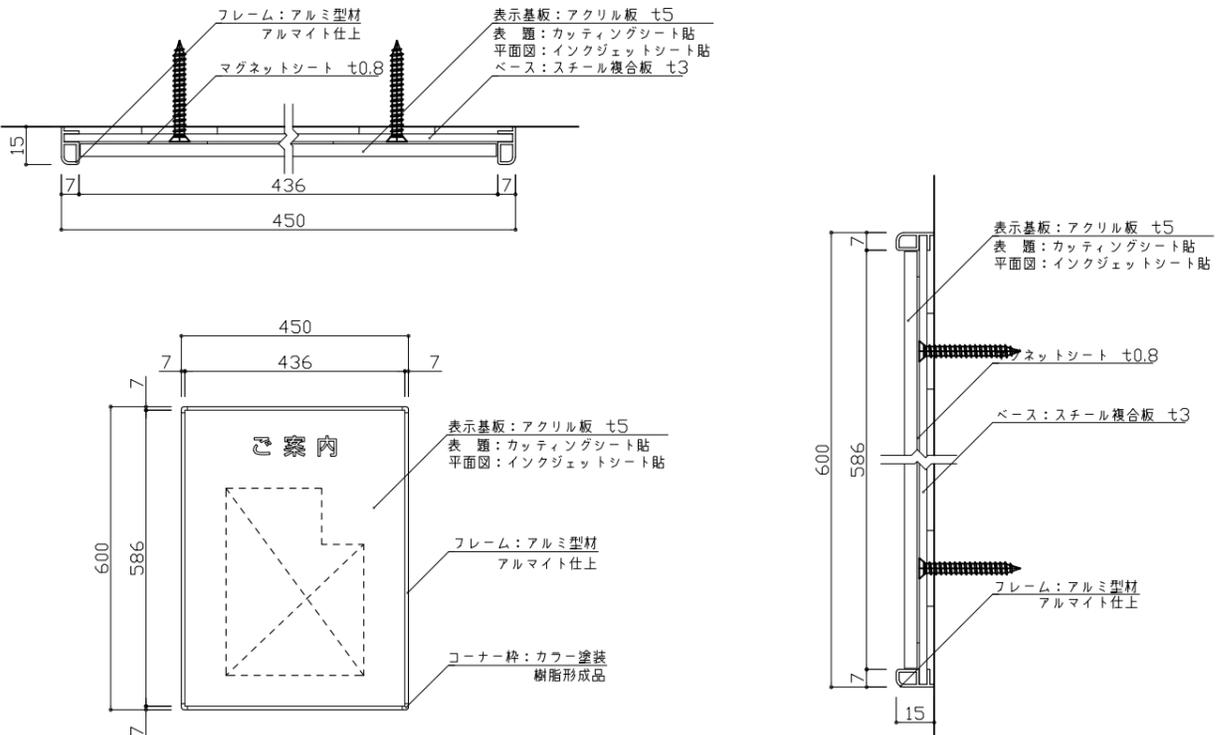


亀山市

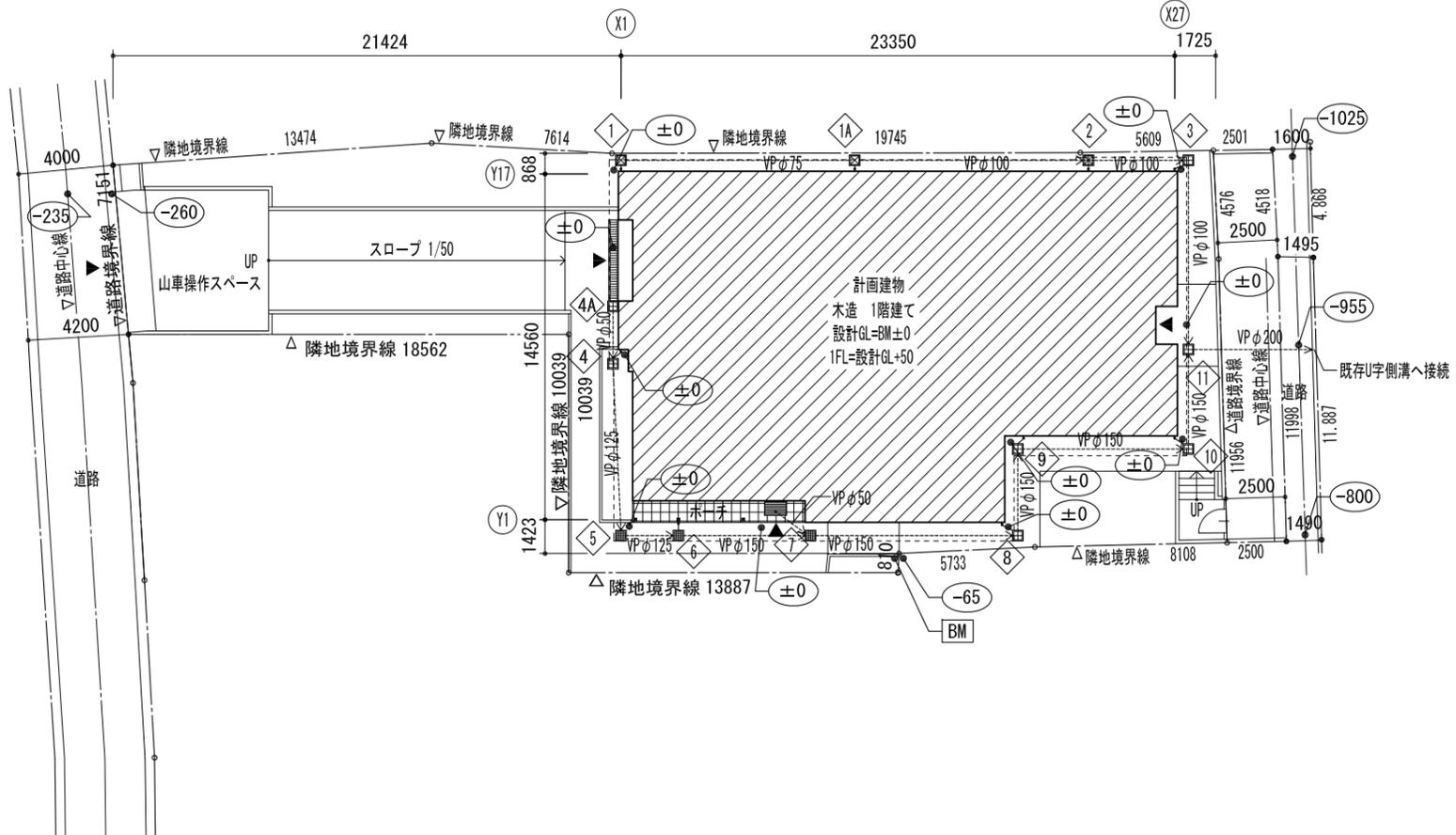
日付
備考

工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
関の山車会館地域交流施設新築工事	サイン詳細図 1	S=1:2, 3, 6	A-41

<p>5 バックヤードサイン 縮尺 1:1 数量 2</p> 	<p>6 建物銘板 縮尺 1:2,10 数量 1</p> 
--	---

<p>6 案内板 縮尺 1:2,1:10 数量 1</p> 	<p>■サイン特記仕様</p> <p>[1]使用材料</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 木材 : VOC商品 (ホルムアルデヒド基準F☆☆☆☆対応) とする。 b. アルミ : JIS-H4100 A-6063 S-T5 (アルミ押出型材) c. アクリル : JIS-K-6718 d. ステンレス : JIS-G4305 SUS304、HL仕上 <p>[2]フォント</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 書体については、丸ゴシックは「スーラDB」、角ゴシックは「新ゴM」を基準とする。 *ただし、監督員より特定の書体の指示があった場合にはこの限りではない。 <p>[3]ピクトグラム</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 図柄については、原稿を作成し監督員の承認を受けること。 <p>[4]色の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> a. カラーユニバーサルデザイン(CUD)に配慮すること。 <p>[5]取付位置・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 取付位置については、視認性を考慮し監督員と協議の上決定する。 b. 取付方法については、取付位置の下地などを考慮し適切な方法で取り付けを行うこと。 c. 障害者用サインについては、自治体福祉要綱に基づき、監督員と協議の上決定する。 <p>[6]その他</p> <ul style="list-style-type: none"> a. 木材については、三重県産材とすること。
---	---

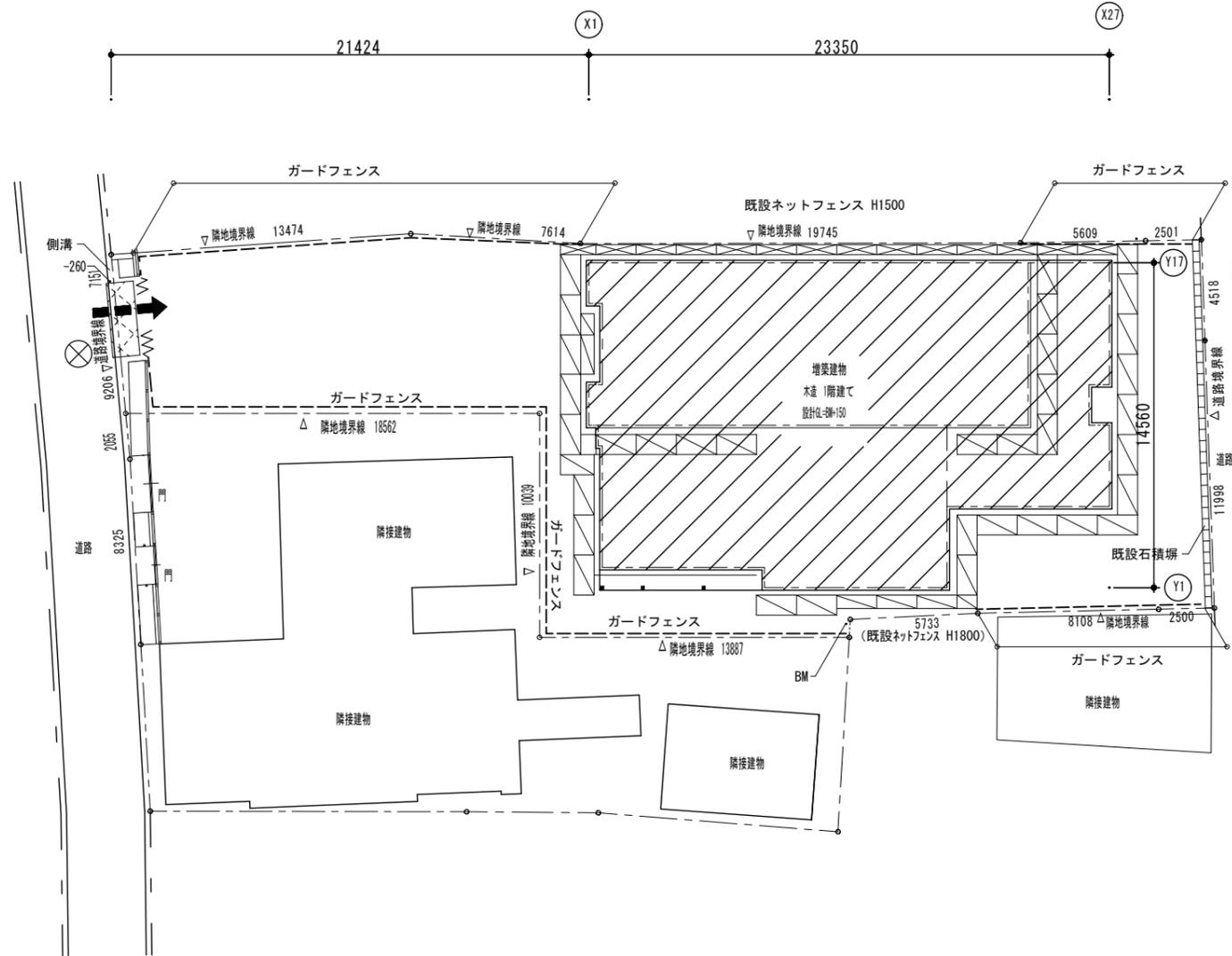
<p>亀山市</p>	<p>日付</p>	<p>備考</p>	<p>工事名称</p>	<p>関の山車会館地域交流施設新築工事</p>	<p>図面内容</p>	<p>サイン詳細図 2</p>	<p>縮尺 S=1:1, 2, 5, 10 図面番号 A-42</p>
------------	-----------	-----------	-------------	-------------------------	-------------	-----------------	---



記号	内容	雨水排水機リスト ※樹天端のレベルは、仮設定。							コンクリート樹 (現場打ち) 1:20	コンクリート樹 (既製品) 1:40	U形側溝 (現場打ち) 1:20																
BM	ベンチマークを示す。(既存石天端、TP +94.39m) 設計GL = BM±0	符号	蓋の種類	耐荷重	内法寸法	設計GLからのレベル		流出管底深さ																			
-150	設計GLからのレベルを示す。					樹天端	流出管底					<p>■注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート設計基準強度 呼び強度18N/mm² スランプ15cm ※<***>は、450角の寸法を示す。 	<p>■注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート設計基準強度 呼び強度18N/mm² スランプ15cm 	<p>■注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート設計基準強度 呼び強度18N/mm² スランプ15cm 													
	計画建物を示す	1	コンクリート蓋	歩行用	300x300	±0	-220	220							<table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>a</th> <th>b</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>300 × 300</td> <td>300</td> <td>450</td> <td>コンクリート 蓋 330 × 330 × 35</td> </tr> <tr> <td>350 × 350</td> <td>350</td> <td>500</td> <td>コンクリート 蓋 400 × 400 × 40</td> </tr> </tbody> </table>	呼び名	a	b	備考	300 × 300	300	450	コンクリート 蓋 330 × 330 × 35	350 × 350	350	500	コンクリート 蓋 400 × 400 × 40
呼び名	a	b	備考																								
300 × 300	300	450	コンクリート 蓋 330 × 330 × 35																								
350 × 350	350	500	コンクリート 蓋 400 × 400 × 40																								
	コンクリート蓋 (歩行用)、コンクリート樹 (既製品)	1A	コンクリート蓋	歩行用	350x350	±0	-300	300																			
	コンクリート蓋 (歩行用)、コンクリート樹 (現場打ち)	2	コンクリート蓋	歩行用	450x450	±0	-415	415																			
	スチールグレーチング蓋 (歩行用)、コンクリート樹 (現場打ち)	3	スチールグレーチング蓋	歩行用	450x450	±0	-455	455																			
	細目スチールグレーチング蓋 (歩行用)、コンクリート樹 (現場打ち)	4	スチールグレーチング蓋	歩行用	450x450	±0	-460	460																			
	スチールグレーチング蓋 (T-6 ボルト固定)、側溝 (W300 現場打ち)	4A	スチールグレーチング蓋	歩行用	450x450	±0	-440	440																			
	VP管 勾配1/100	5	細目スチールグレーチング蓋	歩行用	500x500	±0	-530	530																			
	磁器質タイル張り	6	細目スチールグレーチング蓋	歩行用	500x500	±0	-550	550																			
特記事項	※樹天端レベルについては、監督員と協議の上、決定すること。 ※他発注工事との取り合い施工区分については、監督員と協議のこと。	7	細目スチールグレーチング蓋	歩行用	600x600	±0	-605	605																			
		8	スチールグレーチング蓋	歩行用	600x600	±0	-690	690																			
		9	スチールグレーチング蓋	歩行用	600x600	±0	-725	725																			
		10	スチールグレーチング蓋	歩行用	600x600	±0	-795	795																			
		11	スチールグレーチング蓋	歩行用	600x600	±0	-1150	1150																			

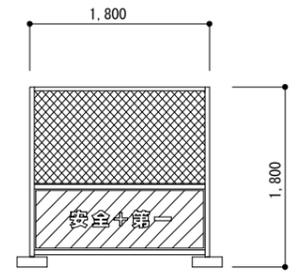
亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	雨水排水計画図 (別途工事、参考図)	図示	A-43



配置図 S=1/200

凡例 (仮設)	
← - - -	工事車両搬入経路
- - - -	ガードフェンス 1800×1800
〰〰〰	シートゲート W3600 H4500
⊠	仮設敷鉄板 t 22
⊠	枠組み本足場 (手すり先行方式) W=900
⊠	くさび緊結式 (手すり先行方式) W=600
⊠	ネット養生シート張り
⊗	交通誘導員 約20人



ガードフェンス (参考) S=1/50

構造設計標準仕様

適用は■印をとする。

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 関の山車会館地域交流施設新築工事
建築場所 三重県亀山市関町中531
(2) 工事種別 ■新築 □増築 □増改築 □改築
(3) 構造種別
■木造(W) □補強コンクリートブロック造(CB) □鉄骨造(S)
□鉄筋コンクリート造(RC) □壁式鉄筋コンクリート造(WRC)
□鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) □壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPRC)
□プレキャスト鉄筋コンクリート造(PRC) □
(4) 階数 地下 階 地上 1階
(5) 主要用途 博物館
(6) 屋上付属物
□高架水槽 kN □キュービクル kN □広告塔 □水蓄熱槽 kN
(7) 特別な荷重
□エレベータ 人乗(ロープ式、油圧式) □リフト kN □ホイスト kN
□倉庫積載床用 N/m² □受水槽 kN
(8) 付帯工事
□門場 □擁壁 □ □ □ □
(9) 増築計画 □有() □無
(10) 構造計算ルート X方向ルート 1-(許容応力度計算) Y方向ルート 1-(許容応力度計算)

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 Fc = N/mm ²	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	■普通	□13.5、■18	18	
土間コンクリート	■普通	□18、■21	18	建物内部
基礎、基礎梁	■普通	□18、■21、□24、□27	18	
柱・梁・床・壁	□普通、□軽量	□18、□21、□24、□27	18	
	□普通、□軽量	□18、□21、□24、□27		
	□普通、□軽量	□18、□21、□24、□27		
土間コンクリート	■普通	□18、■21		外部
押えコンクリート	□普通、□軽量	□13.5、□16、□18		

(2) コンクリートブロック(CB)

A種	B種	C種	厚	□100	□120	□150	□190
----	----	----	---	------	------	------	------

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	■SD295A	D10~D16	■重ね継手 D10~D16 □ガス圧接継手 D19以上 □特殊継手 ()
	□SD295B		
	□SD345	D19以上	
	□SD400	D19~D22	
高強度せん断補強筋	□丸鋼	□SR235	
溶接金網(JIS G 3551)	□		

特殊鋼

種類	使用箇所	現場溶接	設計溶接強度
□SS400 □SM400 □SN400A, B, C	梁・柱	□有 □無	□0.9F □1.0F
□SKR400 □STKR490 □		□有 □無	□0.9F □1.0F
□BCR295 □BCP235 □	柱	□有 □無	□0.9F □1.0F
□SM490A □SM490B, C □	ダイアフラム	□有 □無	□0.9F □1.0F
□SSC400 □	横補剛	□有 □無	□0.9F □1.0F

□使用箇所の詳細については別途図示とする。

- (5) ボルト
□高力ボルト
□普通: F10T □特殊: S10T 認定品(□M12 □M16 □M20 □M22 □M24)
□中ボルト 高力ボルトナベリ係数試験 □要 □否
M-1 2 M 高力ボルト導入力確認試験 □要 □否
■アンカーボルト
■SS400 M12, 16 L=400~600mm ナット(□シングル、□ダブル)
□ISベース(S-06参照)
□頭付スタットボルト
φ= L= mm 使用箇所(□柱 □大梁 □小梁)
(6) 屋根、床、壁 使用箇所
□ALC版 厚 屋根・床・壁
□折版 H= 厚
□デッキプレート(床) 型式 厚
□キーストンプレート 型式 厚
□特殊デッキプレート

3. 地盤

- (1) 地盤調査資料
■有(■敷地内 □近隣) ■ボーリング調査 □平板載荷試験 □水平地盤反力係数の測定
□液化判定 □現場透水試験 □スウェーデン式サウンズ試験
□無(調査予定 □有 □無)
(2) 地盤調査計画
□ボーリング調査 □静的貫入試験 ■標準貫入試験 □水平地盤反力係数の測定
□土質試験 □物理探査 □平板載荷試験 □試験掘(支持層の確認)
(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
(4) ボーリング標準貫入値、土質構成(基礎・杭の位置を明記すること)

深度	土質	N値	標準貫入試験						調査地番
			10	20	30	40	50	60	
1.									○位置図 別紙による ○支持地盤、地層及び深さについてのコメント 表面部全体に入念な締め固めをおこなう ○孔内水位 GL - m ○備考
2.									
3.									
4.									
5.									
6.									
7.									
8.									
9.									
10.									
11.									
12.									
13.									
14.									
15.									
16.									
17.									
18.									
19.									
20.									
21.									

4. 地業工事

- (1) 直接基礎
■ベタ基礎 □布基礎 □独立基礎 試験掘 □有 ■無
深さ GL-0.25m
長期許容支持力 30kN/m² 載荷試験 ■有 □無
(2) 杭基礎 支持層-

杭種	材料	施工法	備考
□RC □PRC	PRC(□Ⅰ種 □Ⅱ種 □Ⅲ種)	□打ち込み	
□PHC □H鋼	PHC(□A種 □B種 □C種)	□埋込み(セメントミルク工法)	
□鋼管□摩擦杭	鋼材 □SS400 □SKK400	□ジオキシングトップ工法	
□先端羽根付き鋼管杭	□STK490	□	
□場所打ちコンクリート杭	コンクリート Fc N/mm ² スランプ セメント量 kN/m ³ 鉄筋 主筋 SD HOOP SD	□オールケーシング□掘底杭 □リバースサーキュレーション □アースドリル □ミニアース □BH □深礎 { □手掘 □機械掘	掘底杭 日本建築センター認定 第 号 年 月 日

杭仕様□施工計画書承認□杭施工結果報告書
試験杭(□有 □無) (□打ち込み □載荷) 本

杭径(mm)	設計支持力(kN)	杭の先端の深さ(m)	本数	特記事項

- (3) 地盤改良 (セメント系固着材を用いた工法による改良)
工法(■浅層混合処理工法 □深層混合処理工法)
改良範囲、仕様(計測、試験等含む)は構造図(S-27)による

5. 鉄筋コンクリート工事

- (1) コンクリート
■コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関してはJASS5(2009)による。
■耐久設計基準強度 Fd ■一般 □標準 □長期
■セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
■調合計画は、工事開始前に工事監督者の承認を得ること。
■寒中、曇中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み養生、管理方法など必要事項について、工事監督者の承認を得ること。
■フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
■構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体(JASS5T-603)は、現場水中養生または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が150m³を超える場合は、150m³ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。
なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
■ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。
(2) 鉄筋
■鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。施工はJASS5(2009)による。
□高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定されるD種1号適合品とする。
■鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。
□D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
200箇所ごとに1回行い、1回の試験は5本以上とする。
外観検査 □有 □無、引張試験 □有 □無、超音波試験 □有 □無
□柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、□H型(タガ型) □W型(溶接型) □S型(スパイラル型)とする。
□コンクリート及び鉄筋の試験は、「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱要綱」第4条の試験機関で行うこと。
試験機関名 未定 (都知事登録第 号)
代行業者名 未定
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。
(3) 型枠
■材料 合板厚 12mmを標準とする。 ■施工はJASS5による。
■型枠存置期間

種類	部位	せき板				支柱		
		基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ下		はり下		
セメントの種類 在置期間の平均気温	単強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	単強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	単強ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント		
	高卵セメントA種	高卵セメントA種	高卵セメントA種	高卵セメントA種	高卵セメントA種	普通ポルトランドセメント		
	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	シリカセメントA種	高卵セメントA種 シリカセメントA種		
コンクリートの材令(日)	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5℃~15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度		5.0N/mm ²		設計基準強度の50%		設計基準強度の85%		100%

- 注) 1 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監督者の指示による。
注) 2 大ばり、支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上層のコンクリート打ち後とする。
注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監督者の指示による。

6. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
■設備機器の架台及び基礎については工事監督者の承認を得ること。
■床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

7. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
■各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監督者に報告すること。
■必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

亀山市		日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
				関の山車会館地域交流施設新築工事	構造設計標準仕様書		S-01

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(木造用)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
 d: 異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D: 部材の成 R: 半径
 @: 間隔 r: 半径 CL: 中心線 lo: 部材間の内法距離 ho: 部材間の内法高さ
 ST: あばら筋 HOOP: 帯筋 S.HOOP: 補助帯筋 φ: 直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形形状のキャップタイにのみ用いる。 ※片持スラブ上端筋の先端
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	

折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は3d以上、D19以上は、4d以上

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

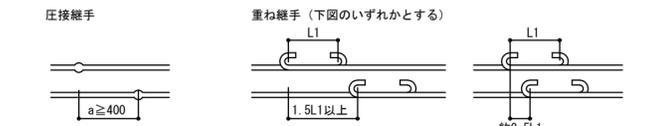
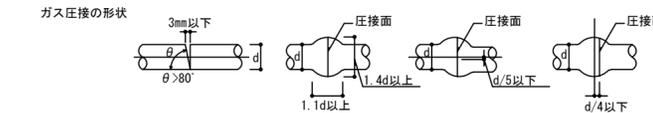
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295A SR295B、SD345	16φ以下 D16以下	3d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A SR295B、SD345	19φ以下 D19以下	4d以上
			16φ以下 D16以下	4d以上
			19φ~25φ D19~D25	6d以上
			28φ~32φ D29~D38	8d以上

(3) 鉄筋の定着および重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
		一般(L2)	下ば筋(L3)		
SR235	21~36	35dフックつき	25dフックつき	15cmフックつき	35dフックつき
	18以下	45dフックつき			45dフックつき
SD295A SD295B SD345	21~36	35dまたは25dフックつき	25dまたは15dフックつき	10dかつ15cm以上	40dまたは30dフックつき
	18以下	40dまたは30dフックつき			45dまたは35dフックつき

継手

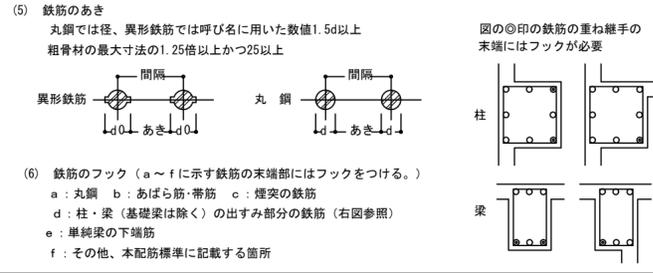
- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない



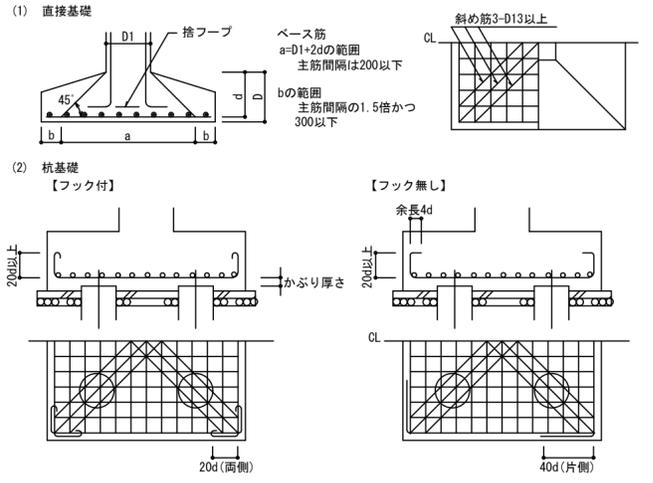
(4) かぶり厚さ(単位: mm)

部位	設計かぶり厚さ(mm)		最少かぶり厚さ(mm)	
	設計かぶり厚さ(mm)	最少かぶり厚さ(mm)		
土に接しない部分	屋根スラブ	屋 内	30	20
	床スラブ	屋 外	40 (1)	30 (20)
	非耐力壁	屋 内	40	30
	柱	屋 外	50 (2)	40 (30)
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40 (30)
	基礎・擁壁		70	60 (4)

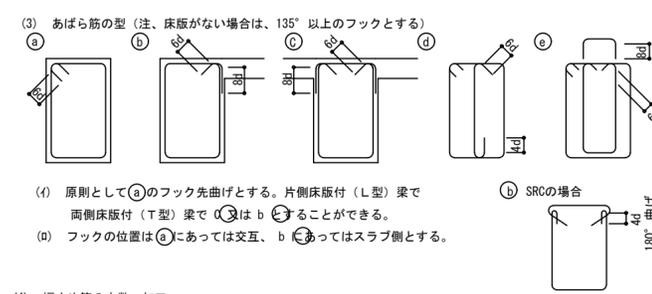
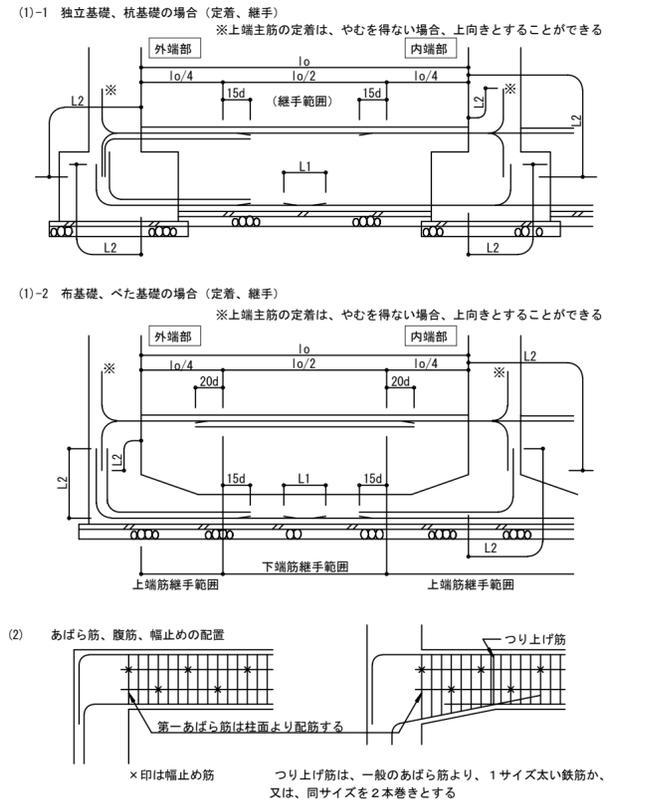
- 注) (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
 (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 (5) () 内は仕上げがある場合。



3. 基礎



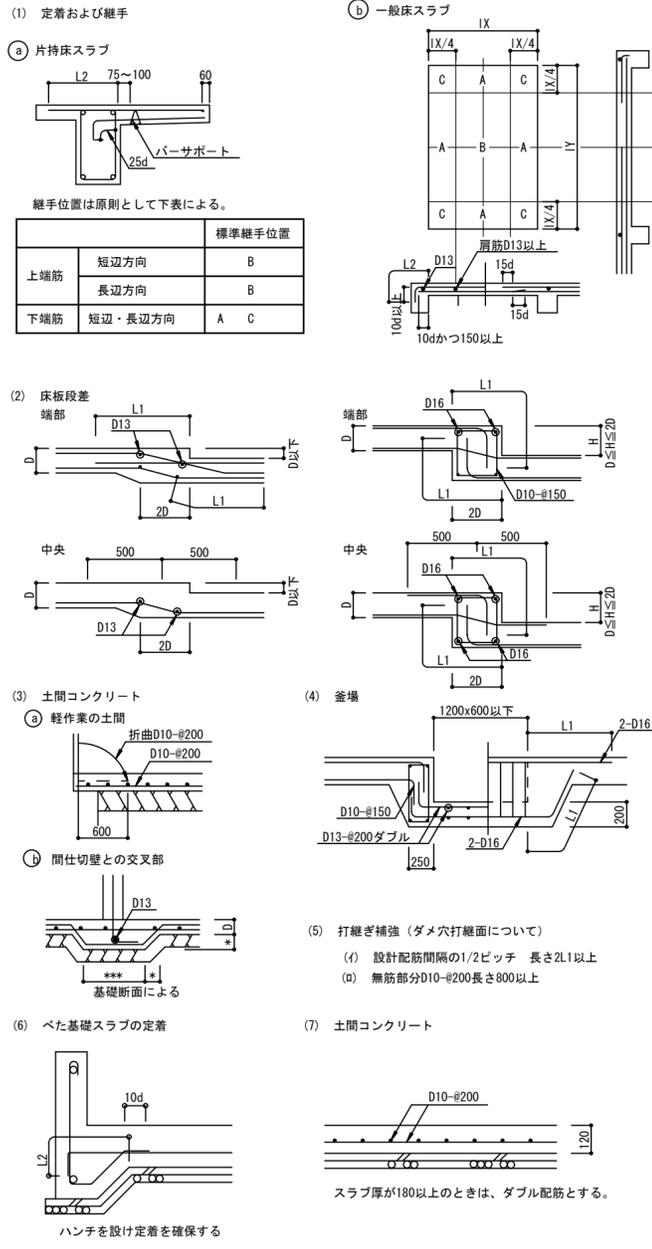
4. 地中梁



(4) 幅止め筋の本数、加工

	D<600不要
腹筋	600≦D<900 2-D10(9φ)1段 900≦D<1200 4-D10(9φ)2段 1200≦D D10(9φ)≦300以内
幅止め筋	D10(9φ)≦1000以内で割り付ける

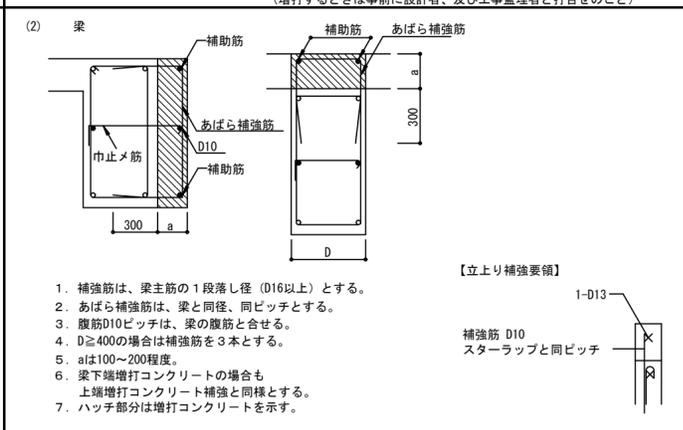
5. 床板



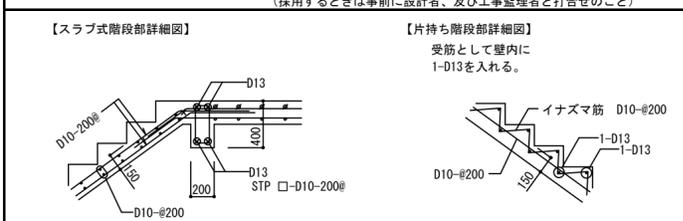
6. 人通り補強

※基礎リスト参照

7. 梁増打コンクリート補強



8. RC階段



木造構造標準図(1)

1. 水平構面の剛性が十分期待できる床の施工 (剛な床組)

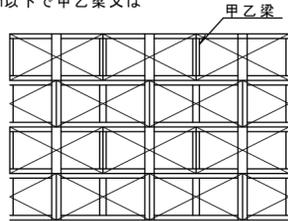
(床の剛性は耐力壁線に囲まれた構面を単位に考える)

1. 床下地板は構造用合板24mm以上を使用し、合板の四周辺は床ばり、胴差または受け材等に固定する。

2. 断面寸法105mm×105mm以上の床ばりを1,820mm内外の間隔にはり間方向またはけた行方向に配置する。

3. 床板又は床下地板の施工方法

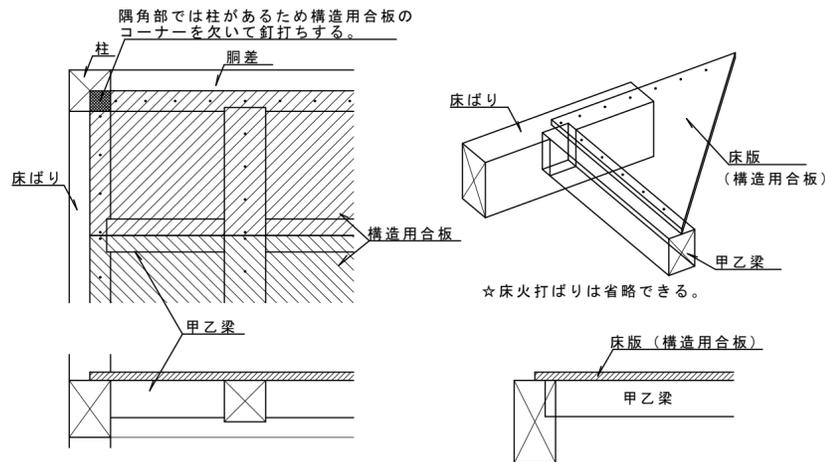
- 種類-厚さ24mm以上の構造用合板を用いる。そのサイズは3×6版とし小間切れしたものは使用しない。
- 張り方-構造用合板を千鳥張りとする。構造用合板の継手は梁上で突きつけ継ぎとする。
- 釘打ち-構造用合板の釘打ちはN75を用い釘打間隔150mm以下で甲乙梁又は床ばり・胴差・受け材等に4周平打ちする。



構造用合板の張り方の例(千鳥張り)

a. 床ばり、胴差の上端高さが同じ場合の施工方法

根太は床ばり、胴差に大入れ落しこみ釘2N75斜め打ちとするか、又は根太受け金物等を用いて床ばり、胴差に留めつける。この場合構造用合板を床ばり、胴差に釘で直ばりすることが重要である。ただし、隅角部では柱があるため構造用合板のコーナーを欠いて釘打ちする。



☆床火打ばりは省略できる。

床版(構造用合板)

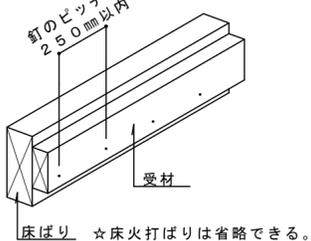
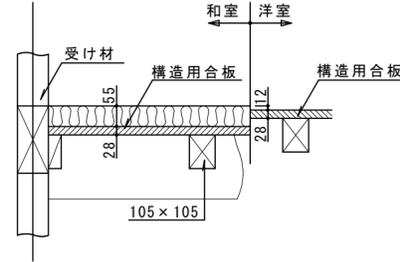
甲乙梁

b. 根太と床ばり、胴差の上端高さが異なる場合の施工方法

床ばり、胴差に際根太を受材とし、N90釘打ち間隔250mmで平打ちする。また、床ばり、胴差の際に際根太又は受け材を添えつけ構造用合板の四周辺を固定する。

【受け材で固定する方法】

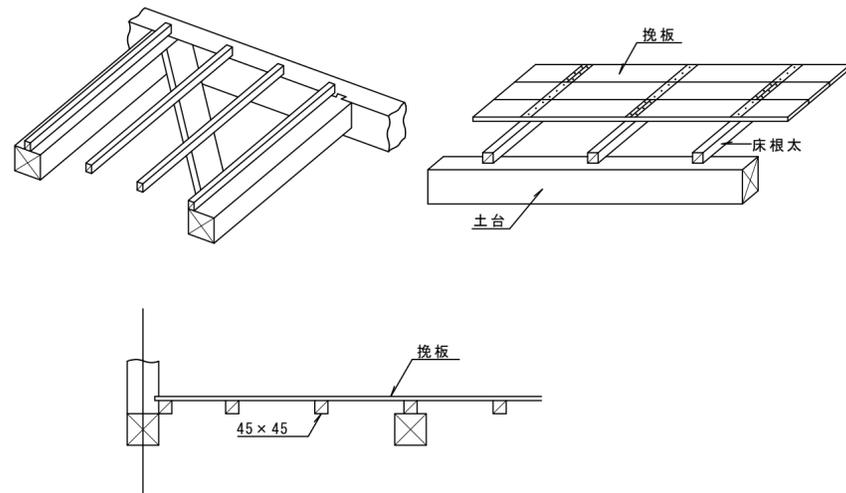
【際根太】



床ばり ☆床火打ばりは省略できる。

c. 1階がこびり根太の施工方法

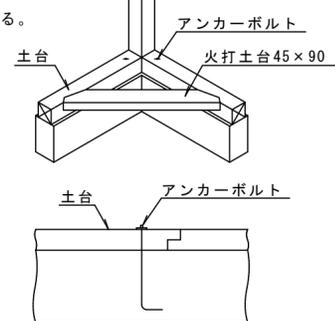
- 耐力壁線に囲まれた隅角部には必ず火打ばり45×90を挿入する。
- 床板の種類は、厚さ12mm以上の構造用合板又は挽板等を用いる。
- 床根太の寸法は45×45mmを標準とし、その根太間隔は303mm以下とする。ただし、土台・大引き間隔は910mm以下とする。



2. 柱と基礎(土台)の緊結

1. アンカーボルトの配置

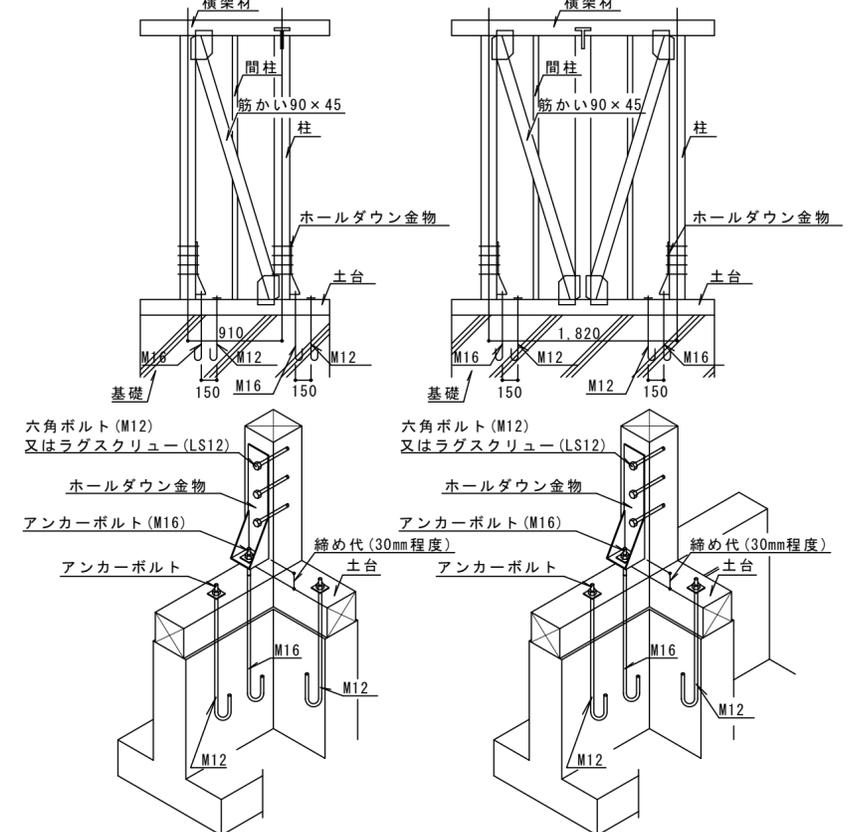
- 筋かいを設けた耐力壁の部分は両端の柱の下部に近い位置とする。
- 構造用合板を張った耐力壁の部分は上記の(i)に準ずる。
- 隅角部、土台継ぎ手及び土台仕口箇所の端部は右図による。
- 上記イ~ハ以外の部分においては間隔2m以内となるような位置とする。



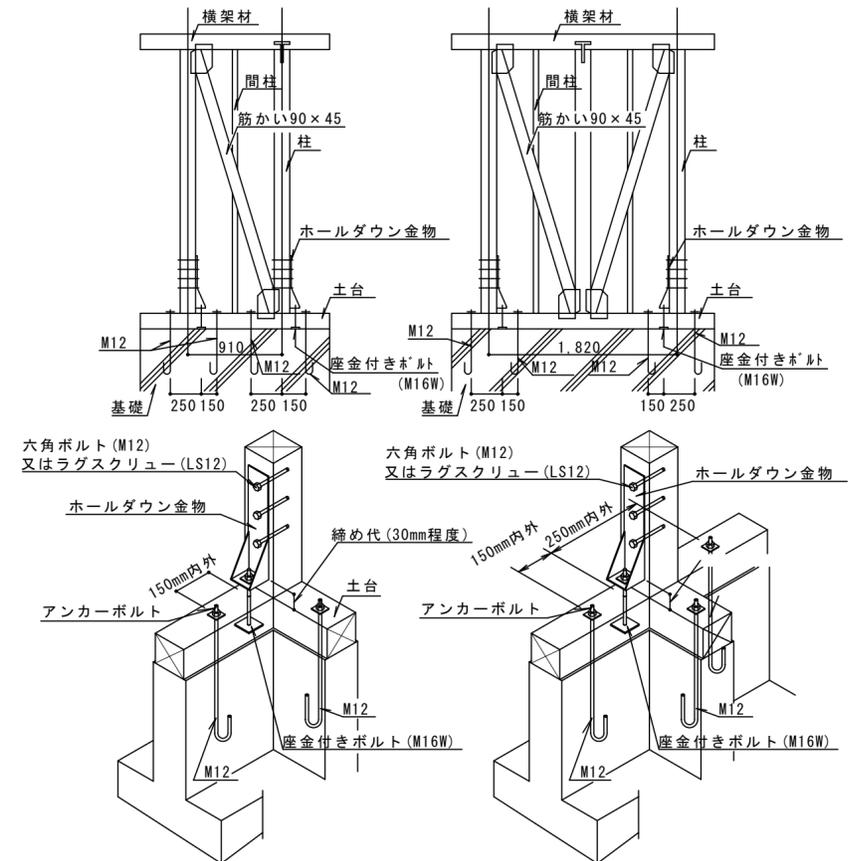
2. アンカーボルトの施工

- アンカーボルトのコンクリート基礎への埋込み長さはA-60、A-70(M16)については360mm以上、A-40(M12)については250mm以上とする。
- アンカーボルトの芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合わせ、適切な機器などで正確に行う。
- アンカーボルトの保持は、型板を用いるなどして正確に行い、移動、下部の振れなどのないように、十分固定する。
- アンカーボルトの保持及び埋込みは鉄筋などを用いて組み立て、適切な補助材で型枠の類に固定して、コンクリートの打ち込みを行う。
- アンカーボルトは、衝撃などにより有害な曲がりが生じないように取り扱う。枠の類に固定して、コンクリートの打ち込みを行う(ねじ部の損傷、さびの発生、汚損を防止するために布、ビニールテープなどで巻いて養生を行う)。

a. ホールダウン用アンカーボルトを用いて直接基礎に緊結する場合



b. 座金付きボルト(M16W)を用いて土台と柱を緊結する場合



亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	木構造標準図(1)		S-03

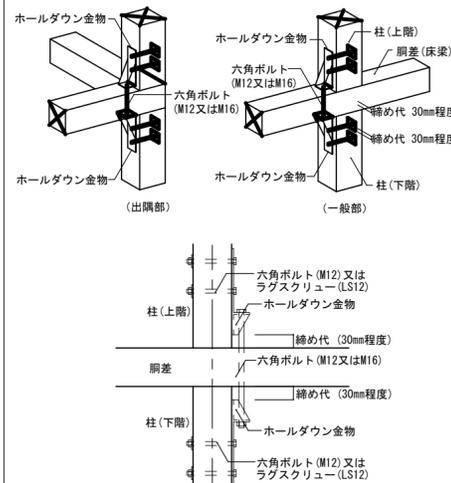
木造構造標準図(2)

3. 軸組の種類と倍率 令第46条第3項の軸組と同等以上の耐力の軸組の種類と倍率(告示1100号)

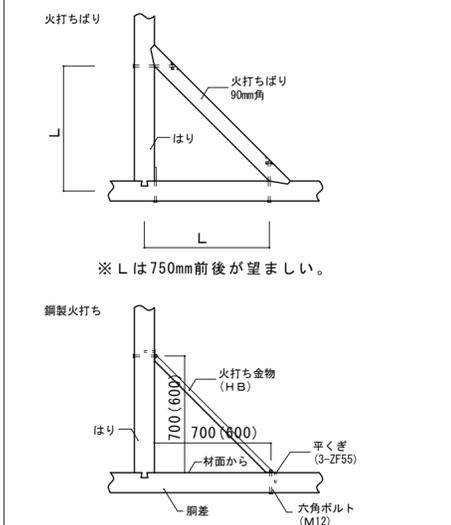
軸組図	番号	軸組の種類	軸組倍率	
			片	たすき
	d	筋違耐力壁の幅・高さ比高さ/幅 ≤ 3.5 9φ以上 鉄筋筋違い	1.0	2.0
	e	15×90以上 貫筋違い	1.0	2.0
	f	30×90以上 三ツ割筋違い	1.5	3.0
	g	45×90以上 ニツ割筋違い	2.0	4.0
	h	90×90以上 柱同寸筋違い	3.0	5.0

4. 通し柱

- (1) 通し柱は、次のいずれかによる。
 イ) 1階から3階に達する通し柱とする場合
 ロ) 1階から2階までの通し柱と2階から3階までの通し柱を組合せて使用する場合、当該通し柱と管柱とは接合金物で緊結する。
 (2) 通し柱に代わる管柱の補強
 ホールダウン金物の取付は、次による。
 イ) 上階の柱および下階の柱にホールダウン金物を用い、柱の下部及び上部に締め代を取り、六角ボルト、ラグスクリュー等で各々取付ける。
 ロ) ホールダウン金物は相互に六角ボルトを用い緊結する。

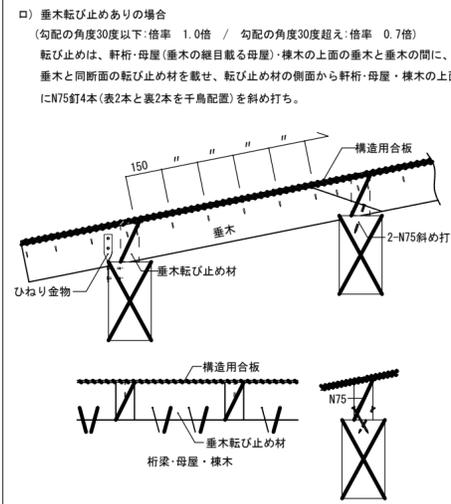
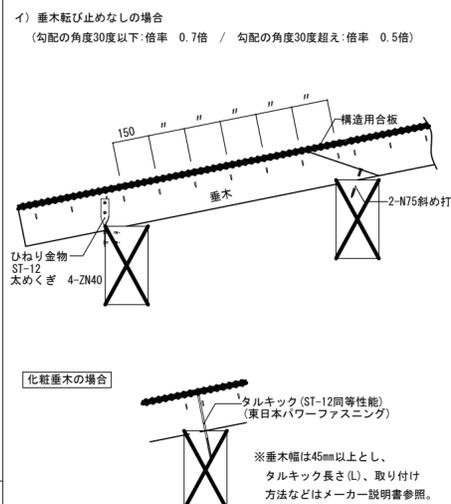


5. 火打ち梁、鋼製火打ちの施工方法

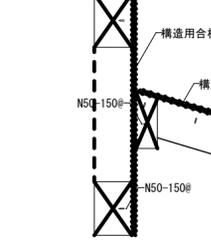


6. 勾配屋根水平構面の仕様

- (1) 種類：厚さ9mm以上の構造用合板を用いる。そのサイズは出来るだけ大きいままとし、小間切れにしたものは使用しない。
 (2) 張り方：構造用合板の長手方向を垂木と直交させる。構造用合板の継手は垂木上で突きつけ継ぎとし、継目下に受け材(45×45mm以上)を設ける。
 (3) 釘打ち：構造用合板の釘打ちはN50を用い、釘打ち間隔150mm以下で垂木又は梁・母屋・受け材等に平打ちする。
 (4) 垂木の寸法は45×45mmを標準とし、その垂木間隔は、45mm以下とする。軒桁・母屋・棟木の上面に垂木を載せ、垂木の側面から軒桁・母屋・棟木の上面に対してN75釘本を斜め打ちとする。

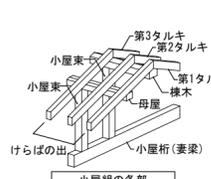


7. 屋根・小屋組の耐風対策

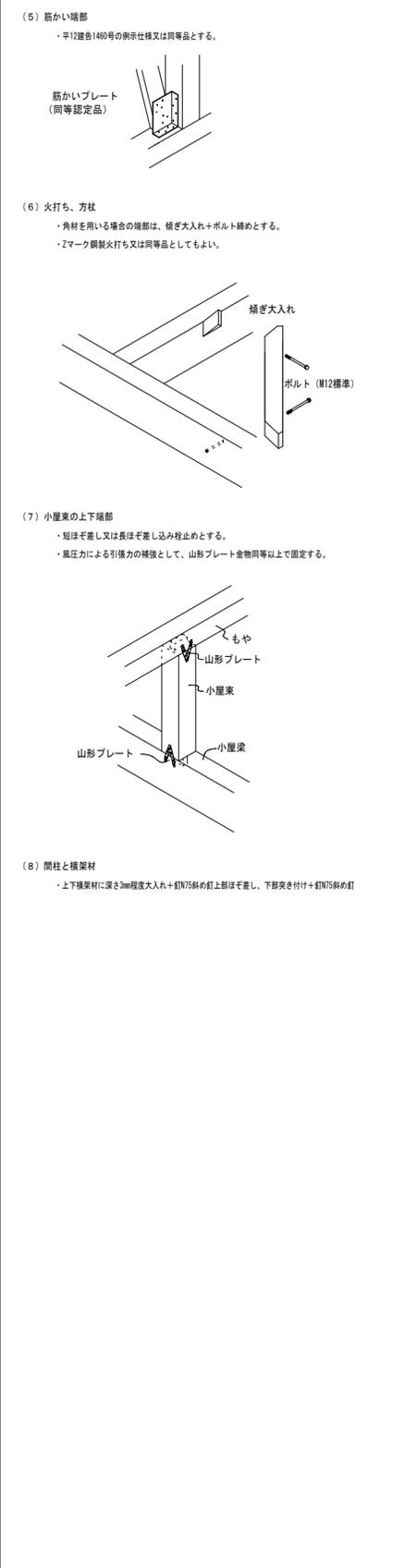
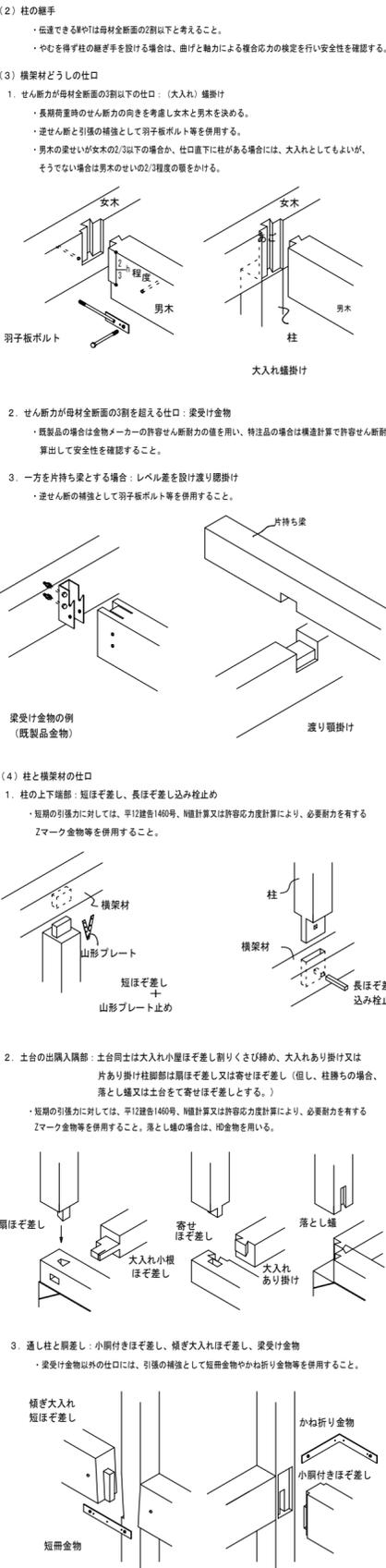
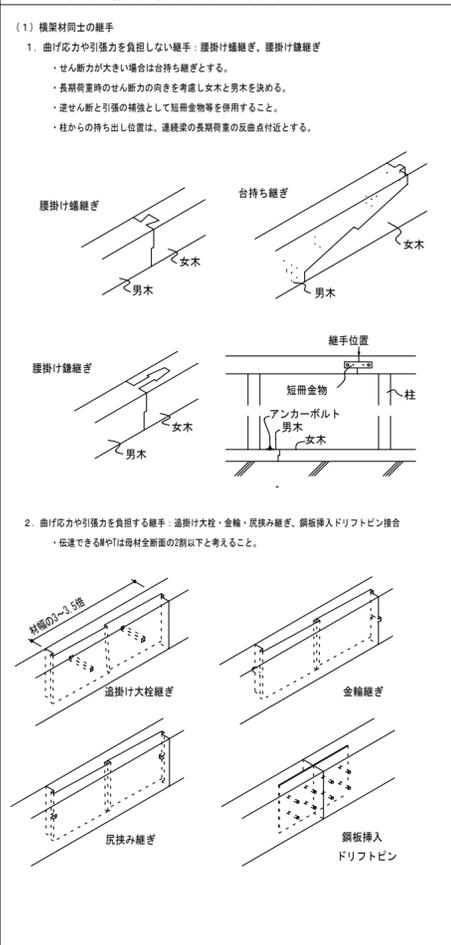


8. 防風防蟻処理

- 木材の防風防蟻措置
 (1) 土台
 イ) 防風防蟻材はJASに定める保存処理性能区分K3相当以上のものとする。
 ロ) 土台に接する外壁の下端には水切りを設ける。
 (2) 土台以外の木部の防風防蟻措置
 イ) 地面からの高さが1m以内の外壁の軸組(土台を除く。室内側に露出した部分を除く。)には防風防蟻措置を施す。
 (3) 薬剤の品質等
 イ) 防風防蟻剤を用いて工場で処理した防風防蟻処理材
 ・製材等のJASの保存処理(K1を除く)の規格に適合するもの。
 ・JIS K 1570(木材保存剤)に定める加圧注入用木材保存剤を用いてJIS A 9002(木質材料の加圧式保存処理方法)による加圧式保存処理を行った材料。
 ・上記以外の場合は、防風・防蟻に有効な薬剤が、塗布、加圧注入、浸漬、吹付けられたもの又は接着剤が混入された防風・防蟻処理材で、特記による。(ただし、集材材においては接着剤に混入されたものを除く。)
 ロ) 薬剤による現場処理を行う場合の防風・防蟻薬剤の品質
 ・木材の防風防蟻に使用する薬剤の品質は、特記による。特記がない場合は、木材保存協会認定の薬剤又はJIS K 1571(木材保存剤の性能試験方法及び性能基準)によって試験し、その性能基準に適合する表面処理用薬剤とする。
 ・木材の防風防蟻及び防蟻措置に使用する薬剤の品質は、特記による。特記がない場合は、(社)日本しるあり対策協会(以下「しるあり協会」という。)又は木材保存協会認定の防風・防蟻剤とし、しるあり協会制定の標準仕様書に準ずる。
 ハ) 薬剤による現場処理を行う場合の木材の処理方法は特記による。特記がない場合は次による。
 ・塗布、吹付け、浸漬に使用する薬剤の量は、木材及び合板の表面積1㎡につき300mlを標準とする。
 ・処理むらが生じることのないように上記の薬剤の範囲内の量で、2回処理以上とする。
 ・木材の木口、仕口、継手の接合箇所、き裂部分、コンクリート及びつか石などに接する部分は、特に念入りに処理を行なう。
 ニ) 現場の加工、切断、穿孔箇所等は、ハ)に準じて塗布あるいは吹付け処理を行う。
 ホ) クロドリビスを添加した薬剤は使用しない。



9. 軸組構法接合部の標準仕様



亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	木構造標準図(2)		S-04

軸組工法用金物規格 (Zマーク表示金物) (財) 日本住宅・木材技術センター

使用の有無	接合金物 (単位: mm)				使用の有無	接合金物 (単位: mm)			
	種類・記号	形状・寸法	使用接合具	用途		種類・記号	形状・寸法	使用接合具	用途
○	柱脚金物 PB-33 PB-42		六角ボルト M12×110 六角ナット M12 または 金ねじボルト M12×115 六角袋ナット M12	玄関の独立柱等の柱脚	○	太めくぎ ZN40 ZN65 ZN90		六角ボルト M12 六角ナット M12	L (mm): 110, 125, 140, 150, 165, 180, 195, 210, 225, 240, 255, 270, 285, 300, 315, 330, 345, 360, 375, 390, 405, 420, 435, 450, 480, 510, 540, 570, 600
●	羽子板ボルト SB・E		六角ボルト M12 六角ナット M12 角産金 W4.5×40 スクリューくぎ ZS50	小屋ばりや軒げた、軒げたと柱、はり柱及び欄差と通し柱の緊結	●	角産金 W4.5×40		かすがい C120 150	
●	かど金物 CP・L CP・T		太めくぎ ZN65	引張りを受ける柱の上下の接合	○	アンカーボルト A		手違いかすがい CC 120 150 (右ひねり及び左ひねり)	

(注) 平くぎ、角根平頭ボルト及び小型角産金は、それぞれ特定の接合金物に付属する専用の接合具で、前記金物の表中に記載されている通りである。

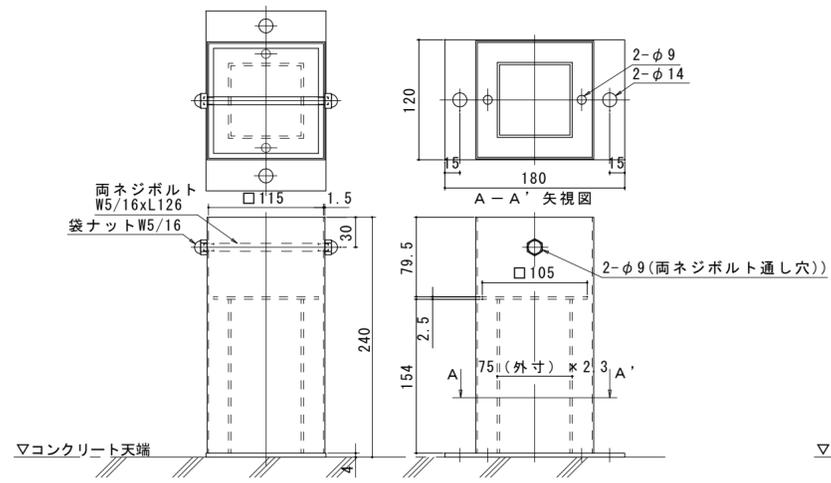
軸組工法用金物規格 (Z・Cマーク表示金物)

(財) 日本住宅・木材技術センター

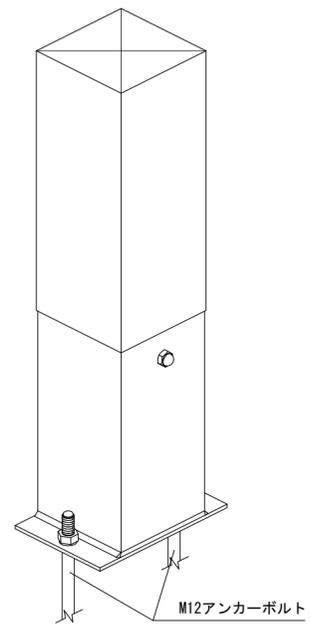
使用の有無	ホールダウン金物 (引き寄せ金物) (単位: mm)			使用の有無	ホールダウン金物 (引き寄せ金物) (単位: mm)		
	記号	形状・寸法	使用接合具・用途		記号	形状・寸法	使用接合具・用途
○	HD-B10		(柱・たて枠へ) (土台へ) (柱・たて枠相互の緊結の金物相互へ) 六角ボルト 2-M12 座金付きボルト 1-M16W 六角ボルト 1-M16 六角ナット 2-M12 六角ナット 1-M16 六角ナット 1-M16 角産金 2-W 4.5×40 角産金 1-W 6.0×54 角産金 2-W 6.0×54 又はラグスクリュー 2-LS12 (用途) 1. 土台と柱・たて枠の緊結 2. 上下階の柱・たて枠相互の緊結	●	S-HD15		(柱・たて枠へ) (土台へ) (柱・たて枠相互の緊結の金物相互へ) 六角ボルト 3-M12 座金付きボルト 1-M16W 六角ボルト 1-M16 六角ナット 3-M12 六角ナット 1-M16 六角ナット 1-M16 角産金 3-W 4.5×40 角産金 1-W 6.0×54 角産金 2-W 6.0×54 又はラグスクリュー 3-LS12 (用途) 1. 土台と柱・たて枠の緊結 2. 上下階の柱・たて枠相互の緊結
○	HD-B15		(柱・たて枠へ) (土台へ) (柱・たて枠相互の緊結の金物相互へ) 六角ボルト 3-M12 座金付きボルト 1-M16W 六角ボルト 1-M16 六角ナット 3-M12 六角ナット 1-M16 六角ナット 1-M16 角産金 3-W 4.5×40 角産金 1-W 6.0×54 角産金 2-W 6.0×54 又はラグスクリュー 3-LS12 (用途) 1. 土台と柱・たて枠の緊結 2. 上下階の柱・たて枠相互の緊結	●	S-HD20		(柱・たて枠へ) (土台へ) (柱・たて枠相互の緊結の金物相互へ) 六角ボルト 4-M12 座金付きボルト 1-M16W 六角ボルト 1-M16 六角ナット 4-M12 六角ナット 1-M16 六角ナット 1-M16 角産金 4-W 4.5×40 角産金 1-W 6.0×54 角産金 2-W 6.0×54 又はラグスクリュー 4-LS12 (用途) 1. 土台と柱・たて枠の緊結 2. 上下階の柱・たて枠相互の緊結
○	HD-B20		(柱・たて枠へ) (土台へ) (柱・たて枠相互の緊結の金物相互へ) 六角ボルト 4-M12 座金付きボルト 1-M16W 六角ボルト 1-M16 六角ナット 4-M12 六角ナット 1-M16 六角ナット 1-M16 角産金 4-W 4.5×40 角産金 1-W 6.0×54 角産金 2-W 6.0×54 又はラグスクリュー 4-LS12 (用途) 1. 土台と柱・たて枠の緊結 2. 上下階の柱・たて枠相互の緊結	●	S-HD25		(柱・たて枠へ) (土台へ) (柱・たて枠相互の緊結の金物相互へ) 六角ボルト 5-M12 座金付きボルト 1-M16W 六角ボルト 1-M16 六角ナット 5-M12 六角ナット 1-M16 六角ナット 1-M16 角産金 5-W 4.5×40 角産金 1-W 6.0×54 角産金 2-W 6.0×54 又はラグスクリュー 5-LS12 (用途) 1. 土台と柱・たて枠の緊結 2. 上下階の柱・たて枠相互の緊結
○	HD-B25		(柱・たて枠へ) (土台へ) (柱・たて枠相互の緊結の金物相互へ) 六角ボルト 5-M12 座金付きボルト 1-M16W 六角ボルト 1-M16 六角ナット 5-M12 六角ナット 1-M16 六角ナット 1-M16 角産金 5-W 4.5×40 角産金 1-W 6.0×54 角産金 2-W 6.0×54 又はラグスクリュー 5-LS12 (用途) 1. 土台と柱・たて枠の緊結 2. 上下階の柱・たて枠相互の緊結	●	BP-2		(柱へ) (筋かいへ) スクリューくぎ 5-ZS50 スクリューくぎ 7-ZS50 角根平頭ボルト 1-M12 (土台・横架材へ) 六角ナット 1-M12 スクリューくぎ 5-ZS50 小型角産金 1-W 2.3×30 (用途) 筋かい (45×90mm) の柱・土台・横架材への緊結
○	HD-B30		(柱・たて枠へ) (土台へ) (柱・たて枠相互の緊結の金物相互へ) 六角ボルト 6-M12 座金付きボルト 1-M16W 六角ボルト 1-M16 六角ナット 6-M12 六角ナット 1-M16 六角ナット 1-M16 角産金 6-W 4.5×40 角産金 1-W 6.0×54 角産金 2-W 6.0×54 又はラグスクリュー 6-LS12 (用途) 1. 土台と柱・たて枠の緊結 2. 上下階の柱・たて枠相互の緊結	●	BP-2		(柱へ) (筋かいへ) スクリューくぎ 5-ZS50 スクリューくぎ 7-ZS50 角根平頭ボルト 1-M12 (土台・横架材へ) 六角ナット 1-M12 スクリューくぎ 5-ZS50 小型角産金 1-W 2.3×30 (用途) 筋かい (45×90mm) の柱・土台・横架材への緊結

亀山市

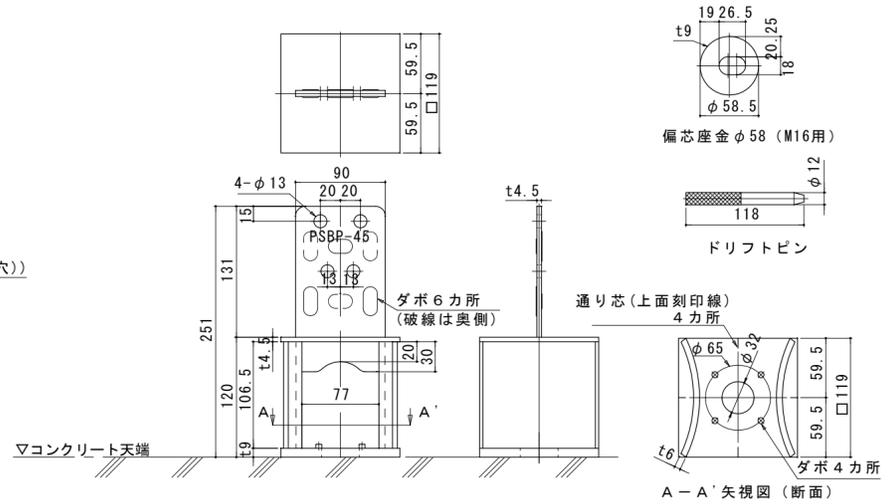
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	金物規格		S-05



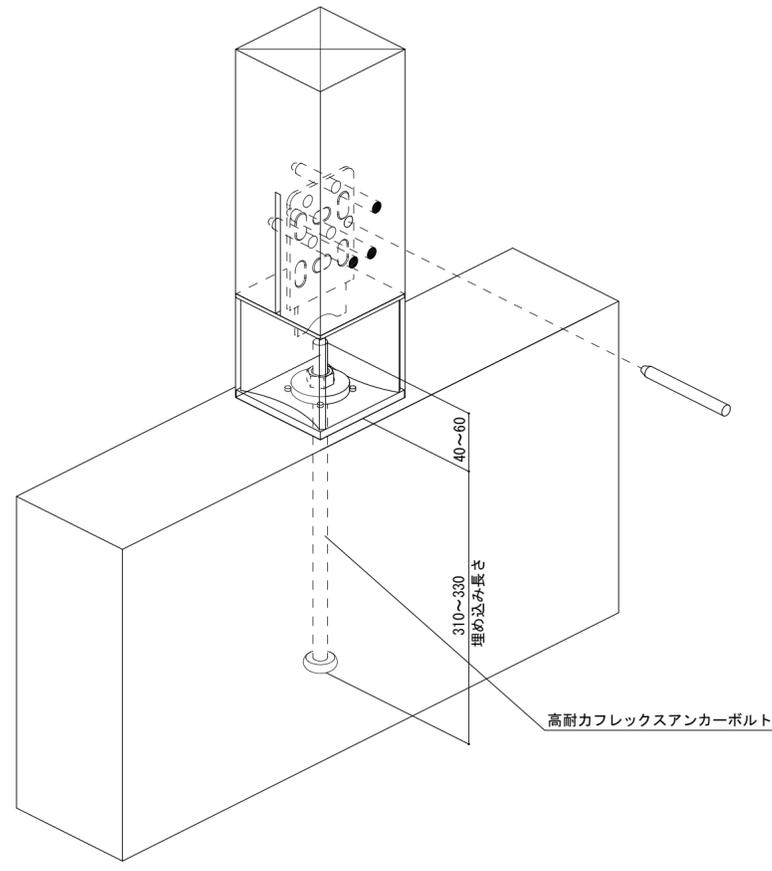
SH-118角 (ステンレス装飾柱受金物)



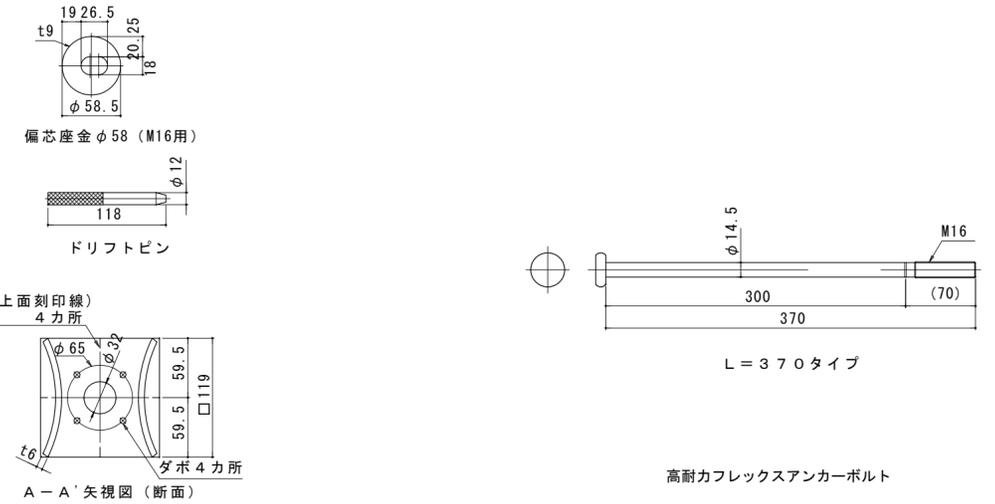
SH-118角 (ステンレス装飾柱受金物) 取付図



高耐力柱脚金物45 (120用)



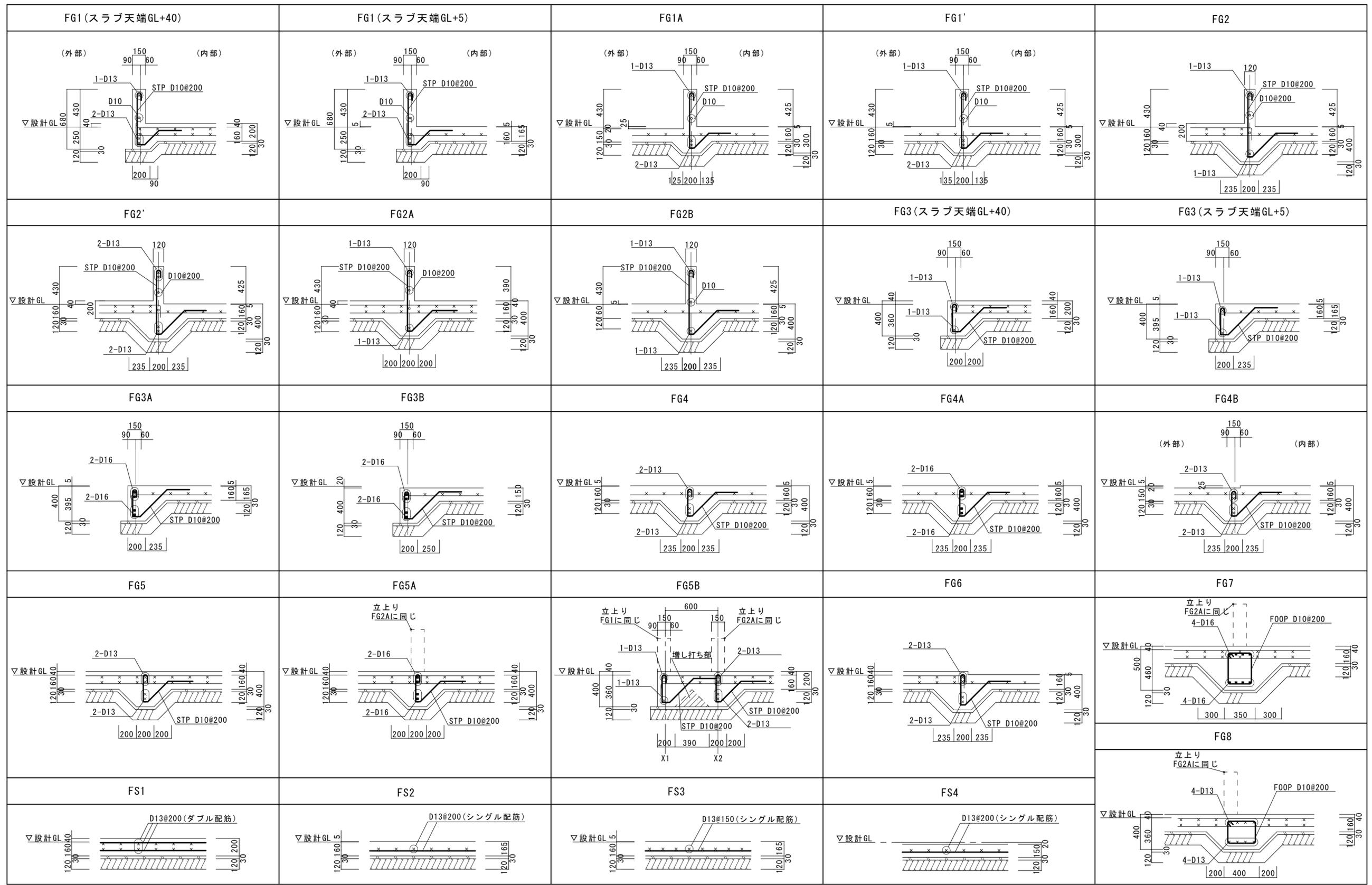
高耐力柱脚金物45 (120用) 取付図



高耐力フレックスアンカーボルト

亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	独立柱脚金物図	1:5	S-06



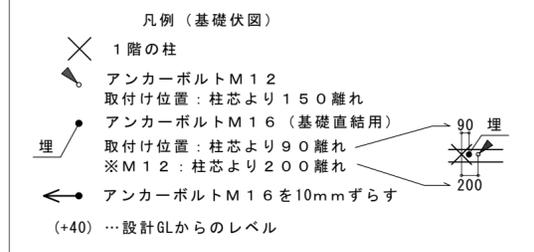
亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	基礎断面図	1:30	S-07

コンクリート設計基準強度
 捨てコンクリート $F_c=18\text{N/mm}^2$
 土間コンクリート $F_c=21\text{N/mm}^2$
 基礎コンクリート $F_c=21\text{N/mm}^2$

鉄筋仕様
 SD295A D10、D13、D16

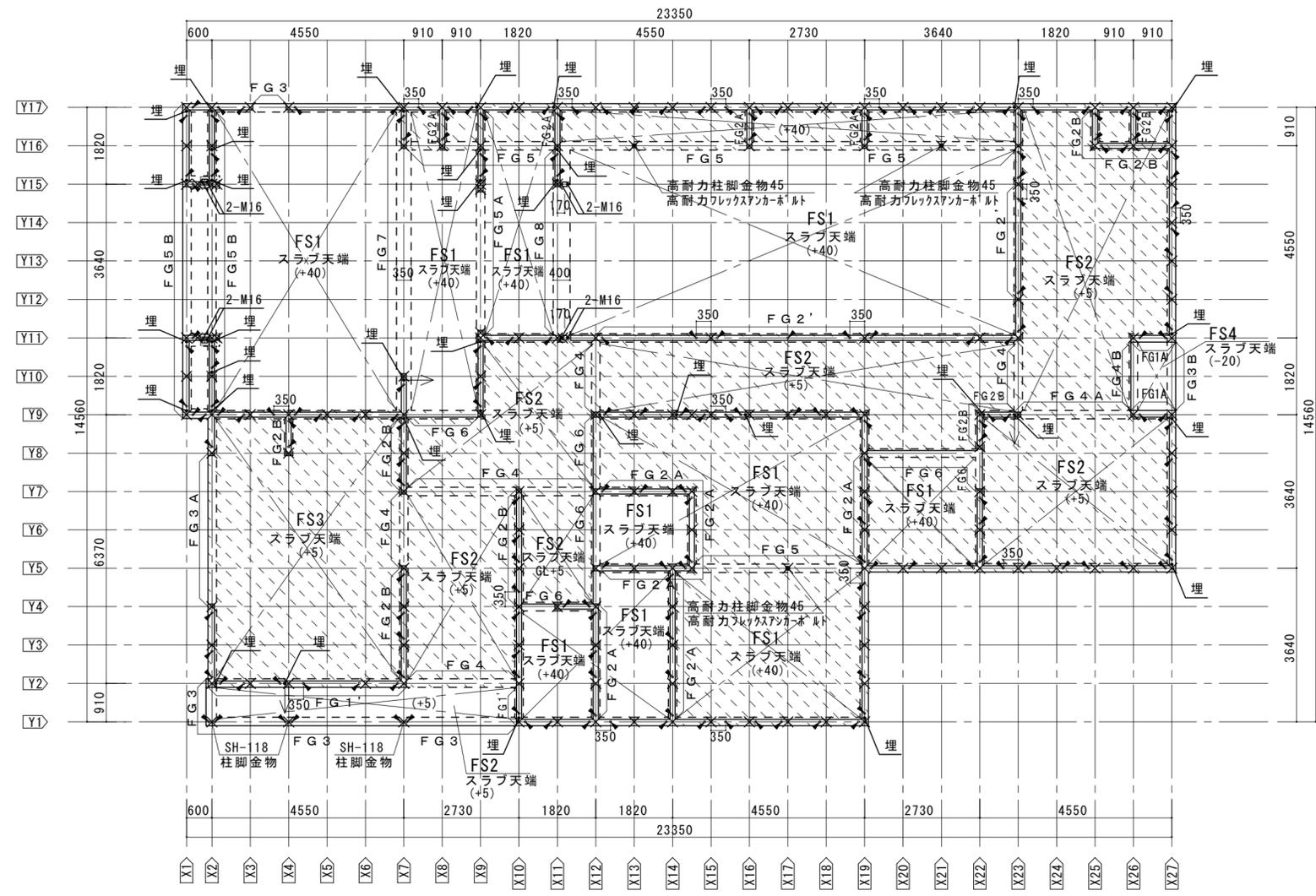
使用材料
 コンクリート設計基準強度 21N/mm^2
 鉄筋 SD295A
 長期地耐力 30kN/m^2 以上



※一般外周廻り（特記箇所を除く）はFG1とする。
 ※一般内部（特記箇所を除く）はFG2とする。

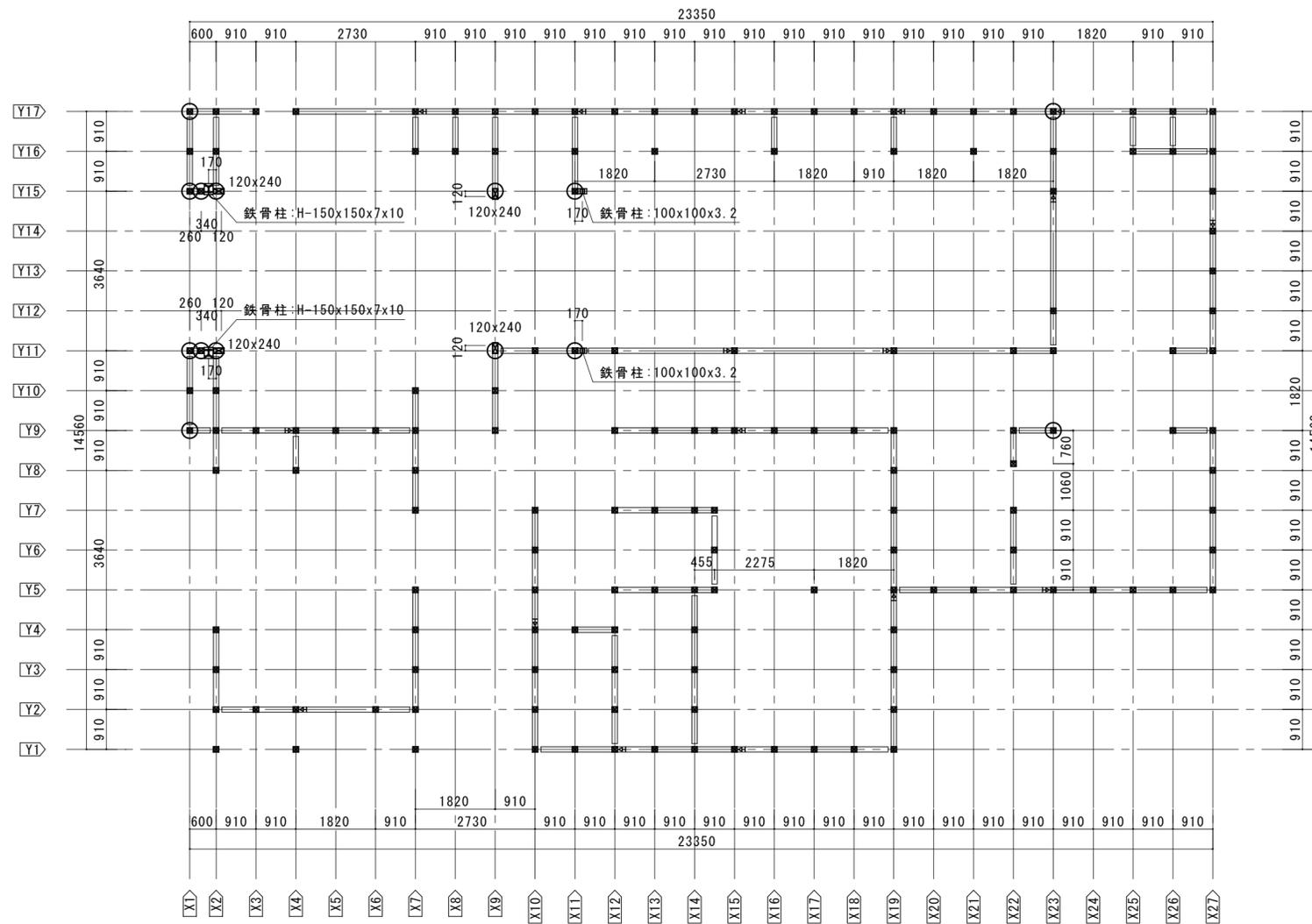
スラブ配筋リスト			
符号	版厚	短辺方向（主筋）	長辺方向（配力筋）
FS1	200	D13 @200(ダブル配筋)	D13 @200(ダブル配筋)
FS2	165	D13 @200(シングル配筋)	D13 @200(シングル配筋)
FS3	165	D13 @150(シングル配筋)	D13 @150(シングル配筋)
FS4	150	D13 @200(シングル配筋)	D13 @200(シングル配筋)

断熱材敷：ポリスチレンフォーム保温板 t=25



亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	基礎伏図	1:100	S-08



JAS規格外の使用木材について、節、腐れ、繊維の傾斜、丸身等による耐力上の欠点がないものを使用する。
 地盤面より1メートル以内の部分において
 構造耐力上主要な部分である柱、筋交い、及び土台には
 有効な防腐措置を講ずると共に、防蟻措置を講ずること。

凡例	
☒	管柱 (120×120)
⊗	通柱 (120×120) E120-F375[同一等級材]
—	土台 (120×120)
—	土台継手
※継手位置はプレカットにより移動する場合があります	
※特記無き管柱は桧120x120とする ※特記無き通柱は米松集成120x120 (E120-F375: 同一等級材)とする	

使用材料リスト

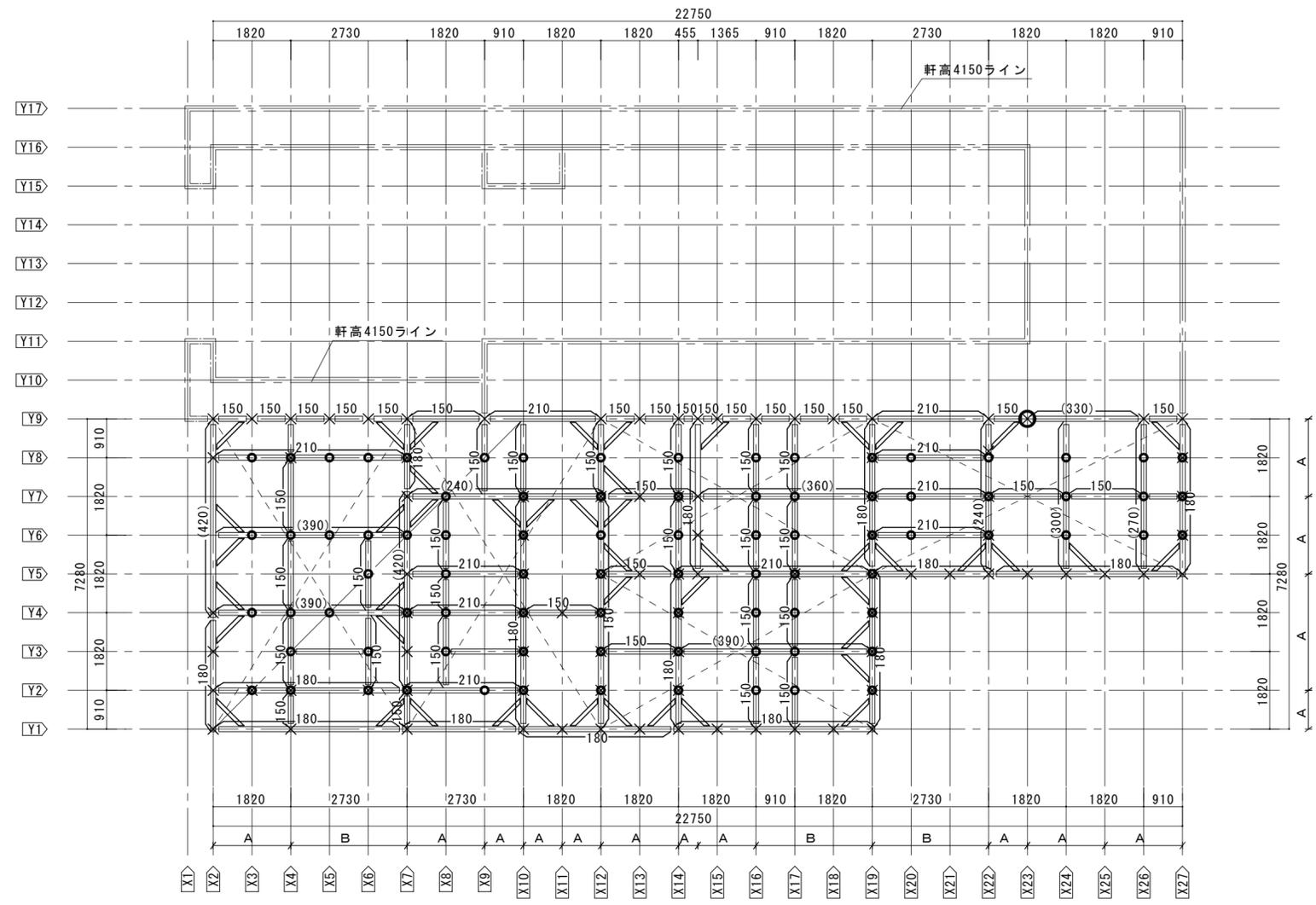
特記なきホゾ寸法は30×85(mm)とする

部位	樹種等級	寸法 (mm)
土台	桧 無等級材	120×120
	桧 無等級材	120×120
管柱	桧 無等級材	120×120
	WW集成材 杉 同一等級等級材	120×120
通柱	米松集成材 同一等級等級材	120×120 120×240~120
	杉 無等級材	120×210まで
梁	杉 無等級材	120×240~600
	杉集成 E65-F225	120×240~600
母屋	杉 無等級材	120×120
棟木	杉 無等級材	120×120
隅木	杉 無等級材	120×120
垂木	杉 無等級材	45×90 @303
小屋束	杉 無等級材	120×120
火打	杉 無等級材	90×90
小屋床下地	構造用合板	t=24mm (釘: N75@150)
屋根下地	構造用合板	t=12mm (釘: N50@150)

亀山市

日付
備考

工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
関の山車会館地域交流施設新築工事	土台伏図	1:100	S-09



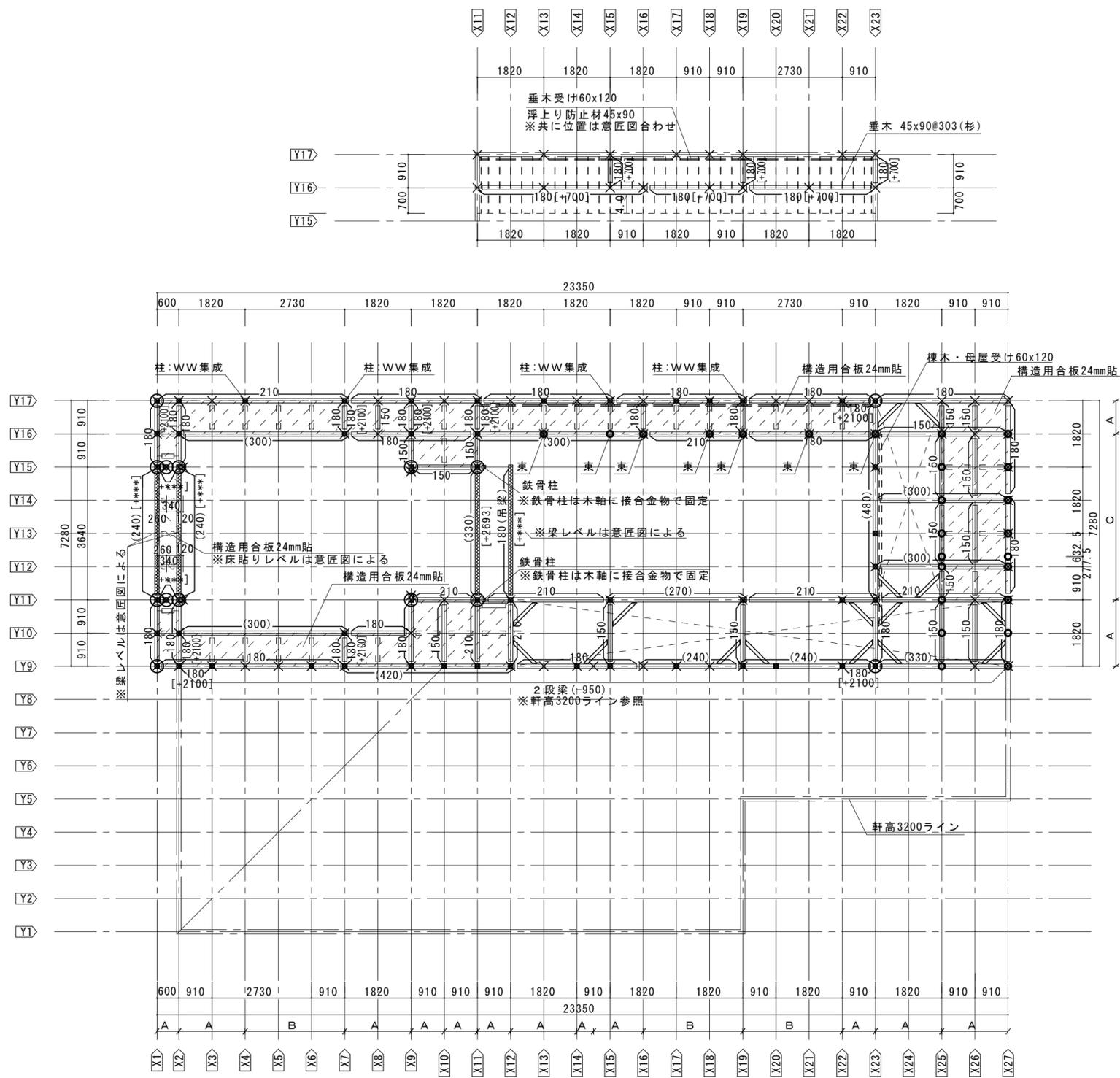
横架材端部接合部による凡例…A、Bについて
 横架材端部接合部は、腰掛け蟻、もしくは大入れ蟻掛け
 +羽子板ボルト、又は、短冊金物…(A)とする。
 腰掛け蟻、もしくは大入れ蟻掛け
 +羽子板ボルト×2、又は、短冊金物×2…(B)

凡例	
☒	管柱 (120×120)
⊗	通柱 (120×120) E120-F375[同一等級材]
×	下階管柱
○	束 120×120(杉)
⊠	梁継手
⚡	火打 90×90 (杉)

※特記なき管柱は桧120×120とする
 ※特記なき通柱は米松集成120×120
 (E120-F375:同一等級材)とする
 ※柱:「VV集成」は120×120
 (E95-F315):同一等級材)とする

※特記なき梁は杉120×120とする
 ※使用する材料は全てJIS・JAS規格品とする。
 ※JAS規格外の使用木材について、節、腐れ、繊維の傾斜
 丸み等による耐力上の欠点がないものを使用する。

<h1>亀山市</h1>	日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
			関の山車会館地域交流施設新築工事	小屋伏図1(軒高3200ライン)	1:100	S-10



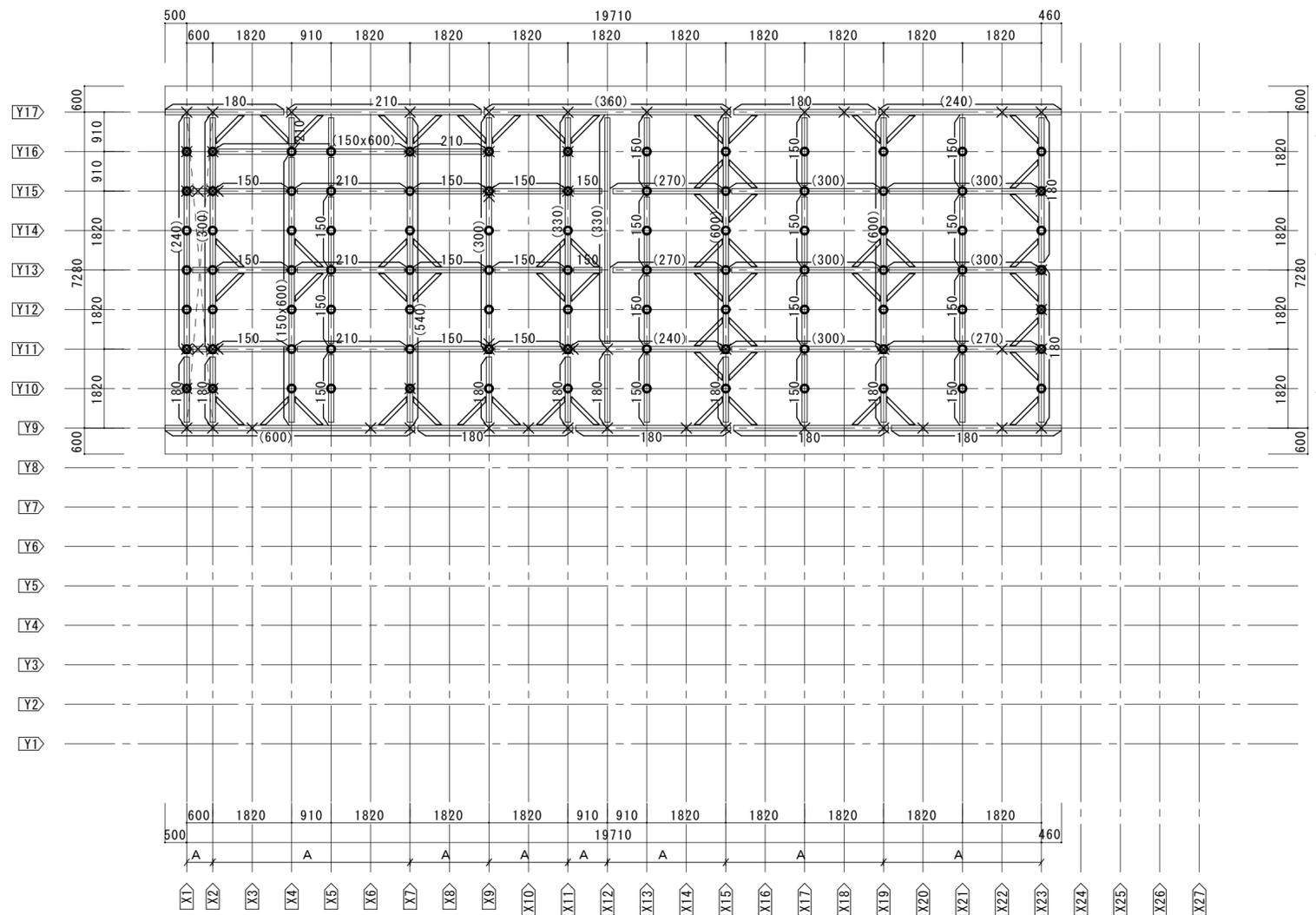
-  構造用合板 24mm 貼
- ※小屋ハッチング部…構造用合板24mm
四周釘打ち、N75@150以下
- ※ 合板受け材 杉90×90以上とする
- ※()内の梁は杉集成(E65-F225)とする

横架材端部接合部による凡例…A、B、Cについて
 横架材端部接合部は、腰掛け蟻、もしくは大入れ蟻掛け
 +羽子板ボルト、又は、短冊金物…(A)とする。
 腰掛け蟻、もしくは大入れ蟻掛け
 +羽子板ボルト×2、又は、短冊金物×2…(B)
 腰掛け蟻、もしくは大入れ蟻掛け
 +ホールダウン25kN …(C)

凡例	
	管柱(120×120)
	通柱(120×120) E120-F375[同一等級材]
	下階管柱
	束 120×120(杉)
	梁継手
	火打 90×90(杉)
※特記なき管柱は桧120×120とする ※特記なき通柱は米松集成120×120 (E120-F375:同一等級材)とする ※柱:「WW集成」は120×120 (E95-F315):同一等級材)とする	

※特記なき梁は杉120×120とする
 ※使用する材料は全てJIS・JAS規格品とする。
 ※JAS規格外の使用木材について、節、腐れ、繊維の傾斜
 丸み等による耐力上の欠点がないものを使用する。

<h1>亀山市</h1>	日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
			関の山車会館地域交流施設新築工事	小屋伏図2(軒高4150ライン)	1:100	S-11



横架材端部接合部による凡例…Aについて
 横架材端部接合部は、腰掛け蟻、もしくは大入れ蟻掛け
 +羽子板ボルト、又は、短冊金物…(A)とする。

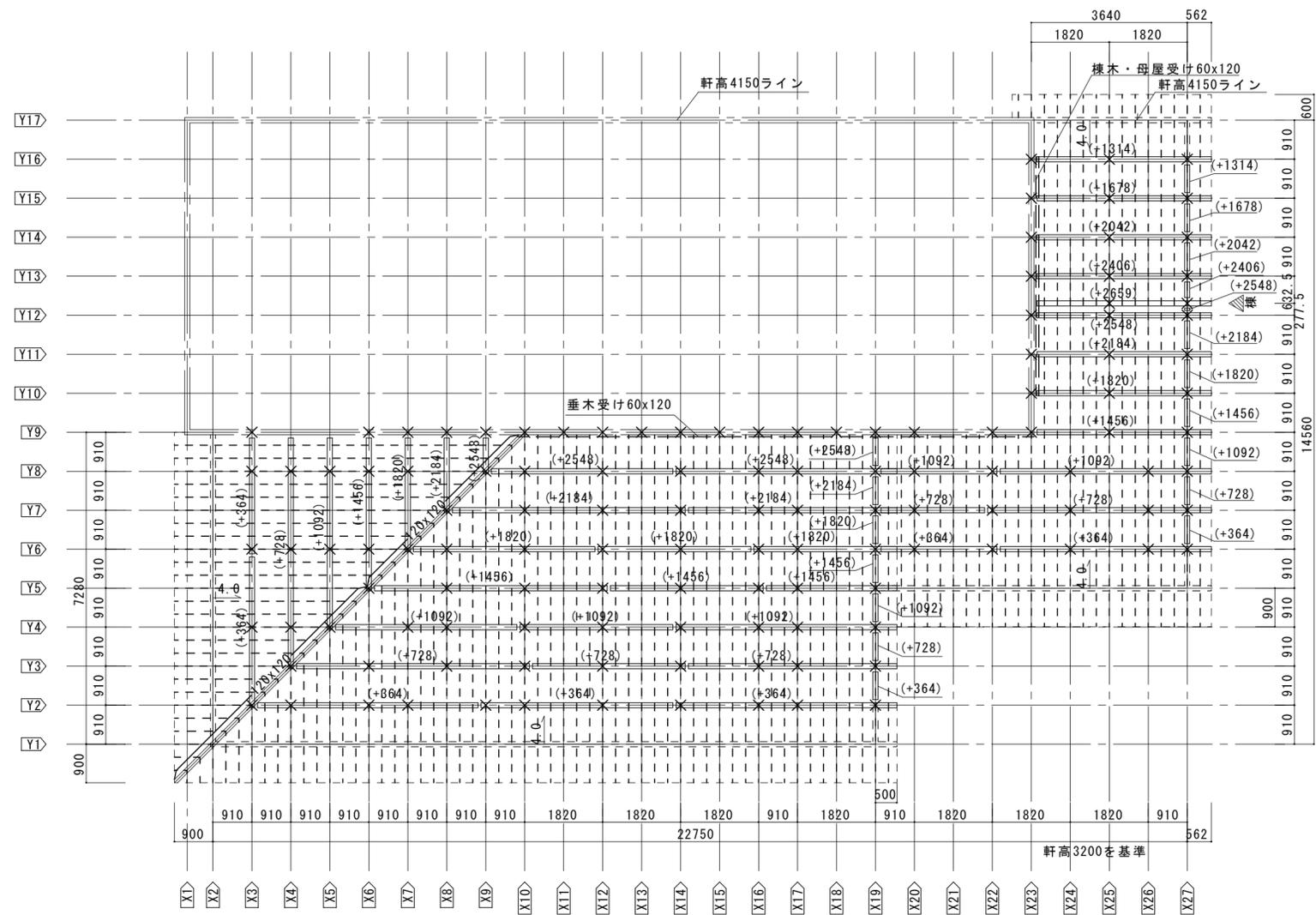


※特記なき梁は杉120×120とする
 ※()内の梁は杉集成(E65-F225)とする
 ※使用する材料は全てJIS・JAS規格品とする。
 ※JAS規格外の使用木材について、節、腐れ、繊維の傾斜
 丸み等による耐力上の欠点がないものを使用する。

亀山市

日付
備考

工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
関の山車会館地域交流施設新築工事	小屋伏図3(軒高8400ライン)	1:100	S-12



凡例	
×	束 120×120(杉)
---	垂木 45×90@303(杉)
□	母屋継手

※特記なき梁は杉120×120とする
 ※使用する材料は全てJIS・JAS規格品とする。
 ※JAS規格外の使用木材について、節、腐れ、繊維の傾斜丸み等による耐力上の欠点がないものを使用する。

亀山市

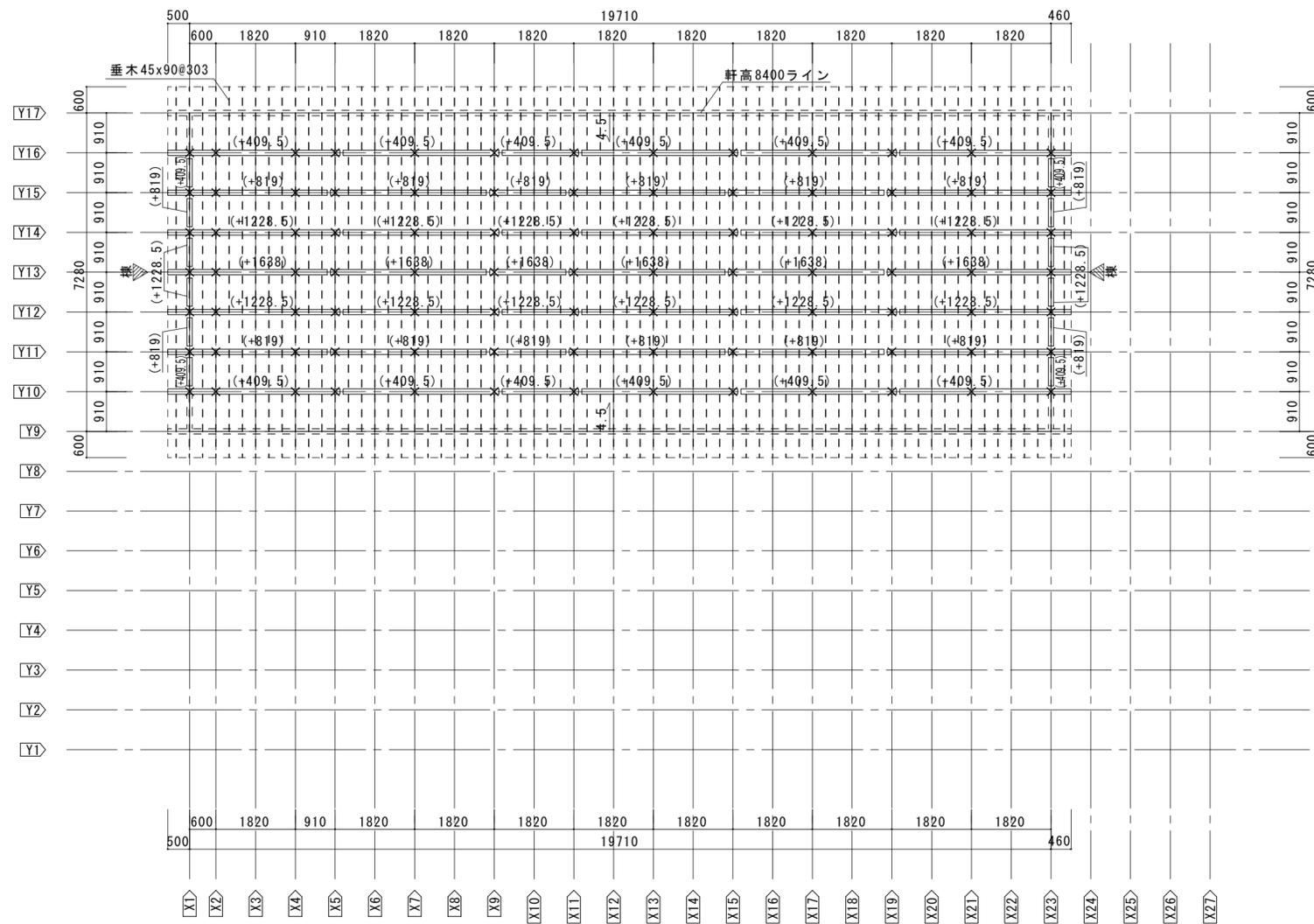
日付
備考

工事名称
関の山車会館地域交流施設新築工事

図面内容
母屋伏図1(軒高3200を基準)

縮尺
1:100

図面番号
S-13



凡例	
✕	束 120×120(杉)
----	垂木 45x90@303(杉)
□✕	母屋継手

※特記なき梁は杉120×120とする
 ※使用する材料は全てJIS・JAS規格品とする。
 ※JAS規格外の使用木材について、節、腐れ、繊維の傾斜丸み等による耐力上の欠点がないものを使用する。

亀山市

日付

備考

工事名称

図面内容

縮尺

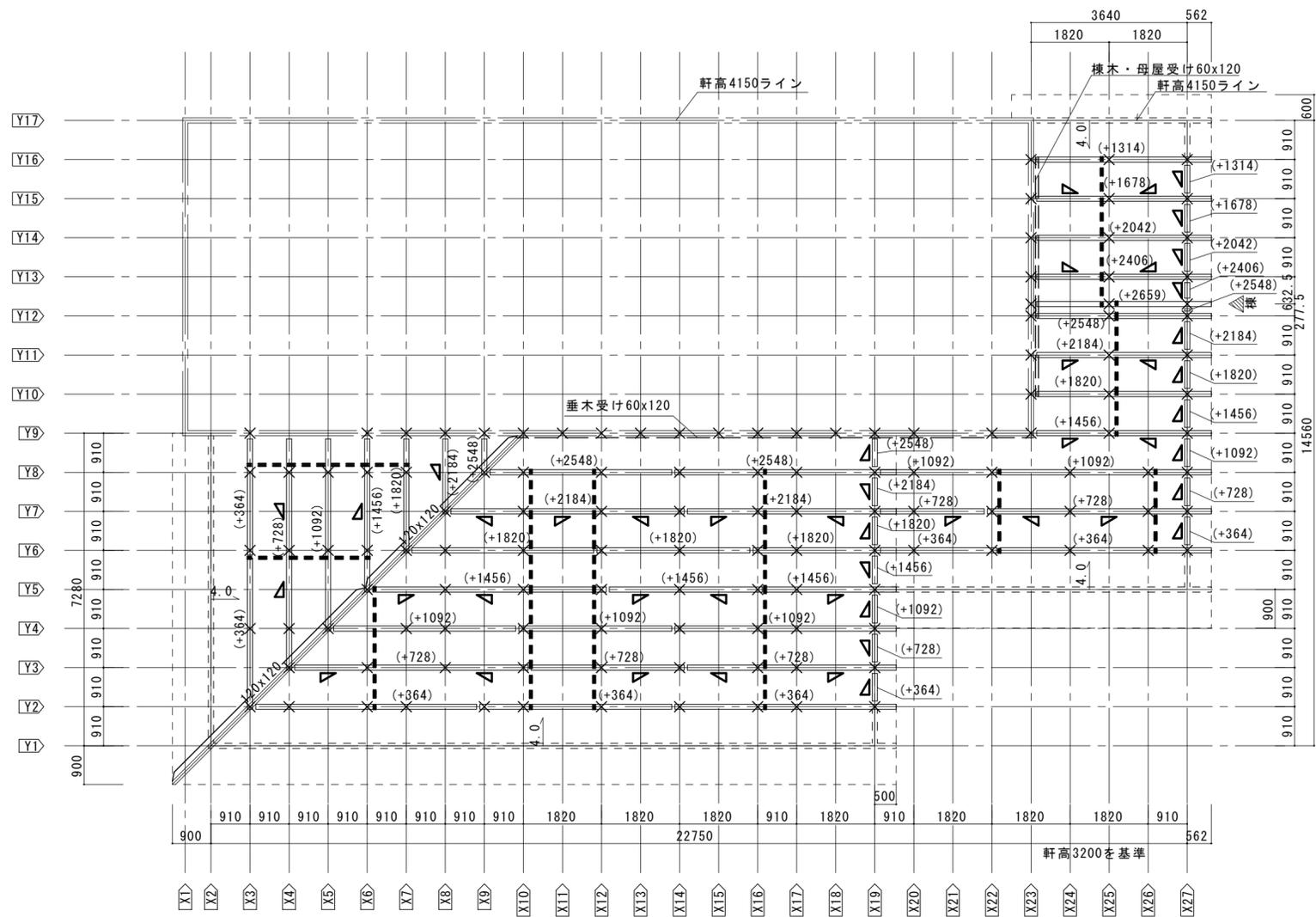
図面番号

関の山車会館地域交流施設新築工事

母屋伏図2(軒高8400を基準)

1:100

S-14



小屋筋交凡例	
	小屋筋交 45x90 (4-N75釘留)
	雲筋交 15x90 (小屋束に2-N50釘留)

亀山市

日付

備考

工事名称

図面内容

縮尺

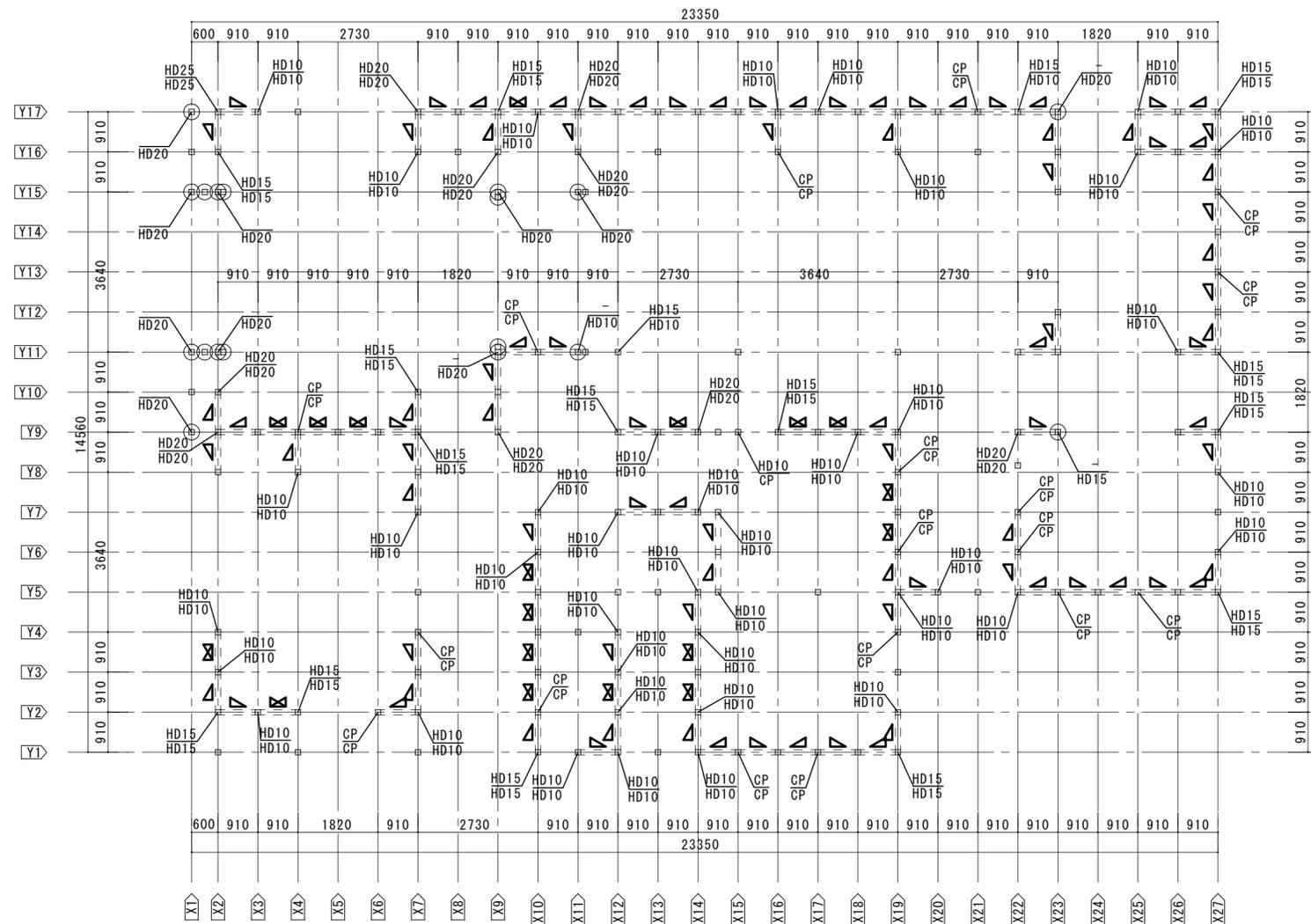
図面番号

関の山車会館地域交流施設新築工事

小屋筋交位置図1
(軒高3200を基準)

1:100

S-15



※HD10は座付きボルトとするかプレートタイプの同等認定品とする。

耐力壁凡例		
	2.0倍	45×90筋違いシングル
	4.0倍	45×90筋違いタスキ
接合金物凡例		
HD15…柱頭金物		を示す
HD15…柱脚金物		

※特記なき柱頭・柱脚には CP又は同等認定品を付けること。
 ※上階柱脚と下階柱頭を両引きボルトで止める場合は、耐力の大きい側の金物を使うこと。

金物リスト (Z金物)		
CP	CPL同等認定品	3.38KN
HD10	ホールダウン金物10KN	10.0KN
HD15	ホールダウン金物15KN	15.0KN
HD20	ホールダウン金物20KN	20.0KN
HD25	ホールダウン金物25KN	25.0KN

亀山市

日付

備考

工事名称

図面内容

縮尺

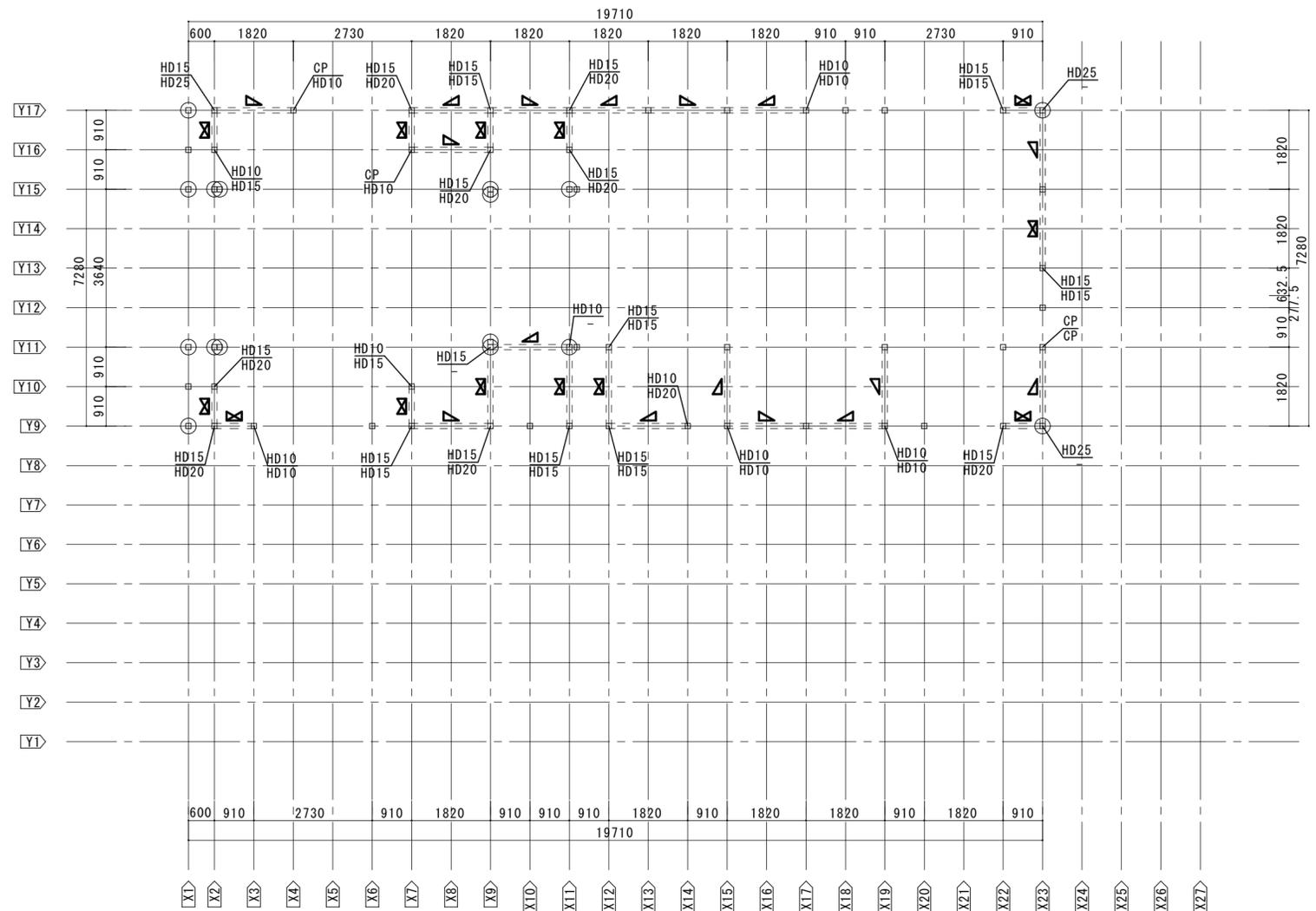
図面番号

関の山車会館地域交流施設新築工事

1階金物耐力壁位置図

1:100

S-17



※HD10は座付きボルトとするかプレートタイプの同等認定品とする。

耐力壁凡例		
	2.0倍	45×90筋違いシングル
	4.0倍	45×90筋違いタスキ
接合金物凡例		
HD15…柱頭金物		を示す
HD15…柱脚金物		

※特記なき柱頭・柱脚には CP又は同等認定品を付けること。
 ※上階柱脚と下階柱頭を両引きボルトで止める場合は、耐力の大きい側の金物を使うこと。

金物リスト (Z金物)		
CP	CPL同等認定品	3.38KN
HD10	ホールダウン金物10KN	10.0KN
HD15	ホールダウン金物15KN	15.0KN
HD20	ホールダウン金物20KN	20.0KN
HD25	ホールダウン金物25KN	25.0KN

亀山市

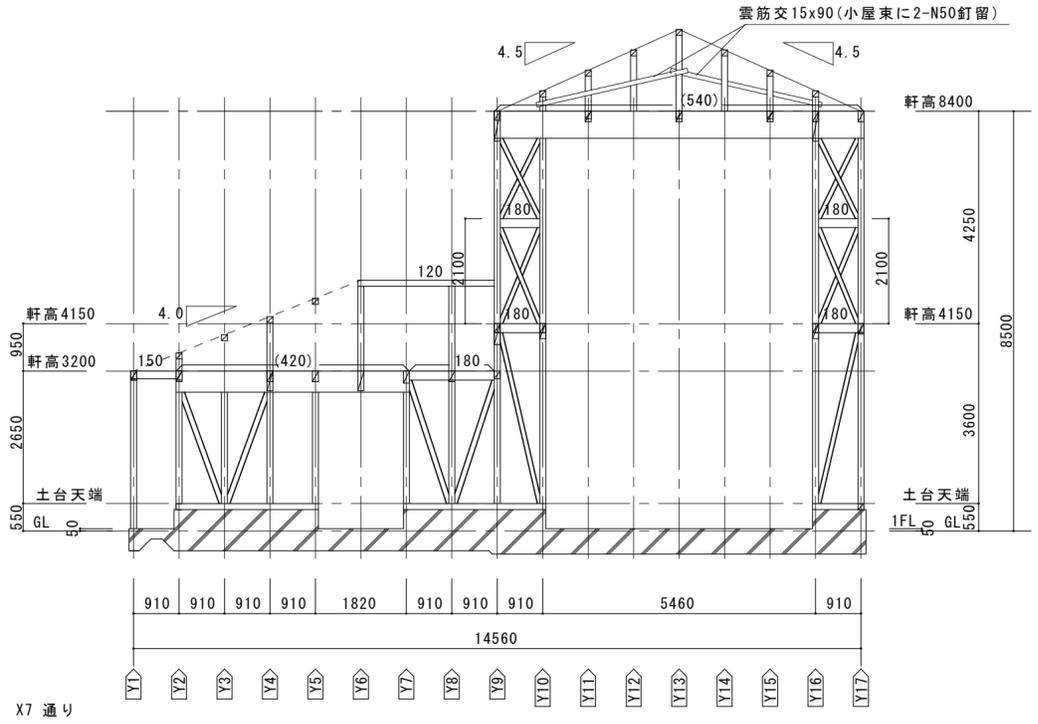
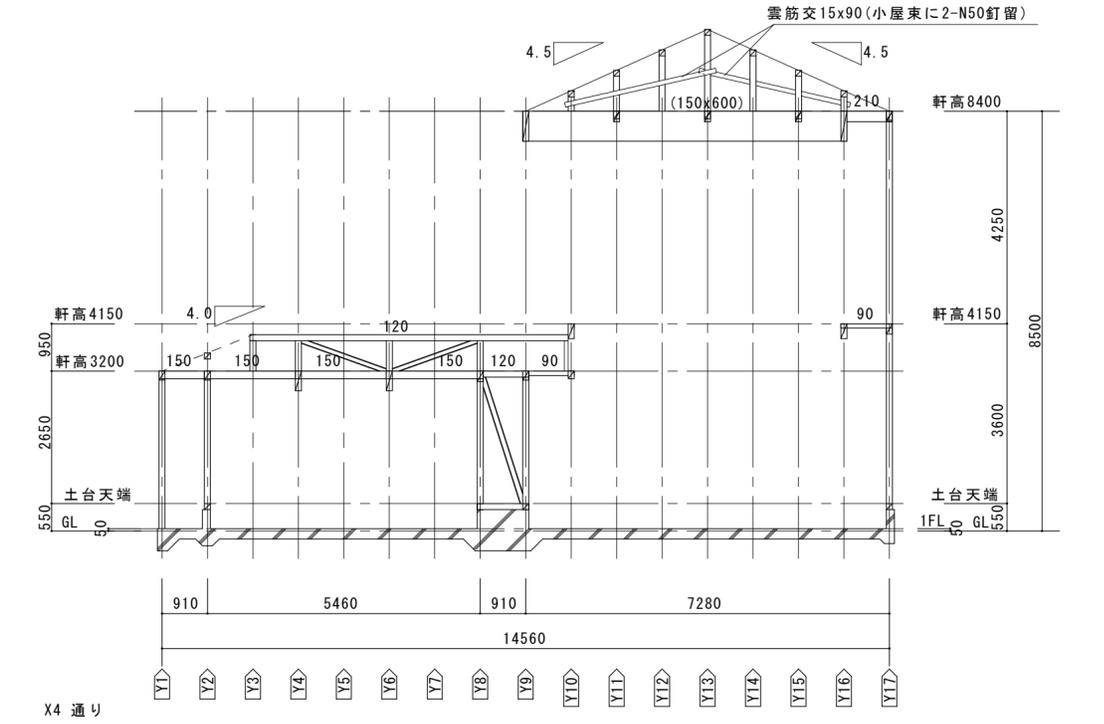
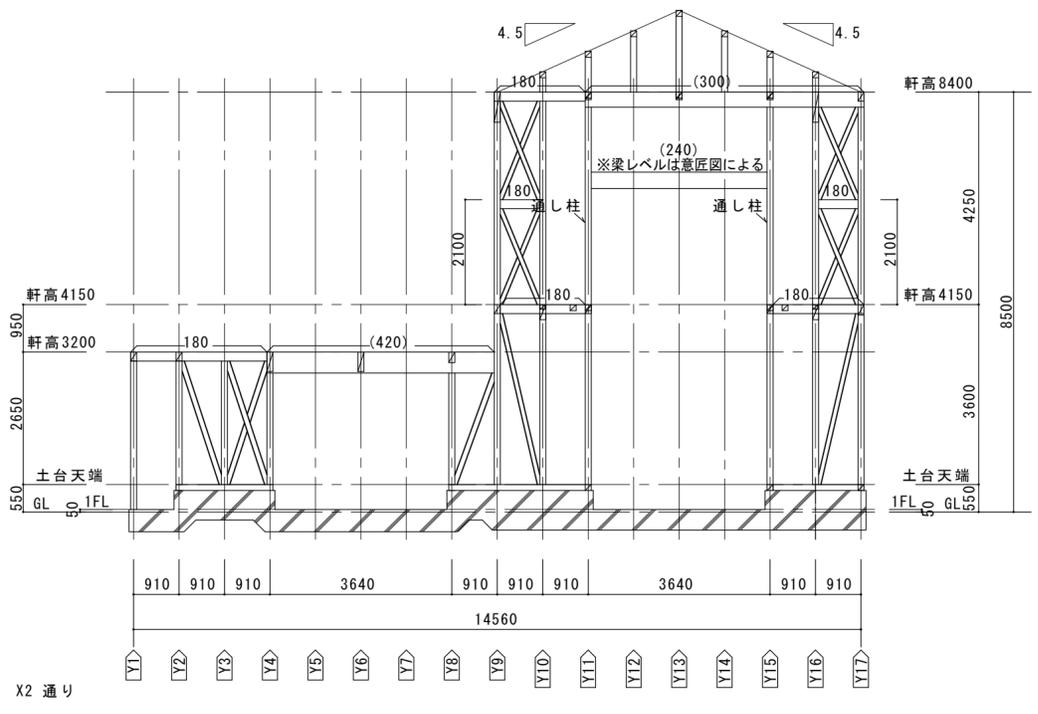
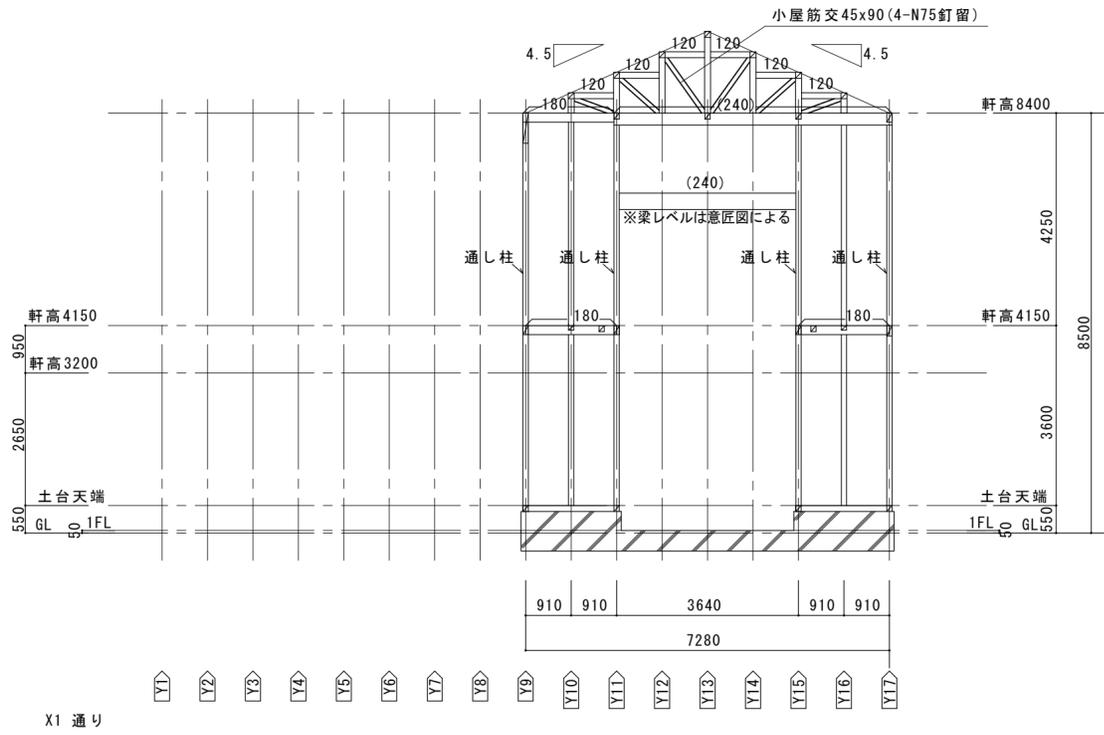
日付
備考

工事名称
関の山車会館地域交流施設新築工事

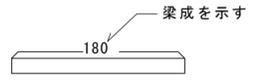
図面内容
2階金物耐力壁位置図

縮尺
1:100

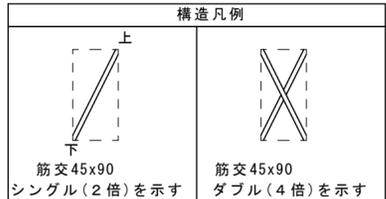
図面番号
S-18



※特記無き梁は杉とする
 ※()内の梁は杉集成(E65-F225)とする
 ※特記無き管柱は桧120x120とする
 ※特記無き通柱は米松集成120x120(E120-F375:同一等級材)とする



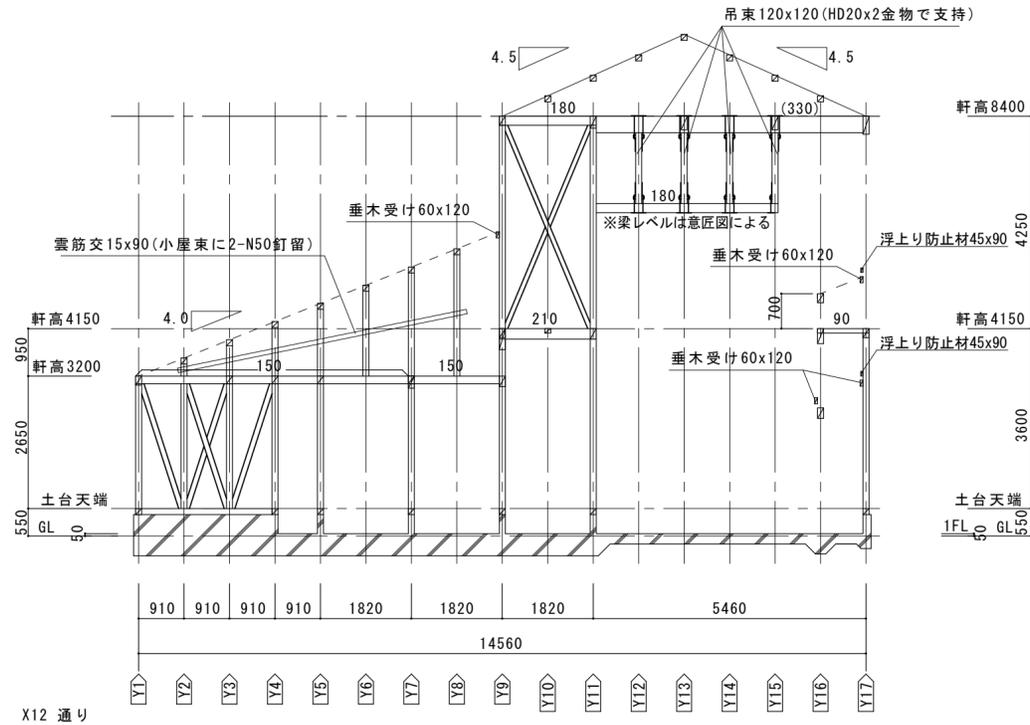
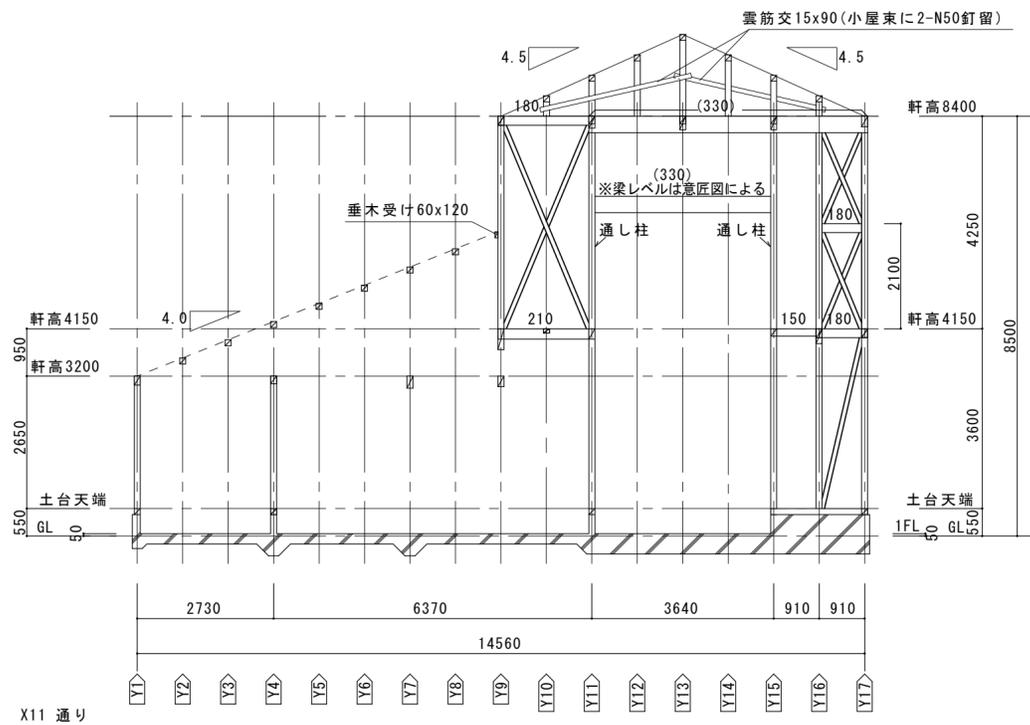
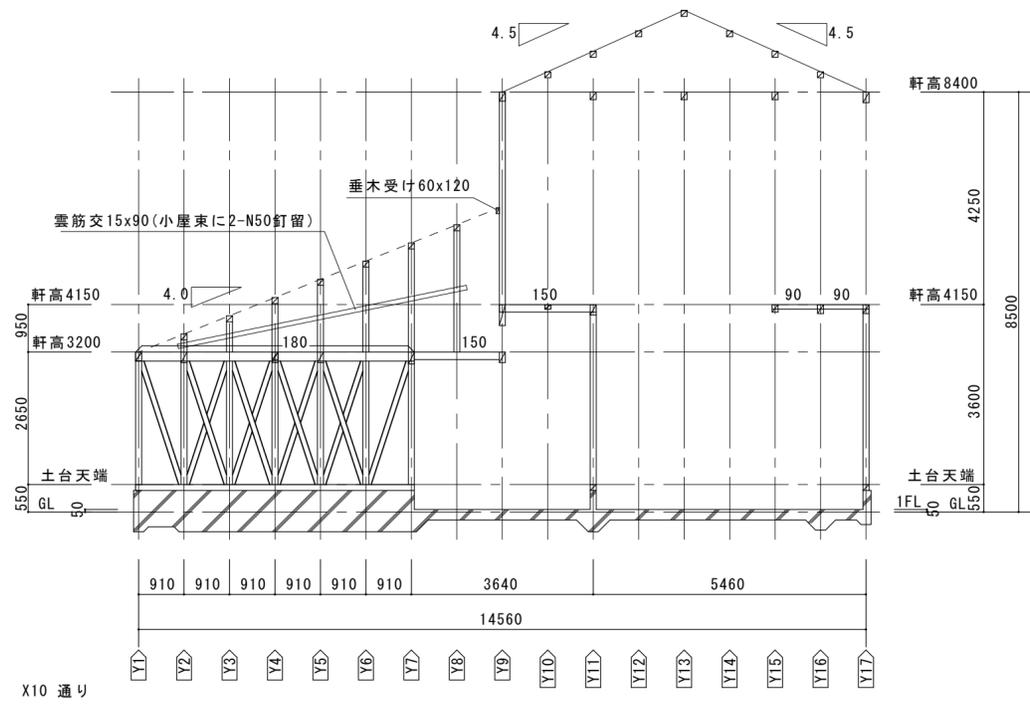
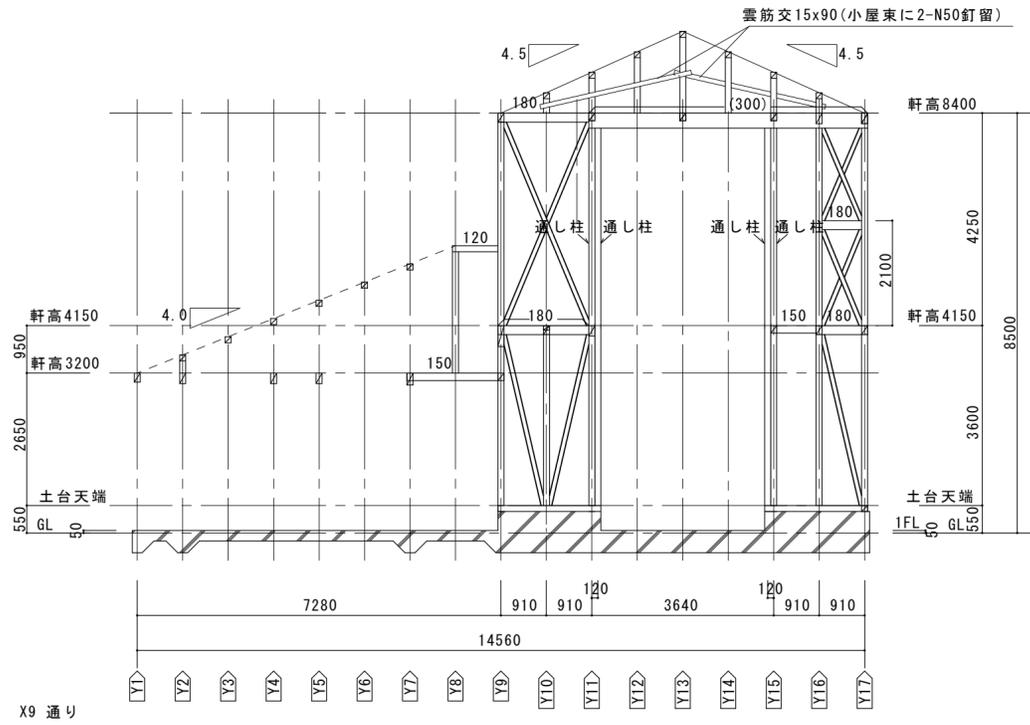
柱120x120
 柱の有効細長比 $\lambda = 122.69 \leq 150$
 ※最大の柱長さ4250mm



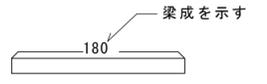
亀山市

日付	備考

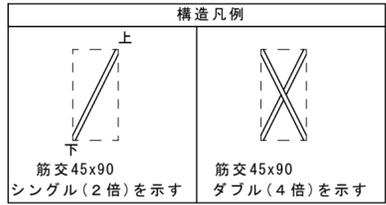
工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
関の山車会館地域交流施設新築工事	軸組図(1)	1:100	S-19



※特記無き梁は杉とする
 ※()内の梁は杉集成(E65-F225)とする
 ※特記無き管柱は桧120x120とする
 ※特記無き通柱は米松集成120x120 (E120-F375:同一等級材)とする



柱120x120
 柱の有効細長比 $\lambda = 122.69 \leq 150$
 ※最大の柱長さ4250mm



亀山市

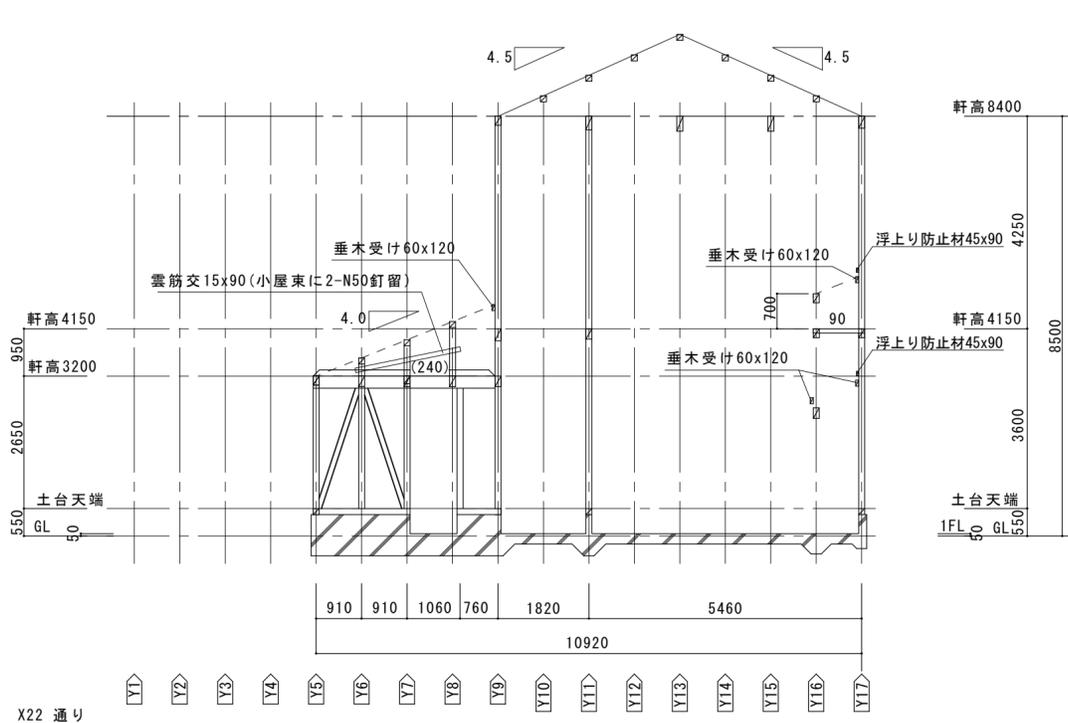
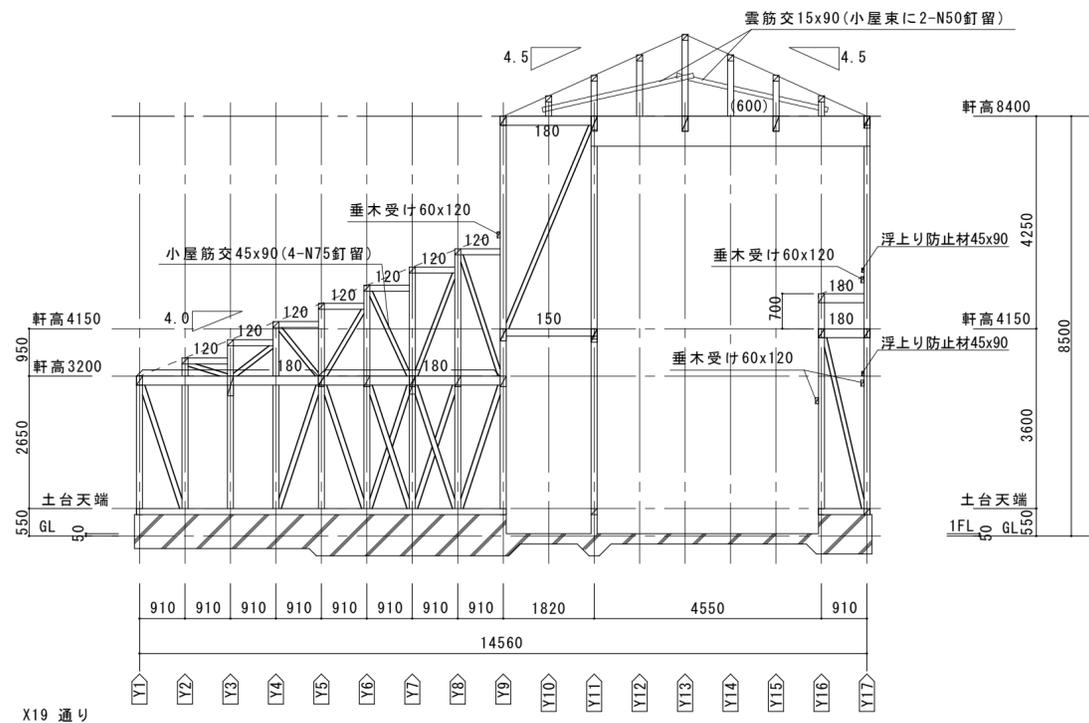
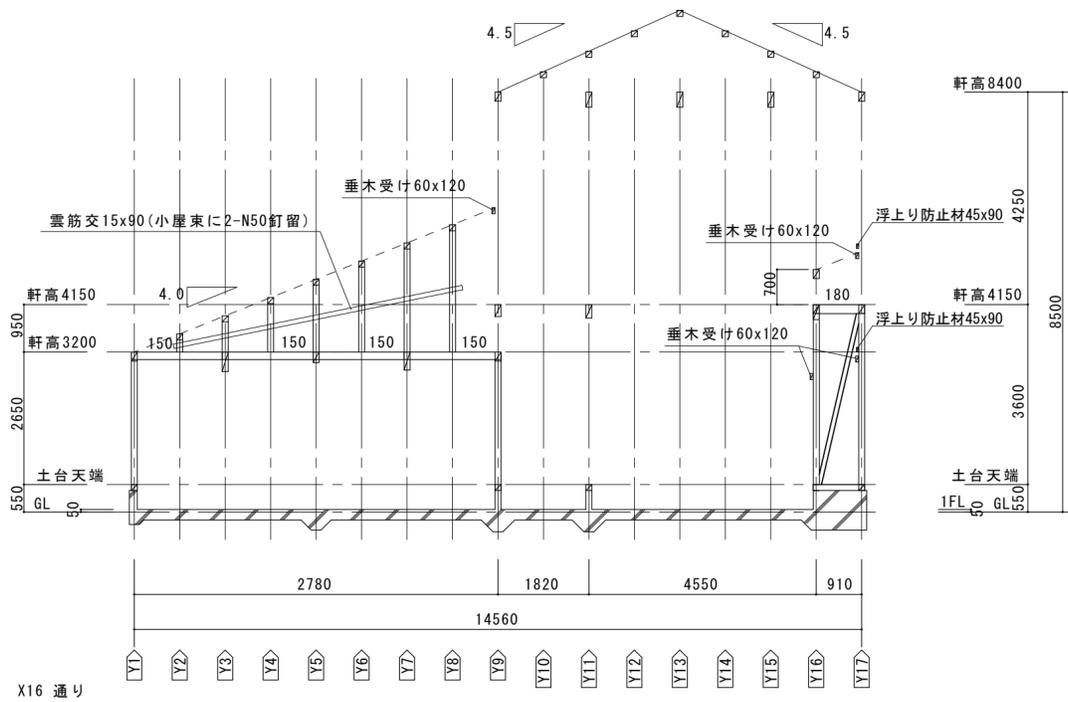
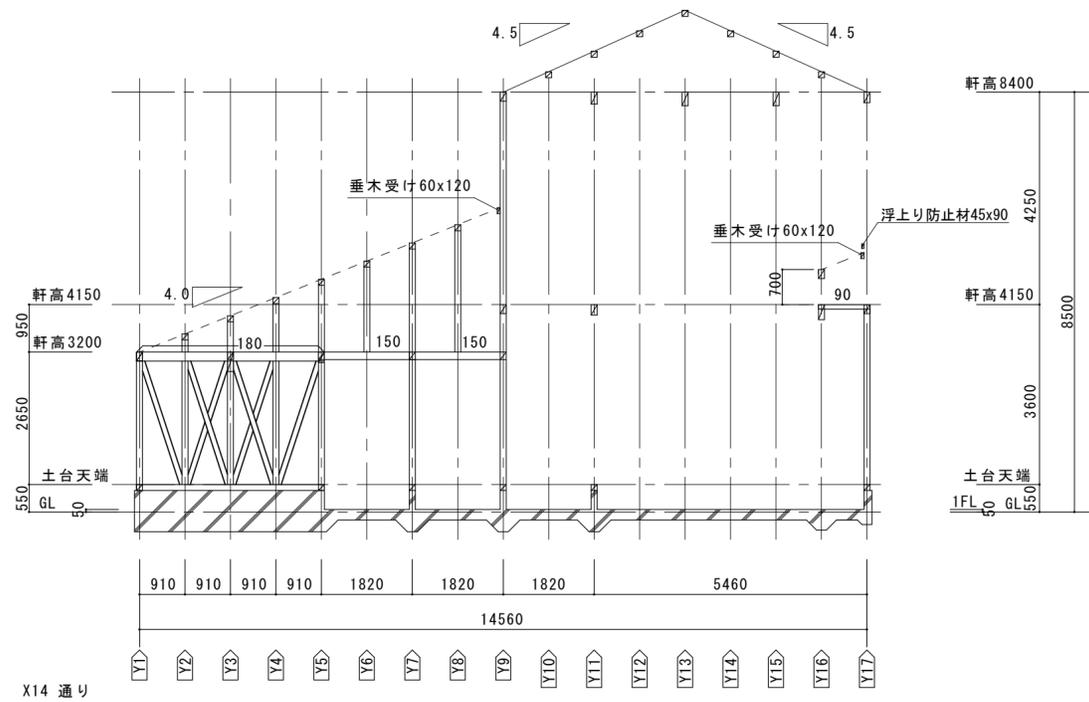
日付
備考

工事名称
関の山車会館地域交流施設新築工事

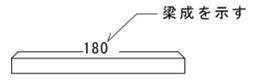
図面内容
軸組図 (2)

縮尺
1:100

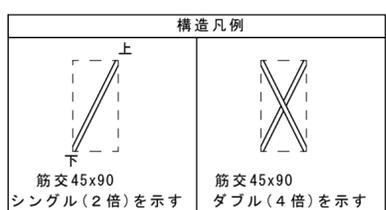
図面番号
S-20



※特記無き梁は杉とする
 ※()内の梁は杉集成(E65-F225)とする
 ※特記無き管柱は桧120x120とする
 ※特記無き通柱は米松集成120x120 (E120-F375:同一等級材)とする



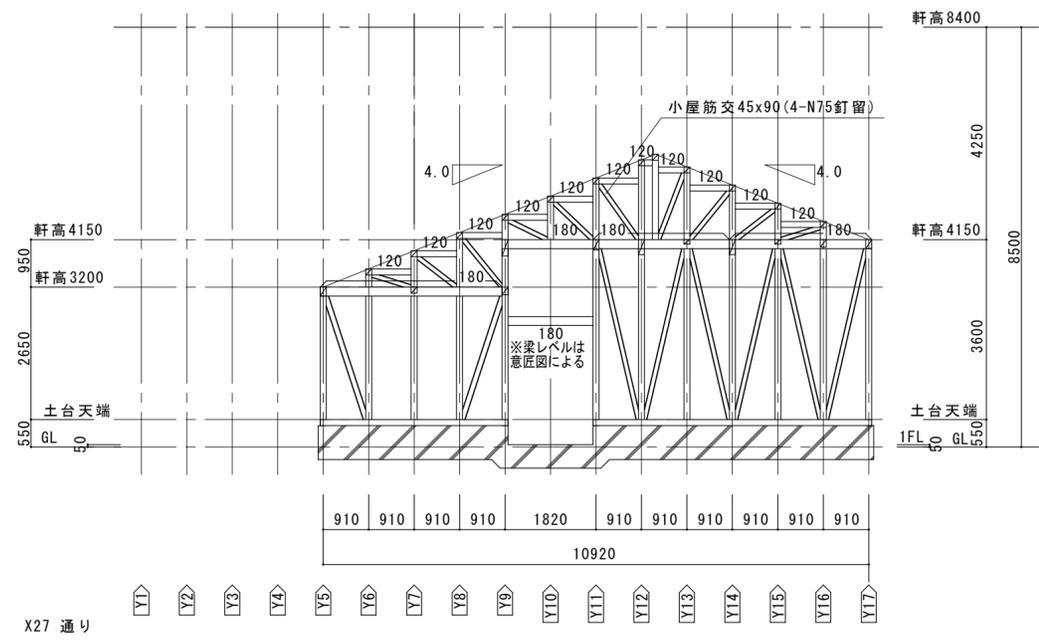
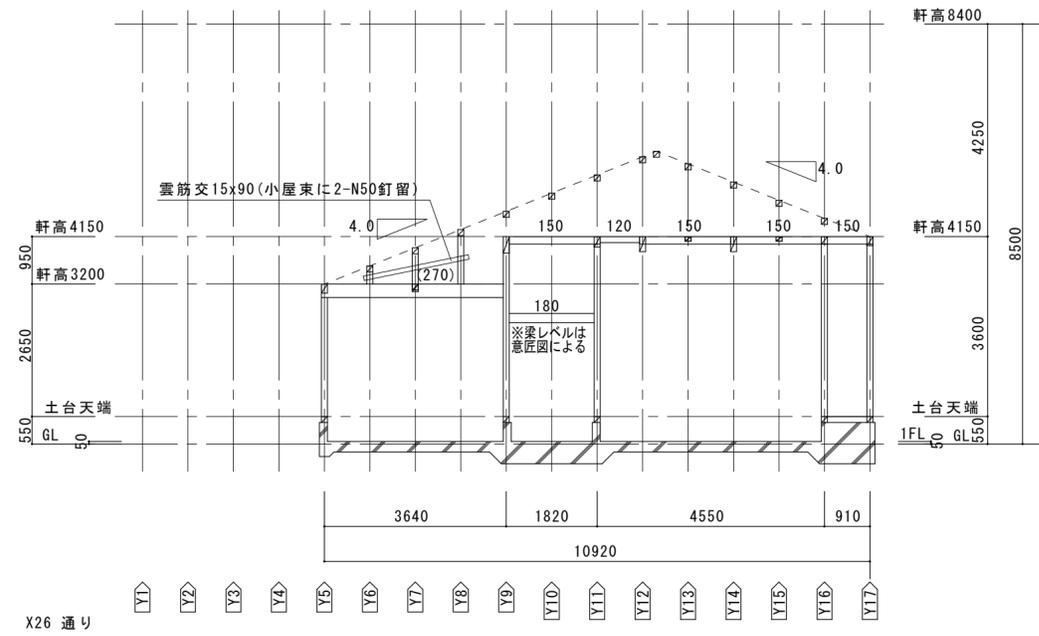
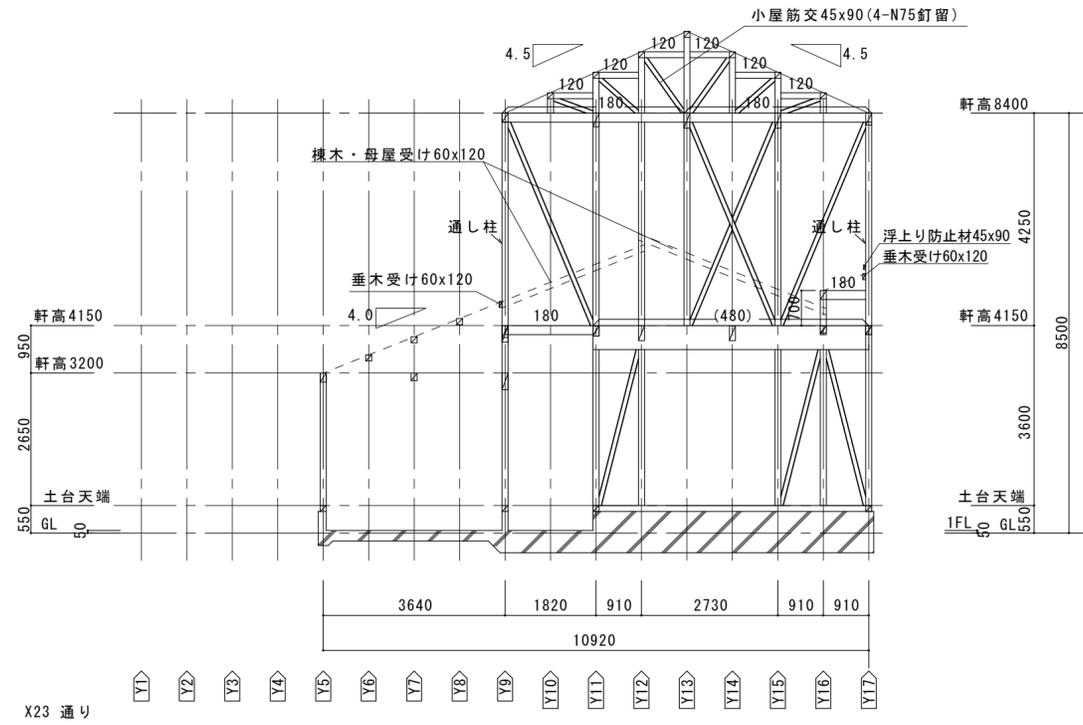
柱120x120
 柱の有効細長比 $\lambda = 122.69 \leq 150$
 ※最大の柱長さ4250mm



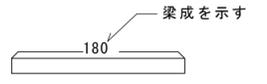
亀山市

日付	備考

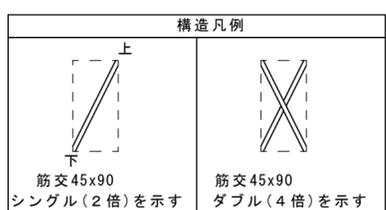
工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
関の山車会館地域交流施設新築工事	軸組図 (3)	1:100	S-21



- ※特記無き梁は杉とする
- ※()内の梁は杉集成 (E65-F225)とする
- ※特記無き管柱は桧120x120とする
- ※特記無き通柱は米松集成120x120 (E120-F375:同一等級材)とする
- ※柱:「VVW集成」は120x120 (E95-F315):同一等級材)とする

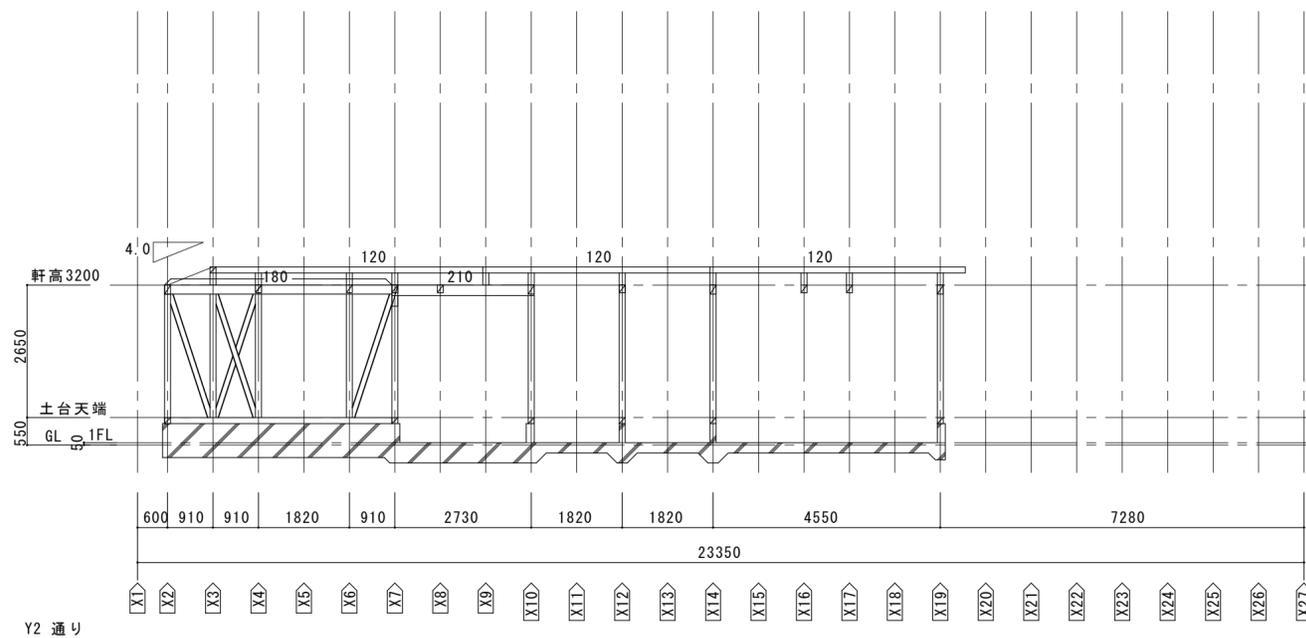
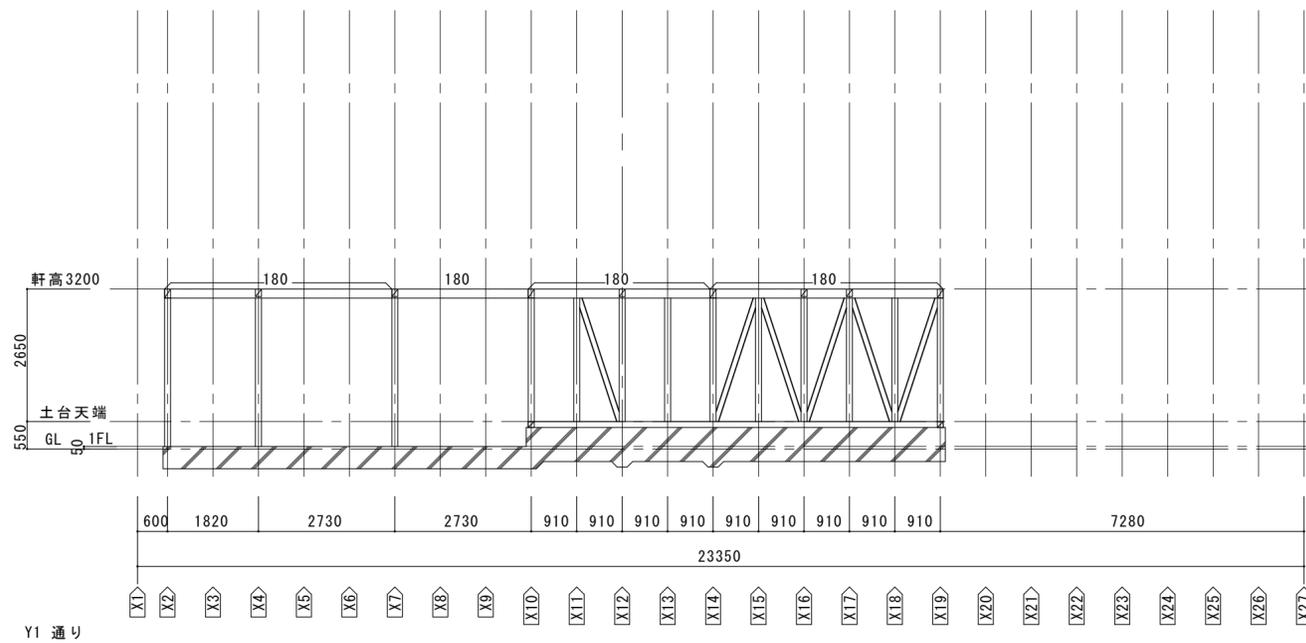


柱120×120
柱の有効細長比 $\lambda = 122.69 \leq 150$
※最大の柱長さ4250mm

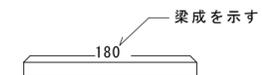


亀山市

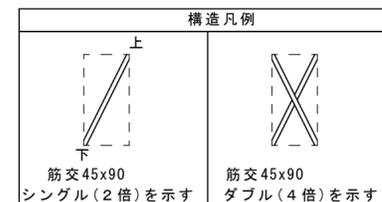
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	軸組図 (4)	1:100	S-22



※特記無き梁は杉とする
 ※ () 内の梁は杉集成 (E65-F225) とする
 ※特記無き管柱は桧120x120とする
 ※特記無き通柱は米松集成120x120 (E120-F375: 同一等級材) とする



柱120x120
 柱の有効細長比 $\lambda = 122.69 \leq 150$
 ※最大の柱長さ4250mm



亀山市

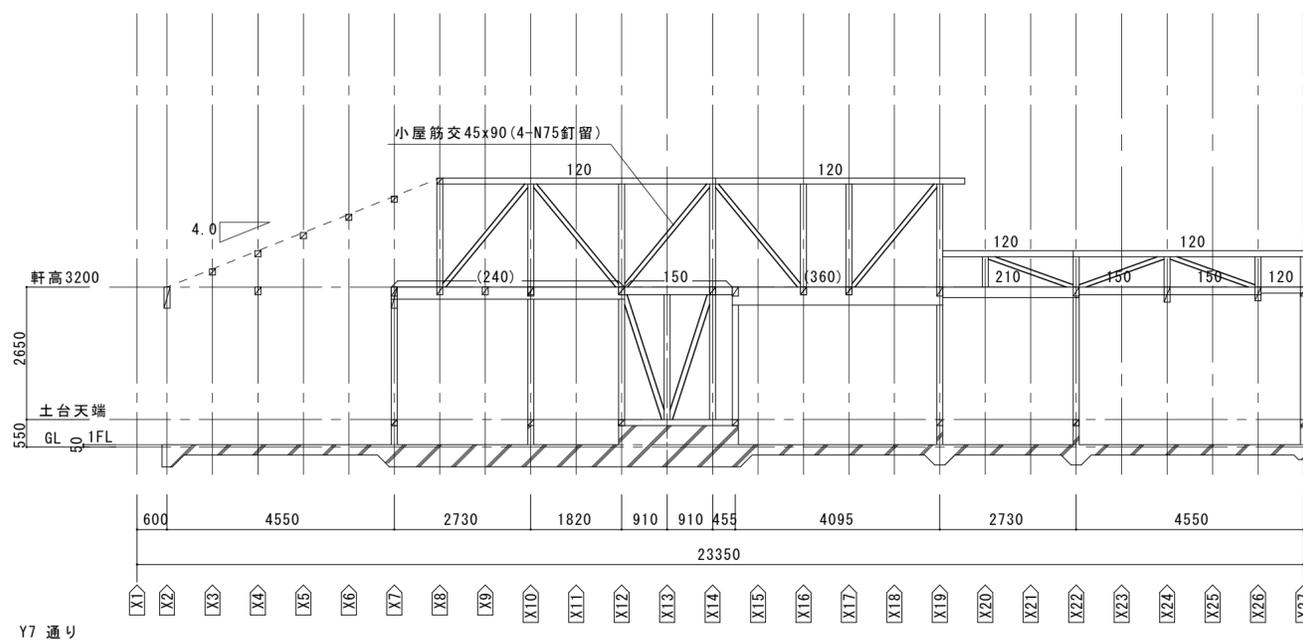
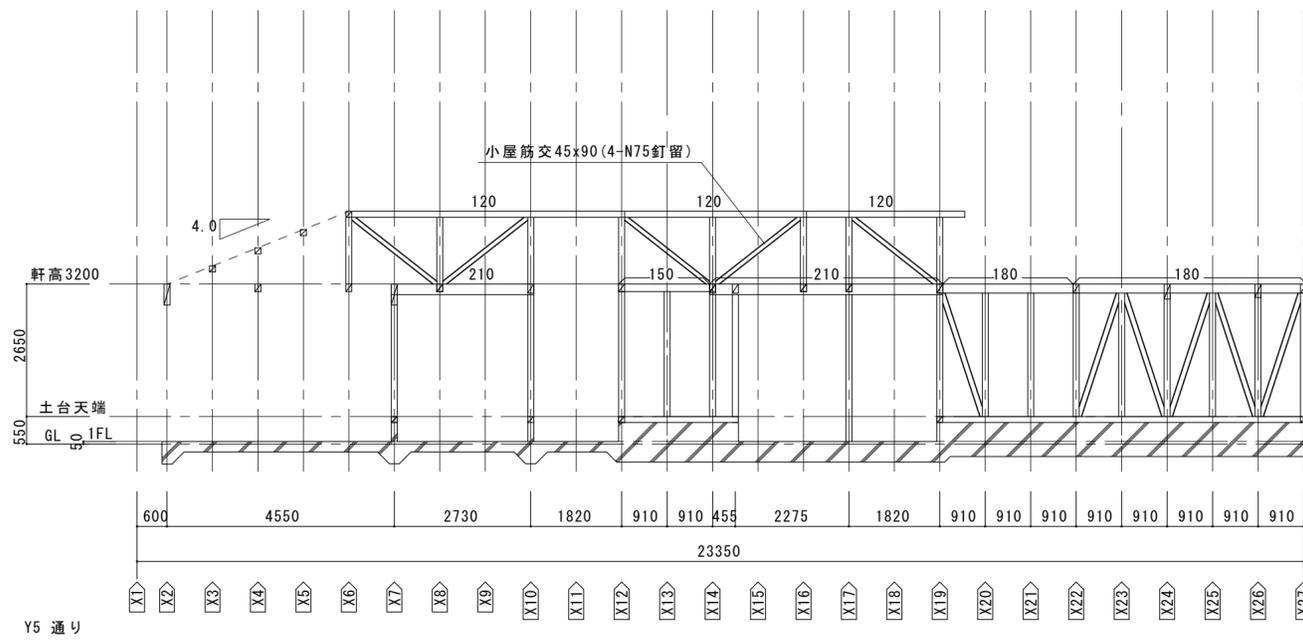
日付
備考

工事名称
関の山車会館地域交流施設新築工事

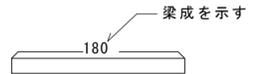
図面内容
軸組図 (5)

縮尺
1:100

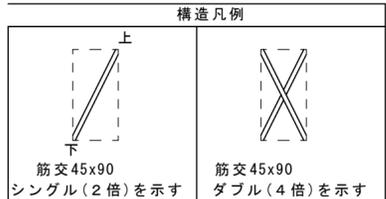
図面番号
S-23



※特記無き梁は杉とする
 ※ () 内の梁は杉集成 (E65-F225) とする
 ※特記無き管柱は桧 120x120 とする
 ※特記無き通柱は米松集成 120x120 (E120-F375: 同一等級材) とする



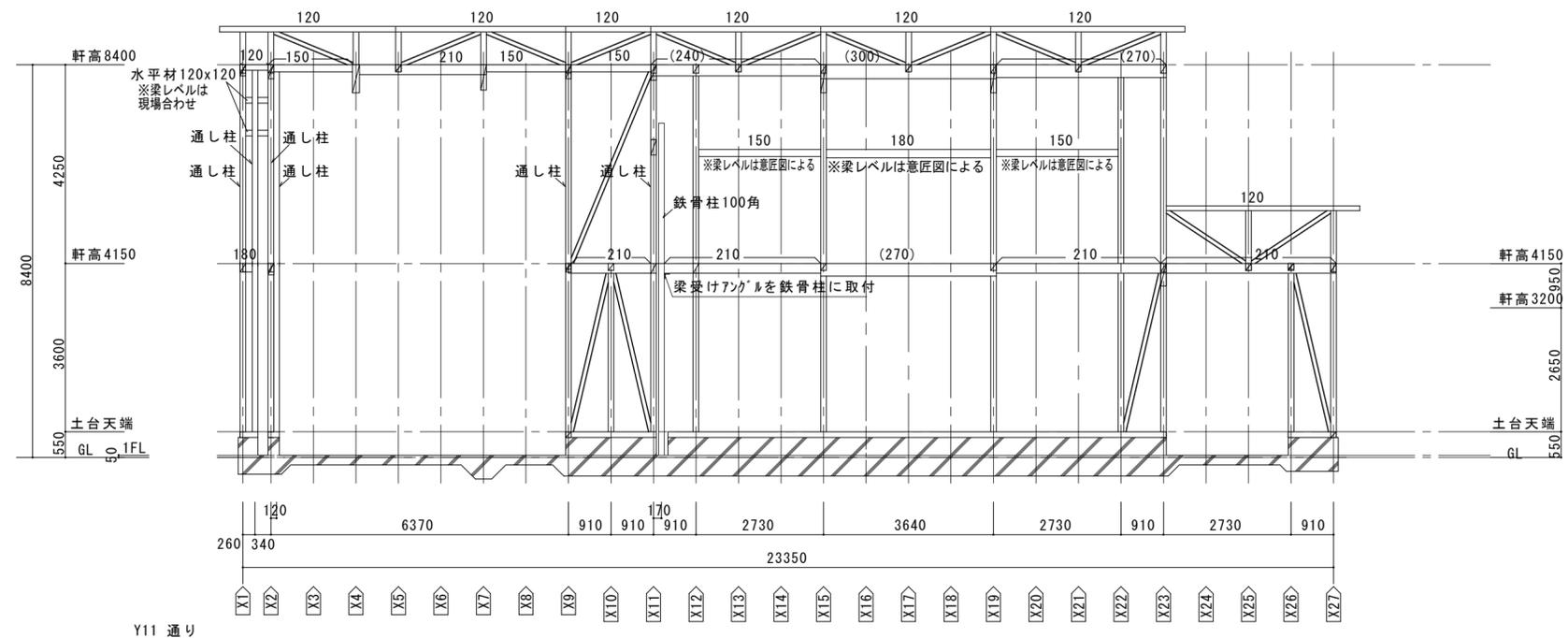
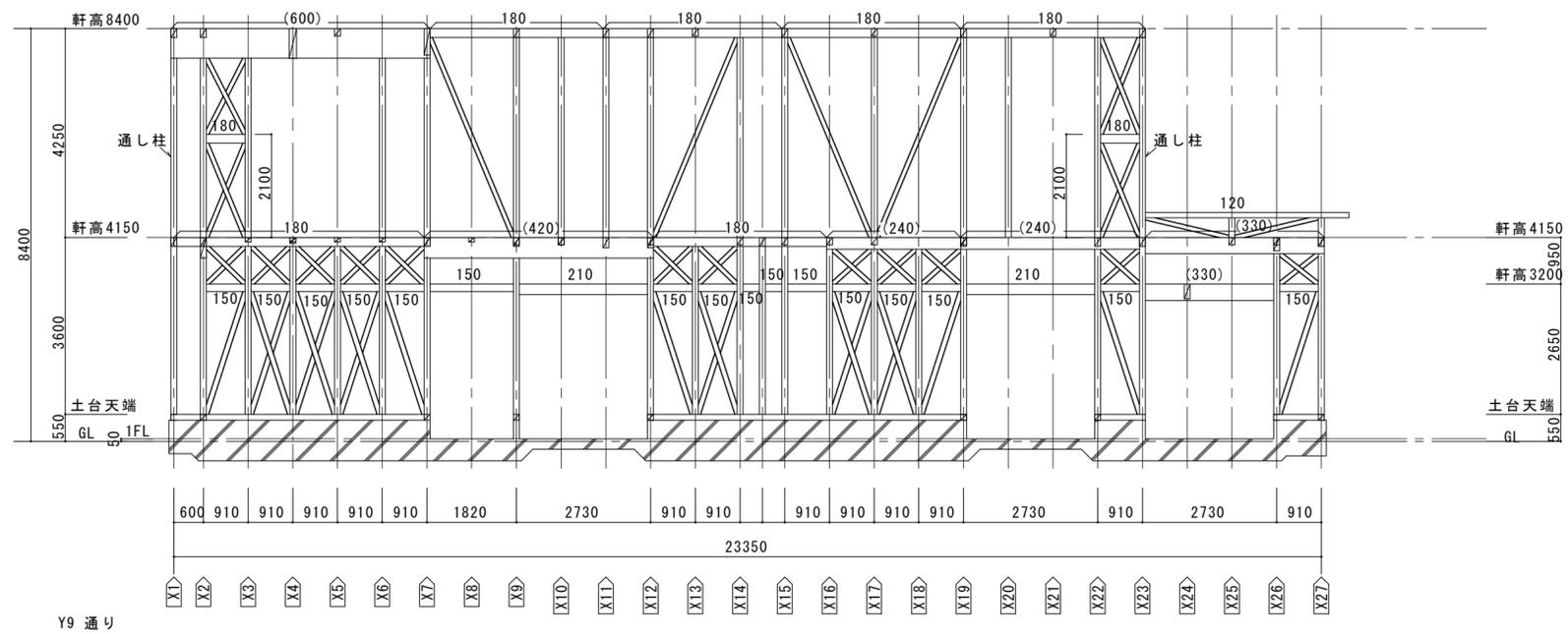
柱 120x120
 柱の有効細長比 $\lambda = 122.69 \leq 150$
 ※最大の柱長さ 4250mm



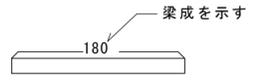
亀山市

日付	備考

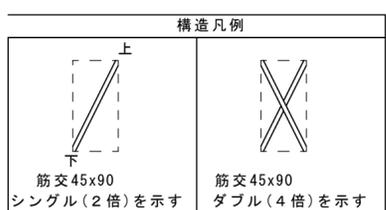
工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
関の山車会館地域交流施設新築工事	軸組図 (6)	1:100	S-24



※特記無き梁は杉とする
 ※()内の梁は杉集成(E65-F225)とする
 ※特記無き管柱は桧120x120とする
 ※特記無き通柱は米松集成120x120 (E120-F375:同一等級材)とする

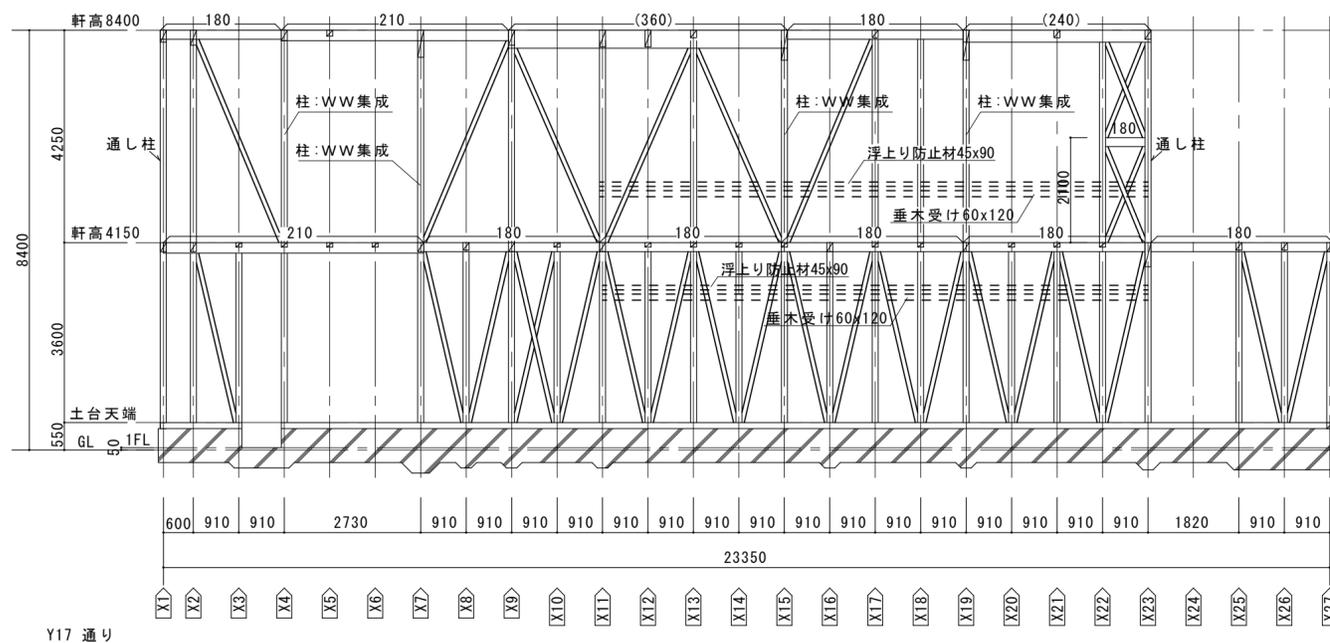
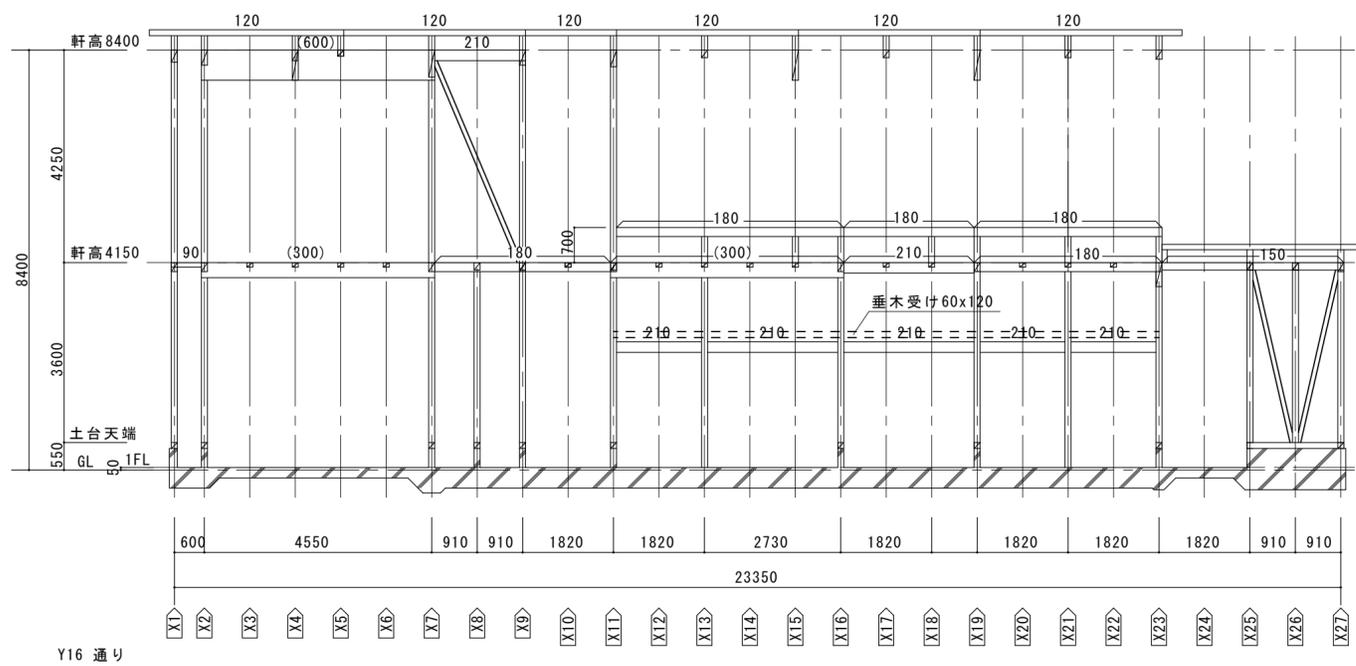


柱120x120
 柱の有効細長比 $\lambda = 122.69 \leq 150$
 ※最大の柱長さ4250mm

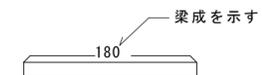


亀山市

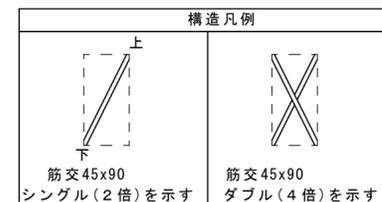
日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	軸組図(7)	1:100	S-25



※特記無き梁は杉とする
 ※ () 内の梁は杉集成 (E65-F225) とする
 ※特記無き管柱は桧 120x120 とする
 ※特記無き通柱は米松集成 120x120 (E120-F375: 同一等級材) とする



柱 120x120
 柱の有効細長比 $\lambda = 122.69 \leq 150$
 ※最大の柱長さ 4250mm



亀山市

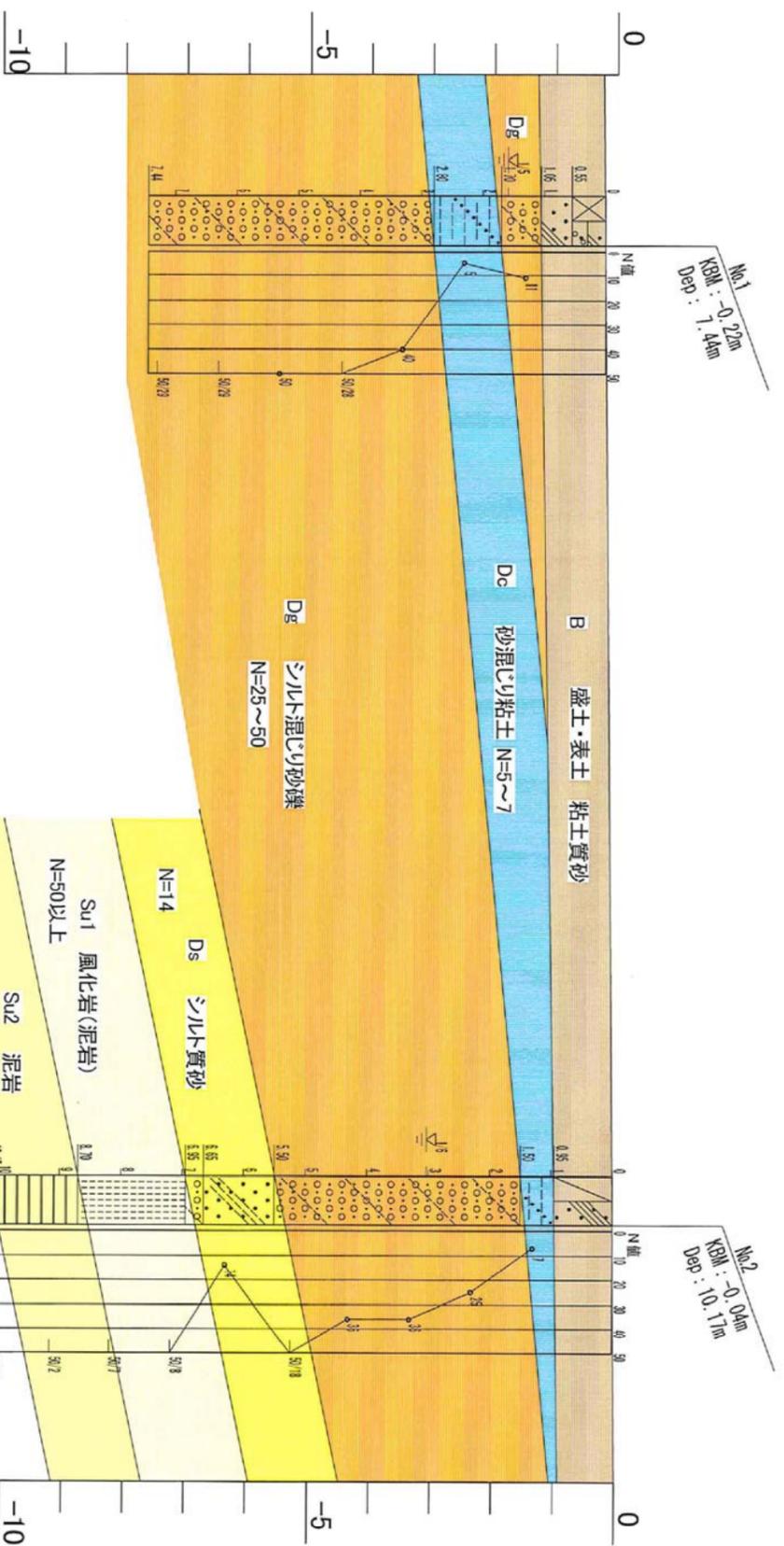
日付
備考

工事名称
関の山車会館地域交流施設新築工事

図面内容
軸組図 (8)

縮尺
1:100

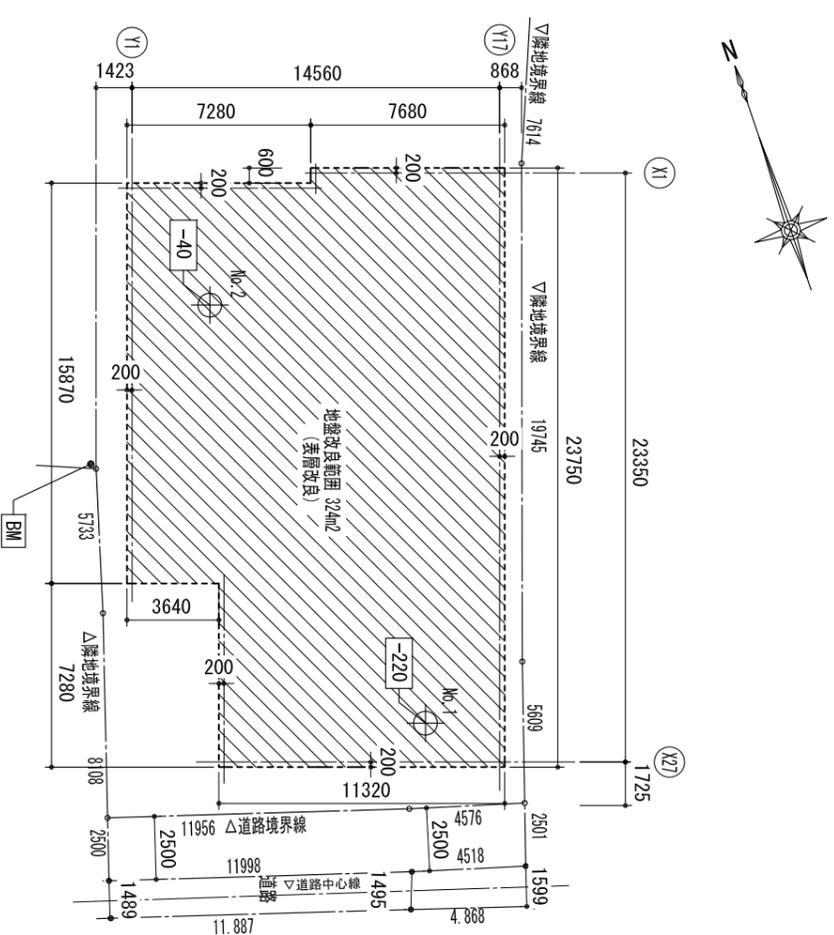
図面番号
S-26



凡例

地質時代	地層名	記号	土質	N値	層厚(m)
第四紀 最新世	高位段丘堆積層	B・As	粘土質砂	1~3	0.95~1.05
		Dc	砂混じり粘土	5~7	0.55~1.10
		Dg	シルト混じり砂礫	25~50以上	4.00~4.64
第四紀 中新世	銘座層群	Ds	シルト質砂	14	1.15
		Su1	風化岩	50以上	1.75
		Su2	泥岩	50以上	1.47

柱状図



地盤改良計画図 1:200

■表層地盤改良
 表層(粘土質砂の盛土)を1.0m改良する。
 但し、設備配管部は除く。
 セメント添加量: 50kg/m³を攪拌。
 設計用地耐力は、長期支持力30kN/m²を確保すること。
 (※載荷試験にて確認)

■凡例
 BM: ベンチマークを示す。(既存石天端、TP +94.39m)
 設計値 = BM ±0
 -40: ベンチマークからのレベルを示す。

亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山事会館地域交流施設新築工事	柱状図、地盤改良計画図	S=1:200	S-27

電気設備工事特記仕様書				
◎印を付けたものを本工事に適用する				
建築概要				
工事名称	関の山車会館地域交流施設新築工事			
工事場所	三重県亀山市関町中町531			
	建物名称	構造	階数	延べ面積 (m ²)
	地域交流会館	木造	平屋	299.27m2
一般事項				
適用仕様書	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)平成25年版 ◎ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)平成25年版 ◎ 消防関係法諸規定 (所轄署指導要項を含む) ◎ 三重県公共工事共通仕様書 			
適用仕様書	<p>工事詳細については本設計図、仕様書によるほか上記施工基準に準拠し、監督員指示の下 入念且つ誠実に施工するものとする。</p> <p>設計図書の誤記、記入漏れ又は図面上納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議することとし、材料の不足等がある場合で、 施工上又は技術上又は技術上当然と認められるものについては、これを請負工事範囲で補足するものとする。施工途上において必要ある時は工事に支障の無い範囲で監督員の指示を受け、機器の取付け及び配管配線の方法等について軽微な変更が出来るものとする。</p> <p>他工事との取合いについては、監督員の指示に従い予め各関係請負者間に於いて慎重に協議し、工事の円滑な進捗に支障の無い様に配慮すること。</p> <p>配線については、天井内はケーブルころがしとし壁面内は電線管にて保護をする。尚、屋外配線については、埋設部分は埋設表示杭及びシートを設けること。</p>			
特記事項				
◎ 記載なき電線は600Vビニル絶縁電線とする。 ◎ 二重天井内はケーブル配線とする。				
◎ 電線管の使用区分				
① 埋込、隠べい部分 _____ ○ 薄鋼電線管 ◎ VE管 ○ CD管 ◎ PF管 ② 露出部分 _____ ◎ 厚鋼電線管 ○ VE管 ③ 地中部分 _____ ○ PE電線管 ◎ FEP管 ◎ HIVE管				
◎ 地中埋設配管は埋設表示杭、埋設シートを設け、埋設深さは下記とする。 ① 強電 _____ ◎ GL-600 ○ GL-1200 ② 弱電 _____ ◎ GL-300 ○ GL- 600 ○ GL-1200				
◎ 露出配管(鋼製電線管)部分は、指定色2回塗りとする。				
◎ 通線しない配管にはビニール被覆鉄線を入線し、行先表示札を取り付ける事。				
◎ 接地工事は設計図に明記なきも当然必要な箇所には接地を施すこと。				
◎ 機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計施工指針」により施工する。				
◎ 防火区画貫通部分は、(財)日本消防設備安全センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。(令129条2の5による。)配管等との間隙をモルタル、その他不燃材で埋める。				

◎ 幹線設備	工事範囲	◎ 配管 ◎ 配線 ◎ 機器取付 ◎ 引込 ◎ 引込み工事負担金 ○ 警報設備		
	電気方式	◎ 3φ3W 210 V 50Hz ◎ 1φ3W 210/105 V 50Hz		
	盤類形式	◎ 埋込み型 ◎ 露出型		
	その他	○ 警報設備 ◎ 動力設備		
◎ 電灯コンセント設備	工事範囲	◎ 配管 ◎ 配線 ◎ 機器取付		
	配線器具	◎ 特別なものを除き大角型とする		
	プレート	○ 新金属 ○ ステンレス ◎ フルカラー()		
	照明器具	◎ 照明器具は原則としてLEDとし詳細については打合せの上決定する。		
	非常照明	◎ BT内蔵型 ○ BT別置き型		
◎ 電話設備	工事範囲	◎ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付		
	引込方法	◎ 架空 ○ 地中		
	受 口	◎ 壁付 ◎ 床付 (仕様は配線器具に準ずる)		
	交換機	局線 回線. 内線 回線		
	電話器	○ 卓上 ○ 壁掛 ○ 回転ダイヤル ○ プッシュダイヤル		
	注意事項	◎ インターホン用空配管含む		
○ インターホ設備	工事範囲	◎ 配管 ◎ 配線 ◎ 機器取付 ○ ELV用配管配線		
	種 別	◎ 住宅用 ◎ 業務用 ○ 集合住宅 ○ ナースコール ○ 身障者呼出装置		
	通話方式	○ 交互通話 ◎ 親子式 ○ 同時通話		
	附属機能	○ 電気錠解錠 ○ ガス漏れ警報 ○ 非常押釦		
◎ テレビ共聴設備	工事範囲	◎ 配管 ◎ 配線 ◎ 機器取付 ○ CATV加入費		
	アンテナ	○ VHF ◎ UHF ○ FM ○ AM ◎ BS ◎ CATV ○ 自立型 ◎ 側面取付型		
	受 口	◎ 直列ユニット75Ω (仕様は配線器具に準ずる)		
	電界強度測定	◎ 行う(アンテナ取付位置・末端ユニット2ヶ所) 行わない ○		
	電波障害調査	◎ 行う(事前 ポイント、事後 ポイント) 行わない ○		
○ 自動火災報知設備	その他	◎ ケーブルは、3重シールド同軸ケーブルを使用とする(CATVメーカー対応品)		
	工事範囲	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器取付		
	受信機	○ P型 2級 5回線 ○ 単独 ○ 複合型(防火扉 回線+ガス漏れ 回線)		
	発信機	○ 総合盤 ○ 単独 ○ 埋込型 ○ 露出型		
	ガス漏れ警報設備	○ LPGガス ○ 都市ガス (回路)		

「機器標準取付高さ」

	名 称	測 点	取付高さ(mm)		名 称	測 点	取付高さ(mm)	
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000	出退表示	表示盤	床上～中心	天井高×0.9	
	引込開閉器	地上～中心	1,800～2,200		壁付発信器	床上～中心	1,300	
電 灯	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)	誘導支援	ヘルプザーチヤム	床上～中心	2,300	
					壁付押釦(一般)	床上～中心	1,300	
	スイッチ	床上～中心	1,300		外部受付用インターホ子機	標準図による		
	スイッチ(多目的便所)	床上～中心	1,100		壁付インターホン(上記以外)	床上～中心	1,300	
	スイッチ(自動扉)	床上～中心	1,800		押し釦(トイレ呼出)	床上～中心	900	
	(一般)	床上～中心	300		押し釦(トイレ呼出)	床上～中心	300	
	(和室)	床上～中心	150		復帰釦	床上～中心	1,500～1,800	
	(台所)	台所～中心	150～200		機器収容箱	床上～中心	200	
	(土間)	床上～中心	500		直列ユニット(一般)	床上～中心	300	
	(外壁・屋外)	地上～中心	800		直列ユニット(和室)	床上～中心	150	
ブリケット	(一般)	床上～中心	2,100～2,300	テレビ共同受信				
	(踊場)	床上～中心	2,000～2,500					
	(鏡上)	鏡上端～中心	150		受信機 副受信機	床上～中心	800～1,500	
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)		機器収容箱 発信機	床上～中心	800～1,500	
	手元開閉器箱	床上～中心	1,500		ヘル	床上～中心	2,300	
	操作スイッチ	床上～中心	1,300		表示灯	床上～中心	2,100	
構内交換	室内端子盤	床上～中心	300		ガス検知機(LPG)	床上～中心	300	
	集合保安器箱	天井下～中心	200					
時計	壁付電話機	床上～中心	1,300		備考	注) 1.天井高3,000以上の場合は、監督職員と協議すること。 2.意匠に関する部分の取付位置は、監督職員と協議すること。 3.表記は原則とし、施工前に監督職員の承諾を受ける。		
	壁掛形親時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)					
	子時計	床上～中心	天井高×0.9					
拡声	壁掛形スピーカ	床上～中心	天井高×0.9					
	壁付アツチネータ	床上～中心	1,300					

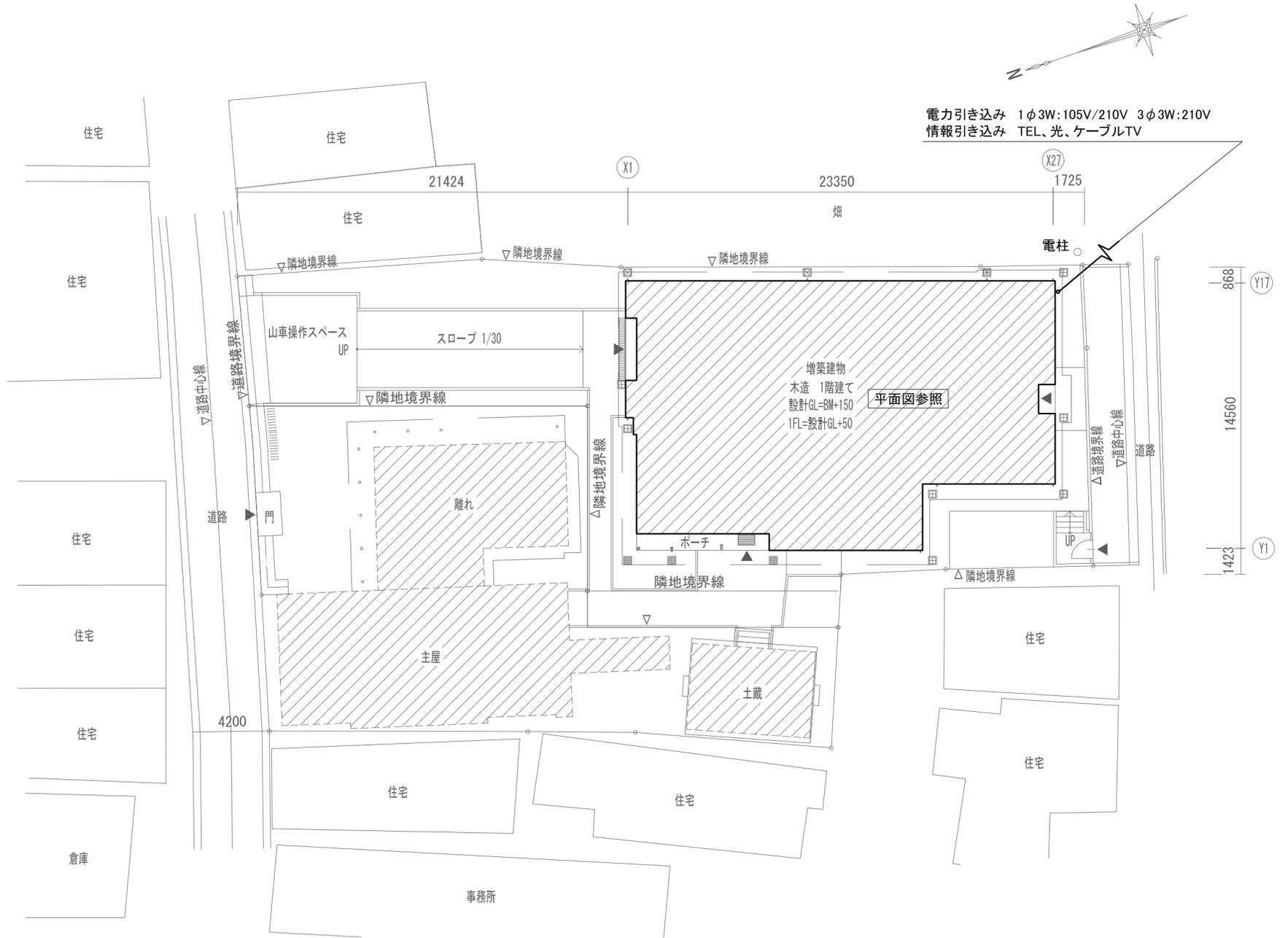
図面に特記無き接地極は、次表の「接地極一覧表」による。

「接地極一覧表」

接地の種類	記 号	接 地 抵 抗 値	接地極の規格・数量
・ 共同接地	E _{A,B,C,D}	Ω 以下	EB(D=14 又は W=40) × 3 連 - 組
・ 共同接地	E _{A,C,D}	Ω 以下	EB(D=14 又は W=40) × 3 連 - 組
・ A種	E _A	10Ω 以下	EB(D=14 又は W=40) × 3 連 - 2組
・ B種	E _B	Ω 以下	EB(D=14 又は W=40) × 3 連 - 組
・ C種	E _C	Ω 以下	EB(D=14 又は W=40) × 3 連 - 組
○ D種	E _D	Ω 以下	EB(D=14 又は W=40) × 3 連 - 組
・ D種	E _D	100Ω 以下	EB(D=10 又は W=30) × 1
・ 雷保護用	E _{LA}	Ω 以下	EB(D=14 又は W=40) × 連 - 組 又は EP-0.6 × 2
・ 高圧避雷器	E _{LH}	10Ω 以下	EB(D=14 又は W=40) × 3 連 - 2組
・ 交換機用	E _t	Ω 以下	EB(D=14 又は W=40) × 3 連 - 組
・ 通信用	E _{At}	10Ω 以下	EB(D=14 又は W=40) × 3 連 - 2組
・ 通信用	E _{Dt}	100Ω 以下	EB(D=10 又は W=30) × 1
・ 電話引込口の保安器用	E _{Dt}	100Ω 以下	EB(D=10 又は W=30) × 1
・ 測定用	E _o	100Ω 以下	EB(D=10 又は W=30) × 1
・ 構造体接地		Ω 以下	
・ 等電位接地		Ω 以下	

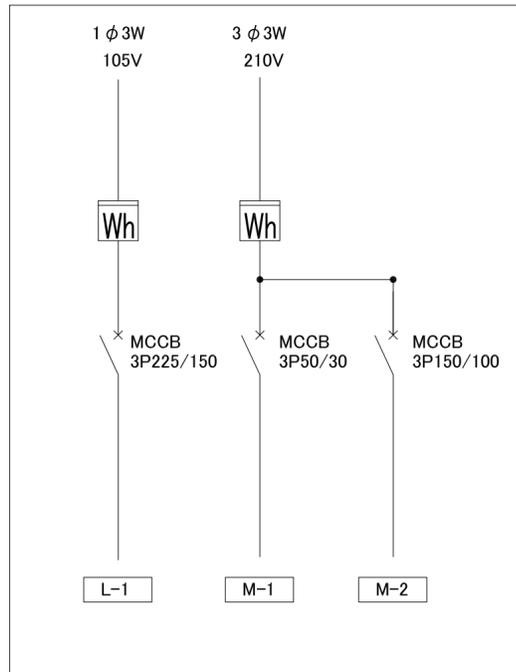
亀山市	日		備		工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
	付		考		関の山車会館地域交流施設新築工事	電気設備特記仕様書	NOSCALE	E-01

記号	名称	備考
	照明器具 天井直付 LED	姿図参照
	照明器具 壁直付 LED	姿図参照
	照明器具 ダウンライト LED	姿図参照
	照明器具 高天井用 LED	姿図参照
	照明器具 スポットライト LED	姿図参照
	照明器具 ブラケットライト LED	姿図参照
	照明器具 非常照明 LED	姿図参照
	埋込 スイッチ 1P15A	片切り
	埋込 スイッチ 3W15A 4W15A	3路 4路
	埋込 スイッチ 1P15A	ONピカ
	埋込 コンセント (一般用) 2P15A x 2	2口
	埋込 コンセント (一般用) 2P15AE+ET	1口+接地極+端子
	埋込 コンセント (一般用) 2P15AE x 2	2口+接地極
	埋込 コンセント (一般用) 2P15AE	2口(防水)+接地極
	埋込 コンセント (一般用)200V 2P20A	1口 IH用
	埋込 コンセント (エアコン用)100V 2P15/20A	壁用+接地端子付
	電灯盤	単線結線図参照
	動力盤	単線結線図参照
	弱電用端子箱 ONU、ルーター用スペース付	
	TV用 端子	CS-7FW
	TEL用 端子	ノズルプレート
	配管・配線 立上り、立下り	
	接地工事	
	壁換気扇	
	天井換気扇	
	引込口	
	引込柱	
	電力量計	
	熱線センサー付き自動スイッチ	
	熱線センサー付き自動スイッチ	換気扇回路付

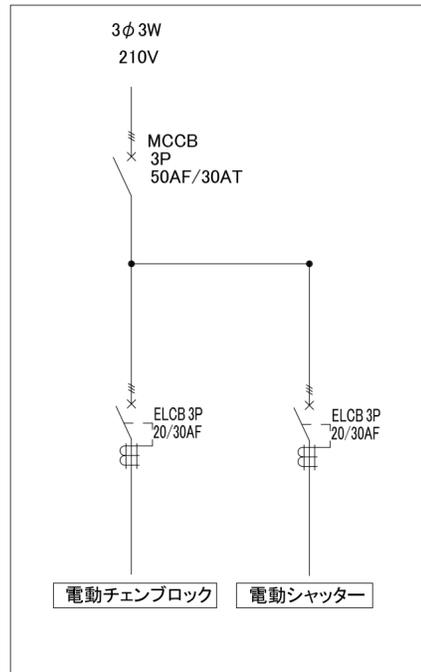


増築建物を示す
 改修建物を示す(別途工事)

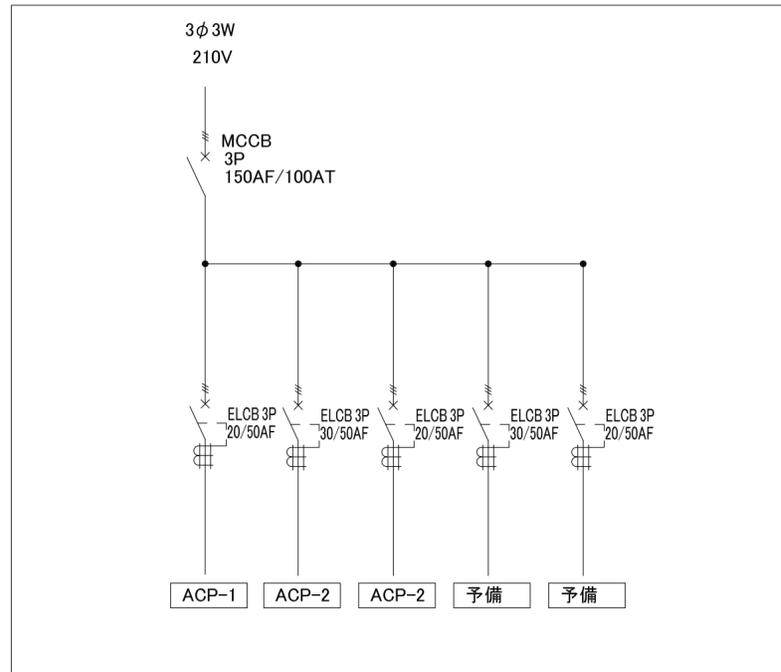
亀山市	日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
			関の山車会館地域交流施設新築工事	配置図・凡例	1/200	E-02



LM-0 単線結線図



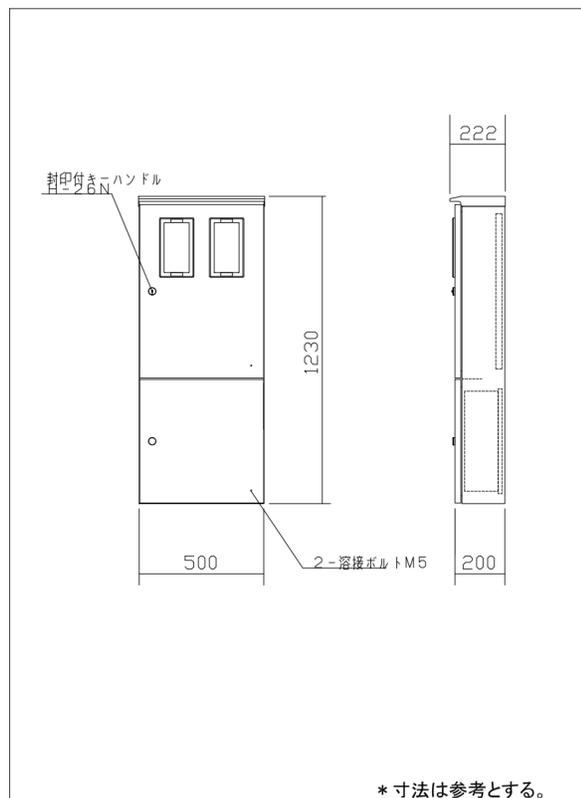
M-1 単線結線図



M-2 単線結線図



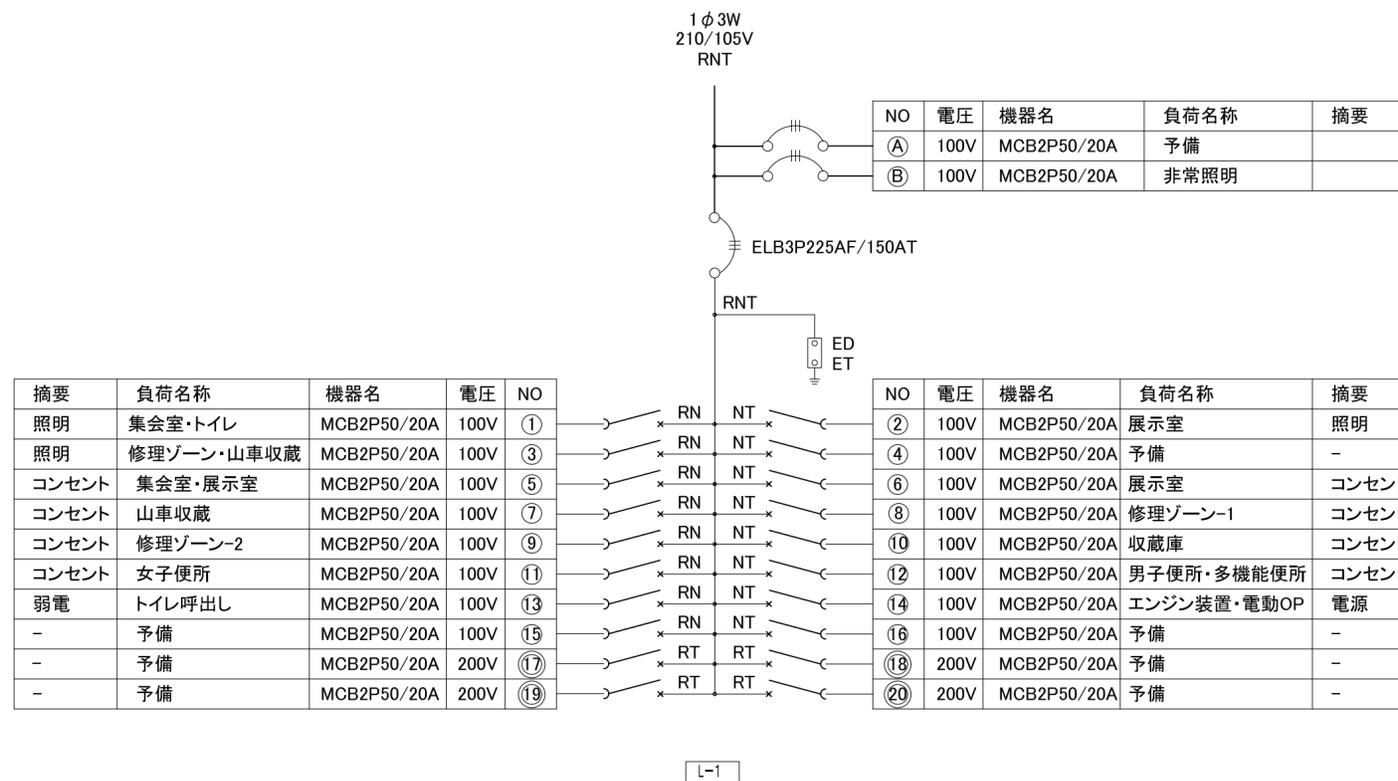
T-1 屋内仕様, 壁掛型



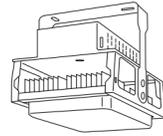
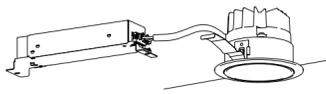
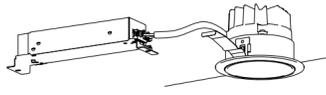
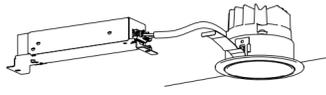
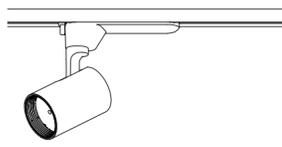
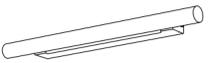
LM-0 参考図



L-1 参考図



L-1

<p>(A) LED直付型W150</p>  <p>一般タイプ、5200lmタイプ 定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra85 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>LSS9-4900LM-LN</p>	<p>(B) LED直付型ウォールウォッシャー</p>  <p>一般タイプ、6900lmタイプ 定格出力型、電圧100~242V 本体：亜鉛鋼板、反射板：鋼板（高反射白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra85 電源装置はライトバー側に内蔵</p> <p>LSR12-6200LM-LN</p>	<p>(C) LED高天井器具 水銀灯300形相当</p>  <p>光束11000lm、消費電力64.7W、電圧100~242V 昼白色、5000K、Ra70、光源寿命4万時間（光束維持率85%） 本体：アルミ、パネル：ポリカーボネート（透明）、アーム：亜鉛鋼板 直付型、拡散タイプ 周囲温度：-20℃~40℃（一時50℃） 落下防止ワイヤー付、約5~100%連続調光 電源内蔵型（3.0kg）</p> <p>パナソニック NNY20500LR9</p>	<p>(D) LEDダウンライト 100形</p>  <p>LED<ワンコア（ひと粒）タイプ> 一般タイプ、光束850lm、消費電力7.9W、電圧100~242V 器具光束850lm、消費電力7.9W、電圧100~242V 5000K、Ra85、40000時間（光束維持率85%） 反射板：アルミ（ホワイトつや消し仕上） 枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 埋込穴φ100、埋込高72</p> <p>パナソニック ダウンライトXNDN1038WNLE9</p>
<p>(E) LEDダウンライト 150形</p>  <p>器具光束1325LM LED<ワンコア（ひと粒）タイプ> 一般タイプ、光束15度、消費電力11.2W、電圧100V 5000K、Ra85、拡散タイプ、40000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 埋込穴φ100</p> <p>パナソニック ダウンライトXNDN1638WNKLE9</p>	<p>(F) LEDダウンライト 200形</p>  <p>器具光束1695LM LED<ワンコア（ひと粒）タイプ> 一般タイプ、光束15度、消費電力14.3W、電圧100V 5000K、Ra85、拡散タイプ、40000時間（光束維持率85%） 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上） 埋込穴φ100</p> <p>パナソニック ダウンライトXNDN2038WNKLE9</p>	<p>(G) LEDスポットライト 150形</p>  <p>LED<ワンコア（ひと粒）集光タイプ> 器具光束1235lm、消費電力14.3W、電圧100V 4000K、Ra85、ビーム角24度 灯具：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上） 100V配線ダクト用 灯具部幅φ71・長さ104 首振り約90度</p> <p>パナソニック NTS01021WLE1</p>	<p>(H) LEDブラケット 20形</p>  <p>電球色（2700K）、高演色Ra95 器具光束800lm、消費電力11.2W、電圧100V 美ルック、拡散タイプ、天井直付型・壁直付型、ツマミネジ方式 カバー：プラスチック（乳白） 両面化粧タイプ W=540 H=38 出し高76</p> <p>パナソニック LGB85001LE1</p>
<p style="text-align: right;">注記 メーカー型番は参考とする。</p>			

亀山市

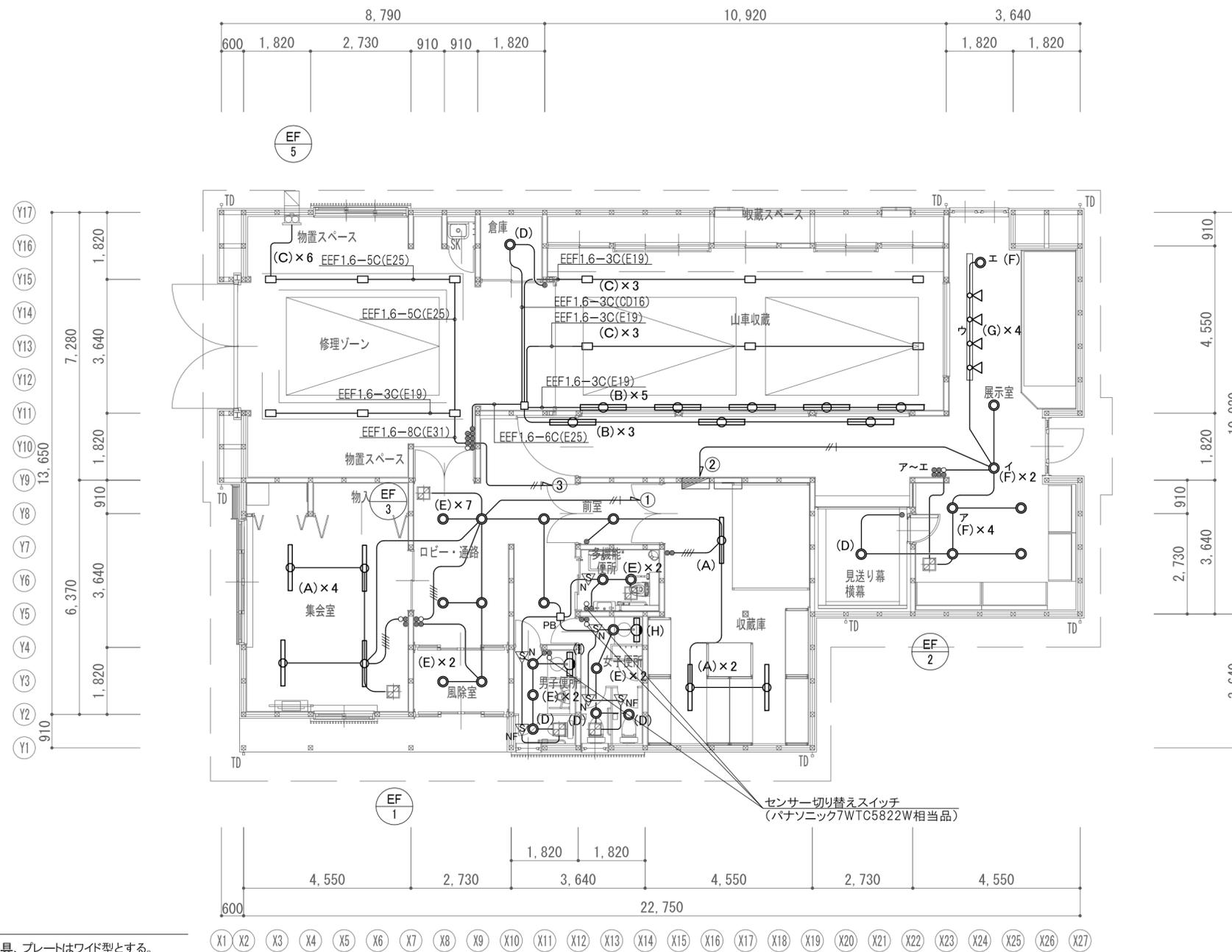
日付
備考

工事名称
関の山車会館地域交流施設新築工事

図面内容
照明器具姿図

縮尺
NOSCALE

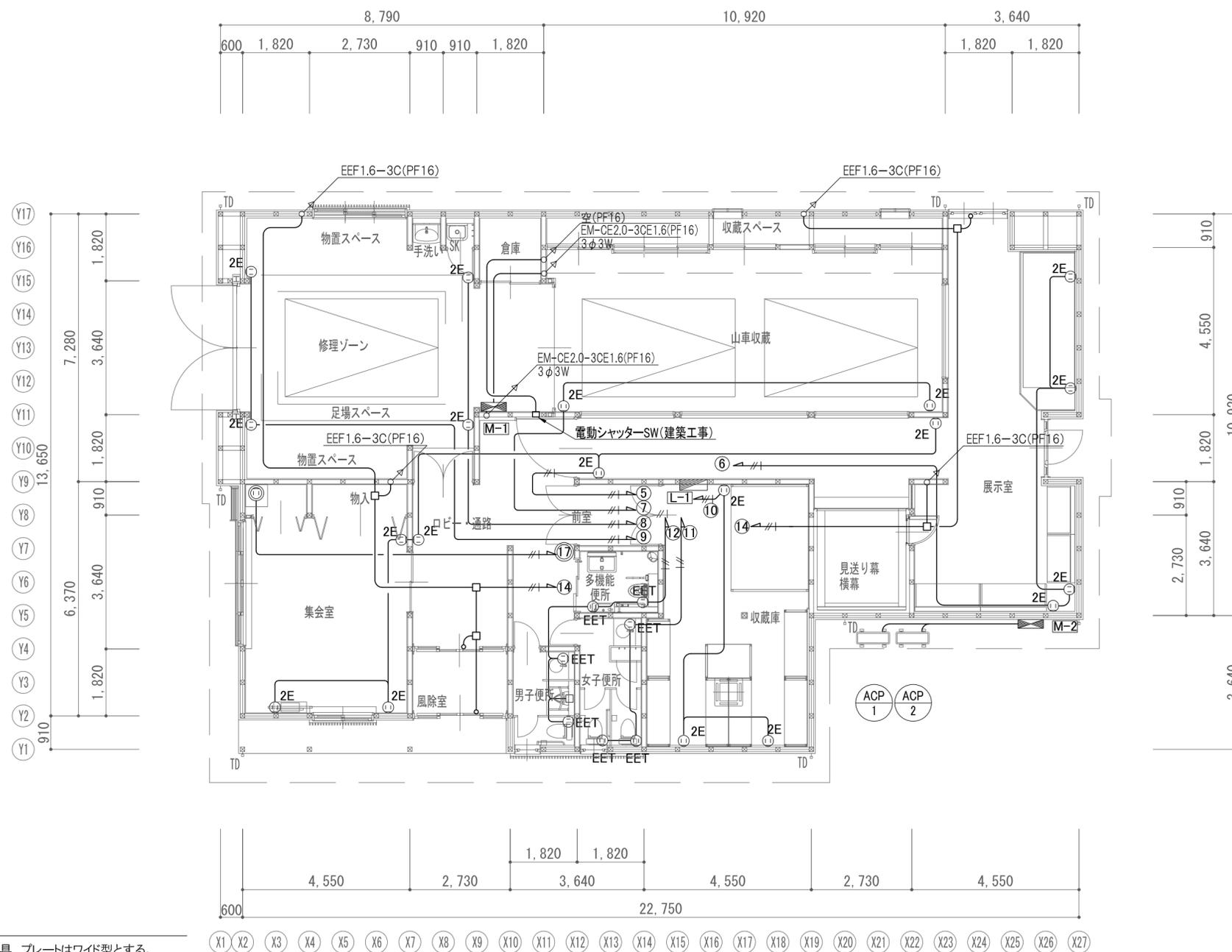
図面番号
E-04



- (注記)
- | | |
|--------------------------|--|
| (1) 図中特記なき配管配線は下記による。 | (2) 配線器具、プレートはワイド型とする。 |
| —#— EEF1.6-2C(PF16) | |
| —#— EEF1.6-3C(PF16) | (3) 防火区画・界壁を貫通する配管配線は
大臣認定工法にて施工すること。 |
| —###— EEF1.6-2C×2(PF16) | |
| —###— EEF1.6-2C+3C(PF22) | (4) ランプ色は打合せにより決定する。 |
| —#— EEF2.0-2C(PF16) | |
| —#+— EEF2.0-3C(PF22) | |
| 但し、二重天井内はケーブル配線とする。 | |

亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	照明設備図	1/100	E-05



(注記)

(1) 図中特記なき配管配線は下記による。

— # —	EEF1.6-2C(PF16)
— — —	EEF1.6-3C(PF16)
— // —	EEF1.6-2C×2(PF16)
— /// —	EEF1.6-2C+3C(PF22)
— # —	EEF2.0-2C(PF16)
— #+ —	EEF2.0-3C(PF22)

但し、天井内はケーブル配線とする。

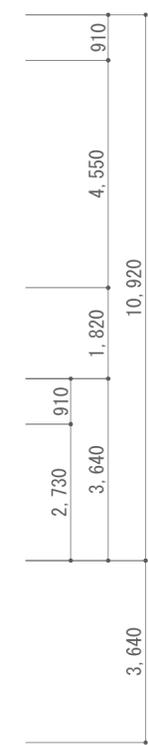
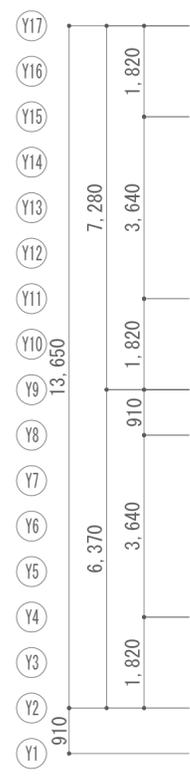
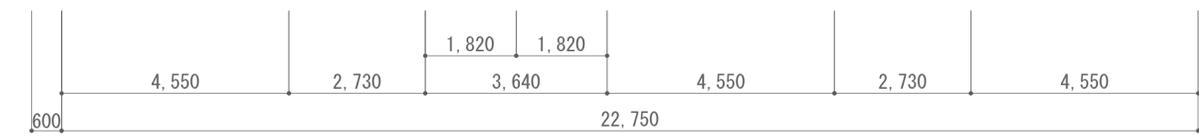
(2) 配線器具、プレートはワイド型とする。

(3) 防火区画・界壁を貫通する配管配線は
大臣認定工法にて施工すること。

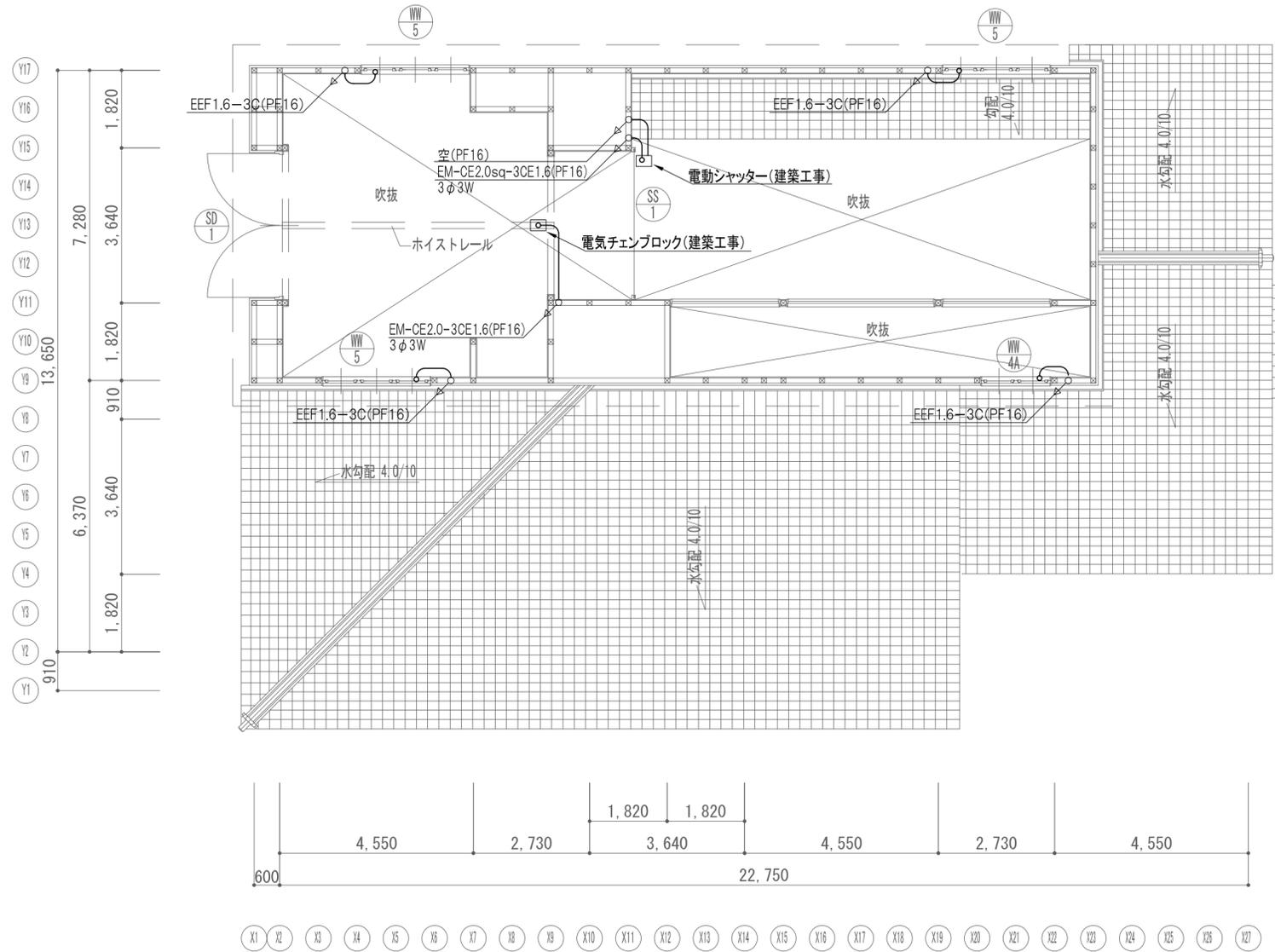
(4) ランプ色は打合せにより決定する。

亀山市

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15 X16 X17 X18 X19 X20 X21 X22 X23 X24 X25 X26 X27



工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
関の山車会館地域交流施設新築工事	動力・コンセント設備図-1	1/100	E-06



亀山市

日付

備考

工事名称

図面内容

縮尺

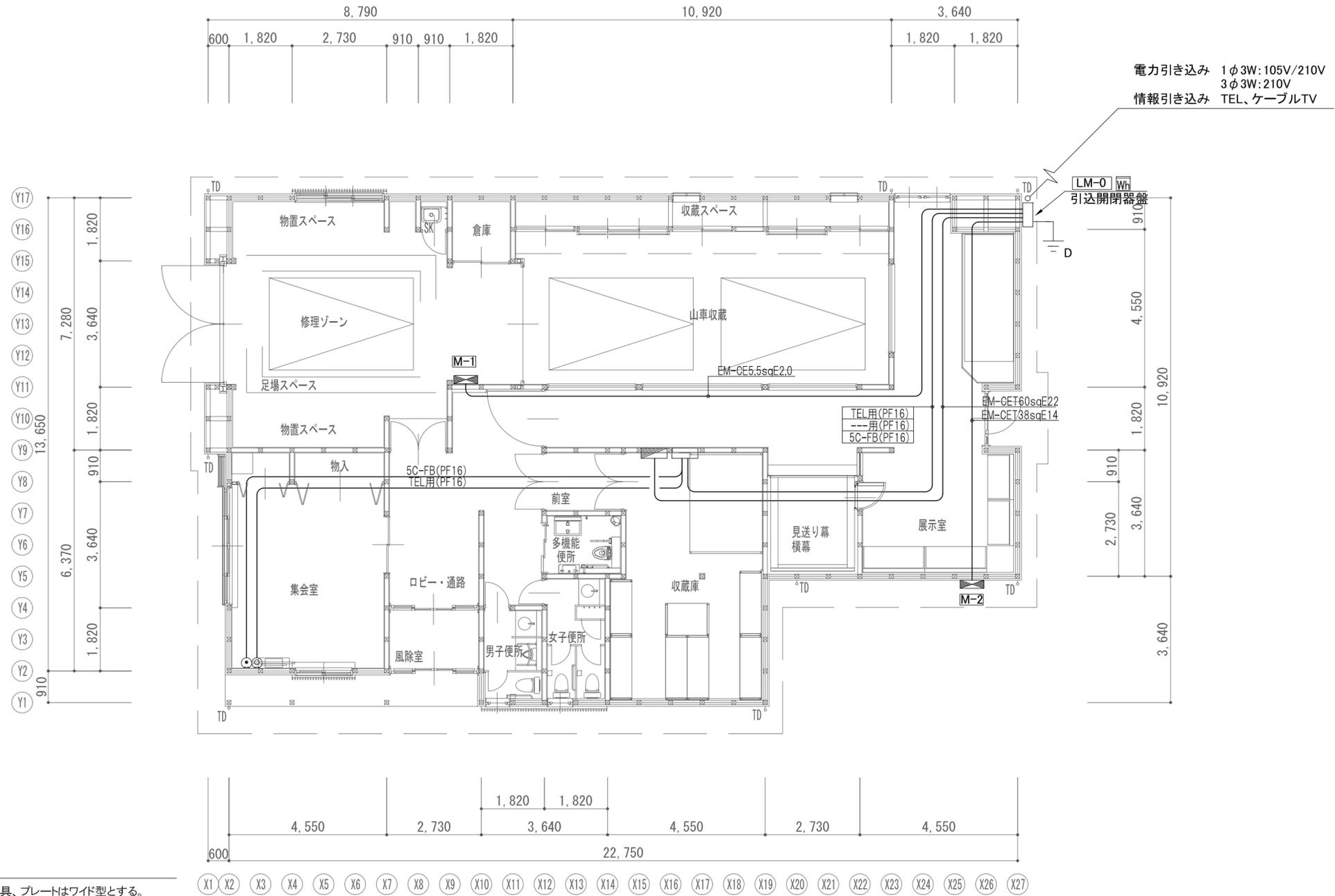
図面番号

関の山車会館地域交流施設新築工事

動力・コンセント設備図-2

1/100

E-07



電力引き込み 1φ3W:105V/210V
3φ3W:210V
情報引き込み TEL、ケーブルTV

- (注記)
- (1) 図中特記なき配管配線は下記による。
- EF1.6-2C(PF16)
 - EF1.6-3C(PF16)
 - EF1.6-2C×2(PF16)
 - EF1.6-2C+3C(PF22)
 - EF2.0-2C(PF16)
 - EF2.0-3C(PF22)
- 但し、二重天井内はケーブル配線とする。

- (2) 配線器具、プレートはワイド型とする。
- (3) 防火区画・界壁を貫通する配管配線は
大臣認定工法にて施工すること。
- (4) ランプ色は打合せにより決定する。

亀山市	日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
			関の山車会館地域交流施設新築工事	幹線・弱电設備図	1/100	E-08

1窓用呼出表示器 (CBN-1C)

電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)
形状	壁取付形
材質	SPCC t1.2
窓数	1窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

廊下灯 (CBR-4B)

形状	壁埋込形(JIS1個用スイッチボックス)
材質	パネル:ABS樹脂、ランプカバー:ポリカーボネート
表示灯	赤色LED

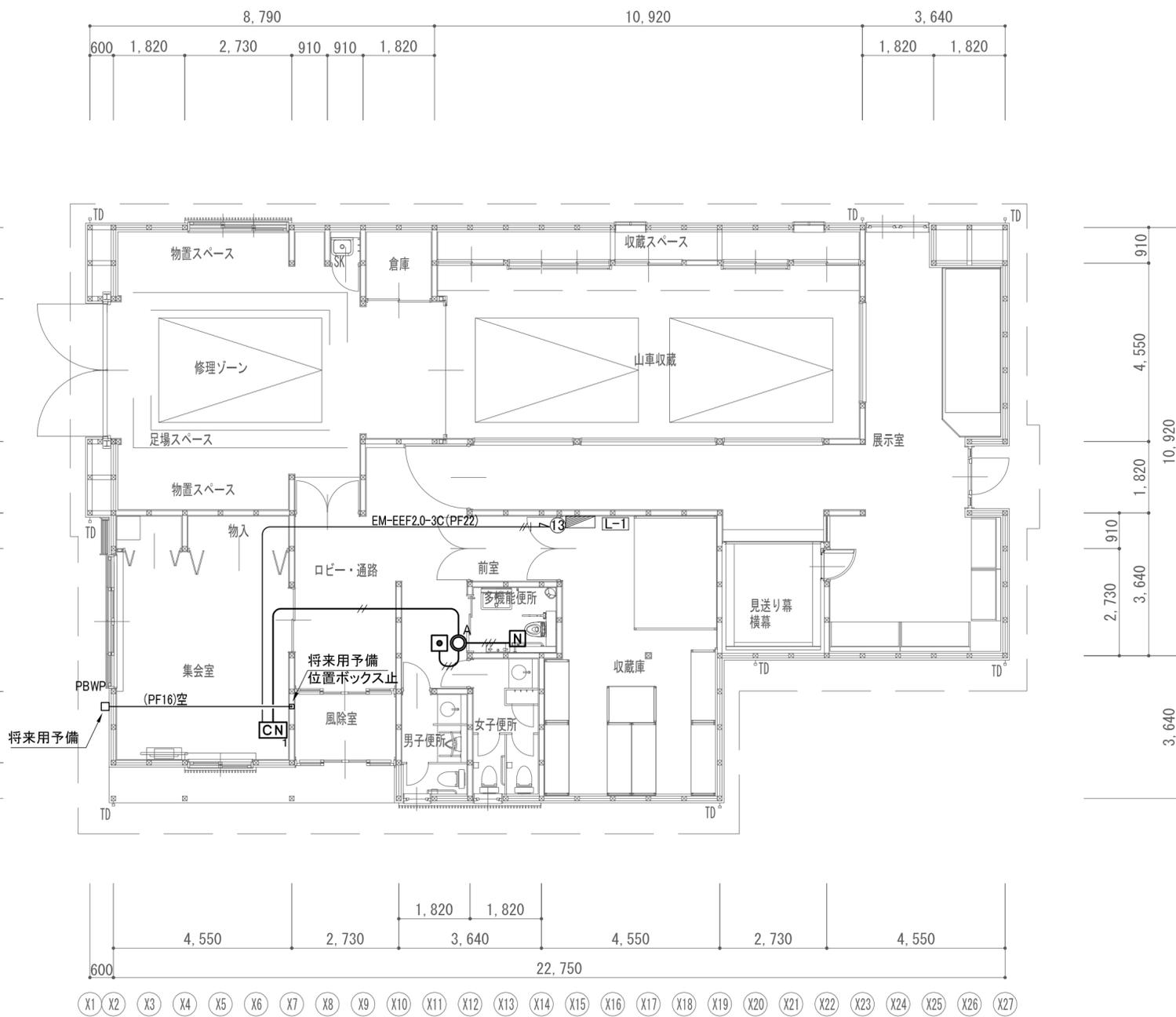
呼出ボタン(引きひも付) (NBR-7HWA)

形状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)
材質	自己消火性樹脂
備考	引きひも式、押ボタン式両用

復旧ボタン (NBR-2A-C)

形状	埋込形(JIS1個用スイッチボックス)
材質	樹脂

(注記)
 (1) 図中特記なき配管配線は下記による。
 // EM-AE0.9-2C(PF16)
 /// EM-AE0.9-3C(PF16)
 但し、二重天井内はケーブル配線とする。



亀山市

日付
備考

工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
関の山車会館地域交流施設新築工事	トイレ呼出設備図	1/100	E-09

<p>機械設備工事特記仕様</p> <p>(○印を付けたものを適用する。)</p>		<p>給水設備</p> <p>・給水方式 ・水道直結式 ・高架水槽式 ・圧送方式</p> <p>・配管材料 ○ライニング鋼管(一般) (○VA ・VB ・VD ・PA ・PB ・PD)</p> <p>・ライニング鋼管(土中) (・VD ・PD)</p> <p>○塩化ビニル管(土中) (○HI ・VP ・ポリ管)</p> <p>・弁類 直結部分 ・水道業者指定品 その他の部分 ・JIS 5K ○JIS 10K</p> <p>・量水器 ○貸与品 ・買取り(私設)</p> <p>・引込加入、市納金等 ・要 ○別途工事 ・本工事) ・不要</p>		<p>配管設備</p> <p>・配管方式 ○冷媒配管 ・冷温水管 ・冷却水管 ・温水管</p> <p>・配管材料 ○冷媒管 ・冷媒用銅管 ○冷媒用被覆銅管</p> <p>・冷温水管 ・配管用炭素鋼鋼管(白) ・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管</p> <p>・冷水、温水管 ・配管用炭素鋼鋼管(白) ・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管</p> <p>・冷却水管 ・ライニング鋼管(・VA ・VB) ・配管用炭素鋼鋼管(白)</p> <p>・ドレン管 ・配管用炭素鋼鋼管(白) ○塩化ビニル管(VP)</p> <p>・油管 ・配管用炭素鋼鋼管(黒) ・外面塩ビライニング鋼管(黒)</p> <p>・蒸気管 ・配管用炭素鋼鋼管(黒)</p> <p>・弁類 JIS10Kg/c㎡ ・ JIS5Kg/C㎡</p>																																																													
<p>建築概要</p> <p>工事名称 関の山車会館地域交流施設新築工事</p> <p>工事場所 三重県亀山市関町中町531</p> <table border="1"> <tr> <th>建物名称</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>延面積(㎡)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>地域交流会館</td> <td>木造</td> <td>平屋</td> <td>298.65</td> <td></td> </tr> </table>		建物名称	構造	階数	延面積(㎡)	備考	地域交流会館	木造	平屋	298.65		<p>排水設備</p> <p>・排水方式 屋内 ○分流方式 ・合流方式</p> <p>屋外 ・分流方式 ○合流方式</p> <p>雨水 ○分流方式 ・合流方式</p> <p>・配管材料 屋内汚水管 ・メカニカル形排水鋳鉄管 ・排水用塩ビライニング鋼管(MD継手)</p> <p>雑排水管 ○硬質塩化ビニル管(VP) ・耐火被覆ビニル管</p> <p>・配管用炭素鋼鋼管(白) ・排水用塩ビライニング鋼管(MD継手)</p> <p>・硬質塩化ビニル管(VP) ・耐火被覆ビニル管</p> <p>通気管 ・配管用炭素鋼管(白) ○硬質塩化ビニル管(VP) ・耐火被覆ビニル管</p> <p>屋外排水管 ・遠心力鉄筋コンクリート管(外圧管 ・2種 ・1種)</p> <p>○硬質塩化ビニル管(VP) ○硬質塩化ビニル管(VU)</p> <p>樹 ・公団形(B種) ・現場打 ・市販樹 ○小口径 ・ビニル樹</p>		<p>ダクト設備</p> <p>○風道 ○低速風道 ・高速風道</p> <p>○風道材質 ○亜鉛鉄板 ・ステンレス板 ・グラスウールダクト ・消音フレキ</p> <p>・吹出口・吸込口 ・アルミニウム製 ・鋼板製(指定色焼付け塗装)</p> <p>・その他</p>																																																			
建物名称	構造	階数	延面積(㎡)	備考																																																													
地域交流会館	木造	平屋	298.65																																																														
<p>一般事項</p> <p>適用仕様書 ○公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)平成25年版</p> <p>○公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)平成25年版</p> <p>○消防関係法諸規定(所轄署の指導含む)</p> <p>○三重県公共工事共通仕様書</p> <p>優先順位 1. 現場説明事項、質疑応答書</p> <p>2. 本特記仕様書</p> <p>3. 設計図書</p> <p>4. 工事共通仕様書</p> <p>申請手続 工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。</p> <p>疑義 設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点、質疑はその都度監督員と協議する事。</p> <p>変更 設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められる物については本工事に含む。</p> <p>完成図書 工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検取簿、完成写真、竣工図取扱説明書等とりまとめ提出すること。</p> <p>耐震基準 日本建築センター編「建築設備耐震設計・施工指針」によること。</p>		<p>衛生器具設備</p> <p>・大便器洗浄方式 ・FV(・節水形 ・低圧式) ○洗浄タンク</p> <p>・水栓 ○節水コマ(泡沫式は除く) ・普通コマ</p> <p>・その他 ・和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける</p>		<p>換気設備</p> <p>・換気方式 ・集中換気 ○個別換気</p> <p>・風道 ○低速風道 ・高速風道</p> <p>・風道材質 ○亜鉛鉄板 ・塩化ビニル管 ・スパイラルダクト ・ステンレス板</p> <p>・吹出口・吸込口 ダクトの当該項目による。</p> <p>・耐火被覆 ・湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。</p> <p>・その他 ・外気取り入れダクトは断熱のこと</p>																																																													
<p>特記事項</p> <p>○地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。</p> <p>○防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用すること。</p> <p>○排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両道路部600mm以上とする。</p> <p>○既設コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>○土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。</p> <p>○屋外露出及び多湿箇所(トレンチピット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。</p>		<p>給湯設備</p> <p>・給湯方式 ・中央式 ・ボイラー ・温水機 ・ガス給湯器 ・電気温水器 ・</p> <p>・局所式 ・ガス給湯器 ・瞬間湯沸器 ・電気温水器 ・</p> <p>・配管材料 ・銅管(・M ・L) ・被覆銅管(・M ・L) ・ステンレス鋼管</p> <p>・耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・配管用炭素鋼鋼管(黒)</p> <p>・内外面耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 ・耐熱性塩化ビニル管</p>		<p>排煙設備</p> <p>・風道材質 ・亜鉛鉄板 ・普通鋼板(板厚1.6mm)</p> <p>・排煙口の形式 ・天井取付(・スリット形・スイング形) ・壁取付(・スリット形・スイング形)</p> <p>・排煙口開放装置 ・手動 ・手動及び遠隔操作可能なもの</p> <p>・復帰方法 ・遠隔形 ・手元型</p>																																																													
<p>共通事項</p> <p>保温工事 ・共通仕様書による。</p> <p>・保温施工範囲は共通仕様書による。 ・保温施工種別</p> <p>○下表による。(但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による)</p>		<p>ガス設備</p> <p>・ガスの種別 ・都市ガス(種別 発熱量 kcal/m3</p> <p>・液化石油ガス(発熱量 12,000kcal/kg)</p> <p>・配管材料 ・配管用炭素鋼鋼管(白) ・ビニル被覆鋼管(地中埋設部)</p> <p>・都市ガスの場合、供給事業者の仕様による。</p> <p>・ボンベ ・別途 ・本工事 ボンベ(・10Kg ・20Kg ・50Kg) 本数(本)</p> <p>・転倒防止鎖等(・本工事 ・別途工事)</p> <p>・メーター ・貸与品 ・買取品</p> <p>・ガス漏れ検警報器 ・本工事 ・別途工事 ・一般形 ・自動遮断弁付</p>		<p>自動制御設備</p> <p>・制御方式 ・電子 ・電気 ・空気</p> <p>・その他</p>																																																													
<p>給排水衛生設備</p> <table border="1"> <tr> <th>屋内露出</th> <th>グラスウール保温筒</th> <th>綿布仕上げ</th> </tr> <tr> <th>屋外露出多湿箇所</th> <th>グラスウール保温筒</th> <th>SUS鋼板仕上げ</th> </tr> <tr> <th>天井・PS内</th> <th>グラスウール保温筒</th> <th>亀甲金網仕上げ</th> </tr> <tr> <th>床下・暗梁内</th> <th>グラスウール保温筒</th> <th>防水麻布(アスファルトプライマー)</th> </tr> </table> <p>・保温材の厚さ ・共通仕様書による。○下表による(機器、煙道は共通仕様書による)</p> <table border="1"> <tr> <th>給排水管、給湯管、温水管、ドレン管、80A以下</th> <th>20mm</th> <th>冷水管、冷温水管、25A以下</th> <th>30mm</th> </tr> <tr> <th>消火管(但し図示に特記ある場合のみ)</th> <th>100~150A</th> <th>25mm</th> <th>32~200A</th> <th>40mm</th> </tr> </table> <p>・冷媒配管の露出部は化粧ケース仕上げとする。</p>		屋内露出	グラスウール保温筒	綿布仕上げ	屋外露出多湿箇所	グラスウール保温筒	SUS鋼板仕上げ	天井・PS内	グラスウール保温筒	亀甲金網仕上げ	床下・暗梁内	グラスウール保温筒	防水麻布(アスファルトプライマー)	給排水管、給湯管、温水管、ドレン管、80A以下	20mm	冷水管、冷温水管、25A以下	30mm	消火管(但し図示に特記ある場合のみ)	100~150A	25mm	32~200A	40mm	<p>ろ過設備</p> <p>・方式 ・砂 ・フィルター</p> <p>・制御 ・全自動 ・手動</p> <p>・配管材料 ・配管用炭素鋼鋼管(白) ・耐熱性塩ビライニング鋼管 ・耐熱性塩化ビニル管</p>		<p>設備</p>																																								
屋内露出	グラスウール保温筒	綿布仕上げ																																																															
屋外露出多湿箇所	グラスウール保温筒	SUS鋼板仕上げ																																																															
天井・PS内	グラスウール保温筒	亀甲金網仕上げ																																																															
床下・暗梁内	グラスウール保温筒	防水麻布(アスファルトプライマー)																																																															
給排水管、給湯管、温水管、ドレン管、80A以下	20mm	冷水管、冷温水管、25A以下	30mm																																																														
消火管(但し図示に特記ある場合のみ)	100~150A	25mm	32~200A	40mm																																																													
<p>工事種別</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> <th></th> <th>屋外</th> <th>屋内</th> </tr> <tr> <th>給排水衛生設備</th> <td></td> <td></td> <td>空調設備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>・給水設備</th> <td>○</td> <td>○</td> <th>・機器設備</th> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>・排水設備</th> <td>○</td> <td>○</td> <th>・配管設備</th> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>・衛生器具設備</th> <td></td> <td>○</td> <th>・ダクト設備</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>・給湯設備</th> <td></td> <td></td> <th>・換気設備</th> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>・ガス設備</th> <td></td> <td></td> <th>・排煙設備</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>・消火設備</th> <td></td> <td></td> <th>・自動制御設備</th> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>・ろ過設備</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>・浄化槽設備</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			屋外	屋内		屋外	屋内	給排水衛生設備			空調設備			・給水設備	○	○	・機器設備	○	○	・排水設備	○	○	・配管設備	○	○	・衛生器具設備		○	・ダクト設備			・給湯設備			・換気設備	○	○	・ガス設備			・排煙設備			・消火設備			・自動制御設備			・ろ過設備						・浄化槽設備						<p>浄化槽設備</p> <p>・方式、容量 ・単独 ・合併(算定人員 人槽 処理水量 立米/日)</p> <p>・材質 ・FRP製 ・コンクリート既成管 ・RC躯体</p> <p>・補強スラブ ・要 ・不要</p>		<p>機器設備</p> <p>・設計空気条件(指示なきは建設省建築設備設計基準による) ・外気 夏季 34℃ 61% 冬季 3℃ 40%</p> <p>・室内 夏季 26℃ 50% 冬季 22℃ 湿度・成り行き</p> <p>・一般系統の湿度は成行きとする。</p> <p>・熱源機器 ・冷温水発生機 ・チラー(・空冷HP ・空冷 ・水冷HP ・水冷)</p> <p>・温水ボイラー ・氷蓄熱</p> <p>・放熱器 ・空冷HPパッケージ ・ガスHPパッケージ ・FCU ・AHU ・氷蓄熱HP</p>	
	屋外	屋内		屋外	屋内																																																												
給排水衛生設備			空調設備																																																														
・給水設備	○	○	・機器設備	○	○																																																												
・排水設備	○	○	・配管設備	○	○																																																												
・衛生器具設備		○	・ダクト設備																																																														
・給湯設備			・換気設備	○	○																																																												
・ガス設備			・排煙設備																																																														
・消火設備			・自動制御設備																																																														
・ろ過設備																																																																	
・浄化槽設備																																																																	
<p>特記事項</p> <p>1・水槽、流しその他水を入れ、又は受ける設備に給水する飲料水の配管設備の水栓の開口部の構造については「建築基準法施工令第129号の2の5第2項第二号」に規定する吐水口空間を確保するものとする。</p> <p>2・配管設備に講じた排水トラップ、通気管等の構造については建築基準法S50告示1597号に適合すること。</p> <p>3・給排気口に設ける雨水またはねずみ、虫、ほこりその他衛生上有害なものを防ぐための設備の構造については「建築基準法施工令第129号の2の5第2項第二号」に規定する構造とする。</p> <p>4・建築設備の構造は、平成12年建告1388号に適合するものとする。</p> <p>5・給水装置については、水道法16条、給水装置の構造及び材質の基準に関する省令に適合する事とする。</p>		<p>メーカーリスト 下記リスト以外の選定は係員の承認を必要とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>分類</th> <th>資材名</th> <th>指定メーカー</th> </tr> <tr> <td>管弁</td> <td>継手共</td> <td>水マーク表示品 WSP規格品 HASS表示品 JISマーク表示品 他規格品</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>青銅弁・鋳鉄弁</td> <td>JISマーク表示品</td> </tr> <tr> <td>衛生器具</td> <td>ポンプ類</td> <td>評価事業名簿による</td> </tr> <tr> <td>水栓</td> <td>衛生陶器・水栓</td> <td>JISマーク表示品(規格以外) INAX 東陶機器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>FRP製</td> <td>積水プラント 日立化成 プリジストン 三菱樹脂</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄パネル</td> <td>積水プラント プリジストン</td> </tr> <tr> <td>樹</td> <td>樹類(小口径)</td> <td>アロン化成 積水樹脂 タキロン</td> </tr> <tr> <td>鋳鉄製品</td> <td>排水金物</td> <td>オオタケ カネソウ ダイドレ 中部 南濃 福西 ホクキャスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋳鉄製蓋</td> <td>(マンホール、弁樹蓋) 評価事業名簿による</td> </tr> <tr> <td>空調機</td> <td>空冷HP</td> <td>ダイキン工業 日立アプライアンス 三菱電機</td> </tr> <tr> <td>送風機</td> <td>ダクトファン</td> <td>ダイキン工業 日立アプライアンス 三菱電機</td> </tr> <tr> <td>制気口</td> <td>HS、VHS</td> <td>空研 トーキン</td> </tr> </table>		分類	資材名	指定メーカー	管弁	継手共	水マーク表示品 WSP規格品 HASS表示品 JISマーク表示品 他規格品	ポンプ	青銅弁・鋳鉄弁	JISマーク表示品	衛生器具	ポンプ類	評価事業名簿による	水栓	衛生陶器・水栓	JISマーク表示品(規格以外) INAX 東陶機器		FRP製	積水プラント 日立化成 プリジストン 三菱樹脂		鉄パネル	積水プラント プリジストン	樹	樹類(小口径)	アロン化成 積水樹脂 タキロン	鋳鉄製品	排水金物	オオタケ カネソウ ダイドレ 中部 南濃 福西 ホクキャスト		鋳鉄製蓋	(マンホール、弁樹蓋) 評価事業名簿による	空調機	空冷HP	ダイキン工業 日立アプライアンス 三菱電機	送風機	ダクトファン	ダイキン工業 日立アプライアンス 三菱電機	制気口	HS、VHS	空研 トーキン																							
分類	資材名	指定メーカー																																																															
管弁	継手共	水マーク表示品 WSP規格品 HASS表示品 JISマーク表示品 他規格品																																																															
ポンプ	青銅弁・鋳鉄弁	JISマーク表示品																																																															
衛生器具	ポンプ類	評価事業名簿による																																																															
水栓	衛生陶器・水栓	JISマーク表示品(規格以外) INAX 東陶機器																																																															
	FRP製	積水プラント 日立化成 プリジストン 三菱樹脂																																																															
	鉄パネル	積水プラント プリジストン																																																															
樹	樹類(小口径)	アロン化成 積水樹脂 タキロン																																																															
鋳鉄製品	排水金物	オオタケ カネソウ ダイドレ 中部 南濃 福西 ホクキャスト																																																															
	鋳鉄製蓋	(マンホール、弁樹蓋) 評価事業名簿による																																																															
空調機	空冷HP	ダイキン工業 日立アプライアンス 三菱電機																																																															
送風機	ダクトファン	ダイキン工業 日立アプライアンス 三菱電機																																																															
制気口	HS、VHS	空研 トーキン																																																															

亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	機械設備特記仕様書	NOSCALE	M-01

図示記号

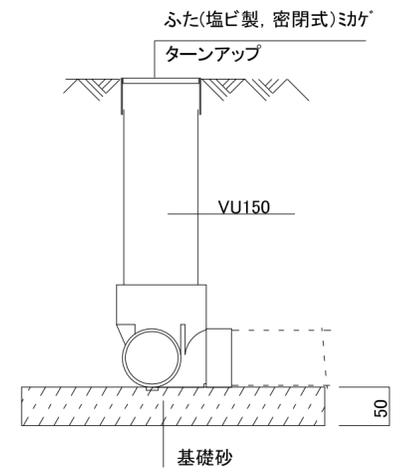
記号	名称
— — — — —	給水管
— — — — —	汚水管
— — — — —	排水管
— — — — —	通気管
— R — — —	冷媒管
— D — — —	ドレン管
— OA — — —	給気ダクト
— EA — — —	排気ダクト
— SA — — —	送気ダクト

記号	名称
⊗	給水栓
⊗	フラッシュバルブ
⊗ ⊗	弁類
⊕	床上掃除口
⊗	排水金物

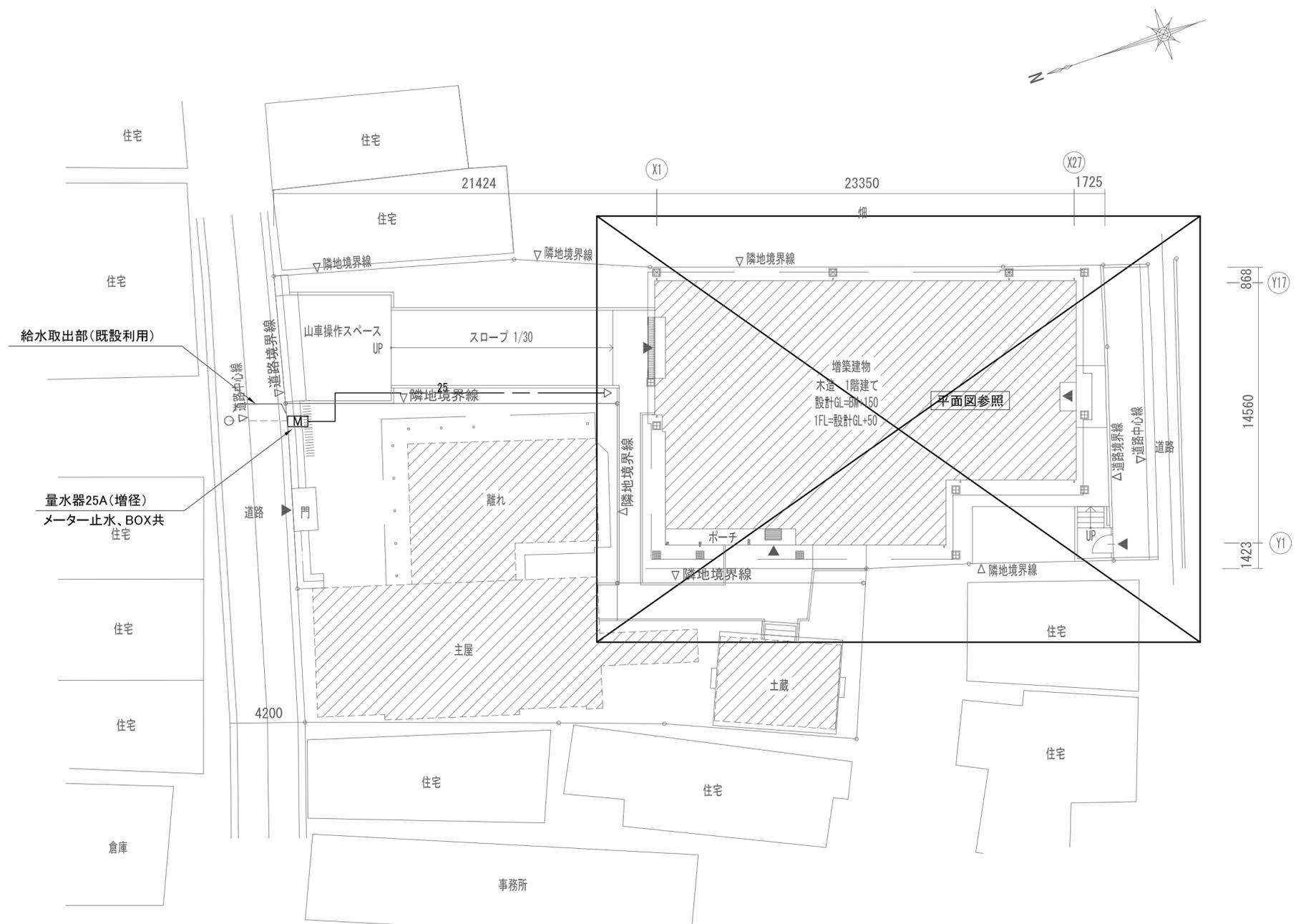
樹仕様

種別	記号	樹寸法	蓋寸法	備考
小口径インバート樹	S-2	100φ	密閉型 150φ	記号 ⊗

記号 ① 左記の表記については铸铁製蓋(T-8)取付とする。

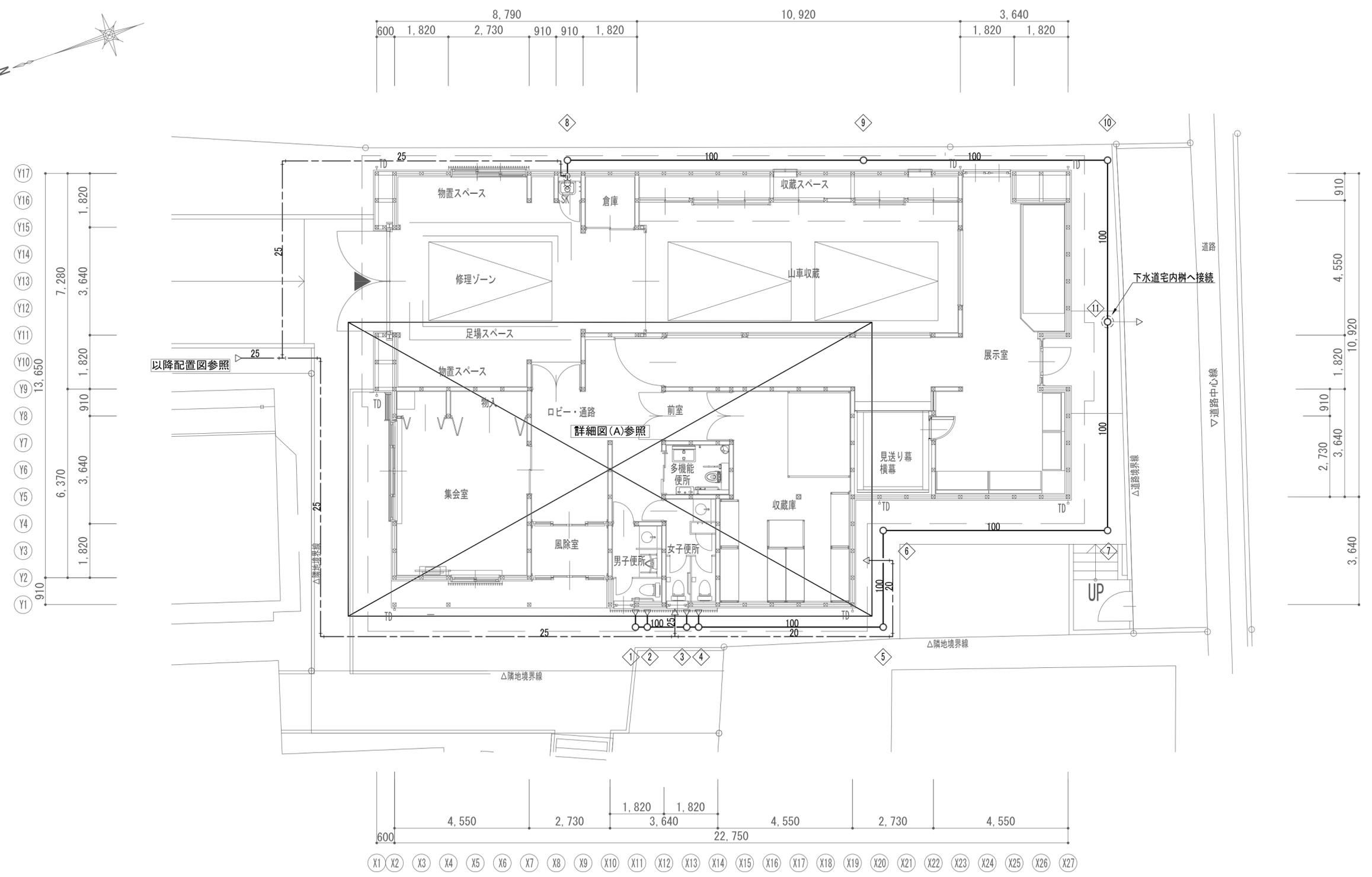


増築建物を示す
 改修建物を示す (別途工事)



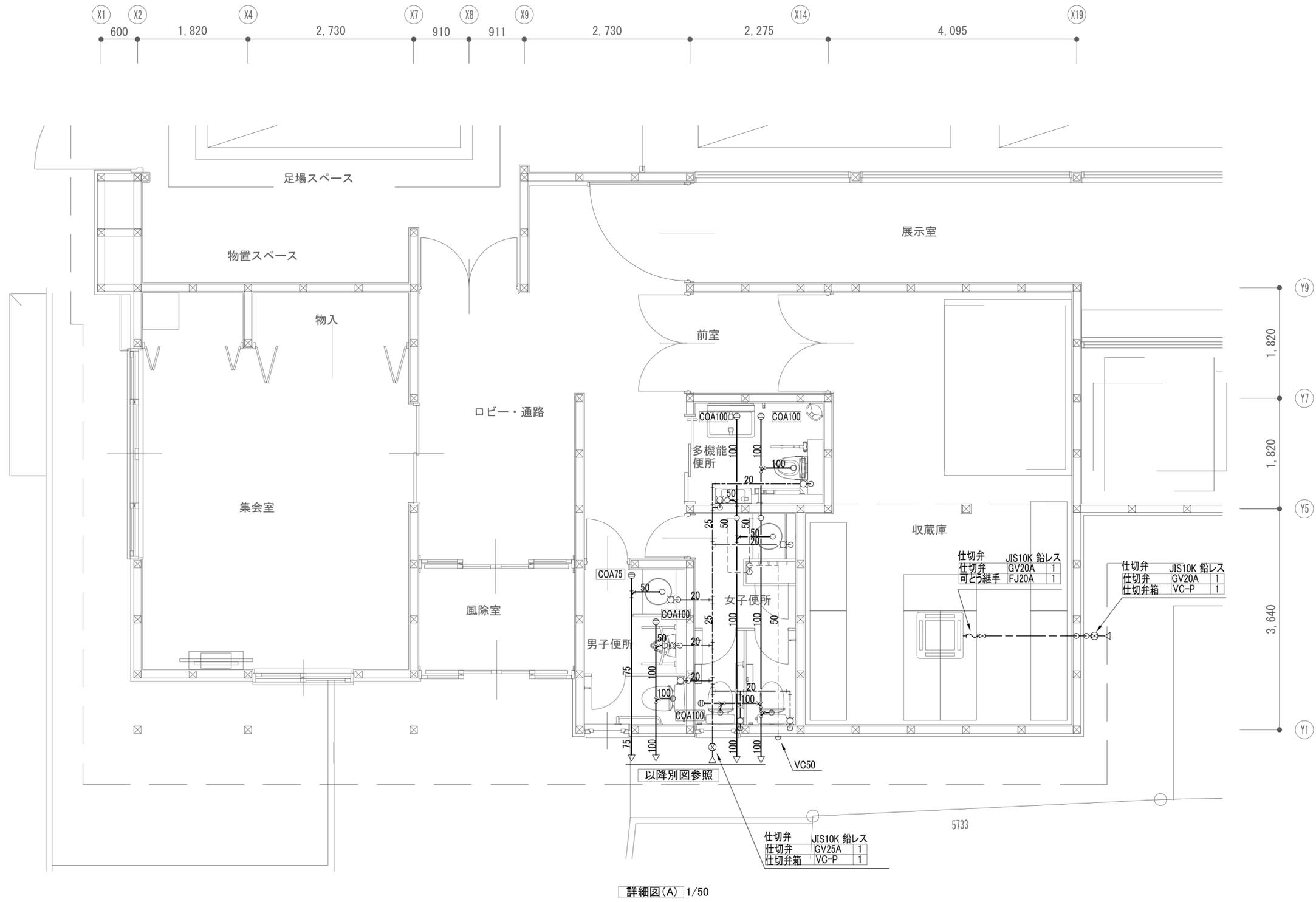
亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	配置図・凡例	1/200	M-02



亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	給排水設備図	1/100	M-04



亀山市

日付

備考

工事名称

図面内容

縮尺

図面番号

関の山車会館地域交流施設新築工事

詳細図 (A)

1/50

M-05

換気機器表

機器番号	機器名称	形式・仕様	電気容量			台数	参考品番	備考
			相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kW)			
EF-1	排気送風機	形式	天井埋込換気扇			1	参考品番: VD-15ZVXE3-FP(三菱電機)	設置場所: 集会室
		風量	200 m ³ /h	90 m ³ /h (24時間)				
		機外静圧	20.0 Pa	4.0 Pa (24時間)				
		付属品	SUS製深型フード(防虫網付) 防振吊り金具他一式					
EF-2	排気送風機	形式	天井埋込換気扇			1	参考品番: VD-20ZVXE3-FP(三菱電機)	設置場所: 展示室
		風量	465 m ³ /h	260 m ³ /h (24時間)				
		機外静圧	43.0 Pa	15.0 Pa (24時間)				
		付属品	SUS製深型フード(防虫網付) 防振吊り金具他一式					
EF-3	排気送風機	形式	天井埋込換気扇			1	参考品番: VD-15ZLX10-CS(三菱電機)	設置場所: ロビー・通路
		風量	110 m ³ /h	65 m ³ /h (24時間)				
		機外静圧	14.0 Pa	7.0 Pa (24時間)				
		付属品	SUS製深型フード(防虫網付) 防振吊り金具他一式					
EF-4	排気送風機	形式	天井埋込換気扇			3	参考品番: VD-13ZC10-S(三菱電機)	設置場所: 多目的便所・男女便所
		風量	100 m ³ /h					
		機外静圧	2.0 Pa					
		付属品	SUS製深型フード(防虫網付) 防振吊り金具他一式					
EF-5	有圧換気扇	形式	格子タイプ			1	参考品番: EFG-35KSB(三菱電機)	設置場所: 修理ゾーン
		風量	2530 m ³ /h	1950 m ³ /h (24時間)				
		機外静圧	30.0 Pa	18.0 Pa (24時間)				
		付属品	SUS製ウエザーカバー 電動シャッター 防虫網他一式					
OA-1	給気口	形式	自然吸気ユニット			3	参考品番: P-18GSF3(三菱電機)	参考品番: 展示室 ロビー・通路 集会室
		風量	- m ³ /h					
		機外静圧	- Pa					
		付属品	SUS製深型フード(防虫網付) フィルター他標準品一式					

注記

外壁に露出するフード、ウエザーカバーについては現場指定色にて焼付塗装を施すものとする。

空調機器表

記号	名称	仕様	電源	電気容量	台数	設置場所	備考	
ACP-1	パッケージ形空調和機 (加湿器搭載型)	形式	空冷ヒートポンプ式、パッケージ形 カセット4方向吹き出し		3φ200V	1	収蔵庫	
		冷房能力	3.6 kW(定格)					0.45 kW (圧縮機)
		暖房能力	4.0 kW(定格)					0.06+0.05 kW (送風機)
		消費電力	1.47 kW(定温最大) 0.75 kW(冷房定格) 0.87 kW(暖房定格)					
ACP-2	パッケージ形空調和機	形式	空冷ヒートポンプ式、パッケージ形 カセット4方向吹き出し		3φ200V	2	集会室 展示室	
		冷房能力	7.1 kW(定格)					1.30 kW (圧縮機)
		暖房能力	8.0 kW(定格)					0.057+0.1 kW (送風機)
		消費電力	2.64 kW(定温最大) 1.68 kW(冷房定格) 1.69 kW(暖房定格)					

日付

備考

工事名称

図面内容

縮尺

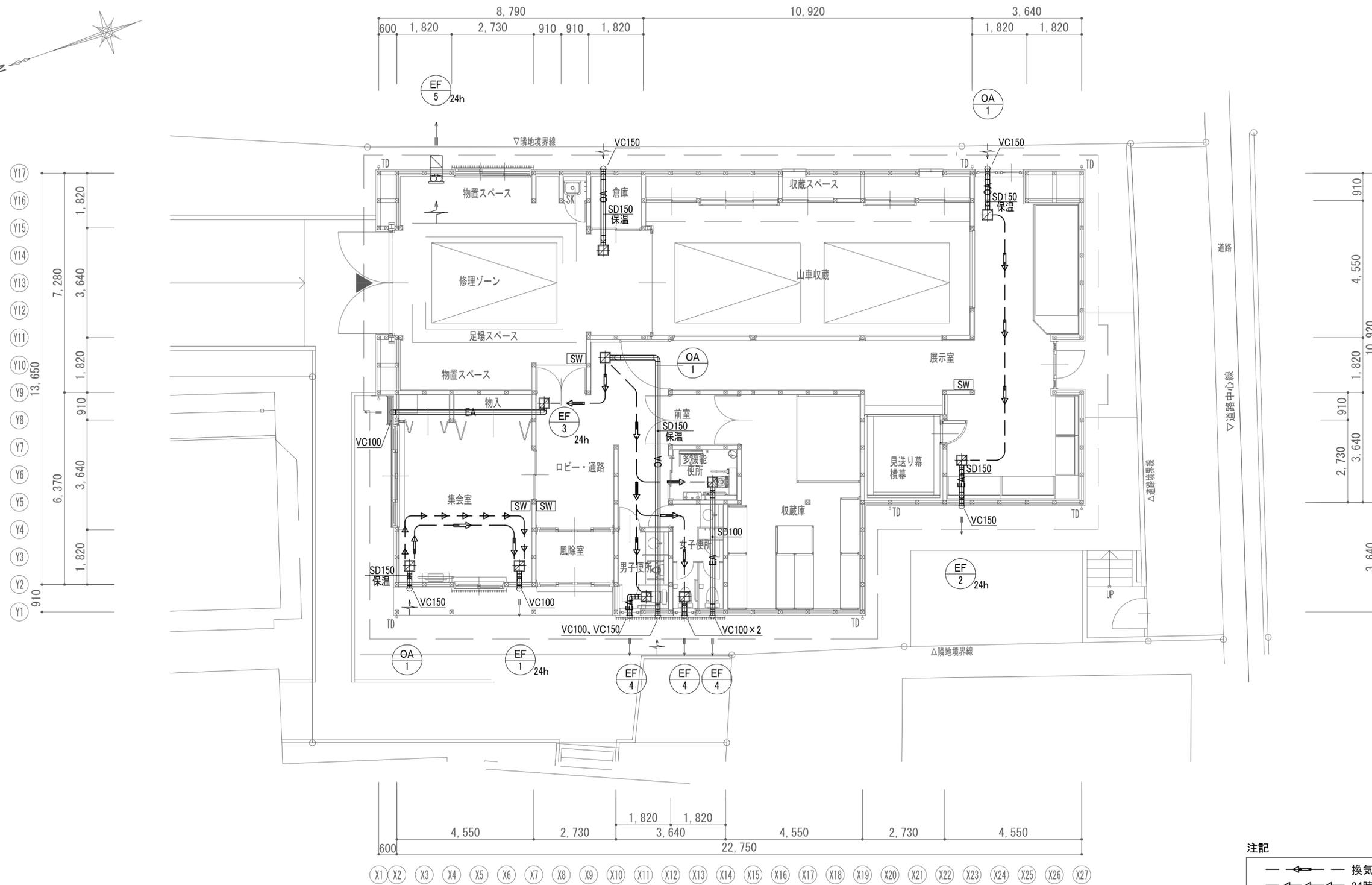
図面番号

関の山車会館地域交流施設新築工事

換気空調設備機器表

NOSCALE

M-06

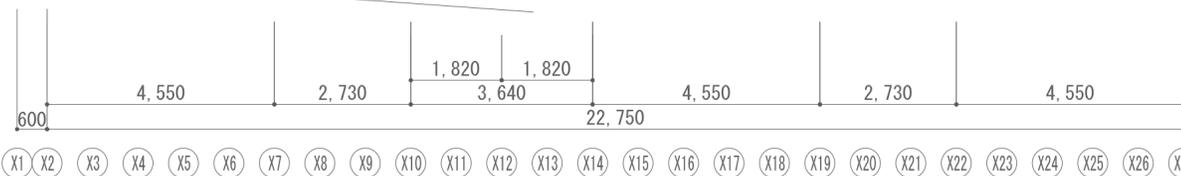
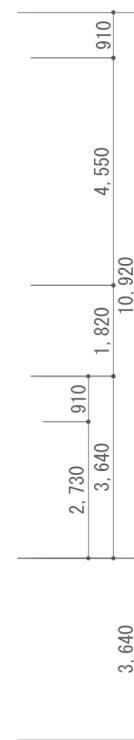
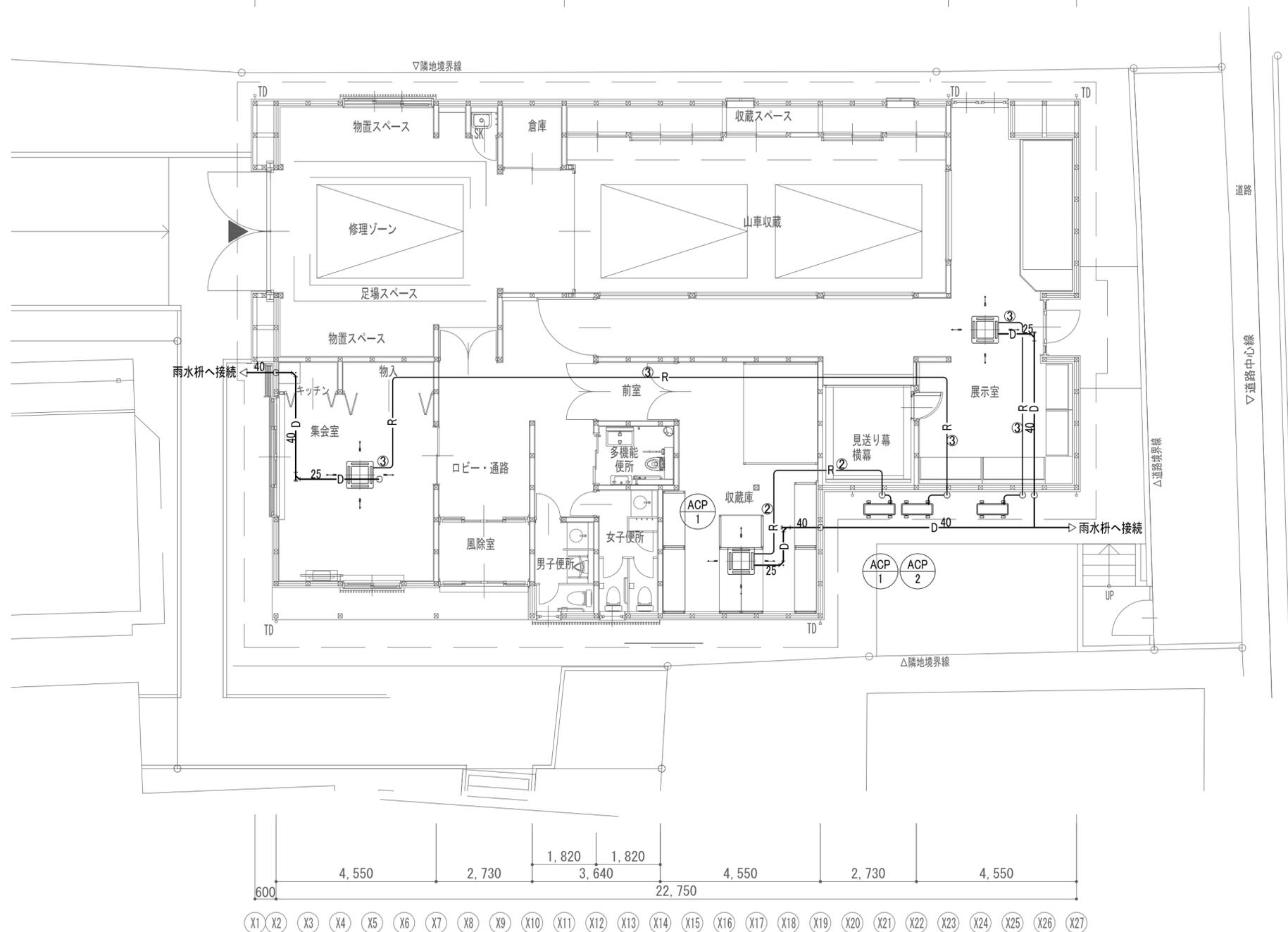
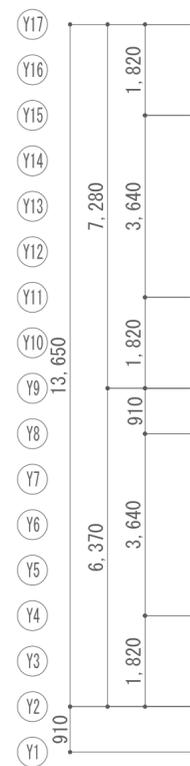


注記

- ← — 換気の経路を示す。
- ← ← ← 24時間換気の経路を示す。
- [SW] 24時間換気のスイッチを示す。

亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	換気設備図	1/100	M-07



冷媒管サイズリスト

	液管	ガス管
①	6.4φ	9.5φ
②	6.4φ	12.7φ
③	9.5φ	15.9φ
④	9.5φ	19.1φ
⑤	9.5φ	22.2φ
⑥	12.7φ	22.2φ
⑦	12.7φ	25.4φ
⑧	15.9φ	25.4φ

亀山市

日付	備考	工事名称	図面内容	縮尺	図面番号
		関の山車会館地域交流施設新築工事	空調設備図	1/100	M-08